

平成
27
年度

病
院
年
報

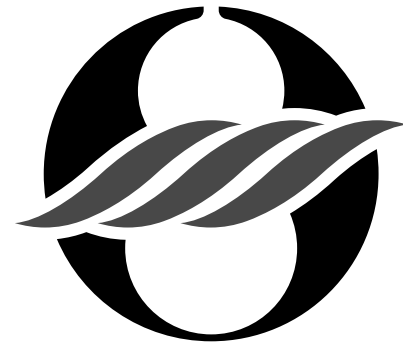
市
立
長
浜
病
院

平成27年度 病 院 年 報



厚生労働省臨床研修指定病院
地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院
周産期協力病院
救急告示病院

市 立 長 浜 病 院



平成29年3月発行

平成27年度 市立長浜病院年報

編集・発行 市立長浜病院

院長 神 田 雄 史

おおひぬ い
滋賀県長浜市大戌亥町313番地

TEL 0749-68-2300

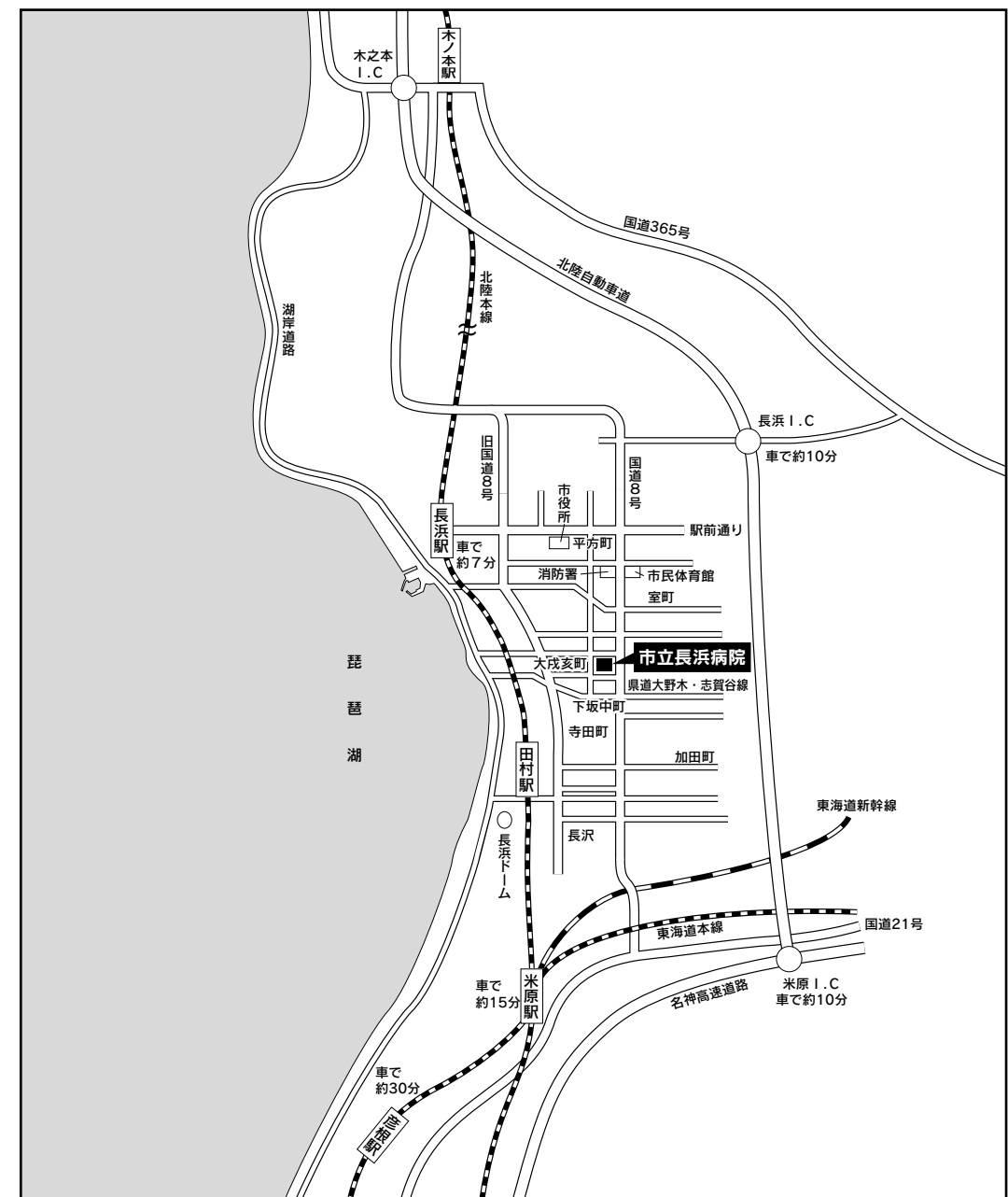
FAX 0749-65-1259

理 念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

基 本 方 針

1. 患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2. 地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展のためにつくします。
3. 高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4. 快適な療養環境の整備と、質の高いケアに努めます。
5. 医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6. 職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7. 職員が元気で働きがいのある職場づくりに努めます。



目 次

I	はじめに.....	1
II	病院の沿革.....	3
III	病院の概要	
	1 施設概要	
	1 概要.....	7
	2 職員状況と組織機構.....	12
IV	活動状況	
	1 主要事業の概要	
	1 市立長浜病院がんフォーラム.....	14
	2 TQM活動発表会.....	15
	3 びわ湖メディカルネットの運用.....	16
	4 回復期リハビリテーション病棟の運営.....	17
	5 放射線技術科機器更新について.....	18
	6 診療支援棟建設.....	19
	2 各科の活動状況	
	総合診療科	20
	内科／血液化学療法	20
	内科／腎臓代謝内科	21
	神経内科	22
	消化器内科	22
	呼吸器内科	23
	循環器内科	24
	老年・高血圧内科	25
	緩和ケア外来ところ	26
	小 児 科	27
	外 科	28
	呼吸器外科	29
	整形外科	30
	形成外科	31
	脳神経外科	32
	心臓血管外科	34
	皮 膚 科	35
	泌尿器科	36
	産婦人科	37
	眼 科	38

耳鼻咽喉科	39
麻酔科	40
I C U・C C Uセンター	41
放射線科（治療部門）	42
放射線科（診断部門）	43
病理診断科	44
歯科・歯科口腔外科	45
臨床研修医	46
人工透析室	47
救急センター	48
健診センター	49
開放型病棟、開放型病床	50
中央材料室	51
中央手術室	52
薬剤部	53
医療技術局	54
栄養科	55
臨床工学技術科	56
放射線技術科	57
リハビリテーション科／リハビリテーション技術科	58
中央検査技術科	60
歯科・眼科技術室	62
看護局	63
訪問看護ステーション	66
事務局	67
地域医療事業部	71
がん対策推進事業部	73
診療情報支援室	74
医療安全管理室	75
3 著書発表記録	77
4 論文発表記録	78
5 学会・研究発表記録	80
6 講習会／研修会への取り組み	
1 患者さん、市民を対象にしたもの	96
2 医療従事者、地域開業医を対象にしたもの	100
7 委員会の状況	104

V 経営状況

平成27年度決算状況

（1）経営収支比較	139
（2）貸借対照表	140

（３）経営状況①	141
経営状況②	141
（４）資本的収入及び支出	142

Ⅵ 各種統計資料

１ 患者状況

（１）一般病棟科別入院患者数	143
（２）療養病棟科別入院患者数	143
（３）科別外来患者数	144
（４）入院外来患者数の年次推移（一般病棟）	145
（５）入院年代別患者数	146
（６）外来年代別患者数	150
（７）入院地域別患者数	151
（８）外来地域別患者数	155
（９）科別月別入院退院数	156
（１０）科別月別入院患者数	157
（１１）科別月別外来患者数	158
（１２）時間内患者数	159
（１３）休日患者数	159
（１４）夜間患者数	159
（１５）救急車利用状況	160

２ ＩＣＵ・ＣＣＵ業務状況	161
３ 手術業務状況	162
４ 健診センター利用状況	163
５ 中央材料室業務状況	168
６ 薬剤科業務状況	169
７ 栄養科業務状況.....	171
８ 放射線科／放射線技術科業務状況	173
９ 中央検査技術科業務状況	178
１０ リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況	180
１１ 開放型入院患者状況	181
１２ 訪問看護ステーション業務状況	182
１３ 疾病別・転帰別退院患者数.....	183
１４ 医療機器等購入状況.....	184
１５ 死亡診断書発行状況	186
１６ 剖検症例	187
１７ 院内保育所「あすなろ園」状況	188

I はじめに

ファシリティマネジメント元年

—診療支援棟竣工—

長浜市病院事業管理者 野 田 秀 樹



診療支援棟が（26年6月着工）10月4日竣工、10月13日稼動することになりました。この支援棟はファシリティマネジメントの一環として「地域を支え、導く病院であり続けるために」をコンセプトに計画されました。高齢化とともに増加するであろう脳血管・循環器疾患への対応、救急医療の効率化、がん診療連携拠点病院等の今までの事業を一段と充実させ発展させるための機能、医局の環境改善を併せ持たせたものです。今後もファシリティマネジメント・病院長寿命化計画に則って、既存機能の充実を図っていく予定です。現在、患者総合支援センターの整備が始まったところです。

今、医療・福祉領域では「医療・介護総合推進法」に基づいた病床機能報告制度、地域医療ビジョン策定、地域介護施設整備推進等が進められています。しかし、この政策実現への人材不足、偏在による足かせは明らかで、これをどう解決するのか政府の本気度が問われています。人材確保では当院も非常に厳しい立場にあり、計画の修正は余儀なくされるかもしれませんが、理念「人中心の医療」達成に向けて、ただ前進あるのみだと考えています。

そんななか、新「専門医制度」が本年度より運用、平成29年度から始動することが決定されました。しかし「新医師臨床研修制度」同様、地方の医師不足・偏在を助長するなど多くの問題を抱えたままの見切り発車であることが、関係団体の多くから指摘され迷走状態に陥りました（28年8月、日本専門医機構は施行開始を1年間延期することを正式決定）。質を担保し、受療の指針となりうる「公の資格」として広く認知評価されるような、そして「プロフェッショナル集団としての医師」が誇りと責任を持って患者の視点に立ち自律的に運営する制度にすべく検討されてきた制度です。施行に際しては地域医療の崩壊につながらないような配慮が望まれるところです。

27年度の病院事業（市立長浜病院）としては一部診療科の縮小や昨年の診療報酬改定、3%の消費増税、公営企業の会計法変更などにより大幅な赤字計上を余儀なくされました。しかし多くの悪条件の揃う中、中央部門である麻酔科副院長の着任を得るなど明るい兆しも見られました。さらに今、地域医療の充実、医師確保に向けたプロジェクトの一つが市との協働のもとに進行中です。来春には花開くと信じています。医師不足の中、厳しい状況は続きますが、地域医療の質を確保し維持継続のために「チャレンジ精神」を失うことなく、神田新院長のもと全職員が力を合わせ夢を持って進んでいただきたいと思います。

（28年3月、多賀院長が定年を迎えられました。当院への長きにわたるご尽力感謝です。）

病院機能の再構築

市立長浜病院

院長 神田 雄 史



市立長浜病院の最初の病院年報は、「平成8年度市立長浜病院年報」として平成9年10月1日に刊行されました。平成8年5月に520床の新病院が新築移転したときに、当時の秋山泰高院長の指揮のもと、多賀俊明診療局長（前院長）が編集委員長として年報刊行に尽力されました。初刊の挨拶文で秋山泰高院長が「年報の発刊が永続することを願ってやみません。」と締めくくられた思いが引き継がれ、今回の「平成27年度病院年報」は20巻目になりました。

この20年の間に、市立長浜病院は、湖北の基幹病院としての役割を果たすための努力を重ねて参りました。

平成27年度の大きな病院事業として、診療支援棟が、10月に竣工しました。病院全体の機能を再構築し、病院が持つ強みを活かす目的で、平成23年度に基本構想に着手、基本設計・実施設計を経て、平成26年度より建設工事に着手しておりました。

地上4階建てで、1階に救急センター、MR、CT、中央監視室、2階に医局、女性医師専用ラウンジ、宿直室、3階にICU・CCU、中央手術室、心臓用血管撮影室、頭部血管撮影室、4階にファシリティマネジメントスペースを配置しました。脳や心臓の血管障害に対する迅速かつ高度な医療の提供、本館で分散している各種検査機能と集中治療の集約、がん診療連携拠点病院としての診療機能強化、高度医療を提供できる医師の確保、女性医師をはじめとする医療スタッフのアメニティの充実を図ります。

心臓用血管撮影室にはバイプレーン型フラットパネルディテクタ搭載心臓血管撮影装置を導入しました。検査時間、被ばく線量、造影剤の使用量を低減しつつ、心筋梗塞、狭心症などの冠動脈疾患に威力を発揮します。心臓用血管撮影室にはバイプレーン型新型FPD搭載頭部用アンギオ装置を導入しました。3D画像構築が可能となり、心臓用血管撮影室で開頭手術が可能となりました。

その後も、診療支援棟周囲の既存棟の改築を進めており、平成28年6月にはコンビニエンスストアとレストランが開設されました。平成29年4月には患者総合支援センターの開設を予定しています。

2次医療圏域で不足する慢性期機能については、平成27年1月に地域包括ケア病棟の運用を開始し、医療型療養病棟とともに亜急性から慢性期への流れを構築しました。今後も、地域完結型の医療提供体制を目指して、在宅医療・介護サービスと連携・調整を図ります。

今後も地域における基幹病院としての役割を十分に果たし、また病院理念である「人中心の医療」「地域完結型の医療」を推進するために、「かかりつけ医」からの紹介・逆紹介を積極的に進めるなど、医師会の先生方との連携に今まで以上に努めて参ります。これからも、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

II 病院の沿革

沿革

明治19年4月（1886）	公立大津病院を県立大津病院に改称され、長浜に出張所が設置される
明治20年8月（1887）	北船町（現在の公園町）に県立長浜避病院が設置される
明治22年4月（1889）	町立長浜病院が設立（西本町）
明治26年11月（1893）	北船町（現在の朝日町）に町立長浜病院を新築移転
明治30年4月（1897）	町立長浜病院が私立長浜病院となる
昭和19年5月（1944）	私立長浜病院を買収。市立病院として同年6月開院 診療科：内科、外科、耳鼻科
昭和21年3月（1946）	市立長浜病院東分院設置（東上坂町字小田976－7） 診療科：内科、小児科（医師3人、薬剤師1人、看護婦5人、その他5人）
昭和22年7月（1947）	市立長浜病院神田診療所設置（加田町字坂村2356） 診療科：内科、小児科
昭和33年3月（1958）	病院移転新築工事着工（八幡東町631）
昭和34年4月（1959）	鉄筋コンクリート3階建開院 一般病棟167床、結核病棟39床、癌治療施設、看護婦寄宿舍完成
昭和34年8月（1959）	伝染病棟（15床）増設
昭和37年11月（1962）	一般病棟50床増設
昭和38年1月（1963）	一般病棟29床増設、病床総数300床
昭和41年9月（1965）	救急病院の告示
昭和42年1月（1967）	機能回復訓練室、病床15床増設、伝染病棟15床を一般病棟へ切り替え
昭和50年7月（1975）	結核病棟39床を廃止し、一般病棟へ切り替え、病床総数315床
昭和55年4月（1980）	53年度から2ヵ年計画で病棟（西棟）及び放射線部門を増設。 併せて院内保育園新設、病床総数365床
昭和61年4月（1986）	58年度から3ヵ年計画で中央棟（開放型病室32床含む）の増築整備をはかり、病床総数415床
平成4年6月（1992）	病院移転新築基本構想策定
平成6年3月（1994）	病院新築工事契約の締結
平成6年5月（1994）	移転新築工事起工（長浜市大戌亥町313）
平成8年5月1日（1996）	新病院開院（入院患者の移送） 病床総数520床（開放型50床）、外来診療開始（5月7日） 診療科：20科（平成9年1月1日 診療科21科）
平成9年12月5日（1997）	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
平成10年3月16日（1998）	病院機能評価における認定証の受理 （平成10年2月9日付け一般病床種別B認定第26号） （認定期間 平成10年2月9日～平成15年2月8日）

平成11年1月8日(1999) 河野良一名誉院長(昭和57年4月1日就任)が死去

平成11年3月(1999) 療養型病床群病棟建設設計予算議決

平成11年4月(1999) 企画情報課に療養型病床群病棟開設準備担当設置

平成11年8月(1999) 療養型病床群病棟建設設計本部設置

平成13年1月(2001) 療養型病床群病棟建設工事請負契約の締結

平成13年1月(2001) 療養型病床群病棟建設工事起工

平成13年2月(2001) トータルオーダーリングシステム等基本計画策定

平成13年3月(2001) 秋山泰高院長(平成2年4月1日就任)が退職

平成13年3月(2001) 臨床研修病院の指定を受ける

平成13年4月(2001) 琴浦良彦院長就任

平成13年4月15日(2001) 西川博文副院長(平成8年5月1日就任)が死去

平成14年3月1日(2002) 療養病棟の開設(156床増床)

平成14年5月(2002) トータルオーダーリングシステム更新

平成15年2月6日(2003) 全国自治体病院協議会管理者研修実施

平成15年2月26日~28日(2003) 財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審(ver.4)

平成15年4月15日(2003) アウグスブルク市長病院視察

平成16年1月26日(2004) 財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定証受理
(認定期間 平成15年2月9日~平成20年2月8日)

平成16年4月1日(2004) 市立長浜病院組織機構改革

平成16年4月1日(2004) 湖北地域における小児救急支援事業の開始

平成16年5月1日(2004) 臨床研修医制度による研修医の受け入れ開始

平成17年1月17日(2005) 地域がん診療拠点病院の指定を受ける

平成17年12月(2005) 長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で「長浜市〇次予防健康づくり推進事業」の計画策定に関する覚書を締結。今後1万人規模の疫学調査に積極的に参加協力。

平成18年2月6日(2006) 人間ドック・健診施設機能評価機構による訪問審査

平成18年2月13日(2006) 長浜市・浅井町・びわ町1市2町合併

平成18年3月25日(2006) 社団法人日本病院会、日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定証受理
(認定期間 平成18年3月25日~平成23年8月31日)

平成18年3月(2006) 平成16年6月の創立60周年を機に、市立長浜病院創立60周年記念誌を発刊

平成18年11月(2006) 最新鋭の64マルチスライスCTの運用開始

平成19年 4月 (2007)	高精度治療に対応した最新の放射線治療装置（リニアック）の導入に向けたプロジェクトチームを設置
平成19年 6月 (2007)	がん相談支援センターの設置
平成20年 2月 (2008)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5）の認定更新 （認定期間 平成20年2月9日～平成25年2月8日）
平成20年 2月 (2008)	地域がん診療連携拠点病院認定更新
平成20年 3月 (2008)	琴浦良彦院長（平成13年4月1日就任）が退職
平成20年 4月 (2008)	野田秀樹院長就任
平成20年 4月 (2008)	最新の放射線治療装置（リニアック）の稼働
平成20年 4月 (2008)	PACS（画像ファイリングシステム）運用開始
平成20年 6月 (2008)	医薬分業の視点から薬品の院外処方箋を発行
平成20年 7月 (2008)	厚生労働省からDPC対象病院に指定
平成20年 7月 (2008)	療養病棟2階介護保険52床休床届
平成21年 3月17日 (2009)	一般病棟5階東51床休床届
平成21年 3月 (2009)	市立長浜病院改革プラン策定
平成21年 4月 (2009)	一般病棟入院基本料看護基準7対1の施設基準を取得
平成21年 4月 (2009)	長浜病院訪問看護ステーションの設置
平成22年 1月1日 (2010)	長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町の1市6町合併
平成22年 1月 (2010)	トータルオーダーリングシステム更新
平成22年 4月 (2010)	地方公営企業法全部適用へ移行
平成22年 4月 (2010)	野田秀樹院長が病院事業管理者に就任（院長兼務）
平成22年 4月1日 (2010)	標榜科22科（呼吸器外科を新たに届出）
平成22年 7月1日 (2010)	地域医療事業部及びがん対策推進事業部の新設 （医療社会相談室の廃止）
平成23年 3月31日 (2011)	療養病棟2階介護保険52床を廃止で変更届 総病床数（624床） 一般病棟（520床）うち5階東51床休床 療養病棟（104床）うち医療保険52床、介護保険52床
平成23年 4月 (2011)	社団法人日本病院会 日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定更新（認定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日）
平成23年 7月20日 (2011)	療養病棟2階を医療保険適応病床52床に変更届
平成24年 3月 (2012)	長浜市病院事業基本計画（中期）及び長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定
平成24年 4月 (2012)	野田秀樹院長が病院事業管理者を専任及び医療政策監に就任

平成24年 4月 (2012) 多賀俊明院長就任

平成24年 4月 (2012) 経営企画課に診療支援棟建設準備室を設置

平成24年 4月23日 (2012) 療養病棟 1 階人工透析室40床開設

平成24年 5月31日 (2012) 療養病棟 3 階介護保険52床を廃止で変更届

平成24年 6月 1日 (2012) 療養病棟 3 階を医療保険52床で届出し、同時に休床届
総病床数 (624床)
一般病棟 (520床) うち 5 階東51床休床
療養病棟 (104床) うち医療保険104床

平成24年 9月 (2012) 診療支援棟建設設計補正予算議決

平成24年10月1日～3日 (2012) 財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審 (Ver.6)

平成24年11月 (2012) 3.0テスラMRI装置の導入

平成25年 1月 (2013) トータルオーダーリングシステム等の電子カルテ化

平成25年 2月 (2013) 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver.6)
の認定更新 (認定期間 平成25年2月9日～平成30年2月8日)

平成25年 3月 (2013) 外来化学療法センター開設 (移転増床)

平成25年 3月 1日 (2013) 療養病棟 3 階医療保険52床再開

平成25年 6月 1日 (2013) 回復期リハビリテーション病棟 (療養病棟) の運用を開始

平成25年 8月 1日 (2013) 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の運用を開始

平成26年 3月 (2014) 診療支援棟整備工事設計業務完了

平成26年 3月 (2014) 長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定

平成26年 4月 (2014) 野田秀樹病院事業管理者が再任

平成26年 6月 (2014) 診療支援棟整備工事着工

平成26年10月 2日 (2014) 標榜科23科 (病理診断科を新たに届出)

平成26年11月 5日 (2014) 5階東病棟51床再開 3階東病棟45床休床

平成27年 1月 1日 (2015) 地域包括ケア病棟の運用を開始

平成27年 4月 1日 (2015) 開設許可病床 (一般病棟) 8床削減
総病床数 (616床)
一般病棟 (512床) うち 3 階東 4 1 床休床
療養病棟 (104床) うち医療保険104床

平成27年10月 4日 (2015) 診療支援棟 竣工式

平成28年 3月 (2016) 多賀俊明院長 (平成24年4月1日就任) が退職

平成28年 4月 (2016) 神田雄史院長就任

Ⅲ 病院の概要

Ⅲ－１ 施設概要

1. 概 要

(1) 施設概要

所在地	滋賀県長浜市大戌亥町313番地		
施設名	市立長浜病院		
開設者	長浜市長 藤井勇治		
管理者	院長 神田雄史		
敷地面積	70,991.23㎡		
建 物	本 館	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上7階	
	高 さ	37.5m	
	延床面積	32,836.9㎡	
	別 館	鉄筋コンクリート造地上3階	
	延床面積	8,212.5㎡	
付 属 棟	保育園、車庫、医療ガス庫、駐輪場、キャノピー		
	延床面積	1,078.8㎡	
	診療支援棟	鉄骨造4階	5,333.6㎡

(2) 外 来 外来

診療科（標榜科 23科）

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科

診療科（院内標榜）

心療内科、腎臓・代謝内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科

(3) 病 棟

病床数	616床（一般 512床、療養104床）		
病 棟	3階東病棟（41床）	3階西病棟（47床）	
	3階南病棟（40床）	ICU CCU（8床）	
	4階東病棟（35床）	4階西病棟（39床）	
	（内 PICU 2床）	（内 NICU 9床）	
	5階東病棟（51床）	5階西病棟（50床）	
	6階東病棟（51床）	6階西病棟（50床）	
	7階東病棟（50床）	7階西病棟（50床）	
	療養2階病棟（52床）	医療保険対応	
	回復期リハビリテーション病棟（52床）	医療保険対応	

(4) 認定施設基準一覧 (2016年11月1日現在)

○基本診療料

初診・再診料

地域歯科診療支援病院歯科初診料

入院基本料等

一般病棟入院基本料

療養病棟入院基本料2

入院基本料加算

歯科外来診療環境体制加算

歯科診療特別対応連携加算

超急性期脳卒中加算

診療録管理体制加算1

医師事務作業補助体制加算2

急性期看護補助体制加算

看護職員夜間配置加算

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

療養病棟療養環境加算1

無菌治療室管理加算(1と2)

栄養サポートチーム加算

医療安全対策加算1

感染防止対策加算1

患者サポート体制充実加算

褥瘡ハイリスク患者ケア加算

ハイリスク妊婦管理加算

ハイリスク分娩管理加算

総合評価加算

呼吸ケアチーム加算

病棟薬剤業務実施加算

データ提出加算2

退院支援加算

地域歯科診療支援病院入院加算

特定入院料

特定集中治療室管理料3

脳卒中ケアユニット入院医療管理料

小児入院医療管理料4

回復期リハビリテーション病棟入院料2

地域包括ケア病棟入院料1

○特掲診療料

高度難聴指導管理料

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

がん患者指導管理料1、2、3

糖尿病透析予防指導管理料

外来放射線照射診療料

ニコチン依存症管理料

開放型病院共同指導料

がん治療連携計画策定料
 肝炎インターフェロン治療計画料
 薬剤管理指導料
 検査・画像情報提供加算
 医療機器安全管理料1
 医療機器安全管理料2
 歯科治療総合医療管理料
 在宅患者訪問看護・指導料
 持続血糖測定器加算
 H P V 核酸検出
 H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
 検体検査管理加算（Ⅱ）
 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
 時間内歩行試験
 胎児心エコー法
 ヘッドアップティルト試験
 皮下連続式グルコース測定
 長期継続頭蓋内脳波検査
 神経学的検査
 コンタクトレンズ検査料1
 小児食物アレルギー負荷検査
 内服・点滴誘発試験
 センチネルリンパ節生検（片側）
 画像診断管理加算2
 C T 撮影及びMR I 撮影
 冠動脈C T 撮影加算
 心臓MR I 撮影加算
 乳房MR I 撮影加算
 外来化学療法加算1
 無菌製剤処理料
 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
 がん患者リハビリテーション料
 歯科口腔リハビリテーション料2
 エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
 エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）
 透析液水質確保加算1
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
 歯科技工加算
 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
 下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算2）
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）

経皮の中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
体外衝撃波胆石破碎術
体外衝撃波膵石破碎術
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
膀胱水圧拡張術
人工尿道括約筋植込・置換術
胃瘻造設術
輸血管理料Ⅱ
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
歯周組織再生誘導手術
麻酔管理料（Ⅰ）
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療（IMRT）
画像誘導放射線治療加算（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸移動対策加算
病理診断管理加算
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科矯正診断料
○入院時食事療養等の基準
入院時食事療養Ⅰ
特別の療養環境の提供
病院（200床以上）の初診
入院期間が180日を超える入院

(5) 学会等の教育病院指定一覧 平成27年4月現在

施設名	施設名
日本内科学会認定医制度教育病院	日本血液学会認定血液研修施設
日本透析医学会専門医制度認定教育関連施設	日本リウマチ学会認定教育施設
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設	日本呼吸器学会認定施設
呼吸器外科専門医合同委員会認定基幹施設	日本呼吸器外科学会認定施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本胸部外科学会指定施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設	日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度認定指導施設	日本乳癌学会関連施設
日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設	日本食道栄養学会全国登録認定施設
日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本高血圧学会専門医認定施設
日本老年医学会認定老年病専門医制度認定施設	胸部ステントグラフト実施施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設	腹部ステントグラフト実施施設
心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	日本小児科学会専門医制度研修施設
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	日本整形外科学会研修施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本形成外科学会教育関連施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本医学放射線学会専門医修練機関	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本放射線腫瘍学会認定協力施設
日本病理学会認定病院B	

(6) 病院配置図

本館

病棟		7 F		
病棟		6 F		
病棟		5 F		
病棟		4 F		
病棟	病棟	3 F	手術室	
外来診察 中央検査科	看護局・診療情報支援室他 看護学生室・総務課	2 F	中央材料室 機器センター	電気室
外来診察 放射線科 リハビリテーション科 健診センター	待合 ホール	薬剤科・栄養科・医事課 1 F	レストラン	コンビニ

別館

病棟	3 F		
病棟	2 F	経営企画課	
人工透析センター	地域医療事業部 がん対策推進事業部	訪問看護 ステーション	

支援棟

3 F	手術室、ICU・CCU	血管撮影室
2 F	医局・当直室	
1 F	救急センター	放射線科

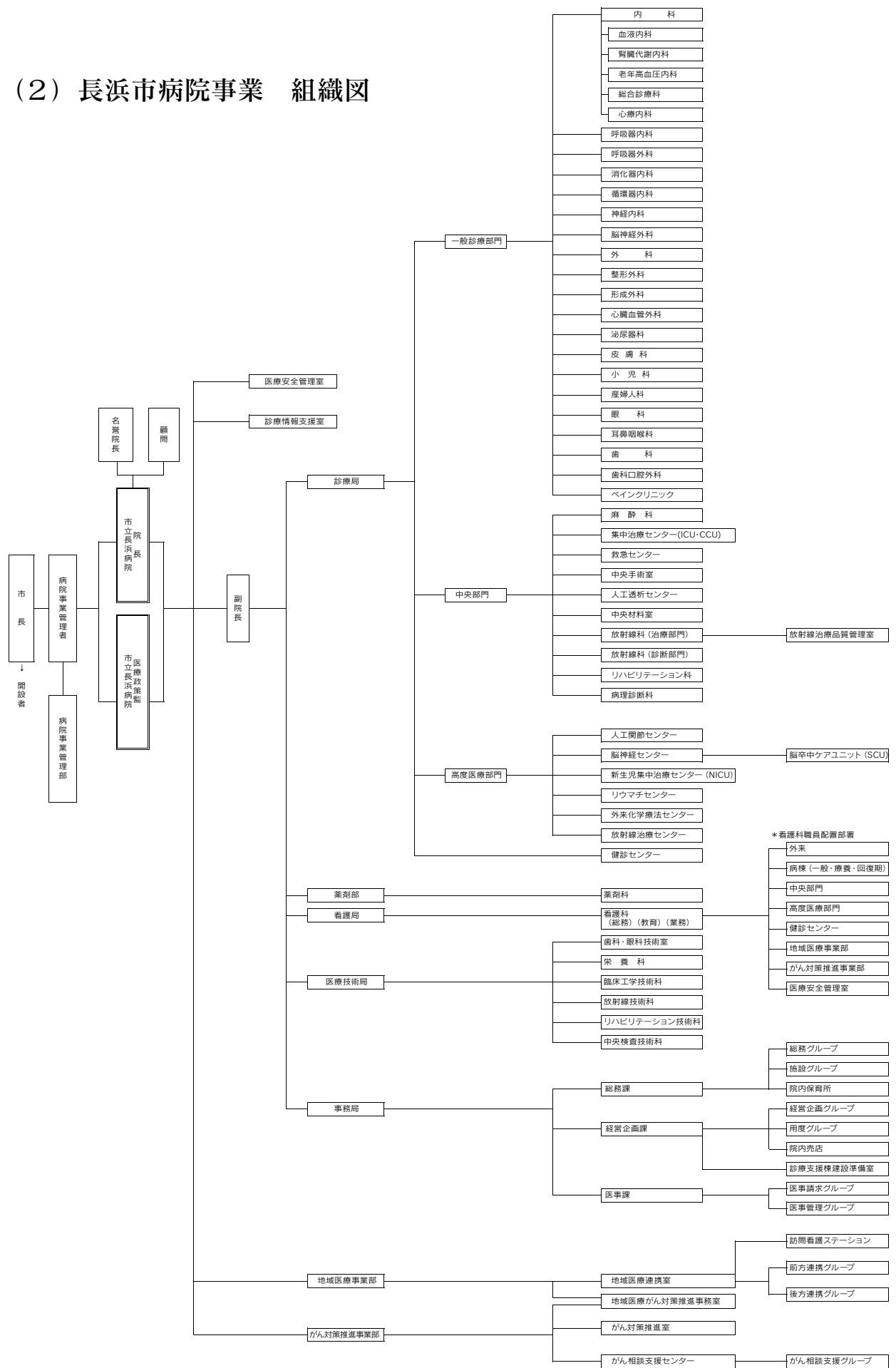
２．職員状況と組織機構

（１）職員状況

(単位：人)

	平成25年4月 (25.4.1現在)	平成26年4月 (26.4.1現在)	平成27年4月 (27.4.1現在)
医 師	91	90	86
歯 科 医 師	4	4	4
薬 剤 師	17	18	19
看 護 師	532	524	520
看 護 助 手	55	49	51
助 産 師	22	18	20
栄 養 士	7	6	5
放 射 線 技 師	20	20	23
検 査 技 師	27	26	27
臨床工学技士	7	7	8
マ ッ サ ー ジ 師	0	0	0
理 学 療 法 士	25	25	25
作 業 療 法 士	10	10	11
視 能 訓 練 士	5	4	4
歯 科 衛 生 士	4	2	4
歯 科 技 工 士	1	1	1
言 語 聴 覚 士	4	4	5
事 務 職	58	56	56
介 護 士	33	35	31
そ の 他	112	126	133
合 計	1,034	1,025	1,033

(2) 長浜市病院事業 組織図



IV 活動状況

IV－1 主要事業の概要

1. 市立長浜病院がんフォーラム2015

1. 開催目的

当院で行われているがん治療の流れを映像で紹介し、当院のがん診療の取り組みについて理解を深めるために開催しました。

2. 開催日

平成27年7月26日（日） 14時～16時30分（午後13時30分から受付）

3. 参加費

無料

4. 場所

長浜文化芸術会館 ホール（滋賀県長浜市大島町37番地）

5. 内容

【映像で観る受診から診療までの実際】

放射線診断	当院放射線科（診断）	診療放射線技師	富田 聡
内視鏡	当院放射線科（診断）	看護師	野一色 真弓
病理	当院中央検査技術科	臨床検査技師	西野 万由美
がん相談	当院がん相談支援センター	がん専門相談員	新川 君代
口腔ケア	当院歯科口腔外科	歯科医師	藤田 将広
音楽療法	音楽療法士グループMTQ		
	主宰（同志社女子大学音楽学科特任教授）		濱谷 紀子
	音楽療法士		野村 直子
			小林 萌子
			濱中 恵梨
			加藤 愛子
手術室		看護師	平井 義一
がんのリハビリテーション	リハビリテーション技術科	理学療法士	藤井 三和子
がんの化学療法	薬剤部	薬剤師	池田 遼太
放射線治療	放射線科（治療）	放射線技師	田邊 啓太
緩和ケア	がん対策推進室	緩和ケア認定看護師	宮崎 恵子

6. 主催

市立長浜病院

後援

湖北保健医療圏地域がん予防診療連携協議会

滋賀県がん患者団体連絡協議会、滋賀県がん診療連携協議会、湖北医師会、湖北歯科医師会、
滋賀県放射線治療連絡協議会、湖北薬剤師会、滋賀県、米原市、長浜市

7. 参加者数

259名

2. 第10回 T Q M活動発表会

【今年度の取り組み】

発表部署	発表テーマ	チーム名
機器センター	人工呼吸器がスムーズかつ適切に借りられるように	人工呼吸器見守り隊
リハビリ	休み前の患者リハビリ依頼をスムーズにする ～依頼にかかる時間の短縮～	リハビリ依頼 (IRAI) ZAP
総務課	電気の消し忘れ0～ゼロ～	電気削減し隊
3階西病棟	安心して下さい！ちゃんと当たってますよ ～漏れによるシーツ交換低減を目指して～	とにかく明るい3西
4階西病棟	みなきゃ、や～よ♥ ～幼児の点滴漏れを減らそう～	減らし隊
6階東病棟	入院計画書1週間以内の回収100%を目指して	安心して下さい！ 入診書100%回収してますよ！！
7階西病棟	記録の後回しを減らして、時間外業務を減らそう	7西帰宅部
7階東病棟	退院調整に必要な情報GET！！ みんなで共有して退院を目指そう！	チームENT
ICU	個別性に応じた抑制を考えよう ～ICUにおけるせん妄評価の統一化～	ありのままを受け入れ隊 ～Let it go～
定着化の発表	5東、栄養科	

【開催日時】 平成28年2月27日（土）8：30～11：45
市立長浜病院 2階講堂

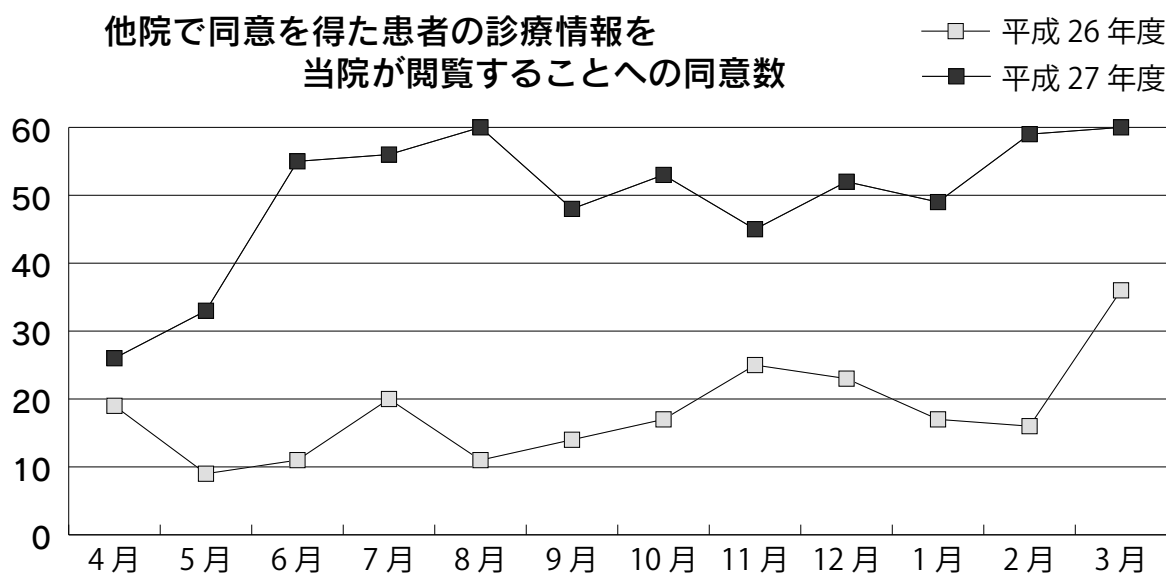
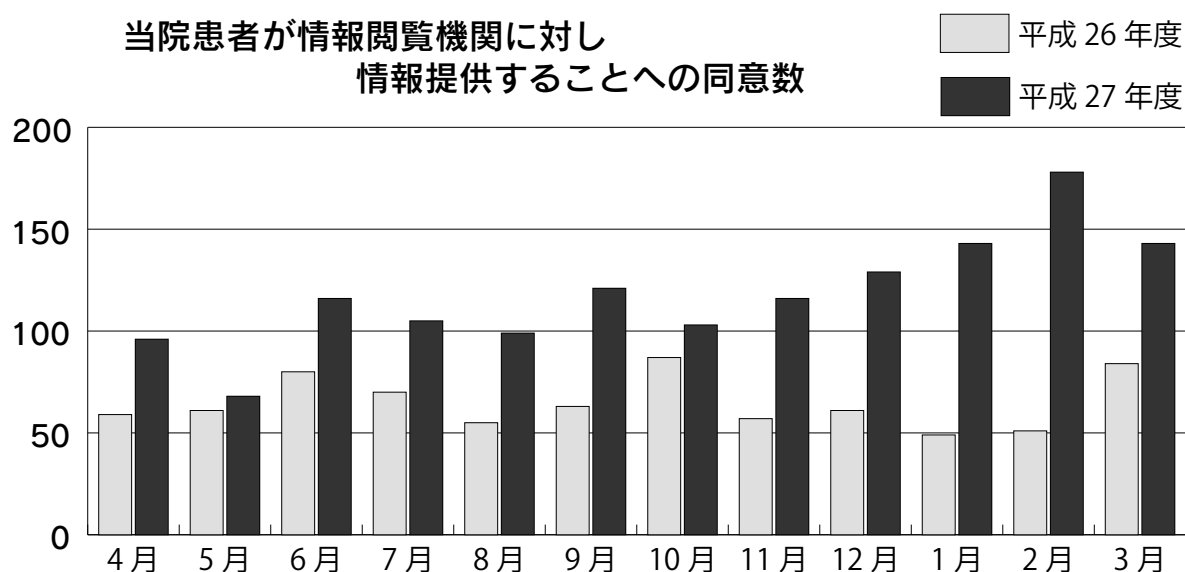
【参加者】 107名（湖北病院職員3名）

【表彰】 1位：リハビリテーション科 「休み前の患者リハビリ依頼をスムーズにする」
～依頼にかかる時間の短縮～
2位：7西病棟 「記録の後回しを減らして、時間外業務を減らそう」
3位：ICU 「個別性に応じた抑制を考えよう」
～ICUにおけるせん妄評価の統一化～

3. びわ湖メディカルネットの運用

平成25年4月から運用を開始した湖東・湖北医療ネットは、平成26年7月28日から滋賀県全域を結ぶ地域医療連携ネットワークであるびわ湖メディカルネットに移行しました。県内21の情報提供病院と、情報閲覧機関である病院、診療所、薬局等の医療機関がITネットワークの専用回線で結ばれています。患者の同意に基づき、診療情報の共有化をはかることで、専門医とかかりつけ医の役割分担を進め、地域住民への良質な医療の提供につなげることができました。各医療機関を結ぶオンライン回線は、厚生労働省が認めた非常に高いセキュリティーを確保しています。また、湖東・湖北医療圏域においては、各圏域毎で協議会を設けると共に湖東・湖北連絡協議会も存続されました。当院は湖北協議会の事務局として3回の会議を開催しました。

平成27年度に、当院患者が情報閲覧機関に対して情報提供することへの同意数は1,417人（前年度比640人増）、他の情報提供病院で同意を得た患者の診療情報を当院が閲覧することへの同意者数は596人（前年度比378人増）となっています。



4. 回復期リハビリテーション病棟の運営

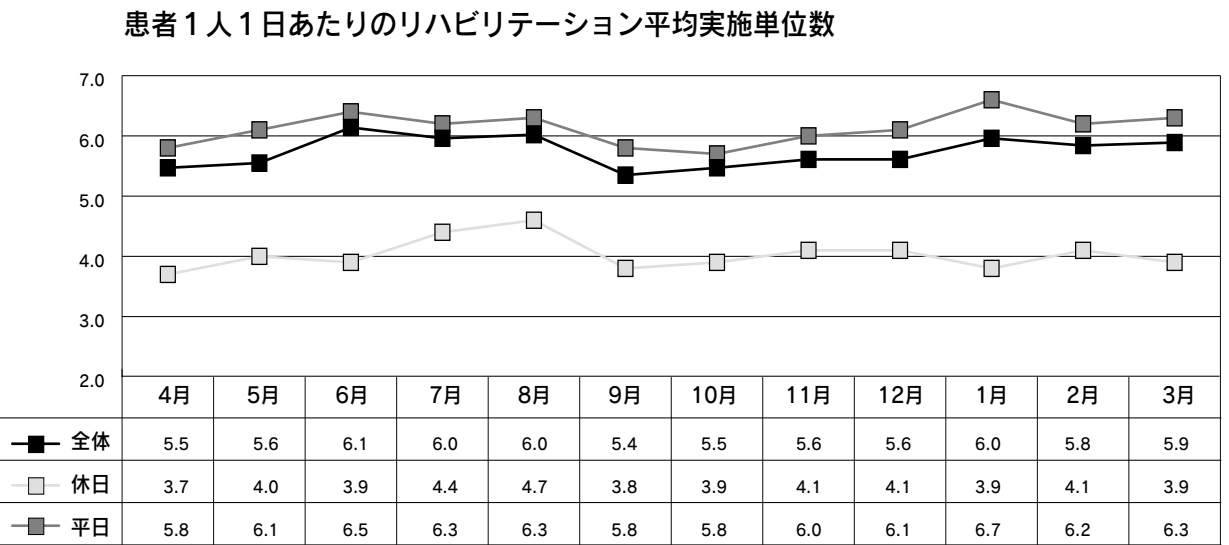
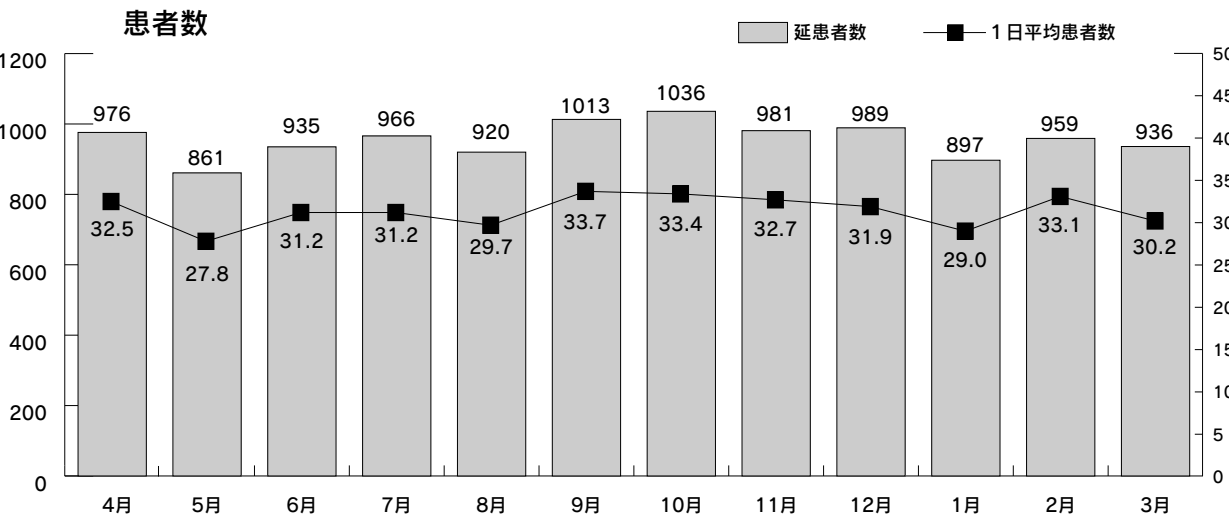
回復期リハビリテーション病棟（52床）は、平成25年6月から入院料3の施設基準で運営を開始し、入院料2の施設基準の取得を目指し、リハビリテーションの実績や質の評価・収支状況など、病棟の効果的な運営を進めるための関係科（課）による運営協議を重ねてきました。そして、平成26年9月に入院料2の施設基準を取得することができました。

湖北保健医療圏で唯一の回復期リハビリテーション病床として、急性期から回復期そして維持期（在宅療養）への切れ目のない医療の提供に努めています。

平成27年度は、一日平均入院患者数33.4人での運営となりました。

また、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟への理解を深め、適切な運営ができるよう情報交換の場を定期的に設けました。

平成27年度運営状況



5. 放射線技術科機器更新について

病院の理念である「人中心の医療」、「地域完結型医療」を継続していく上で、病院全体の機能を再構築し、今後も湖北の基幹病院としてあり続けるために平成27年10月に診療支援棟が開院し、基本コンセプトの一つである「脳や心臓の血管障害に対する迅速かつ高度な医療の提供」という点から放射線機器の充実が行われ1階救急初療室のすぐ隣に一般撮影室及びCT撮影室、同じフロアにMRI撮影室を設けることにより救急患者さんの検査が集約されることとなりました。

一般撮影装置は「SHIMADZU RAD speed」

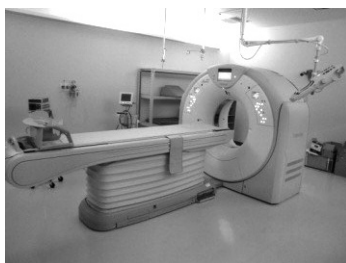
DRシステムは「FUJIFILM CALNEO Smart」を導入いたしました。

CT装置は、可変ピッチ対応のバリアブルピッチヘリカルスキャン、金属アーチファクト低減再構成処理 (SEMAR)、逐次近似法 (AIDR3D)、心電図同期フラッシュヘリカル等の機能が搭載されており、チルトヘリカルスキャンが可能な「TOSHIBA Aquilion PRIME80列」を導入いたしました。

MRI装置については、DIR・ASL・SWI・MV・DIXONなどの新しいシーケンスが搭載され、ホールボディーの撮像も可能になり、従来の装置よりSNRが向上し、ワイドボア、ワイドFOVの「PHILIPS Ingenia 1.5T」を導入し、部屋の照明も明るく、患者さんに優しい検査室となっております。



SHIMADZU RAD speed



TOSHIBA Aquilion PRIME80列



PHILIPS Ingenia 1.5T

診療支援棟3階には、58インチ大型モニターを搭載した「PHILIPS AlluraClarity FD10/10、20/15」のバイプレーン血管撮影装置を2台導入し、それぞれ心臓カテーテル検査、頭部血管撮影の専用機として検査及び血管内治療を行っております。

心臓カテーテル検査の装置には、インターベンションに有用なステントブースト機能や、一度の造影で多方向から撮影できるXperスイング等の機能が搭載され、頭部血管撮影用にはXperCT・3DRAの機能や、2Dパフュージョン、3D・骨付きロードマップ等充実したワークステーションとなっています。

血管撮影室についてもOPE室、ICUと隣接しており血管障害に対する早急な治療が可能となりました。



PHILIPS AlluraClarity FD10/10



PHILIPS AlluraClarity FD20/15



富士フィルム社製
AMULET Innovality

また、本館放射線技術科設置してありますマンモグラフィ撮影装置についても、平成28年3月に更新を行い富士フィルム社製「AMULET Innovality」を導入いたしました。2D撮影だけでなくトモシンセンス撮影が可能となり、乳線構造の重なりから発見が困難であった病変の観察がしやすくなりました。また、トモシンセンスでのバイオプシー検査を行っており、以前のステレオ撮影のみでの検査に比べ、ターゲティングが容易で正確性および信頼性が高くなりました。

今後もチーム医療に貢献できるよう、新しい治療・技術の研鑽を日々積み重ね、病院理念に基づき湖北地域の基幹病院として安全・安心で精度の高い放射線技術科を目指します。

6. 診療支援棟建設



診療支援棟は、当院が今後も湖北の基幹病院として在り続けるべく、病院全体の機能を再構築し、基本コンセプトを実現するために建設するものです。平成23年度には院内プロジェクトチームを立ち上げ基本構想に着手。基本設計・実施設計を経て、平成26年度に着工し、平成27年10月に竣工いたしました。

☐基本コンセプト

- 病院全体の機能を再構築し、病院が持つ強みを活かす
- 脳や心臓の血管障害に対する迅速かつ高度な医療の提供
- 本館で分散している各種検査機能の集約や集中治療の改善
- がん診療連携拠点病院としての診療機能強化
- 高度医療を提供できる医師の確保
- 女性医師をはじめとする医療スタッフのアメニティ充実等

- | | |
|-------------------------------|---|
| ☐ 工事名称 | 市立長浜病院診療支援棟整備工事 |
| ☐ 建築場所 | 長浜市大戌亥町313 |
| ☐ 構造規模 | 階数 地上4階、塔屋1階 |
| ☐ 構造種別 | 地上部 鉄骨造 基礎部 鉄筋コンクリート造 |
| ☐ 各階機能 | 4階 ファシリティマネジメントスペース
3階 ICU、手術室（増床）、血管造影装置
2階 医局、女性医師専用ラウンジ、宿直室
1階 救急センター、MR、CT、中央監視室 |
| ☐ 延床面積 | 5,333.57m ² |

※ファシリティマネジメントスペース

今後想定される既存建物の改修に必要な機能を一時的に、または恒常的に移転させるスペース。

Ⅳ－２ 各科の活動状況



総合診療科

勤務医師

大野 暢宏	部 長	平成18年2月～	日本外科学会認定医、日本呼吸器外科学会評議員 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 I C D制度協議会認定医、日本医師会認定産業医
上津 昌広	部 長	平成18年7月～	日本医師会認定産業医



内科／血液化学療法

勤務医師

亀崎 洋	副院長兼診療局長	平成16年8月～	日本血液学会指導医・専門医 日本内科学会認定内科医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本リウマチ学会リウマチ専門医
------	----------	----------	--

カンファレンス等

・カンファレンス 毎週1回



内科／腎臓代謝内科

勤務医師

森田 善方	平成26年4月～	日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医 日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会専門医 日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医
潮 正輝 部長	平成24年6月～	日本内科学会認定内科医
田中 裕紀	平成28年4月～	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会専門医、日本透析医学会透析専門医
上田 久巳	平成25年4月～	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会専門医、日本循環器学会循環器専門医 日本透析医学会透析専門医
藤野 佳彦	平成28年7月～	日本内科学会認定内科医
西村 正孝 非常勤		日本内科学会総合内科専門医 日本透析医学会透析専門医 日本腎臓学会専門医 日本糖尿病学会専門医・近畿支部評議員 日本高血圧学会指導医
清水 真也 非常勤		日本医師会認定産業医

業務実績

外来診療：糖尿病を中心とした代謝内分泌疾患、腎疾患（急性・慢性腎不全や腎炎など）の患者の外来診療を行っており、平均80～100人の方の診察を行っております。CKD地域連携パスを使用してかかりつけ医との連携を進めております。

入院診療：外来と同じく糖尿病、腎疾患の急性期・慢性期の診療を行っております。また、救急から入院となった一般内科的疾患（肺炎、腎盂腎炎など）に対して平均20～30人の入院患者について診療をしております。約100人もの血液透析患者の外来・入院診療も当科で行っております。9月から慢性腎不全1週間教育入院を開始しました。11月から腹膜透析を導入しました。

評価

湖北地域唯一の腎臓学会認定施設として地域の腎疾患診療に貢献しております。腎炎に対する経皮的腎生検、またごく初期から透析導入に至るまでCKD診療を進めております。健診で発見された初期の糖尿病から、インスリンの自己注射が必要な重症例、妊娠糖尿病まで幅広く担当しています。最新の薬剤であるインクレチン製剤（DPP4阻害薬・GLP-1作動薬）にも精通し、実際の臨床にも効果的に使用しております。



神経内科

勤務医師

小川 雅文 平成25年4月1日～ 日本内科学会認定医 日本神経学会神経内科専門医
 達本 徹 平成27年4月1日～

非常勤 (外来のみ担当)

榊田 宏彰 玉木 良高 澤村 正典 音成 秀一郎 谷岡 光介

今年度のトピックス

平成25年4月1日から常勤医2名となった。それに伴い平日すべての曜日に外来を担当するようになった。

業務実績

入院患者数 延べ159例
 神経内科外来 月曜から金曜まで毎日
 SCU 日当直、日勤帯救急当番なども担当した。

評価

常勤2名になり患者数なども増加した。



消化器内科

勤務医師

野田 恵加	平成18年4月～	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合診療専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
中村 文保	平成27年5月～	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
村上 善基	非常勤	

カンファレンス等

・ キャンサーボード 毎週月曜日
 ・ 症例検討会 毎週金曜日



呼吸器内科

勤務医師

野口 哲男 部長	平成9年4月～	日本呼吸器学会代議員・指導医・専門医 日本内科学会指導医・総合内科専門医 日本人間ドック学会指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
高木 順平	平成22年4月～	日本内科学会認定医
中川 雅登	平成25年4月～	日本内科学会認定医
上林 憲司	平成27年4月～	

今年度のトピックス

呼吸器内科は3人体制だったが、臨床研修医の上林先生が3年目から呼吸器内科で引き続き研修することとなり4人体制となっている。

呼吸器外科と連携し、湖北地域唯一の呼吸器センターとして活動している。

おもな疾患に対する治療方針は以下のとおり。

1. 肺がん：初診から、化学療法、放射線療法、手術、緩和ケアまで、各領域の専門家と密接に連携しながら全人的医療をこころがけている。
2. COPD：呼吸器内科の重点疾患としている。吸入指導については、薬剤師会とも連携し、多職種による指導をこころがけている。ガイドラインを参考にしながら、全身併存症の発見にも留意している。
3. 気管支喘息：COPDと同様に薬剤師と連携した吸入指導をこころがけている。アドヒアランスの向上により普通の生活を過ごせることが目標である。
4. 間質性肺炎：特発性肺線維症（IPF）は予後不良の難病であり、ステロイドや免疫抑制剤の投与の可否、終末期医療など、多職種連携で治療にあたっている。
5. 肺炎：特に高齢者の誤嚥性肺炎はとみに増加している。入院直後から、リハビリ、嚥下機能チェックの計画をたて、できる限り短期間の入院として寝たきりをつくらないように努力している。退院には医療社会相談室と密接に連携し、カンファレンスを行っている。

カンファレンス

呼吸器外科、放射線科、病理部合同で毎週水曜日入院患者カンファレンス施行。



循環器内科

勤務医師

高島 弘行 部長	平成22年4月～	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会代議員・ 認定医・指導医 日本内科学会指導医
國友 健生	平成25年4月～	
山科 聡	平成21年4月～	日本内科学会認定内科医
児玉 浩志	平成24年11月～	日本内科学会認定内科医
肥後 洋祐		日本内科学会認定内科医
濱谷 朋和 非常勤		
野里 佳孝 非常勤		

カンファレンス等

症例検討会及びカンファレンス 毎週火・金曜日



老年・高血圧内科

勤務医師

林 優 部長 平成13年4月～平成28年3月

日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医
日本老年医学会老年病専門医・指導医
日本高血圧学会指導医
日本脈管学会認定脈管専門医
日本医師会認定産業医

今年度のトピックス

老年・高血圧内科では、主に、加齢にともなって生じてくる循環・心血管系内科疾患および年齢を問わず、高血圧性疾患や動脈硬化性疾患の引き金となる脂質異常症の診断と治療を行っています。

- ① 老年科分野については、老年者の全人的医療を目指して、加齢により引き起こされてくる内科系の診療を行っており、特に老年病（動脈硬化性疾患、心不全、衰弱症）、動脈硬化性関連疾患およびそれら疾患に関する臨床研究にも取り組んでおります。
- ② 高血圧性疾患（本態性高血圧、二次性高血圧）については、加齢に伴う動脈硬化を基盤にした本態性高血圧、塩分過多やストレス・肥満・生活習慣の乱れに伴う高血圧、二次性高血圧と呼ばれる難治性高血圧などの診断と治療に当たり、早期に介入することで、動脈硬化性疾患への進展を未然に予防することを目指しています。また、高血圧・動脈硬化性疾患に対する臨床研究にも積極的に取り組んでいます。

老年病に関しては、昔から、高齢者は65歳以上とされることが多く、65～74歳の老年前期、75～89歳の老年後期、90歳以上の超高齢者に区分されています。日常臨床の経験では、75歳以上の、いわゆる後期高齢者が、若年成人と異なった特徴を示すことが多いと思われます。

そのような理由で、老年病科の対象をあえて年齢で区切ると、75歳以上の方々が、主な対象です。しかし、老化は、突然始まるわけでもなく、個人差もあります。また、予防医学（老化に伴う様々な疾患の予防）、動脈硬化性疾患のリスク管理（高血圧、高コレステロール血症）も当科の重要なテーマですから、65歳未満の患者様がたくさん当科に通院しておられます。

本来、老年病科の対象疾患は非常に多岐にわたり、対象疾患としては、認知症、高齢者の動脈硬化性疾患全般、高齢者の呼吸器疾患（嚥下性肺炎、COPD、間質性肺炎、肺癌など）、骨粗鬆症、圧迫骨折、睡眠時無呼吸症候群などがありますが、現在は、当院には、循環器専門医を基礎とした老年病専門医の一人体制のため、現在のところ、外来診療では、動脈硬化性疾患を基礎とした老年病と、高血圧関連疾患の診断と治療を行っています。



緩和ケア外来ところ

勤務医師

森田 幸代 非常勤 平成21年4月～ 滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター
日本臨床精神神経薬理学会指導医・専門医
日本精神神経学会専門医・指導医
精神保健指定医、日本医師会認定産業医

診療：毎週火曜日（午後）

カンファレンス等

緩和ケアチーム回診 毎週火曜午後（診療終了後）



小 児 科

勤務医師

多賀 俊明	院長	昭和63年4月～ 平成28年3月	日本小児科学会専門医・指導医 日本人類遺伝学会専門医・指導医 日本小児神経学会専門医 日本小児心身症学会認定医 「子どもの心」相談医
橋本 和幸		平成17年10月～	日本小児科学会専門医 日本小児神経学会専門医 日本体育協会公認スポーツドクター
山根 達也		平成23年6月～ 平成27年7月	日本小児科学会
大塚 博樹		平成25年8月～ 平成27年6月	日本小児科学会
福富 久		平成26年7月～ 平成28年3月	日本小児科学会
村本 健翔		平成27年4月～	日本小児科学会

今年度のトピックス

山根医師と大塚医師が退職となり、村本医師が平成27年4月より着任となった。

業務実績

外来診療：一般外来とともに、慢性疾患、予防接種、新生児・発達、循環器、夜尿症、心身症の各専門外来を行っています。湖北地区の輪番病院として、小児救急医療にも貢献しています。

入院診療：感染症症例が中心ですが、新生児医療や、各種精査入院も積極的に受け入れています。

カンファレンス等

カンファレンス	毎朝
抄読会	毎週火曜日
部長回診	毎日午後



外科

勤務医師

野田 秀樹 事業管理者

平成7年4月～

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD制度協議会認定ICD、日本医師会認定産業医

神田 雄史 副院長兼診療局長

平成7年6月～

日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、厚生労働省死体解剖資格認定医

東出 俊一 責任部長 平成8年4月～

日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィ読影医師、日本消化器外科学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本体育協会公認スポーツドクター

三瀬 昌宏 部長 平成9年4月～
平成27年12月

日本乳癌学会専門医・認定医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィ読影医師、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設指導医

矢田 善弘 部長 平成22年4月～
平成28年7月

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

花木 宏治 部長 平成12年4月～

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ICD制度協議会認定ICD

矢田 善弘 非常勤 平成28年8月～

米永 吉邦 部長 平成25年4月～平成28年3月

森本 智紀 平成25年4月～平成28年3月

仁尾万里華 平成27年4月～平成28年10月

今年度のトピックス

消化器の腹腔鏡下手術が大きく増えました。肝胆膵外科のスタッフが充実しました。

業務実績：今年度の手術室での主要な手術の件数

乳癌の手術	55件（乳房温存術	43件）
食道癌の手術	1件	
胃癌の手術	32件（腹腔鏡下手術	5件）
大腸癌の手術	46件（腹腔鏡下手術	8件）
肝癌の手術	6件	
胆道癌の手術	5件	
膵癌の手術	4件	
胆石症の手術	55件（腹腔鏡下手術	47件）
急性虫垂炎の手術	29件（腹腔鏡下手術	2件）
ヘルニアの手術	95件	
痔の手術	25件	

評価

手術室での総手術件数は減少傾向ですが、5大癌の件数はほぼ横ばいです。

カンファレンス等

外科・消化器内科・放射線科合同カンファレンス：毎週月曜日に消化器内科の症例の診断・手術適応の検討、外科手術症例の報告・協議を行っています。

カルテ廻診：毎週金曜日に外科の全入院患者の検査・診断・治療・手術の方針・結果について協議を行っています。

外科勉強会：不定期で金曜日に薬剤・医療機器などに関連した説明会・研修会を行っています。



呼吸器外科

勤務医師

田久保康隆	部長	平成23年4月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本胸部外科認定医、日本外科学会専門医
喜多村次郎	部長	平成25年4月～ 平成27年8月	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本外科学会専門医、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
阪本 仁	部長	平成27年9月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本外科学会専門医、気管支鏡専門医、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
武智 浩子		平成26年4月～	

今年度のトピックス

当院呼吸器外科スタッフの変動としては、平成27年8月、喜多村次郎部長が転出し、平成27年9月、阪本仁部長が転入した。

業務実績

平成26年1月から12月までの1年間で年間全身麻酔下手術件数は119例であり、そのうち原発性肺がんが55例でかなり減少した。

評価

引き続き湖北での呼吸器診療の中心機関としての任務を果たしていきたいと考えている。



整形外科

勤務医師

廣瀬 伸次	責任部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、日本リウマチ学会専門医
杉本 正幸	診療局理事	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、脊椎脊髄病医、 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、 日本がん治療認定医機構暫定教育医、 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、義肢装具適合判定医、 中部日本整形災害外科評議員
江藤 謹司	部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医
村田 巨樹	部長	
櫻木 淳史	部長	日本整形外科学会専門医
田中 淳		日本整形外科学会専門医
古屋 佑樹		
琴浦 良彦	非常勤	日本整形外科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
後藤 公志	非常勤	日本整形外科学会専門医、運動器リハビリテーション医
青山 直樹	非常勤	日本整形外科学会専門医
堤 聖吾	非常勤	日本整形外科学会専門医
日根野 翔		
石江慎一郎		
南 良輔		

今年度のトピックス

人工関節センターを平成23年からスタートさせて以降、人工関節手術が増加しており、人工股関節置換術と人工膝関節置換術を併せた手術件数は年間300例程度となっています。骨粗鬆症治療にも力を入れています。

業務実績

整形外科年間手術件数 1,104例
(人工股関節 105例、人工膝関節 164例、脊椎 153例)
1日平均入院患者数 67人
1日平均外来患者数 149人

カンファレンス等

ミニカンファレンス	月曜日 朝
手術カンファレンス	火曜日 夕
抄読会	木曜日 朝
部長総回診	木曜日 午前
手術	毎日



形成外科

勤務医師

藤林 久輝 部長 平成18年9月～ 日本形成外科学会専門医

今年度のトピックス

診療体制に変更はありません。

カンファレンス等

中央手術室での手術 麻酔科依頼枠 第2・4火曜日

外来および入院手術 火曜日および水曜日午後

褥瘡回診 第2・4水曜日15時～

京都大学鈴木教授外来 年2回

業績その他

学会発表

なし

手術件数その他

形成外科新患数（名）	773	形成外科入院 / 外来手術（件）	37 / 306
I. 外傷	161	III. 腫瘍	139
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷で全身管理を要する非手術例		良性腫瘍（レーザー治療を除く）	105
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷の手術例	1	悪性腫瘍	12
顔面軟部組織損傷	27	腫瘍の続発症	0
顔面骨折	2	腫瘍切除後の組織欠損（一次再建）	5
頭部・頸部・体幹の外傷	0	腫瘍切除後の組織欠損（二次再建）	0
上肢の外傷	108	IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	3
下肢の外傷	23	V. 難治性潰瘍	9
外傷後の組織欠損（2次再建）	0	褥瘡	2
II. 先天異常	8	その他の潰瘍	7
唇裂・口蓋裂	4	VI. 炎症・変性疾患	23
頭蓋・顎・顔面の先天異常	1	VII. 美容（手術）	0
頸部の先天異常	0	VIII. その他	0
四肢の先天異常	1	Extra. レーザー治療	0
体幹（その他）の先天異常	2	良性腫瘍でのレーザー治療例	0
		美容処置でのレーザー治療例	0
		合 計	343



脳神経外科

勤務医師

小林 映	副院長	平成6年4月～	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医・評議員
小室 太郎	部長	平成23年4月～	日本脳神経外科学会指導医 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 京都大学医学部附属病院脳神経外科非常勤講師
佐藤 岳史	部長	平成24年8月～	日本脳神経外科学会指導医 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本定位機能神経外科学会技術認定医
高田 芽			京都大学大学院医学研究科
岸田 夏枝		平成27年10月～平成28年3月	
林 晃佑		平成27年4月～平成27年8月	

業務実績

1) 扱っている疾患・治療

頭蓋内腫瘍、眼窩内腫瘍：障害が出かねない神経機能をモニタリングしながらの開頭による摘出術・生検術（頭蓋底腫瘍を含む）、定位的生検術、放射線治療（定位放射線治療を含む）、腫瘍血管塞栓術、頭頸部悪性腫瘍の抗がん剤局所動注、脳腫瘍に対するテモゾロマイド・アヴァスチン・ギリアデル療法

脳下垂体腫瘍：内視鏡・顕微鏡併用による腫瘍摘出術

脳動脈瘤：開頭によるクリッピング術、血管内治療によるコイル塞栓術

頸動脈狭窄症、鎖骨下動脈狭窄症：頸動脈内膜剥離術、経皮的血管形成術・ステント留置術

脳動脈狭窄症・閉塞症：バイパス術・脳動脈形成術（血管内治療）

痙攣：ボトックス局所注入療法・バクロフェン髄注療法

超急性期脳梗塞：t-PA静注療法、血栓回収療法（血管内治療）

頭部外傷：外科治療一般

三叉神経痛、顔面けいれん：微小血管神経減圧術（開頭による）、顔面けいれんにたいするボトックス局所注入療法

頸椎の椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症、脊髄腫瘍：脊椎・脊髄手術一般

キアリ奇形：後頭骨（頭蓋頸椎移行部）減圧術

本態性振戦、パーキンソン病：脳深部刺激療法

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	6年間合計
頭蓋内腫瘍の治療							
腫瘍摘出・生検術	20	17	16	24	12	3	102
経蝶形骨洞手術(主に脳下垂体腫瘍)	2	3	6	4	1	0	16
腫瘍血管塞栓術／頭蓋内動脈選択的薬剤注入術	0	1	6	6	5	2	20
定位的放射線治療	13	11	12	4	12	5	57
脳動脈瘤の治療							
開頭術（クリッピング術）	15	7	10	8	15	6	61
脳血管内治療（コイル塞栓術）	7	7	6	3	15	16	54
脳内出血の手術	2	10	6	10	4	4	36
血管形成術							
頸動脈内膜剥離術	1	1	4	0	1	2	9
頭蓋内外バイパス術	1	2	1	0	1	0	5
頸動脈ステント留置術、血管拡張術	12	14	9	3	8	5	51
神経内視鏡治療	3	3	3	6	4	1	20
脊椎手術・脊髄腫瘍摘出術	10	2	6	2	2	1	23
シャント術	16	12	5	6	8	9	56
慢性硬膜下血腫	44	33	44	40	28	43	232
脳血管内治療 ※	—	—	—	12	31	34	67
入院件数	385	415	491	551	552	518	2902

2) 手術件数・入院件数

※脳血管内治療は3年間の合計

3) 充実した診療体制

脳卒中集中治療病床（SCU）を有し、当院神経内科と共に、京都大学脳神経外科・国立循環器病研究センター脳血管外科の協力を得て、365日24時間、脳卒中診療の経験を積んだ医師を常駐させております。本年はブレインナーシング編集部・北原国際病院より取材・見学がありました。



心臓血管外科

勤務医師

曾我 欣治	責任部長	平成24年6月～	京都大学大学院医学博士 日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会指導医・認定医 日本外科学会指導医・外科専門医・認定医 日本血管外科学会近畿地方会世話人
洞井 和彦	部長	平成19年5月～	京都大学大学院医学博士 日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会認定医 日本外科学会指導医・外科専門医・認定医
鄒 貴光		平成25年6月～	
吉良 浩勝		平成27年1月～	外科専門医

今年度のトピックス

放射線科（診断部）との協同にてステントグラフト手術件数が昨年3倍に増加しました。
 外来心臓リハビリテーション開設に向け先進視察を行い、準備を進めました。
 総手術件数が一昨年度より300件を超え本年度も維持できました。

- 取り組み方針
1. 患者第一、誠心誠意
 2. 地域に信頼される病院づくり
 3. 地域完結型の医療体系構築

業務実績

総手術件数	319例	
心臓・胸部大動脈手術	85例	（うちステントグラフト手術 12例）
腹部大動脈手術	39例	（うちステントグラフト手術 23例）
末梢血管手術	186例	

評価

地域に真っ先に選択していただける病院とならねばなりません。
 チームとして医療サービスの質の向上に努める必要があります。

カンファレンス等

毎朝	08:00～	全入院患者カンファレンス
火曜	15:30～	総回診
水曜	09:00～	英語論文抄読会（不定期）
金曜	16:00～	術前カンファレンス



皮膚科

勤務医師

井階 幸一 責任部長	平成26年4月～	日本皮膚科学会皮膚科専門医 日本病態栄養学会認定NSTコーディネーター
塩山 久美 嘱託医	平成26年5月～平成28年3月	
澤井 孝之 非常勤	平成26年4月～	
岡村 玲子 非常勤	平成26年5月～平成27年2月 平成27年5月～平成28年3月	

今年度のトピックス

皮膚科の常勤医が不在で各方面には多大なご不便をおかけしておりましたが、平成26年4月より、井階幸一が責任部長として着任いたしました。その他、塩山久美医師、澤井孝之医師、岡村玲子医師が非常勤医師として、皮膚科診療に携わっています。

業務実績

皮膚科では、外来診療を中心とし、「日本皮膚科学会の診療ガイドライン」に準拠した皮膚疾患の標準的な診断、治療を行っています。

評価

とくに力を入れたいと考えているのが、褥瘡、老人性湿疹、足病変、などの高齢者の皮膚トラブルです。湖北地域では、日本の将来を先取りする超高齢化社会が到達しつつあります。高齢者の増加に伴い、褥瘡や陰部の皮膚トラブル、足の病変の患者さんが急増しています。院内では褥瘡対策委員会などで適切に処理されていますが、さらに、形成外科、「皮膚・排泄ケア認定看護師（いわゆるWOCナース）」と共同して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアに対応していきたいと思っています。現在のところ、一人部長なので、皮膚科で入院患者をとる事は困難ですが、内科などの科で入院されたときには、主治医と協力して皮膚疾患、皮膚トラブルの処理に当たりたいと考えています。今後、地域の医療機関、スタッフの方々と協力して、高齢者のスキンケア、皮膚のトラブルの処理に当たりたいと思っています。

カンファレンス等

毎月、第4木曜午後5時より、長浜赤十字病院皮膚科と臨床カンファレンスを行っています。



泌尿器科

勤務医師

村中 幸二	副院長	平成8年3月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医 日本臨床検査管理医
塚 晴俊	部長	平成14年10月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医 がん治療認定医、ICD制度協議会認定ICD 日本医師会認定産業医、日本性感染症学会認定医
塩山 力也	部長	平成26年4月 ～平成27年9月	日本泌尿器科学会専門医、指導医
横川 竜生		平成27年4月～	日本泌尿器科学会専門医 がん治療認定医、日本性感染症学会認定医
塩山 力也	非常勤	平成27年10月 ～平成28年3月	日本泌尿器科学会専門医、指導医

今年度のトピックス

泌尿器科医が副院長も含め、一時期、3名から4名になりました。ここの医師の業務負担は一時軽減しましたが、途中より、1名が非常勤（毎週金曜日のみ）になり、結果的に平成26年度と比べ、非常勤医の枠も週あたり2名から1名の減であり、以前よりも負担増となりました。平成28年度より常勤医が1名増員予定であり、期待をしています。

例年のごとく、腎・尿管結石に関しては、引き続き細経軟性尿管鏡とHolumium:YAG laserを用いて、f TULを積極的に取り入れています。今後も腎・尿管結石に対して積極的に対応していこうと思います。特に大きい腎結石などの症例があれば経皮的に腎切石術（PNL）を行っていきたいと考えています。湖北地域では結石治療に関してセンター的な働きをしていくつもりですしかし、PNLをおこなう手術機材は当院に無く、手術件数としては伸び悩んでいます。腹腔鏡手術も徐々に導入しています。大学からも技術認定医に来ていただき、必要症例には対応しています。しかし、症例数が少なく、今後、どのように手術数を確保していくかが、課題です。

業務実績

外来患者数は平成27年度で、平成26年度と比べて大きな変化はないと考えます。

手術件数は261例でした。主な内訳は、経尿道的膀胱腫瘍切除39例、経尿道的前立腺切除術17例、開腹腎摘除術5例、腎部分切除1例、前立腺全摘除術8例、膀胱全摘除術2例、腹腔鏡を用いた手術は4例でした。結石の治療はESWL(新患)48例、PNL1例、経尿道的尿路結石碎石術17例、f TUL32例でした。

評価

外来診療：外来患者数の変化はないようです。待ち時間も長く、新患も朝から来られても昼過ぎの診療となっています。症状の安定している患者をかかりつけ医へお願いしていく必要があると考えます。1名退職後は、その説明をする時間すらなく困っています。

手術：今後も体腔鏡下手術を増やして行こうと考えています。可能な症例は積極的に行っていこうと考えています。また、当院は様々な結石に対応できるため、尿路結石の治療を積極的に取り入れていきたいと考えています。今後そのために、PNLをしていくために、手術機材の購入を推進したいと思います。

学会・研究活動：発表は少なく、来年度は積極的に発表・論文作成を行なっていきたいと思っています。



産婦人科

勤務医師

林 嘉彦	診療局理事兼責任部長	平成19年2月～	滋賀医科大学臨床教授 日本産科婦人科学会指導医 日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医
中多 真理	部長	平成19年8月～	日本産科婦人科学会専門医 日本癌治療認定医機構癌治療認定医
高橋 顕雅	部長	平成28年4月～	日本産科婦人科学会指導医 日本産科婦人科学会専門医 日本癌治療認定医機構癌治療認定医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 臨床遺伝専門医
樋口 明日香		平成24年3月～	日本産科婦人科学会専門医
北澤 純		平成26年3月～	日本産科婦人科学会専門医
野田 洋一	顧問	平成19年3月～	滋賀医科大学名誉教授 日本産科婦人科学会専門医 日本産婦人科学会名誉会員

今年度のトピックス

湖北地域にありながら大学病院と同等の医療ができることを目指しています。滋賀医科大学産婦人科教室から手術応援、外来応援を頂き困難な症例にも対応できるようにしています。湖北地域の方々への安全な産婦人科医療の提供のため引き続き努力します。湖北の人々に対する本院産婦人科の努力に対し、平成27年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰が授与されました。

業務実績

症 例	件 数	症 例	件 数
総分娩数	302	子宮頸癌	3
帝王切開術	110	子宮体癌	11
腔式子宮摘出術	13	卵巣癌	3
腹式子宮全摘術	44	良性卵巣腫瘍手術	43
性器脱手術	9	放射線治療（患者数）	7
子宮頸部円錐切除術	38	抗癌剤化学療法（患者数）	19
子宮外妊娠手術	5	腹腔鏡手術	33

評 価

湖北地域での医療の充実のため、大学病院と同等の医療ができることを目指しています。今後とも大学と連携を取りながら安全で良質な医療の提供のため努力を続けます。

カンファレンス等

カンファレンス、手術症例検討会	毎週水曜日
病棟回診	毎日



眼 科

勤務医師

清水 久雄	責任部長	平成27年5月～	日本眼科学会専門医
西村 宗作		平成23年4月～	日本眼科学会専門医
中西 正典		平成23年4月～平成27年4月	日本眼科学会専門医
梅基 光良	非常勤	平成23年10月～平成27年9月	

今年度のトピックス

責任部長であった中西正典医師が平成27年4月末に退職し、同年5月より清水久雄が責任部長として着任いたしました。

常勤医師は2名のままです。

非常勤医師として木曜日の外来、手術業務を行っていた梅基光良医師が平成27年9月末に退職されました。

業務実績

総手術件数	869件
主な手術件数	
白内障手術	423件（単独および他の手術との併用含む）
緑内障手術	19件（白内障手術併用含む）
硝子体手術	81件（白内障手術併用含む）
経強膜網膜復位術	6件
その他	23件
硝子体内薬物注射	377件

評 価

湖北地域の中核病院としての機能は維持できていると考えており、今後は難治性白内障、網膜硝子体疾患、緑内障治療に力を注ぎたいと思います。

カンファレンス等

術前・術後カンファレンス	毎週月・水曜日
斜視・弱視カンファレンス	毎週金曜日



耳鼻咽喉科

勤務医師

糟谷 憲邦 責任部長 平成20年10月～ 日本耳鼻咽喉科学会専門医
大江祐一郎 平成26年10月～
角谷 寛 非常勤

今年度のトピックス

甲状腺癌に対する化学療法としての新薬が発売されたため、進行癌に対しての治療指針が大きく変更し、また進行癌への治療方法や選択が広がりました。現在有効性につき検討しながら使用しています。

業務実績

鼓室形成術：10例
内視鏡下副鼻腔手術：33例
鼻中隔矯正術：18例
口蓋扁桃摘出術：26例
甲状腺腫瘍手術：14例
副甲状腺腫瘍手術：5例
耳下腺腫瘍手術：6例
頸部郭清術：4例
気管切開術：5例
頸部リンパ節生検術：11例

評価

1年間の手術件数は139例で昨年度より減少しました。
今後も入院・手術症例の増加に勤めていく必要があります。

カンファレンス等

症例検討会・カンファレンス： 毎週火曜日 第1, 3, 5金曜日
部長回診 毎週木曜日



麻酔科

勤務医師

柳田 豊伸	平成21年4月～	日本麻酔科学会麻酔科認定医 麻酔科標榜医
和田 佳子	平成27年8月～	日本麻酔科学会認定医 麻酔科標榜医

今年度のトピックス

多年に渡って務めた萬代良一前部長が3月を持って退職した。この結果常勤医師は柳田1人となり、一時は科の存続も危ぶまれた。しかし派遣先の滋賀医科大学麻酔科と病院との話し合いの中で、非常勤医の協力を仰ぎつつ何とか存続できた。8月からは和田も常勤に加わり、2人体制となった。

業務実績

手術室麻酔

麻酔科管理件数は1697件と、（麻酔科医減少の中で件数減少も懸念したが）前年（1610件）よりむしろ若干件数増加できた。しかし麻酔科医不足は依然としており、なお外科系各科に自科麻酔管理をお願いせざるを得ない状況は持続した。

麻酔科外来（麻酔前コンサルト）

水曜日午前に、北川滋賀医科大学麻酔科教授にお願いしている。

残念ながら学術活動にまでは手が廻らず、今年度の学会発表・論文はなかった。

評 価

滋賀医科大学麻酔科の全面的バックアップと非常勤医のご協力のおかげで、何とか科は存続できました。

カンファレンス等

平日毎日 午前8時30分から、麻酔前症例検討を行っている。



ICU・CCUセンター

勤務医師

神田 雄史 平成27年4月～平成28年3月

今年度のトピックス

平成27年10月に診療支援棟へICU・CCUは移動しました
RSTや理学療法士の協力により、早期からのリハビリが定着しています

業務実績

本年度の入室症例は417例（昨年度は405例）と増加しました。一般病棟からの転入は289例（昨年度は267例）、直接入院が128例（昨年度は138例）であり、前者が増加しています。平均在室日数は3.2日で昨年度より短縮となっています。科別内訳は心臓血管外科171例（41%）、脳神経外科72例（17.3%）、循環器内科61例（14.6%）、呼吸器外科34例（8.2%）が主だったところです。

入室患者の早期呼吸理学療法や心臓リハビリ療法に取り組んだり、また、後方ベッドの確保など一般病棟との連携に努めながらベッドコントロールをおこなっていますが、6床運用となりますと重症患者受け入れ困難状況（いわゆる救急ストップ）もかなりの頻度（計11回/年）で発生しました。

評価

今年度は平均4床～5床/日稼働しており、大きな変動は少なかったです。ただ、2～3床/日空床になる日もあるため、病院全体での重症患者受け入れルールを再考する余地はあると思われます。

カンファレンス等

平日毎朝 心臓血管外科症例カンファレンス
火曜日 心臓血管外科回診 RST回診
金曜日 心臓血管外科術前カンファレンス
適宜 主治医と看護師、必要に応じて他コメディカルとともにカンファレンス開催



放射線科（治療部門）

勤務医師

伏木 雅人 責任部長 平成13年～ 日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医
日本医学放射線学会指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本緩和医療学会暫定指導医

安永 敏美 特任部長 平成26年9月～

放射線治療部門

最新の高精度照射についてさらに検証と実践を進め、日常業務として定着させています。

滋賀県で湖南・大津地域を除くと唯一、常勤の治療専従医が2名勤務しており、IMRTを含む高精度治療が行える施設であることから、連携と集約化による地域の放射線治療の質を保つ責務を負っています。

一方で放射線治療、特に最新の高精度治療について、まだ十分理解いただけていない医療者の方々や一般の方々にも、十分にご理解の上、活用していただけるよう、患者会、市民公開講座、出前講座などでの啓蒙活動も行っています。また、昨年度より引き続き、中学生に向けたがん教育授業も行っています。

本年度の放射線治療につきまして、数は順調に増加しています。脳定位照射は5名に、体幹部定位照射は肺病変に17例、肝病変に1例を施行し、強度変調放射線治療（IMRT）は21名に実施しています。

平成27年度実績 原発部位別照射新患数（転移の治療も原発部位で分類）

原 発 部 位	脳	頭頸部	乳腺	肺 縦隔 胸膜	食道	胃 大腸 直腸	肝 胆膵	女性 生殖器	泌尿器	血液 骨髄	皮膚 骨軟部	原発 不明	良性	合計
照 射 件 数	5	16	54	130	14	7	12	10	40	16	2	5	2	313

脳定位照射数 8件 体幹部定位照射数 18件 画像誘導照射 2314件 IMRT 21件（前立腺 12件）

カンファレンス等

放射線治療科ミニミーティング 毎朝8:50
放射線治療科QA会議 毎火曜日 夕
放射線治療科画像カンファレンス 毎火曜日 夕
呼吸器科カンファレンス 毎水曜日
消化器癌カンサーボード 毎月曜日



放射線科（診断部門）

勤務医師

若宮 誠	責任部長	平成22年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本IVR学会IVR専門医 腹部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト実施医 検診マンモグラフィ読影認定医
宮川 善浩	部長	平成24年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
佐藤 滋高		平成25年4月～ 平成28年3月	日本医学放射線学会放射線科専門医 検診マンモグラフィ読影認定医

今年度のトピックス

平成27年1月より日本IVR学会専門医修練施設として認定されました。

業務実績

読影については至急読影の依頼に可能な限り対応しつつ、各科にできるだけ早く所見を返すようにしています。他院からの紹介患者についても至急読影を行っており、患者および開業医のニーズに対応しています。IVRについてはCVポート造設、肝細胞癌のTACEや非血管系のIVRのほか、緊急のIVRも行っています。心臓血管外科の大動脈ステントグラフト内挿術にも参加しています。

評価

CT2台、MRI2台で常勤医3人(診断専門医2人)はかなり少なく、非常勤の先生にも助けられながら朝から夕方まで間断なく業務をこなしています。画像診断管理加算2を維持しながら標準レベルもしくはそれ以上の診断レベルは保てていると思います。IVRについても増加傾向にあり、診療に貢献していると思われます。

カンファレンス等

消化器癌カンサーボード 毎週月曜日



病理診断科

勤務医師

黒澤 学	責任部長	平成25年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医
沢田 眞治	部長	平成10年4月～	日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 死体解剖資格認定医
伊東 良太	非常勤	平成23年4月～	日本病理学会認定病理専門医 死体解剖資格認定医

今年度のトピックス

平成26年度の後半より、カンサーボードや病院CPCの一部を病理診断室にて行い、診断内容の妥当性を積極的に検討しています。

業務実績

組織診断：約3500件/年、細胞診断：約6800件/年、病理解剖：14件/年

評価

当院の規模と比較しますと、提出された検体数は決して多くはありませんが、頻度の低い疾患をみることが比較的多く、日常診療を堅実に行うことが、診断精度の維持、向上につながっていると考えています。

カンファレンス等

カンサーボード 毎週月曜日
細胞診カンファレンス ほぼ毎日
病院CPC 5回/年



歯科・歯科口腔外科

勤務医師

家森 正志	平成26年4月～	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・日本小児口腔外科学会指導医・歯科医師臨床研修指導医
青井 陽子	平成28年4月～	歯科医師臨床研修指導医
北本 幸恵	平成27年8月～	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医・歯科医師臨床研修指導医
太田 舞	平成27年4月～	日本アンジェイジング歯科学会認定医
菅 雄祐	平成22年4月～平成27年7月	
藤田 将広	平成25年4月～平成27年3月	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医
飯塚 忠彦	非常勤 火曜日のみ	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・指導医

今年度のトピックス

平成27年度京都大学医学部附属病院より太田舞先生が着任。平成27年7月に菅雄祐先生が退職され、大阪のゆたか歯科クリニックへ。平成27年8月に高島市民病院より北本幸恵先生が着任。平成28年3月に藤田将広先生が尼崎市総合医療センターへ異動されました。

市立長浜病院に歯科が新設されたのは、昭和32年11月で平成29年11月に60周年を迎えます。歯科口腔外科は平成9年1月に新設され、こちらも平成29年1月に20周年となります。発足当初は、歯科医師1名体制でしたが、現在は歯科医師4名で診療を行っています。これまで多くの先生方やスタッフの皆さんに支えられ、湖北地域の歯科・歯科口腔外科医療の基幹病院の一つとして診療を行ってまいりました。これからも地域の患者さまや先生方のご期待に添えるようにスタッフ一同、精進してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業務実績

歯科口腔外科外来：初診(火曜日以外の平日) すべての歯科口腔外科疾患（顎口腔領域の炎症・腫瘍・外傷・粘膜疾患・顎関節疾患・顎変形症など）

口腔腫瘍専門外来：毎週火曜日

障害者歯科専門外来：毎月第1、3水曜日の14：30～16：30

嚥下機能の評価および訓練：初診(火曜日以外の平日)、VF、VE検査（毎週月曜日、水曜日）

閉塞性睡眠時無呼吸の口腔内装置の作製：初診(火曜日以外の平日)

周術期口腔機能管理（口腔ケアセンター）：初診（月曜日～金曜日）

歯科口腔外科に関連した主な施設基準

日本口腔外科学会認定准研修施設・日本小児口腔外科学会指導施設・がん診療連携拠点病院加算・歯科外来診療環境体制加算・歯科外来診療環境体制加算歯科診療特別対応連携加算・地域歯科診療支援病院入院加算・歯科治療総合医療管理料・歯科口腔リハビリテーション料2・上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療によるもの）・歯周組織再生誘導手術・歯科矯正診断料・歯科技工加算 など



臨床研修医

研修医名

三澤 晶子	平成27年4月～	岡山大学
清水 哲	平成26年9月～	滋賀医科大学
蓑田 紗希	平成26年4月～	名古屋大学
吉野 祐樹	平成26年4月～	京都府立大学

平成27年度 市立長浜病院 臨床研修医 診療科ローテーション表

1 年 目	氏 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	三澤 晶子	腎臓代謝		呼吸器		循環器		神経・脳神経		麻酔		産婦人科	小児科
2 年 目	氏 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	蓑田 紗希	地域 (布施C)	診断	滋賀医 (神内)	神経内科	腎臓代謝内科		脳神経外科		神経内科		消化器内 (日赤)	神経内科
	吉野 祐樹	診断	地域 (おくだ)	整形	耳鼻科	放射線科 (診断)	呼吸器内科	呼吸器外科	病理	泌尿器科	外科	放射線 (診断)	
編 入	氏 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	清水 哲	神経内科	脳神経外科	脳神経外科	放射線 (診断)	泌尿器科	小児科	麻酔科	小児科	放射線 (診断)			

当院の臨床研修について

1年目は基本研修科目として、内科（6か月）、救急（3か月）、選択必修（3か月）の研修を行います。2年目は、湖北医療圏域の診療所を中心に研修先を選択する地域医療（1か月）の他、残り11か月を選択期間にしており、研修医の自主性と志向に応じた自由度の高いプログラム設定をしています。

また、週1回程度の宿日直研修を通して、プライマリケアの習得に十分配慮しており、基礎的研修項目は、厚生労働省の指針に準拠して設定した行動目標および経験目標に沿って、一般臨床医としての基本を研修し、指導医から評価を受けることとなります。

平成27度のトピックス

今年度から、元佐賀大学名誉教授：小泉俊三医師を、毎月2回定期的に招聘し、「総合診療外来」を設置し、研修医にマンツーマン指導いただきました。

患者を全身的に診ることが出来る「総合診療」の必要性が高まる中、研修医自身が実践し、学ぶことが出来る場として継続発展することを期待しています。

○CPC（年5回実施）

○研修医症例報告会（H28年3月10日）

○院内外講師による「生涯教育研修会」・「救急ミニ講座」



人工透析室

勤務医師

森田 善方
潮 正輝
田中 裕紀
上田 久巳
藤野 佳彦

今年度のトピックス

平成26年11月から腹膜透析を開始し、これまでの血液透析に加えて治療法選択の幅が広がりました。

業務実績

外来透析部門では、糖尿病性腎症を中心とした新規HD導入患者が年々増加しており、現在約100名の患者が血液透析を受けています。また、それ以外にも腹水合併患者に対しての腹水濃縮再静注療法や白血球除去療法（LCAP）、骨髓幹細胞移植（血液内科主導）なども施行しております。

入院透析部門では24時間体制で腎不全患者に対する血液浄化療法への対応しておりますが、他にも多臓器不全、敗血症性ショックや術後腎不全などの重症患者に対して、CHDFやエンドトキシン吸着、血漿交換などの急性血液浄化療法をICUにて施行しております。

また一般外科、心臓外科、整形外科、眼科などでの手術目的で他院からの紹介患者も多く、常に受け入れが出来るような体制を整えております。

評価

新しい透析室に移転した直後ですが、可能な限り受け入れ体制を整え、地域医療に貢献する所存であります。また、透析患者全員に対して月2回の血液検査を施行し、その結果を参考に月1回カンファレンスを施行し、常に至適透析を考慮しつつ、それに基づいて患者教育を行っております。この患者教育が今後の安楽な透析生活につながると考えております。さらに、自己管理の重要性を理解してもらえよう、定期的に勉強会も行っております。これらの成果により、当院における透析患者の生命予後は全国平均よりも明らかに良く、当院透析室の医療レベルの高さを示していると考えております。



救急センター

東出 俊一 救急センター長

今年度のトピックス

①診療支援棟への移転

②ICLSコースの定期開催（年2回） 平成27年 6月6日 24名
平成27年12月5日 18名

研 修

救急ミニ講座の開催

	開催期日	テーマ	講師	参加者
1回	平成27年11月26日	BLS	院内インストラクター	30人

診療支援棟への移転

当院の救急センターは平成27年10月13日に完成した診療支援棟の1階へ移転しました。

新しい当院の救急センターの特徴は

1. 救急処置室と放射線科撮影室（レントゲン・CTスキャン・MRI）を隣接させ、迅速な診療が行えるようになりました。
2. 救急センターから専用のエレベータを利用し、心臓カテーテル検査室・脳アンギオ検査室・手術室・集中治療へ移動できるようになり、緊急度の高い救急患者さんへの迅速な治療や他部署との連携がとりやすくなりました。
3. エアシューターの導入した検体の搬送などにより、迅速な診療を行えるようになりました。
4. 救急処置室・経過観察室（点滴室）のベッドの増設を行いました。
5. 救急事務（受付）を隣接させ、事務処理（受付・基本カード等）を改善致しました。

業務実績

（単位：人）

	平成27年度	平成26年度	前年対比
救急受診患者総数	17,688	19,388	-1,700
救急車搬送数	2,641	2,675	-34
入院患者数	2,333	2,314	19
救急車入院数	1,009	910	99
病診患者数	729	697	32
一般紹介患者数	290	284	6
小児科救急患者数	3,230	3,600	-370



健診センター

野口 哲男 健診センター長兼呼吸器内科部長
日本人間ドック学会 人間ドック指導医・専門医

当健診センター運営に関しましては、日頃から各方面（内科、外科、呼吸器科、循環器内科、婦人科、泌尿器科、脳外科、眼科、看護科、検査科、放射線科、栄養、病棟他）より多大なるご協力をいただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年度のトピックス

消化器内科の体制縮小の影響で、健診センターの胃カメラができない状態が続いています。

業務実績

当センター利用者数は平成17年度2,987人、平成18年度3,157人、平成19年度3,341人、平成20年度は3,346人、平成21年度は3,250人、平成22年度は3,190人に対して、平成23年度は3,257人、平成24年度は2,990人、平成25年度は2,961人、平成26年度は2,881人に対して平成27年度は2,882人でした。胃カメラができないということで他の施設に流れる方がおられる状況です。

今後の展望

ますます信頼される人間ドックセンターを目指して職員一同がんばっていきます。



開放型病棟、開放型病床

多賀 俊明 開放型病棟・病床担当責任医長
林 優 老年・高血圧内科責任医長

今年度のトピックス

- ①7東病棟が地域包括ケア病棟に転換されたのを機に開放病床の見直しを行いました。開放病床50床は維持したまま、療養病棟や回復期リハビリテーション病棟にも開放病床を設け、4階東病棟以外のすべての病棟で開放型の入院を受けられるようにしました。
- ②平成24年4月からは開放入院の制度は残し、入院の決定は登録医の先生から病院医師が行うことに変更しました。
- ③登録医の先生が地域連携室に来ていただいた時に、電子カルテで患者情報を閲覧していただき、地域医療連携室の担当者が開放入院の患者さんのいらっしゃる病棟までご案内するようにしました。

業務実績

平成27年度の入院のべ患者数は1,957人と平成26年度に比して減少しましたが最大利用時（平成8年の約14,970人）の13.0%とまだまだ低迷しています。さらに開放病床利用率も昨年の7.0%から11.2%と少し増加したもののまだまだ低迷しています。また、開放入院の基本である共同診療の回数は173件は昨年同様です。しかし、平均在院日数は平成元年度で45.3日、平成27年度は23.9日と年々短縮している傾向にあります。在院日数が短くなってきているので必然的に共同診療に来ていただける回数が少なくなっています。

評価

- ①地域包括ケア病棟の中には開放病床を設けています。地域包括ケア病棟は在宅で見ていただいていた患者さんがレスパストとして利用していただく病棟としての役割もあると認識しており、今までの開放病棟の趣旨に沿った病棟と理解して良いと考えています。そういった意味で今後とも大きく変わることなく開放病棟の運営は継続していきます。
- ②開放入院でも診療科がはっきりしている場合は担当の診療科に主治医をお願いしていますが、内科で紹介いただいた患者さんは、平成24年4月から院内の医師がトリアージして、各診療科にお願いする体制に変更しました。しかしながら「開放入院で」と言われる患者さんは、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うことに変更しましたが、極力登録医の先生のご意志に沿えるようにしています。
- ③共同指導は開放入院の基本です。しかし、在院日数の減少やびわ湖メディカルネットの普及による情報提供の進歩、退院支援の推進による登録医の先生方との情報交換が進み、ますます共同指導の減少が予測されます。登録医の先生方に少しでも共同診療に来院していただけるようなシステムの構築に努力したいと考えています。



中央材料室

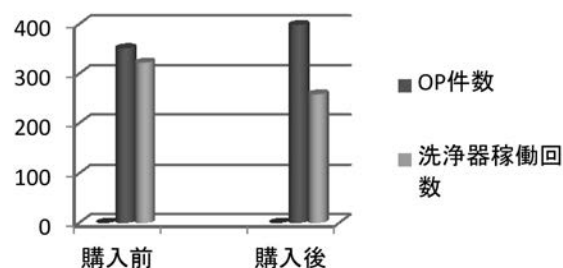
今年度のトピックス

1. 手術室増設にあたり、手術室器械の保管場所が一部を除き手術室に移転しました。
2. 手術器械の移転に伴い、手術器械の準備、供給方法が変更となり、予定手術に関わらず器械がセット滅菌となります。器械セット担当者の強化と経験器械セット数の確立をめざし対処を行いました。
3. 手術器械の担当者の変更に伴い、滅菌技師の指導の元に、ローテーションスタッフの手術器械滅菌準備を実施しています。器械セット写真を作成したり、滅菌方法を確認できるように定数カードの工夫など業務改善を行いました。

業務実績

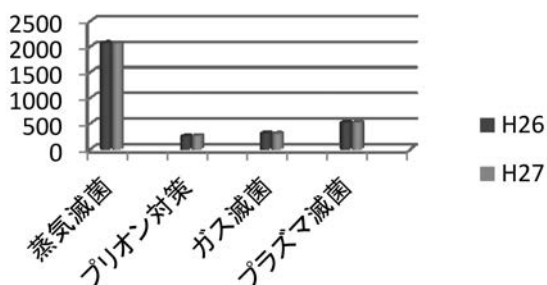
1. 2台の大型洗浄機を購入した事により、1回の洗浄機での洗浄可能器材の数が増加しました。OP件数に比べ洗浄回数が減少しています。ウォッシャーディスインフェクターによる洗浄効果と洗浄機の有効活用ができています。

H27 新洗浄器導入前後の使用比較

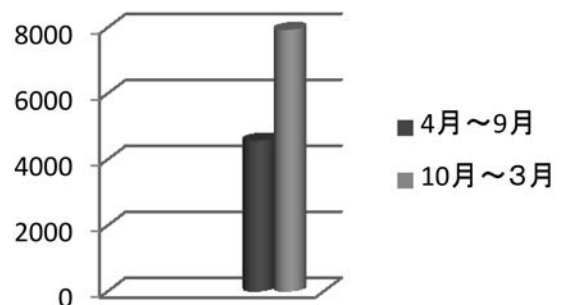


2. 本年10月からの手術室器械運用の変更に伴い、中央材料室の滅菌時間形態の変更がありました。手術器械セット数の大幅な増加が見られ、その中でも蒸気滅菌機の稼働率は高く、1日平均7回前後となっています。

滅菌種類比較（回数）



H27手術器械セット滅菌個数



3. 滅菌切れ器材の再滅菌に着目した所、再滅菌の重複器材となっている部署が多かったことから、定数器材の見直しを行いました。各部署での器材の必要性を考慮して定数変更をしていただいた為、滅菌コストの削減にもつながりました。

評価

今年度は、手術室の機械の運用の変更に伴い、手術機械に関する中材業務の量、質が問われる1年でした。洗浄機の購入により、洗浄の質の向上になりましたが、洗浄時間の延長など、メリット、デメリットはあります。業務改善を行いながら新しい業務を習得できるように、学習と教育を受けて協力体制で行っています。



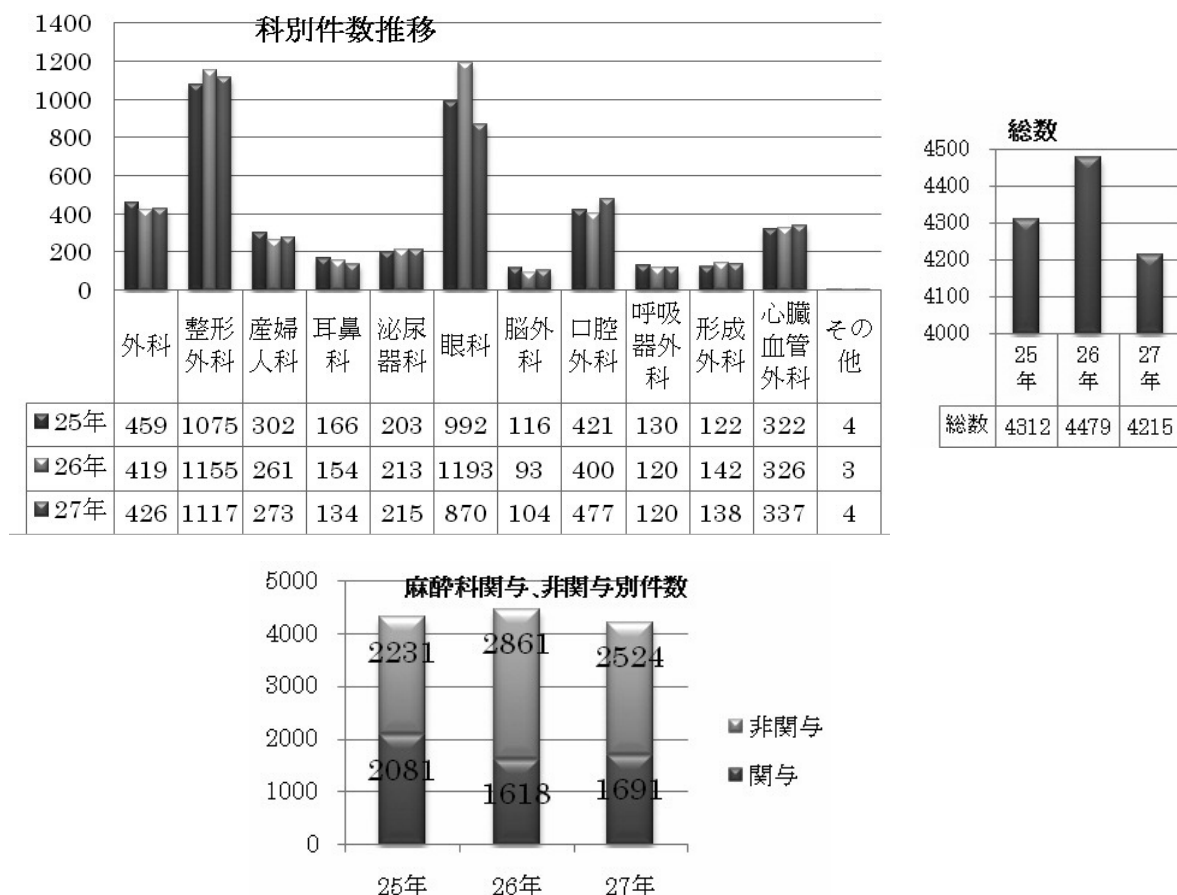
中央手術室

林 嘉彦 中央手術室部長

今年度のトピックス

- ①診療支援棟開設により3室増室となりました。
- ②常勤麻酔科医師減員で滋賀医大からの応援と非常勤医師による体制となりましたが、3～4枠/1日の麻酔枠確保が出来き、OP総数は6%減少しましたが麻酔科管理症例が前年度31%から今年度40%に増加しました。
- ③増室と面積拡張となり部屋待ち等オンコールOPの時間的無駄がない受け入れが出来るように、散在していた診療材料を集約し、またその都度患者毎に収集していた材料を術式毎に固定して、収集する時間を省いたことで業務改善が出来ました。
- ④診療材料管理補充に専門の委託業者の介入が出来ました。
- ⑤心外血管治療に関してOP室で実施可能となりました。

業務実績



評価

麻酔科体制が整備された事で麻酔科依頼OPが安定して受け入れ出来るようになり、前年度より関与症例が増加する結果となりました。

増室により部屋待ちのオンコールOPが減少しました。

委託業者の介入により診材の過不足等現状調査が出来るようになりました。



薬剤部

多賀 俊明 薬剤部長
野淵 孝二 薬剤リーダー

今年度のトピックス

- ・病棟薬剤業務実施加算 算定開始
- ・がん患者指導管理料3 算定開始
- ・薬学6年制実務実習生の受け入れ 4名
- ・日本病院薬剤師会プレアボイド(副作用回避)報告
- ・院内採用薬品を後発医薬品への変更を推進

業務実績

5月から薬剤師の病棟常駐を開始し、6月より病棟薬剤業務実施加算の算定を開始しました。医師等の負担軽減と薬物療法の有効性、安全性が向上するために、薬剤師が週20時間病棟で業務することを評価したもので、病棟と連携を密にして取り組みました。病棟業務の中で発見した重篤な副作用を厚生労働省へ3件報告し、副作用救済制度申請の患者支援を行いました。チーム医療では、病棟カンファレンスや回診に参加し、医師をはじめ、コ・メディカルスタッフと連携し医療を提供できるよう取り組みました。化学療法、糖尿病、リウマチ、緩和ケア、ICT、NSTにも引き続き参加しています。

人材育成では、地域がん診療連携拠点病院として、がん化学療法に精通した薬剤師の育成を進め、2人目のがん薬物療法認定薬剤師が誕生しました。がん患者指導管理料3の算定を開始し、外来化学療法センターだけでなく、内服抗がん剤が外来で導入になった患者への介入を開始しました。現在は外来化学療法センターに3名の薬剤師を配置し、安全で適正ながん薬物療法が行えるように取り組んでいます。また、各専門分野の学術大会、研究会への参加を推奨し、7演題を発表しました。また、薬学5年次の長期実務実習生を4名受け入れ、湖北地域の薬剤師の育成にも努めました。

医薬品安全管理では、医療用麻薬・向精神薬研修会、糖尿病治療薬研修会実施し、新規治療薬の説明や、医薬品の特性、管理を要する薬品の取り扱いについて説明しました。医師、病棟スタッフへの医薬品情報提供では、病棟担当薬剤師が新規採用薬品の情報提供、採用中止薬の提案、代替処方などの提案などを進めました。診療科毎の特色に合わせ、薬剤、使用方法について、病棟担当薬剤師が説明会を実施しました。日本病院薬剤師会プレアボイド(副作用回避)報告は、27件であり3月15日に開催された滋賀県病院薬剤師会プレアボイド報告会において、当院の取り組みが評価され表彰されました。

院内採用医薬品を積極的に後発品に変更し、高額な抗がん剤を後発品に変更することで、院内医薬品購入費の削減に努めました。

地域連携では、湖北吸入療法研究会(KKR)の事務局を担当し、全体研修会開催しました。また、0次クラブが主催した「いきいき健康フェスティバル」に出展し、地域住民の健康づくりのサポートを行いました。薬業連携研修会を定期的に開催しており湖北地域の薬剤師との連携を密にしています。

評価

病棟業務実施加算を開始し、薬剤師が診療の現場にいることにより、医師等の負担軽減と薬物療法の有効性、安全性が向上するとともに、患者状態を考慮した処方監査を実施し、プレアボイド(副作用回避)につなげることで、患者の不利益を回避することができました。

また、地域がん診療連携拠点病院として、がん薬物療法認定薬剤師が2名体制となり、院内のみならず、湖東・湖北地域のがん薬物療法の向上に寄与する事が出来ました。



医療技術局

村上 義和 局長

今年度も、医療技術局の組織強化と連携を密にするため、月1回の医療技術局技師長責任者会議を開催し、各科の問題点および情報の共有を図りました。

また、平成28年1月には医療技術局のチーム力向上のため、研修会および親睦会を目的とする「絆プロジェクト」を開催し、100名弱の職員参加の下、医療技術局の更なる組織強化が図れたと考えます。

医療技術局の勉強会は、平成27年7月に開催しました「市立長浜病院がんフォーラム」が大変好評であり、参加していない職員のために、平成28年2月医療技術局の勉強会で発表していただき、改めて各科のがん治療の取り組みを理解することが出来ました。

湖北病院との交流会も診療支援棟の見学を兼ねて開催することができ、これからも両病院の連携を図っていくつもりです。

今後は、春に新人紹介を兼ねた「絆プロジェクト」を、秋には医療技術局の勉強会と二つの事業を中心に取り組み、互いの専門技術を尊重し、連携を密にとりチーム医療の一員として、高度医療に対応する専門知識や技術を身につけた人材育成を行い、地域医療に貢献できる医療技術局を目指します。



栄養科

藤田 新一 栄養科専門員

栄養科基本方針

安心、安全でおいしい食事の提供を目指します。
思いやりの心のかよう栄養管理に努めます。

組織（平成27年4月現在）

栄養科専門員 1 名、管理栄養士 7 名、事務職員 1 名、調理師 17 名、
炊事員（パート職員 11 名）（合計 37 名）

今年度のトピックス

今年度は、当科の目標を「栄養科職員の連携を深め、組織の強化を図る」とし、管理栄養士は「給食管理及び栄養管理体制を改善し、業務の合理化・効率化を図る」、調理師は「調理業務の標準化を目指し、安心安全な食事の提供をする」を目標とし業務改善に取り組みました。

給食管理については、「食札のレイアウト及び運用を変更」、「調理師と協力しての献立の充実」、「行事食メニューの充実」、「朝食の食物アレルギー対応不備への対策」、「院内食事基準の一部改訂」、「食事オーダー締め切り時間以降の対応」など積極的に取り組むとともに、「朝食の特別メニューの廃止」するなど業務の効率化を図りました。

また、調理業務におきましても、「仕込み量・食材使用量の統一」、「調理方法等の統一化」を図り、調理の効率化や食材の経費削減に努めました。

厨房設備については、長浜保健所の指導に基づき、「厨房業務の導線の見直し計画」を提案し院長ヒアリングを受けるなど積極的に取り組みました。また、「手動式配膳車 48 膳 1 台の更新」、「支援棟新設に伴う ICU 専用手動式配膳車 1 台の購入」、「食器消毒保管庫 2 台の更新」、「冷蔵庫 1 台の更新」など、厨房環境の整備に努めました。

衛生管理については、「栄養科衛生管理マニュアル」を策定し、衛生的な食事の提供に努めました。

また、平成 27 年度の厚生労働省が定める施設基準等の適時調査の指導に基づき、目的外給食の提供中止を検討しました。（平成 28 年 4 月から中止予定です。）

その他にも、草津総合病院の厨房を視察し今後の参考にするとともに、給食用特殊調理師（国家資格）に 1 名合格するなど、前向きに取り組みました。

業務実績（平成 27 年度）

給食業務状況（患者給食延べ数） 357,427 食／年（326 食／1 回平均）

栄養指導件数（病棟訪問等含む） 1,932 件／年（うち個別指導 1,082 件／年）

詳細は各種統計資料参照

評価

今年度は、上記トピックスのとおり積極的に業務改善に取り組んだ年度でした。今後も課題解決に向けて努力いたします。



臨床工学技術科

藤田 忠夫 技師長

今年度のトピックス

今年度、2名の新人臨床工学技士が採用されました。新人2名は臨床工学技士の業務である透析業務、呼吸療法業務、保守管理業務、補助循環業務等の業務を習得する為に、毎日努力しております。また、手術室内の機器管理業務等も、まずは麻酔機の使用前点検を行う事から始め少しずつその他の機器点検を行う様に業務拡大しております。しかし一方では、透析患者数が増え慢性的な看護師不足と重なり臨床工学技士への応援要請が増えています。また、ICU業務・心カテ業務等は、より専門知識が要求される為に時間と人数がより必要となります。今後は、生命維持管理装置の安全・管理を確実にする為にも、まだまだ職員増員を考えています。

業務実績

① 臨床技術提供業務

血液浄化

・持続的血液濾過透析	217回 (40症例)	・エンドトキシン吸着	4回 (3症例)
・血漿交換	3回 (2症例)	・血漿吸着	1回 (1症例)
・LDL吸着	10回 (1症例)	・ビリルビン吸着	4回 (1症例)

手術室

・人工心肺装置使用手術	68症例
-------------	------

その他

・経皮的な心肺補助装置使用(PCPS)	3症例
・大動脈内バルーンポンピング(IABP)	13症例

② 医療機器点検業務

院内定期点検

・輸液ポンプ定期点検	120件	・シリンジポンプ定期点検	35件
・除細動器定期点検	21件		

貸出回数

・輸液ポンプ	1884回	・シリンジポンプ	787回
・人工呼吸器	87回	・逐次型空気圧式マッサージ器	45回
・経腸栄養ポンプ	13回	・離床センサー	248回

③ 教育研修

・輸液ポンプ研修	9回	参加人数	66人
・シリンジポンプ研修	3回	参加人数	16人
・生体情報モニター研修	6回	参加人数	35人
・人工呼吸器研修	14回	参加人数	202人
・透析、血液浄化研修	8回	参加人数	82人
・麻酔器	1回	参加人数	3人
・補助循環研修	3回	参加人数	26人



放射線技術科

村上 義和 技師長 古山 忠宏 参事 富田 聡 次長
宮川 孝史 次長 田邊 啓太 次長

今年度のトピックス

診療支援棟が、平成27年10月4日の竣工式及び内覧会を経て、10月13日より本稼働となりました。放射線機器も充実され、救急初療室のすぐ隣に一般撮影室、CT室、同じフロアにMRI室を設けることにより救急患者さんの検査・治療が集約されることとなりました。

診療支援棟3階にはOPE室、ICUに隣接し、パイプライン血管撮影装置を2台導入し、それぞれ心カテ、頭部アンギオの専用機として検査及び血管内治療を行っており、診療支援棟の基本コンセプトの一つである「脳や心臓の血管障害に対する迅速かつ高度な医療の提供」が可能となりました。

また、新しい装置について視察も多くあり、今後も学会、研究会等にて当院から情報発信をしていきたいと思っております。

放射線治療部門では皆様のご理解・ご協力の下、放射線治療の質の維持・向上に日々努めてさせて頂いております。

4月には放射線発生装置使用施設に対する原子力規制委員会の「定期検査および定期確認」を受けましたが、特に指摘事項も無く、良く管理されているとの評価を頂きました。

11月には「治療用照射装置出力線量の第三者機関による測定」を実施し、国立がん研究センターの測定により、当院の出力線量に問題が無いことを確認しております。

7月には2人目のがん放射線療法看護認定看護師が誕生しました。2名の認定看護師が常に勤務する放射線治療施設は全国的にも珍しく、より安心・安全で質の高い放射線治療を実現することが可能となりました。

業務実績

放射線診断部門の平成27年度検査件数は、RI検査及びCT検査について昨年度を若干下回りましたが、その他の検査については昨年を上回った件数となりました。

特に、CT、MR検査については画像再構築の依頼件数も多く、また、血管撮影については血管内治療の割合が増えており業務量は大幅に増大かつ、多様化、複雑化しています。

放射線治療部門については、総患者件数は前年度と同等の実績となりました。しかしIMRT（強度変調放射線治療）は前年度から5割増加、定位放射線治療は3割増加（内、肺定位は約4倍に増加）しております。IMRTや定位放射線治療等、高精度放射線治療に関して、湖北地域では当院でのみ実施可能という状況は変わっておりません。

各検査数については別掲の「放射線科／放射線技術科業務状況」をご参照ください。

各委員会については、放射線安全委員会、放射線治療品質保障委員会を開催し、職員の被ばく防止、放射線治療に関する精度及び安全管理について協議いたしました。

また、院内職員を対象とする放射線安全研修会を12月に開催いたしました。

評価

今年度も「見える放射線技師」を目指し、院内職員に向け様々な放射線に関する情報を「Radiation Information」として7回発信することができました。

また、日本放射線技術学会及び日本放射線技師会、腫瘍学会を始め近畿、県内の勉強会、研究会等へ積極的に参加し、多数の発表を行うなど自己研鑽に努めて参りました。特に、滋賀県放射線技師会と友好協定を結んでいる韓国「ソウル特別市放射線士会学術大会」がソウル市で開催され、MRについての演題をインターナショナルセッションにて発表いたしました。

今後も、チーム医療に貢献できるよう優れた人材の育成に努め、診療に最適な画像情報の提供を目指します。



リハビリテーション科

江藤 謹司 部長



リハビリテーション技術科

音居 玲子 技師長

今年度のトピックス

回復期リハビリテーション病棟3年目、地域包括ケア病棟2年目を迎え、リハビリテーションの充実のために作業療法士1名、言語聴覚士1名が増員となりました。昨年度に引き続き、急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟へのスタッフ配置や単位数の調整を柔軟に行い、リハビリテーションサービスの質と量の両立を目指しました。

科内目標として、「医療事故に対する感覚を研ぎ澄まし、事故を未然に防ぐ努力を惜しみません。」「患者・家族に対して、礼節と誠意をもって接し、信頼されるセラピストを目指します。」を掲げ、常に緊張感をもって業務に取り組むよう心がけました。

新たに呼吸療法認定士に1名（理学療法士）、ケアマネージャーに1名（理学療法士）が資格を取得しました。また、理学療法士2名、作業療法士1名、言語聴覚士1名の計4名が、がんリハビリテーション研修を受講し、がん患者リハビリテーションの従事者が12名となりました。

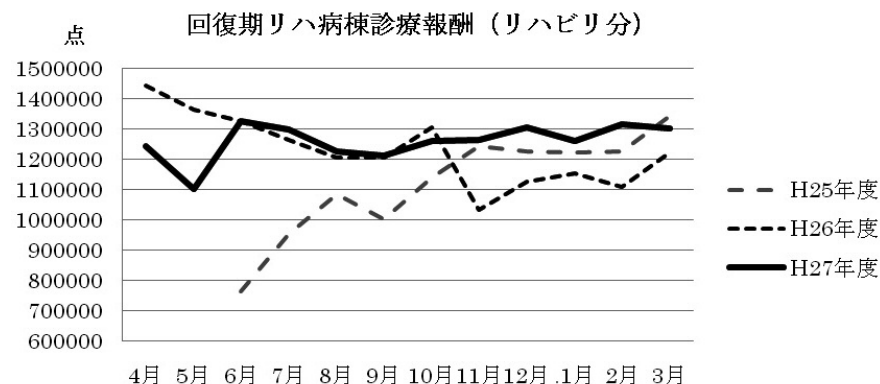
業務実績

【診療報酬実績】

	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	科合計(点)
診療報酬(点)	22,974,200	10,046,947	5,141,480	40,039,882
昨年度比較(点)	-246,567	+1,151,502	+810,949	+1,714,574

* 但し、地域包括ケア病棟の包括分の点数を含む

【回復期リハ病棟診療報酬実績】



【病棟回診への参加】

6西の部長回診（1回／週）・回復期病棟部長回診（1回／週）・地域包括ケア病棟回診（1回／週）
 廃用症候群回診・（1回／月）・嚥下回診（2回／週）
 心臓血管外科回診（1回／週）・呼吸器内科回診（1回／週）・緩和ケアチーム回診（1回／週）

【カンファレンスへの参加】

整形外科レントゲンカンファレンス（1回／週）・脳外科カンファレンス（1回／週）
ICU・CCUミーティング（毎朝）・心臓血管外科術前カンファレンス（1回／週）

【派遣業務】

院内 糖尿病教室(2回／月) 看護職スタッフへの移乗・移動介助法指導
院外 人間ドックの運動指導
長浜市こども療育センターでの療育指導：理学療法士12回
県立看護専門学校非常勤講師：理学療法士4回
湖北病院への派遣：理学療法士1ヶ月、作業療法士3ヶ月

【臨床実習受け入れ】

10名（理学療法4名 作業療法6名）

評 価

今年度の年間診療報酬は、35,789,132点でしたが、地域包括ケア病棟分の点数を加えると40,039,882点となり過去最高の点数となりました。

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの診療報酬も、前年度を355,875点上回る実績となりました。これは、言語聴覚士1名を追加配置できたことと、診療報酬の点数が高い脳血管疾患患者の入院が7割以上を占めたことによるものと考えます。

回復期リハビリテーション病棟開設に伴いスタッフ数が急増して3年、スタッフ数は事務員を加えると43名となりました。科内目標を達成するために、スタッフ一人一人に目標を持って取り組む姿勢が定着しつつある1年でした。



中央検査技術科

新川 由基	技師長	坪井 房幸	次長
藤田 忠夫	参事	宮元 伸篤	次長
塚越 均	参事	小倉 佐知子	次長
		岡本 明子	次長

今年度のトピックス

細菌検査部門

- ・平成27年8月 プロテウス属菌の発育を抑えられるグラム陽性菌用の選択培地であるCA加羊血液寒天培地を導入しました。
- ・平成27年9月 結核菌曝露を防ぐために、小川培地とビット培地を変更しました。
- ・平成27年12月 抗酸菌の検出感度を向上させるために、前処理キット（CC-E）を導入しました。
- ・平成27年7月と平成28年1月に当院の抗菌薬の効き目を示す薬剤感受性スペクトラム表を作成しドクターへ配信すると同時に、ネットフォルダに更新し、誰でも閲覧できるようにしました。
- ・厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）の還元情報をネットフォルダに更新し、誰でも閲覧できるようにしました。
- ・週別の病棟別・材料別菌検出数を院内メールで配信し、同時に、ネットフォルダに更新し、誰でも閲覧できるようにしました。

生化学・免疫検査部門

- ・正確で迅速に検査結果を報告する為に、自動分析装置の較正・メンテナンス等を実施しました。今後も検査試薬の集約化による収益見直し、診療に有用な検査の新規検査の取り込みについて検討していきます。

病理・細胞診検査部門

- ・病理医の充実：常勤の黒澤学先生、非常勤の沢田真治先生（月・火・水・金曜日）、非常勤の伊東良太先生（木曜日）の3人体制で業務を行いました。
- ・パラフィン浸透装置、パラフィン包埋装置、顕微鏡1台を更新しました。
- ・未固定材料を扱う切り出し室に自動扉を設置しました。
- ・有機溶剤作業主任者の技能講習を1名が修了しました。
- ・認定病理検査技師に1名が認定されました。

生理検査部門

- ・今年度生理検査部門では、昨年度に引き続きエコー検査の充実に向け、新人技師の育成に力をいれてきました。近年要望の多い腎動脈エコーやシャントエコーの依頼に対応するべく、研修を始めました。
- ・次年度からスタートする外来心臓リハビリテーションのため、3月に新しいトレッドミル検査装置、エルゴメータ、心肺運動負荷試験の機器を導入しました。

血液検査部門

- ・全科の赤血球沈降速度試験を検査室で行うようになり、リアルタイムで検査結果が報告できるようになりました。
- ・老朽化していたUBアナライザーを更新しました。

輸血検査部門

- ・安全で適正な院内輸血推進の為に、交差適合試験などの輸血検査および血液製剤の有効利用・血液製剤廃棄数削減に取り組みました。（平成27年度 廃棄金額率1.15%）

一般検査部門

- ・今年度、尿中マトリックスプロテイン22（NMP22）検査を院内で開始しました。尿中NMP22測定は膀胱、腎盂、尿管などの尿路上皮癌患者の診断補助に役立ち、尿細胞診と併用することで診断効率が高まります。また、便潜血検査測定機器を更新し、より迅速にデータを診療側に届けることが可能となりました。

評 価

平成27年度の総検査件数は2,821,638件で平成26年度と比較して3.8%の伸びとなりました。院内検査と外注検査の割合は院内（98.73%）、外注（1.27%）で平成26年度と比較するとわずかに院内検査の占める割合が高くなりました。

病理部門・血液部門・一般部門において老朽化した検査機器の更新を行い、生理部門にはCPX検査装置を導入し外来心臓リハビリテーション開始に向けての準備を始めました。

また、より質の高い技術と知識を習得するため、認定資格取得にも努力し、認定病理検査技師に1名が合格しました。

今後も、チーム医療の一員として、精確、かつ信頼性のある検査結果を迅速に臨床側に提供していきます。



歯科・眼科技術室

村上 義和 医療技術局長兼技師長

歯科技工士 1名 歯科衛生士 4名 歯科助手1名 視能訓練士 4名

今年度のトピックス

- ・ 歯科衛生士1名が新規採用となり、口腔ケア業務の充実を図ることができました。
- ・ 視能訓練士が院内職員を対象としたロービジョン勉強会や展示会を実施しました。
- ・ 日本医療マネジメント学会第13回京滋部学術集会において、演題「市立長浜病院における口腔ケアセンターの取り組みと課題について」を口演発表しました。
- ・ 第11回京滋ロービジョン研究会において、演題「ロービジョン外来開設準備の具体例と補装具の処方統計」を口演発表しました。

業務実績

周術期における口腔ケア実施件数・・・年間1177件

挿管時歯牙損傷防止マウスガード製作数・・・年間93件

第1回院内ロービジョン展示学習会開催

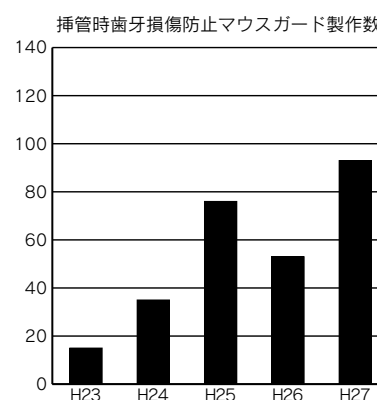
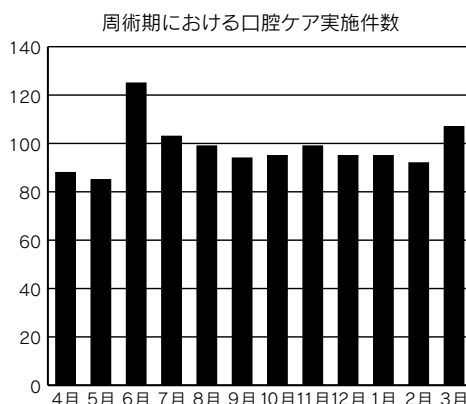
病棟看護師対象ロービジョン学習会開催（年間2回）

臨床実習受け入れ・・・歯科衛生士学科学生 10名、視能訓練士学科学生 3名

評価

歯科衛生士は昨年度に引き続き、より多くの患者に対する口腔ケアを実践することができました。今後はさらに効率的・効果的な口腔ケアについて検討し、特に化学療法を受ける患者や緩和ケアを受ける患者、放射線治療を受ける患者への口腔ケアを充実させる必要があります。また、挿管による歯牙の損傷を防止するマウスガードは、その製作件数が増加しており、歯科技工士も周術期の口腔機能管理において一翼を担うことができたと考えます。そのほか多岐にわたる業務を行うにあたり、歯科助手による機材整備や感染管理などの環境整備が十分に実施されていたことも評価できると考えます。

視能訓練士は新たな事業取り組みとして、第1回目の院内職員向けロービジョン勉強会や展示会を実施しました。院内職員が視覚障害者への理解を深めることにより、通院および入院時により配慮した対応やケアの実践ができると考えます。勉強会の内容を検討しながら来年度以降も継続した活動を目指します。





看護局

看護局長 松田 和子

看護局理事 梅本 範子

看護科長 弓削 悦子、藤本とき江、織田 頼子、芳沢 艶子

I トピックス

*今年度の看護局目標管理（戦略 連携の見える化、周知徹底、革新的変革）◎重点目標

◎各部署の役割機能を発揮し、退院支援を行うー各部署、退院調整検討会、管理者G①

◎個別性をふまえた看護診断過程の展開と実践ー各部署、（記録・基準）検討会、教育委員会

◎働きやすい職場環境:勤務体制、時間外、年次取得などー労務管理P

・コスト意識を持って経営に参画する:加算に関する記録、医療・看護必要度、占床率、病床利用率ー管理者会G③

・業務を円滑にする情報伝達能力の向上（S B A Rの浸透）ー医療安全対策委員会

・薬剤業務改善及び薬剤師と看護師の役割分担の構築ー薬剤業務P

・認知機能の低下した患者への対応能力の向上ー認知症サポートチーム構築P

・患者総合支援センターの開設準備ー院内委員会

*診療支援棟移動・稼働

診療支援棟が10月に開設された。1階の救急室、放射線室、3階のICU、手術室の移動・稼働に関しては職員・患者さんにとって安全で安楽な医療・看護が提供できるように、設備の素案を描く段階から看護局からの提案をだし、可能な限り取り入れていただけたと思っている。同時に救急2交代制をおこなった。他職種の方々と協議する時間が大いに持てたことはそこで働く看護職員にとって有意義な事であったと考える。

*病床編成と病床機能届出制度

平成26年、病床編成を行い1年間病床管理を行ってきた中、4西病棟での小児入院管理料3が医師不足のため取得維持できず、小児入院管理料4となった。改めて運用を見直し有効な病床利用ができるよう診療局、各セクションと協議を重ねた。病床機能届出については地域包括ケア病棟の今後について、急性期病床か回復期病床かの位置づけを考えていく必要性を感じた。

*認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修の実習を受けた。

今年は滋賀県主催研修でもあり、積極的に受け入れをすると同時に、他病院での看護管理状況や病院運営など、看護管理者に有効な情報収集・共有の場ともなった。

*認定看護師誕生 領域ー慢性呼吸器疾患看護、がん放射線療法看護、がん性疼痛看護

II 看護局の組織体制

看護科長室の人員配置として看護科長補佐2名配置、1名兼任とし、看護局中枢部門として総務・教育・業務の3本柱の機能強化を行った。また看護科長補佐1名、看護係長4名、看護主幹4名、看護主査6名が昇格した。今後の医療情勢に対応すべく、新任看護管理者育成のための管理ラダーの試用、オリエンテーションなどを実施し、次世代の看護管理者育成に力を注いだ。各セクションでの担当科長制は昨年同様継続した。

地域医療事業部に、これからの地域包括ケアシステムの中での看護師の役割強化を意識し、皮

膚・排泄ケア認定看護師1名を配属した。医療安全管理室に、医療安全活動の推進を強化するため看護科長を医療安全管理者として配属した。

以上の組織体制で、看護局運営を効率的にするために定例会議・委員会の他に、目標管理推進委員の配置、労務管理P、看護師確保P、薬剤業務Pを設置して活動した。

Ⅲ 看護局業務実績

*事業計画の進捗状況

＜看護体制の充実―看護師確保と定着＞正規看護師採用者31人。離職率9.9%

各入院基本料に付随する看護師配置維持。多様な看護体制は2交替性勤務の導入（6束）

＜外来看護の充実＞看護相談への取り組み・リリーフ体制の確立・救急2交替制導入

＜助産師離職率低下・助産師定着＞助産師ラダー認証者1名

＜助産師出向支援事業参加継続＞1名実施

＜専門領域の指導的看護師・看護管理者の育成＞手術室看護認定看護師研修1名、セカンドレベル研修2名、ファーストレベル研修4名、臨床実習指導者講習会4名受講

＜海外医療視察＞見送り

＜看護業務改善①看護補助者の確保・定着＞急性期看護補助者加算25対1の維持

＜看護業務改善②介護士の確保・定着＞続行

＜看護業務改善③看護管理者＞ナースエイドバージョンアップ（次回システム更新時）

＜看護業務改善④他部門（薬剤科）＞交渉続行

＜手術室の業務改善＞手術材料管理運用業務の委託

＜教育支援室の開設＞交渉続行

＜認定看護師取得後の手当支給＞交渉続行

＜採血管のシステム器機の保守、点検業務＞続行

＜ナースング・スキル日本語版導入＞交渉続行

*改革プランの進捗状況

＜ICUの充実＞特定集中治療管理加算3取得・維持

＜外来化学療法の実施＞外来化学療法加算1取得・維持

＜効率的な病床運用＞平均入院患者数370目標（直近患者数319.9人）

新入院患者数700目標（新入院患者平均数756人）

＜人工透析環境の実施＞血液透析患者数18,000人/年（17,502人/年）

＜入院基本料7対1体制＞取得・維持 ・急性期看護補助者体制加算25対1―取得・維持

＜無菌治療室加算＞取得・維持

＜がん患者カウンセリング料＞取得・維持

Ⅳ. 評価

27年度は、定例の行事、目標管理を進める中、診療支援棟の移動と稼働は病院あげての重要な事業として取り組めた。病院の特徴をよりアピールできるよう医療・看護をチーム医療として充実させていきたい。目標管理においては、看護管理者会小グループ活動として目標管理進行に必要な知識の共有、方法の周知徹底を行い、導入部においては一定の成果を認めた。次年度継続していく。

看護局組織機能図（平成27年度）



*臨時、パート含む



訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、常勤換算9.8人で、介護予防から看取りまで、療養者・家族様が自分らしい生活を送れるように、一人一人に寄り添った看護を提供しています。

今年度の業務実績・トピックス

- ・新人看護師1名の配置があり、滋賀県看護協会主催の新人訪問看護師育成プログラムを活用し、新卒訪問看護師1名を育成しました。段階的な病棟研修の実施、関係者による「ピアカンファレンス」の定期的開催、新卒指導者とスタッフの指導・支援により、1年目の目標である単独訪問ができるまで成長することができました。県下でもまだ数少ない新卒看護師が訪問看護師を目指すことができる教育モデルの確立を滋賀県看護支援センターと共働で行ってきました。
- ・今年度は、訪問件数の伸び悩み（延べ訪問回数 26年度：7225 27年度：7112）と介護報酬減算の影響を受けた年でした。
- ・在宅ケアの対象は、がん・認知症の方が年々増え、一人暮らしや高齢者世帯、老老介護、認知介護など家族介護基盤の弱体化も加わり、複雑化した多問題を有する利用者が増えている状況です。そこに対応できるように「認知症ケア」「緩和ケア」2チームを編成し、それぞれが専門的に関われるように、学習会や症例検討会を進めてきました。
- ・ICTを活用し、地域内の多機関・多職種との情報共有に取り組んでいます。年々、利用者数・連携職種の増加が見られます。あさがおネットについては、ツール自体を院内で十分に活用できていない現状でしたが、今年度は、かかりつけ医、病院担当医師、ケアマネージャー、病院看護師、訪問看護師が関わりICTによる連携を図ることで、家族の不安強く、在宅移行に不安を感じた事例が在宅看取りまで達成することができました。



事務局

事務局

柴田 博文	事務局長
福永 武浩	総務課長
佐野 勝治	総務課参事
嶋 吉夫	医事課長
田中 正樹	経営企画課長

総務課

総務グループ

1. 臨床研修（初期研修）医の採用について

平成28年4月採用臨床研修医試験にあたっては、5人の受験者を得て、3人の採用決定を行いました。昨年に続いてフルマッチは達成することができませんでした。

募集定員については、県に対して採用実績等を踏まえた要望を行い、6人の定員枠を確保してきましたが、今年度定員枠に対してフルマッチを達成できなかったことにより、次年度以降における定員が4名に変更になりました。今後は、定員枠を拡大できるよう採用人数を増やすことができるよう注力する必要があります。

今後も、①指導体制の整備、②症例研究に対する積極的な支援、③自由にやりたいことができる雰囲気づくり等といった点に配慮しつつ、研修医確保を行うことはもちろんのこと、臨床研修医が、後期研修まで継続して当院で診療いただける魅力ある病院づくりを進める必要があると考えています。

2. 診療体制強化に向けた人材採用について

医師確保については、大学医局による人事のほか、病院独自で医師の採用を行うことができ、平成28年度に向けた診療体制の強化を図ることができました。

しかしながら、依然として医師数が少ない診療科が存在することから、こうした診療科の医師確保について重点的に注力していく必要があります。

3. 看護師・助産師の確保について

看護師等の採用状況は、看護師の負担の軽減と看護体制の充実を図る看護配置基準7対1の維持を目的に定期採用試験を4回実施しました。その結果、看護師35人を採用することができました。

また、看護師等の確保対策としては、奨学金制度による支援、採用内定者を対象とした国家試験対策講座（2回）の開講のほか、看護大学や専門学校訪問、病院見学やインターンシップ、京都で行われる病院合同説明会参加等を継続して実施しました。

新人看護師等の養成では、院内教育や院外教育により、公務員・専門職としての自覚と責任を育むとともに、安全な看護業務が提供できるよう、教育体制やメンタルサポート体制を整え支援してきました。

また、看護師等の離職率は、看護配置基準7対1の維持による看護師1人当たりの受け持ち患

者数の減少や、負担軽減対策の実施により専門職として本来の看護ケアの時間が確保できることが魅力となり、8%程度にとどめることができました。

今後とも、看護師等の確保と養成については、仕事のやりがいと充実した私生活が両立できるよう、当院独自の創意工夫を重ねながら、職場環境の整備に向けて継続的に取り組んでいく必要があると考えています。

施設グループ

売店・レストラン等をより使いやすく、利便性を高めるため、リニューアルに向けての準備を進めました。売店・レストランを運営する事業者は、平成27年11月に公募型プロポーザルで選定しました。

外来のトイレは半数程度が和式のトイレでしたが、清潔さや快適性とともな衛生的なメリットも期待できるため、外来の和式トイレを、一部を除いて温水洗浄便座付の洋式トイレに改修する工事を行いました。

経営企画課

経営企画グループ

(1) 経営

高齢化とともに増加が見込まれる脳血管・循環器疾患に対する救急医療への効率的対応を目指すうえで中心的な役割を果たす診療支援棟の開設や、血管造影撮影装置、MRI装置など診療支援棟に配置する機器を購入するなど、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくための診療支援体制の充実を図る一方、依然として厳しい状況にある医師不足や、退職手当負担などの人件費が増加したことにより、962百万円の純損失を計上することとなりました。

(2) 企画

平成27年度からの3カ年計画として策定し、目指すべき病院の姿と基本的な運営の方向性を示した「長浜市病院事業基本計画」に基づき事業に取り組みを進めました。

この計画にもあるとおり、地域において求められる先進医療等を提供するため進めてきた、診療支援棟の建築および医療機器、ITインフラの整備等が完了し、10月より稼働しました。診療支援棟の機能を最大限に発揮できるよう医療提供体制を維持していきます。

長浜市病院事業改革プランについては、26年度に策定した改訂版の初年度として医療提供体制の維持、経営改善の取り組みを進めるとともに、前改革プランの最終年度となる平成26年度の取り組みについて改革プラン評価委員会により項目の進捗確認、評価を受けました。

病院情報システムについては、安定稼働のための定期的なシステム再起動を実施しました。また、現行システムの改修要望集約および平成28年度の診療報酬改定に向けた改修を行いました。

広報業務に関しては、ホームページにて、各部門の紹介ページ更新や、一般の方が参加できる研修会の案内など、主に病院内での活動についてお知らせするページの更新、「病院だより」の発行や病院パンフレット内容の一部更新を行いました。

その他、倫理委員会、IT推進会議等の所管委員会事務、施設基準等の管理及び届出事務等、医療監視等の受審（保健所による立入検査）、ながはまO次予防コホート事業に関する協力・支援を行うなど、企画運営・経営改善業務の推進に引き続き取り組みました。

(3) 診療支援棟建設準備室

病院の理念である「地域完結型の医療」のさらなる推進を図るため、開院から18年が経過した今、病院全体の機能を再構築し、今後も湖北の基幹病院として在り続けるため、病院が持つ強みを活かし、脳や心臓の血管障害に対する迅速かつ高度な医療の提供、がん診療連携拠点病院としての診療機能強化、さらに本館で分散している各種検査機能の集約や集中治療の改善、高度医療を提供できる医師の確保の観点から、これらの機能を備える診療支援棟が、平成27年10月に竣工しました。

併せて、最適な施設運営を図るため、病院施設全体の経営戦略的な維持管理整備計画を策定しました。これにより、利用者には最良の病院施設として、さらには経営効率の向上、コスト削減等の効果が期待できます。

用度グループ

医薬品の購入に関しては、納入業者5者との価格交渉を薬剤科と協調して粘り強く実施し、経費の削減を図ることができました。

診療材料については、医療安全管理室とともに、メーカー、種類が混在して採用されていた輸液ラインの抜本的な見直しを行い、メーカーを統一しました。これにより、スケールメリットを生かした大幅なコスト削減及び手技統一による医療安全の促進へ資することができました。医療安全対策としては、気管チューブの一斉切替、手術パック・キットの見直し、閉鎖式薬物移送システムの検討を実施しました。また、年2回の単価契約の更改にあたっては納入価格の交渉を行い、更なる経費削減に取り組みました。

医療機器の整備については、平成27年10月の診療支援棟開設に向けて、前年度中に購入手続きを終えていた1.5テスラMRI装置、バイプレーン血管造影撮影装置2台、80列CT装置を設置しました。また、開設に伴い、増床する中央手術室へ手術映像システムや手術台等を購入し、心臓カテーテル室・脳カテーテル室へポリグラフや无影灯を購入し、移設するICUへは生体モニタリングシステムやICUベッドを購入しました。放射線部門においては、老朽化したマンモグラフィや一般撮影装置を更新しました。

湖北病院との物品調達にかかる契約事務の連携については、スケールメリットを意識した効率的な購入を進めました。具体的には、透析材料の共同購入、PPC用紙やナースシューズの一括入札のほか、酸素濃縮器の賃貸借や寝具・リネン類賃貸借業務を両院一括で契約しました。

医 事 課

(1) 診療報酬に関する事務

- ・DPC対象病院として、厚生労働省が実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に準拠したデータを継続して提出しました。
- ・診療報酬の請求に関した情報を院内職員で共有するために、医事通信を毎月発行しました。
- ・診療報酬の請求に関して、年間を通して必要に応じて院内関係者との調整を図り、正確な診療報酬の算定に努めました。
- ・平成28年度診療報酬改定に向けて、院内説明会を開催しました。
- ・医事業務の委託に関して、業務精度の向上を目的に、3ヶ月に1回委託業務の院内評価委員会を開催して、常に委託業務の点検と精度の向上に努めました。

(2) 窓口業務

- ・院内における各外来と連携を図り、指定難病や小児慢性特定疾患、更生医療等の公費申請の説明を患者さんに実施しました。
また、妊産婦さんやご家族の方に、産科医療補償制度や出産一時金の医療機関への直接支払制度のご案内をしました。
上記の説明や案内によって、窓口における患者さんの負担額を軽減することができました。
- ・各自治体や医師会と協議を行い、健診事業や予防接種等の契約を締結することによって、各種健診や予防接種等を受けていただくことが出来ました。

(3) 個人情報の開示

- ・個人情報の開示（カルテ開示）につきましては、毎年増加の傾向にあり、平成27年度の実績として28件の開示を行いました。

(4) 医療費の未収金

- ・平成21年度より回収困難な案件を弁護士法人へ委託しています。
今年度より、未収発生から4ヵ月後という早い段階で委託することによって、確実な未収金回収に努めました。
また、上記未収金の回収とあわせて、限度額適用認定証等の社会保障制度の周知、案内により、未収金を発生させない取組にも力を入れました。

収納率（各年度末時点）

	平成26年度	平成27年度
過年度分	34.92 %	43.46 %
現年度分	94.69 %	95.72 %

- ・深夜時間帯における救急外来の患者さんや、遠方患者さんの診断書料金支払等、来院による支払いが困難な場合には、平成27年3月より導入したコンビニ払込票による支払いサービスを利用することにより、継続して患者さんへの利便性を図ることができました。

(5) 診断書窓口

- ・患者さんからの診断書作成依頼を受け、医師や医師事務作業補助等との連絡調整を行い、適正な診断書の交付に努めました。
なお、今年度は7,763件（8,655枚）の対応を行いました。



地域医療事業部

亀崎 洋 地域医療事業部管理監
芳沢 艶子 地域医療事業部総括
中西 武 地域医療がん対策推進事務室長

地域医療連携室

地域医療連携室では、病院理念の「地域完結型医療」の推進に向け、前方連携グループと後方連携グループ、さらに訪問看護ステーションで取り組みを進めてきました。

平成27年度は、特に地域の医療福祉機関との連携を密にすることに主眼を置き事業を展開しました。病病・病診連携においては、当院の発声により湖北・湖東4病院の院長・副院長、湖北医師会長等が集まり、研修医育成協力について、総合診療医制度の取り組みについて、また救急体制について意見交換の場を持つことができました。また、長浜赤十字病院とは診療の協力体制を整えるために、呼吸器内科においては長浜赤十字病院入院中の患者の当院における診療について覚え書きを交わし、消化器疾患患者の対応については研修会を開催し紹介のルールを確認することができました。さらに、湖北病院から長浜赤十字病院へ救急搬送され、その後当院で治療を受けた患者を通して、両病院の医師や研修医、看護師などが参加する事例検討会を開催し、各々の病院が行った医療について意見交換することができました。

連携を深めるための一歩として、地域の医療機関に当院の診療を紹介する目的で、「診療のご案内2015」を発行しました。また、従来から発行している「地域医療連携だより」は、院内の取り組みや診療の紹介を地域の医療従事者により多く発信できるように、平成27年1月号より掲載内容を増やし、地域の医療機関に加え福祉事業所にも配布しました。

回復期リハビリテーション病棟と療養病棟の円滑な運営に向け、地域包括ケア病棟やリハビリテーション技術科、事務局にも参加いただき、3病棟の話し合いを定期的に開催しました。

また、予てからの課題であった患者相談窓口を開設し、2月から患者サポート体制充実加算の施設基準が承認されたことは、患者サービスの向上と経営への貢献として大きな成果です。この事業を通して、各部署の連携の強化につながることを今後期待したいです。

◎医師体験ワークショップの開催：平成27年11月3日（火） 13：00～16：30

場所：講堂

参加者：23名

◎世界腎臓デー市民講座の開催：平成28年 3月6日（日） 10：00～11：35

「慢性腎臓病あなたは大丈夫？」

場所：北ビワコホテルグラツェ

参加者：176名

1. 前方連携グループ

病診連携、病病連携を担当している前方連携グループでは、地域医療支援病院要件獲得に向け紹介率・逆紹介率の上昇につながるよう院内や地域の医療機関との連携を進めてきました。診療依頼書については、3病院共通の書式となり運用を開始しています。平成27年度の紹介率は38.55%、逆紹介率は52.21%と昨年度も比べわずかですが上昇傾向となっています。

紹介率をあげるための取り組みは、昨年度の検査に加えDEXAの病診予約を開始したこと、病診予約枠の確保として定期的に外来看護師、医師と相談したことがあげられます。

逆紹介率を上げるための取り組みとしては、かかりつけ医紹介キャンペーンを3回実施したこ

とがあげられます。事前に予約患者の中から患者を選定してもらうことや科別に絞ったことが有効であったと考えられます。

また、紹介状に対する返書の管理を強化し、発送処理を連携室扱いとすることでチェックが入り正しい書式で送付できるようになっています。DAの協力もあり診療情報提供書の記入件数も増加し紹介元からの催促件数は減少しました。

2. 後方連携グループ

外来通院や地域での在宅療養をされている方への支援として取り組んでいる医療相談は患者相談窓口として平成28年2月より玄関に平日の8:30～16:00看護師が常備配置されることとなりました。このことは患者サポート体制充実加算としての施設基準を満たすものとして届け出されました。患者の不安の解消に積極的に取り組んでいることを評価するもので、後方連携グループのみではなく地域医療事業部の他の専門職と協働して取り組んでいます。具体的には、外来通院中の患者家族の方からの在宅療養に関する相談件数が昨年度より増加していることです。28年度から新たに相談窓口グループとして活動をしていくことになりました。

退院支援に関しては、地域包括ケアシステムを具現化すべく地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を少しでも多くの方に活用してもらい少しでも自立して、家族の負担を軽減させるような形での退院をめざしています。社会福祉士、退院調整看護師ともども病院と地域の関係者との間に入り調整していますが、医師不足等のためなかなか地域の要望に応えられていないのが現状です。

生活のしづらさを抱えて在宅に戻られる方にとって、介護保険のサービス関係者と病院との連携は欠かせないものです。今年度、保健所が主体となって「湖北ルール」が制定され、ケアマネージャーと病院との連携の仕方に一定のきまりができました。今後は患者・家族の安心のためにこのルールを周知し地域のサービス担当者の方と連携をしていきます。



がん対策推進事業部

神田 雄史 がん対策推進事業部管理監兼がん対策推進室長
伏木 雅人 がん対策推進事業部副管理監兼がん相談支援センター長
芳沢 艶子 看護局科長兼がん対策推進室参事
中西 武 地域医療がん対策推進事務室長
新川 君代 看護局科長補佐兼がん相談支援センター副センター長

がん対策推進室

がん対策推進室では、7月に「がんフォーラム2015」を開催し、映像で見る受診から治療までの実際を病院のスタッフの手作り映像で紹介した。緩和ケアの取り組みとしては、講演会を6月と12月に開催し、いずれも地域の医療福祉関係者と緩和ケアについての意見交換の場として活用された。また、10月には「世界ホスピス緩和ケアデー県民公開講座」を開催した。11月に開催された滋賀県緩和ケア研修会は、年配の医師やがんを扱わない診療科の医師の参加があったことが特徴的であった。12月にはがんパス研修会を開催し、前立腺がん地域連携クリニカルパスの紹介を行った。

がん相談支援センター

平成27年度の相談件数は1,808件で、年々増加傾向にある。その内約7割が対面相談で、相談者の6割が患者さん本人となっている。相談内容では、不安などのこころの問題に関することが4割を占め、次いで症状・副作用・後遺症に関すること、がんの治療に関することが多くあった。

これらの相談内容に基づき、がん患者、ご家族、一般市民の方を対象とした公開講座「がん・緩和ケアシリーズ」を2回開催し、71名の参加があった。がん患者サロン兼図書室「i・りんぐ」では、書籍の貸し出しを行うとともに、様々な公開教室を開催し、2,158人の利用があった。がん教育の推進に係る出前講座の要請を受け地域の各施設に4回出向した。

相談体制を充実させるため、国立がん研究センターが主催する、「がん相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修と基礎研修Ⅰ・Ⅱ、およびⅢ」にそれぞれ1名ずつ参加した。

がん患者が語りあえる場としてがん患者サロン「きらめき長浜」が毎月開催され125人が参加。「心のケアを考える会」の後援開催に取り組み、2回の開催で47名の参加があった。

また、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン・2015しか」に後援協力を行い、18人の職員が参加した。

音楽部門

音楽療法活動

昨年度に引き続き、同志社女子大学音楽学部特任教授濱谷紀子先生を中心とするMTQ（Music Therapy Quartet）に来院いただき、急性期各病棟デイルームや7階西病棟クリーンルーム、透析室、療養棟2階ピアノロビーなど各所での音楽療法セッションが開催され好評である。毎週金曜日午後、年間で44回の来院をいただき、集団・個人を合わせ102回のセッションを提供いただいた。



診療情報支援室

診療情報支援室では、診療情報管理部門と医師事務作業補助部門(DA(Doctor's Assistant))とDPC部門の3つが1つの部署で業務を行っています。

DA部門において業務の拡大、人員増加により現執務室では手狭になったため、隣接していた図書室との配置を交換しました。図書室の整理が行え、勉強できる環境が整ったメリットはありますが、殺風景になってしまった様子でもあります。図書室の雰囲気と環境作りが今後の課題です。

1. 診療情報支援室の業務

- 1) 退院後の診療録の回収、点検、保管、所在管理を行うこと
- 2) 情報の登録と提供、統計の作成等、データの管理
- 3) DPC業務
- 4) 院内がん登録 約700件
- 5) NCD (National Clinical Database) の登録
外科、呼吸器外科、心臓血管外科、循環器科、脳神経外科
- 6) 各種学会関連の症例登録業務
- 7) 電子カルテ帳票の管理
- 8) スキャンセンターの運営
- 9) 診断書類下書き作成 年間7,000件
- 10) 眼科、整形外科、消化器内科外来支援、医局業務

患者様の診療録を管理するためには専門的な知識が必要であり、そのために定期的に勉強会を行うなど、自己研鑽し、精度の高い管理を目指しています。

2. 図書室の業務

- 1) 来館者の受付、雑誌・書籍の貸出し、返却
- 2) 雑誌・書籍の購入手続き
- 3) 相互貸借（文献検索：院内職員を問わず、開業医の先生方、そのスタッフの方々にもご利用していただけます。
- 4) 図書管理システムの管理（司書アシスト）
- 5) 電子ジャーナルの管理
- 6) サービスの向上
- 7) 患者図書室の運用

当院の図書室では、洋書、和書ともに、主に電子ジャーナルを購読しており、冊子体は洋書9タイトル、和書62タイトルとなっています。さらに、今年度は、IP認証であったUp to dateをID・パスワードに変更するなど、学習しやすい工夫を考えています。



医療安全管理室

医療安全管理室では、週1回および事象発生時に、各管理責任者による協議を行い、タイムリーな情報共有と、苦情や相談などの対処方針の検討、医療機器安全・医薬品安全・医療安全・院内感染防止等の推進活動を行っています。会議の目的を明確にするために7月の定例会議から、医療安全カンファレンス・医療安全管理室室内協議をインシデント検討会・コンフリクト調整会に名称変更しました。また、医療安全管理委員会、医療安全対策委員会、感染管理委員会、感染対策担当者会議を定例で開催し、医療の安全に関する企画や助言、指導を行っています。

職場環境の変化、届出基準変更に伴い、医療安全および感染管理の指針を改訂すると共に、2年に一度の定期改訂年となった「市立長浜病院スタッフハンドブック」第3版を発行し全職員に配布しました。

<医療安全活動>

本年度は、平成27年10月から医療法の一部が改正され、医療事故の原因究明に基づいて再発防止を図り、医療の安全を確保する目的で、「医療事故調査制度」が始まりました。まずは職員周知のため、当院の顧問弁護士である田邊先生による医療事故調査制度の研修会を開催しました。医師会からの医療事故調査制度支援に対する要請に対して、AI受け入れの協議を行ってきました。さらに医師に向けては予期せぬ死亡事例、合併症事例の報告を啓発しました。

前年度に引き続き、チームステップス「SBAR」の職員への周知、各部署におけるSBAR活動の推進を行いました。その結果を「SBAR推進活動報告会」として3回に分け全部署が報告し、リスクマネージャーを中心に活動内容、問題点などを共有しました。また、当院オリジナルの「SBAR」啓発シールを作成し全職員に配布しました。

インシデント報告に伴う改善事項

- ・別館ナースコールの定期点検化の提言。
- ・豆球型の咽頭鏡の撤廃への提言。
- ・閉鎖式吸引チューブ（挿管用・気管切開用）差別化のメーカーへの提言。
- ・スタンド式パイピングの点検表作成。
- ・自殺企図患者への防止対策（全館窓の開閉制限）。
- ・診療支援棟開設に伴う各トイレの解錠方法の再周知。
- ・ミトン使用時の管理についての周知・ルール化。
- ・体重値カルテ入力方法のルール化。
- ・アレルギー情報管理に関するシステム改修の再申請（薬剤部、栄養科）。
- ・転倒転落防止DVD視聴推進。
- ・PMDAには、透析機器のCPU基盤異常によるエラー事象について3回報告。

上記改善事項については、関連職員間の事例共有、分析、再発防止策の策定、定期巡視で決定事項の啓発・評価、発生事象の共有等、リスクめ〜るや安全ニュースによる広報など、一連の活動を継続しました。

マニュアルについては、新規に「アレルギー情報に関する安全対策」を作成し、医療安全マニュアルは7項目改訂しました。

全職員対象研修会として、「医療事故調査制度の概要と対策」と「SBAR推進活動報告会」を開催しました。研修参加の推進として、eラーニングやDVDによる受講形式を継続し、医療安全情報提供として、安全ニュース57回、リスクめ〜る46回を発行しました。

<感染防止活動>

主な感染防止活動として、点滴関連器具の課題（多品目による互換性や三方活栓の形状等）について、平成26年度から引き続き、安全器材の提供、器材の統合、職員周知活動を行い点滴関連器具の変更をしました。種類を最小限にしたことでコスト削減にもなりました。

感染防止グループ（ICT）の活動として、手指衛生のタイミング良い手指消毒薬の使用について、職員個人携帯も視野に入れたタイミングラウンドにより定期的に全部署の確認を行い、職員指導・教育を行いました。同時に、平成24年度から行っている手指消毒剤使用量の計測の取り組み活動は、全部署で定着し、今年度は計測結果を3ヶ月毎にグラフ化し、各部署にフィードバックを行いました。また、消毒薬を現場で調剤していたことに関連したリスク事象から、消毒薬の現場調剤を廃止し、既製の消毒薬に採用、注意喚起を行いました。8月にカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の発生時には、接触感染対策の強化、環境清掃を強化し防止対策を講じることができました。メーカーによる滅菌リネンの不具合事象時の対応は、関係部署と情報共有するように院内体制の整備を行いました。

他病院との合同感染活動として、湖北地域3病院間合同カンファレンス(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)を8回実施しました。

マニュアルについては、届出基準変更に伴う「院内感染防止対策のための指針」と「耐性菌マニュアル」の改訂、全職員対象研修会は、岸岡雄太先生による「カテーテル関連血流感染の対策～プラネクタを安心して使用するために～(実践含む)」研修、京都府立医科大学附属病院の中西雅樹先生による「患者を感染症から守るために我々ができること」研修を行いました。感染情報提供として、ICTニュース3回、感染リーフレットを3回発行しました。

<相談業務>

患者や患者家族から寄せられた医療に関する苦情や相談について面談等を行い、関連部署と連携し安全で安心な医療を提供できるように相談業務の環境を整え対応しました。平成27年度の医療相談・苦情件数は54件でした。

“意見箱”の意見回収を毎週実施し、各部署と調整して必要に応じて患者家族への直接回答・掲示板・HPへの回答掲載を行いました。

IV－3 著書発表記録

産婦人科

高橋顕雅

臓器別がん看護ポイントさくさくリスト 子宮（体部・頸部）がん

プロフェッショナルがんナーシング

メディカ出版 2015年5巻3号 P255-P259

IV－4 論文発表記録

神経内科

Adachi Y, Sato N, Saito Y, Kimura Y, Nakata Y, Ito K, Kamiya K, Matsuda H, Tsukamoto T, Ogawa M Usefulness of SWI for the Detection of Iron in the Motor Cortex in Amyotrophic Lateral Sclerosis.
.J Neuroimaging. 25(3):443-51.2015 May-Jun;

産婦人科

北澤純、郭翔志、竹林明枝、辻俊一郎、小野哲男、喜多伸幸、高橋健太郎、村上節
産褥産道血腫の管理方法についての検討－産褥外陰・腔壁・後腹膜血腫28症例の管理経験
から－ 産婦人科の進歩 67(3):241-246,2015

皮膚科

井階幸一
着任のごあいさつ
湖北医師会報 第7号、28-29、2015

井階幸一
海外旅行は危険か？
滋賀県皮膚科会報 第35号、20、2015

呼吸器内科

高木順平、中川雅登、武智浩子、喜多村次郎、田久保康隆、野口哲男
小細胞肺癌頭蓋内再発病変に全脳照射を施行したところ3ヵ月後に白質脳症と考えられる病
態を呈した1例
肺癌 55(7).1098-1103. 2015.

野口哲男、高木順平、中川雅登、上林憲司、武智浩子、喜多村次郎、田久保康隆
開業医と呼吸器専門医が喘息・COPDを診療する際の相違点
滋賀医学 38. 26-31. 2016.

産婦人科

高橋顕雅、潮田至央、的田真紀、金尾祐之、竹島信宏
外陰悪性黒色種に対する根治術に腹腔鏡アプローチが有用であった1例
東京産科婦人科学会会誌 64(4):581-585,2015（平成27年10月）

放射線診断科

佐藤滋高、宮川善浩、黒澤学、若宮誠
腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に発生した寄生筋腫の1例
臨床放射線 60(8):1065-1068（平成27年8月）

歯科口腔外科

Matsushita K, Hamaguchi M, Hashimoto M, Yamazaki M, Yamazaki T, Asai K, Yamori M, Bessho K, Toda H, Hasegawa G, Nakamura N, Fukui M.

The novel association between red complex of oral microbe and body mass index in healthy Japanese: a population based cross-sectional study.

J Clin Biochem Nutr. 2015 Sep;57(2):135-9. doi: 10.3164/jcbn.15-19. Epub 2015 Jun 30.

Hashimoto M, Yamazaki T, Hamaguchi M, Morimoto T, Yamori M, Asai K, Isobe Y, Furu M, Ito H, Fujii T, Terao C, Mori M, Matsuo T, Yoshitomi H, Yamamoto K, Yamamoto W, Bessho K, Mimori T.

Periodontitis and Porphyromonas gingivalis in preclinical stage of arthritis patients.

PLoS One. 2015 Apr 7;10(4):e0122121. doi: 10.1371/journal.pone.0122121. eCollection 2015.

リハビリテーション技術科

山口卓也、梶谷友基、川瀬智隆、田中武也、田邊信彦、佐藤岳史

経頭蓋直流電気刺激の概説と当院における導入状況

理学療法 湖都 35;66-71,2015. (平成28年3月)

Ⅳ－5 学会・研究発表記録

腎臓代謝内科

三澤晶子、吉林護、上田久巳、青山雅博、潮正輝、森田善方
出血性膀胱炎を来した血液透析患者の1例
第36回滋賀腎・透析研究会 平成27年9月6日（大津）

蓑田紗希、吉林護、上田久巳、青山雅博、潮正輝、森田善方
診断に苦慮した低Ca血症の1例
第45回日本腎臓学会西部学術大会 平成27年10月24日（金沢）

潮正輝、吉林護、上田久巳、青山雅博、森田善方
GLP-1受容体作動薬(リラグリチド)とインスリン自己注射の併用療法についての検討
第52回日本糖尿病学会近畿地方会 平成27年11月14日（京都）

吉林 護、上田久巳、青山雅博、潮正輝、森田善方
無治療糖尿病に発症した多発感染症、糖尿病性ケトアシドーシスの1例
第52回日本糖尿病学会近畿地方会 平成27年11月14日（京都）

神経内科

小川雅文、小室太郎、永田裕一、佐藤岳史、小林映
拡散強調像で多発性病変を認めた急性期脳梗塞の検討
第56回日本神経学会学術大会 平成27年5月23日（新潟）

呼吸器内科

野口哲男、田上佳英、上林憲司、中川雅登、高木順平、武智浩子、喜多村次郎、田久保康隆
再生検を見据えた肺癌気管支鏡検査時の1泊2日パス導入
第55回日本呼吸器学会学術講演会 平成27年4月18日（東京）

高木順平、田上佳英、中川雅登、野口哲男
サルコイドーシスとの鑑別に苦慮した肺癌性リンパ管症を伴う直腸癌の一例
第55回日本呼吸器学会学術講演会 平成27年4月19日（東京）

中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男
敗血症性ショックを呈した尿中白血球陰性の尿路感染症
滋賀敗血症治療講演会 平成27年4月21日（長浜）

野口哲男
総合司会
湖北喘息フォーラム 平成27年5月28日（長浜）

野口哲男
実地臨床における喘息の治療・管理

喘息治療勉強会～薬物療法と吸入指導～ 平成27年6月6日（京都）

野口哲男

総合司会

第1回滋賀肺癌Round Table Meeting 平成27年6月25日（草津）

野口哲男

座長

呼吸器疾患フォーラム～新たな喘息治療を考える～ 平成27年7月2日（草津）

中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男、喜多村次郎、武智浩子、田久保康隆、黒澤学
悪性中皮腫様の分布を示した悪性腫瘍の一例

第43回滋賀Chest Disease Conference 平成27年7月9日（大津）

野口哲男

座長

水利尿と浮腫を考える 平成27年7月10日（長浜）

上林憲司、中川雅登、高木順平、野口哲男、喜多村次郎、武智浩子、田久保康隆

当科におけるトルバプタンの使用経験からの考察

平成27年7月10日（長浜）

中川雅登

長引く咳について

第40回病診連携Wドクターの会 平成27年7月16日（長浜）

野口哲男

座長

滋賀GIOTRIF発売一周年記念講演会 平成27年8月6日（草津）

野口哲男

座長

第18回滋賀呼吸器感染症研究会 平成27年9月17日（草津）

野口哲男

喘息治療は吸入指導で決まる

第2回呼吸器疾患UP TO DATE in FUKAKUSA 平成27年9月18日（京都）

野口哲男

座長

Chugai Lung Cancer Symposium in 北琵琶湖 平成27年10月8日（彦根）

高木順平

当院における脳転移症例の検討

第7回胸部腫瘍セミナー 平成27年10月23日（京都）

野口哲男

総合司会

第11回湖北吸入療法病薬連携研究会 平成27年10月29日（長浜）

高木順平

インフルエンザ・肺炎について

湖北医師会11月健康教室 平成27年11月12日（長浜）

野口哲男

広げよう！吸入指導連携の輪！！

閉塞性肺疾患講演会 平成27年11月26日（京都）

上林憲司、中川雅登、高木順平、野口哲男、喜多村次郎、武智浩子、田久保康隆

Cisplatinの減量輸液が腎機能、生活の質に与える影響について

第56回日本肺癌学会学術講演会 平成27年11月27日（横浜）

中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男、喜多村次郎、武智浩子、田久保康隆、黒澤学
悪性胸膜中皮腫様の分布を示した小細胞肺癌

第56回日本肺癌学会学術講演会 平成27年11月28日（横浜）

野口哲男

NPPVを含む呼吸不全

第11回滋賀COPD管理講習会 平成27年11月29日（長浜）

野口哲男

チームで取り組む肺がんの化学療法

第3回北琵琶湖メディカルスタッフカンファレンス 平成28年1月21日（彦根）

野口哲男

座長

スピオルト新発売記念講演会 平成28年2月4日（草津）

野口哲男

NPPV・HOTについて

第2回滋賀呼吸ケアフォーラム 平成28年3月12日（彦根）

野口哲男

コメンテーター

喘息治療アドバイザリーミーティング 平成28年3月17日（彦根）

野口哲男

座長

GIOTRIF滋賀エリアセミナー 平成28年3月24日（草津）

緩和ケア（こころ）科

安田博子、西村みどり、秋定有紗、森田幸代 他

精神科病棟入院患者に対するヨガ療法プログラムの効果検証報告

日本ヨガ療法学会 平成27年5月8日（神戸）

森田幸代、山田尚登

マインドフルネストレーニングにより穏やかな在宅での終末期を迎えられた不安合併進行食道がん患者の症例

第111回日本精神神経学会 平成27年6月4日（大阪）

森田幸代、三瀬昌宏、岩本貴志、花木宏治、河野智一、山岸美紀、宮崎恵子

オピオイドの過量投与の原因となった双極性障害の症例

第20回日本緩和医療学会 平成27年6月19日（横浜）

森田幸代、青山夏美、遠藤善裕他

カルテ調査からみたがん患者へのハロペリドール非経口投与の効果について

第20回日本緩和医療学会 平成27年6月19日（横浜）

小児科

橋本和幸、福富 久、大塚博樹、山根達也、多賀俊明

Trichophyton mentagrophytesによるケルスス禿瘡の5歳男児例

第264回日本小児科学会東海地方会 平成27年5月10日（名古屋）

蓑田紗希、福富 久、大塚博樹、山根達也、橋本和幸、多賀俊明、糟谷憲邦、大江祐一郎

突発性難聴の8歳女児例

第73回日本小児科学会滋賀地方会 平成27年5月17日（大津）

大塚博樹、松浦馨、村本健翔、福富 久、山根達也、橋本和幸、多賀俊明

頻回の意識消失を呈し、解離性障害と診断した13歳女児例

第168回岐阜県小児科懇話会 平成27年6月11日（岐阜）

橋本和幸

アレルギー生活管理指導票の書き方のポイント

湖北医師会 学術講演会 平成27年6月25日（長浜）

大塚博樹、松浦馨、鈴木圭太、村本健翔、福富 久、山根達也、橋本和幸、多賀俊明
頻回の意識消失を呈し、解離性障害と診断した13歳女児例
第51回中部日本小児科学会 平成27年8月23日（名古屋）

橋本和幸、福富 久、大塚博樹、多賀俊明
動物との接触が原因と思われたTrichophyton mentagrophytesによるケルスス禿瘡の1例
第169回岐阜県小児科懇話会 平成27年9月10日（岐阜）

橋本和幸
シンポジウム 保育園での感染症の対応の仕方
1. 小児科の立場から 園で見られる感染症とその対応
日本保育保健協議会 近畿ブロック研修会 平成28年2月28日（長浜）

福富 久、村本健翔、橋本和幸、多賀俊明
右腋窩腫瘍の10歳男児例
第171回岐阜県小児科懇話会 平成28年3月10日（岐阜）

心臓血管外科

鄒 貴光、曾我欣治、洞井和彦、吉良浩勝
腹部大動脈破裂を伴った若年者A型急性大動脈解離の1例
第47回京滋心臓血管外科研究会 平成27年2月28日（京都）

鄒 貴光、洞井和彦、村中弘之、曾我欣治
急性A型大動脈解離術後の残存解離に対してTEVARを施したマルファン諸侯群の1例
第29回日本血管外科学会近畿地方会 平成27年3月7日（大阪）

洞井和彦、曾我欣治、村中弘之、鄒 貴光
当院における感染性腹部大動脈瘤の検討
第43回日本血管外科学会学術総会 平成27年6月5日（横浜）

洞井和彦、曾我欣治、鄒 貴光、村中弘之
大腿深動脈瘤破裂の1例
第43回日本血管外科学会学術総会 平成27年6月5日（横浜）

吉良浩勝、洞井和彦、鄒 貴光、曾我欣治、森上直樹
巨大広範囲胸部大動脈瘤に対してハイブリッド治療を施した1例
第119回日本循環器学会近畿地方会 平成27年6月20日（大阪）

鄒 貴光、洞井和彦、吉良浩勝、曾我欣治
Stanford B型大動脈解離に対してステントグラフト内挿術を施行した症例
第78回滋賀県循環器疾患研究会 平成27年7月18日（草津）

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦
術後トルバプタンの使用経験
心臓血管外科カンファレンス 平成27年9月25日（大津）

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦
三尖弁閉鎖不全症と術前診断された右冠尖・右房瘻の一例
第71回京滋循環器懇話会 平成27年10月10日（京都）

吉良浩勝、曾我欣治、鄒 貴光、洞井和彦
大伏在静脈を用いてパッチ形成術を施行した右腎動脈瘤の一例
第48回京滋心臓血管外科研究会 平成27年10月24日（京都）

鄒 貴光、洞井和彦、吉良浩勝、曾我欣治
急性B型大動脈解離に対して亜急性期にTEVARを施行した2症例
第120回日本循環器学会近畿地方会 平成27年11月28日（大阪）

皮膚科

井階幸一、岡村玲子、塩山久美、澤井孝之、橋本和幸
Trichophyton mentagrophytesによる小児ケルスス禿瘡の一例
第103回関西真菌懇談会 平成27年7月26日（大阪）

岡村玲子、井階幸一、塩山久美、澤井孝之、橋本和幸
Arthroderma vanbreuseghemiiによる小児ケルスス禿瘡の一例
第442回日本皮膚科学会京滋地方会 平成27年9月19日（大津）

岡村玲子、塩山久美、澤井孝之、井階幸一、田久保康隆
Epidermophyton floccosum による体部白癬の一例
第443回日本皮膚科学会京滋地方会 平成27年12月19日（京都）

泌尿器科

横川竜生、塚晴俊、村中幸二
当院における f-TULの最近の動向
第32回滋賀泌尿器科集談会 平成27年11月14日（大津）

産婦人科

高橋顕雅、加藤一喜、谷口智子、宇佐美知香、的田真紀、岡本三四郎、金尾祐之、近藤英司、尾松公平、竹島信宏
再発上皮性卵巣癌に対するSecondary debulking surgeryは早期の再発にも有用である
第68回日本産科婦人科学会学術講演会 平成27年4月12日（横浜）

高橋顕雅、潮田至央、的田眞紀、金尾祐之、竹島信宏
外陰原発悪性黒色腫に対する根治術に腹腔鏡アプローチが有用であった1例
第374回東京産科婦人科学会例会 平成27年5月23日（東京）

北澤純、樋口明日香、中多真理、林嘉彦、野田洋一
鑑別診断に注意を要した腫瘍性病変2症例について
平成27年度第1回滋賀県産科婦人科医会学術集会 平成27年6月7日（大津）

高橋顕雅、的田眞紀、宇佐美知香、岡本三四郎、近藤英司、金尾祐之、尾松公平、杉山裕子、高澤豊、竹島信宏
術前細胞診で推定しえた小細胞癌と粘液性腺癌合併子宮頸癌の1例
第56回日本臨床細胞学会総会春期大会 平成27年6月13日（松江）

高橋顕雅、山本阿紀子、的田眞紀、尾松公平、金尾祐之、馬屋原健司、竹島信宏
子宮体癌における10年以後の晩期再発症例に関する検討
第129回関東連合産科婦人科学会 平成27年6月21日（東京）

北澤純、木村文則、平田登美子、竹林昭枝、高橋健太郎、村上節
排卵誘発が困難であった多嚢胞性卵巢症候群に対するアロマターゼ阻害剤の効果
第132回近畿産科婦人科学会学術集会 平成27年6月28日（神戸）

北澤純、辻俊一郎、林香里、桂大輔、小野哲男、高橋健太郎、村上節
当院における精神疾患合併妊娠の新生児予後についての検討
第51回日本周産期・新生児医学会学術集会 平成27年7月12日（福岡）

高橋顕雅
ガイドラインから見た子宮内膜症の治療法
城東地区学術講演会—子宮内膜症フォーラム— 平成27年7月24日（東京）

高橋顕雅、的田眞紀、潮田至央、山本阿紀子、岡本三四郎、尾松公平、近藤英司、金尾祐之、馬屋原健司、竹島信宏
子宮体内膜癌における5年以後のlate recurrence症例の検討
第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 平成27年8月7日（盛岡）

高橋顕雅、長島稔、的田眞紀、金尾祐之、竹島信宏
子宮鏡下子宮内膜切除術が診断に有用であった単頸双角子宮片側子宮体癌の1例
第55回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 平成27年9月10日（横浜）

高橋顕雅、加藤一喜、勝田隆博、宇佐美知香、的田眞紀、岡本三四郎、近藤英司、尾松公平、金尾祐之、竹島信宏
再発上皮性卵巢癌に対するSecondary debulking surgeryの予後因子に関する検討

第53回日本癌治療学会学術集会 平成27年10月29日（京都）

高橋顕雅、金尾祐之、長島稔、的田真紀、竹島信宏

腹腔鏡下広汎子宮頸部切除後完全中隔子宮に対し細径子宮鏡で中隔切除術を施行した1例

第38回日本産婦人科手術学会 平成27年11月28日（東京）

林嘉彦

座長

平成27年度第3回滋賀県産科婦人科医会学術集会 平成27年12月6日（大津）

林嘉彦

座長

第26回滋賀癌化学療法研究会 平成28年2月27日（草津）

耳鼻咽喉科

大江祐一郎、糟谷憲邦

神経鞘内で梗塞を生じ臨床症状を呈した異所性副甲状腺腺腫の一例

第122回日耳鼻京滋合同地方部会 平成27年12月12日（京都）

大江祐一郎、糟谷憲邦

当科における診療・治療に難渋した症例

第4回湖北・湖東耳鼻科診療連携セミナー 平成28年2月18日（長浜）

糟谷憲邦、大江祐一郎

当科における甲状腺高細胞型乳頭癌症例

第4回湖北・湖東耳鼻科診療連携セミナー 平成28年2月18日（長浜）

大江祐一郎、糟谷憲邦

甲状腺全摘後に生じた内服加療に不応の低カルシウム血症の一例

第29回湖耳会カンファレンス 平成28年4月2日

放射線診断科

若宮 誠

最近、PICCははじめました ～チューブ管理にからめて～

第50回京滋IVR懇話会 平成27年10月31日（京都）

佐藤滋高、若宮誠

Amplatzer Vascular Plugの使用経験と考察

第58回関西INTERVENTIONAL RADIOLOGY研究会 平成27年2月28日（大阪）

放射線治療科

花木宏治、伏木雅人、宮崎恵子、中村一郎、垣見留美子、富樫弘一、山根美和
滋賀県湖北地域における多職種連携のための研究会の開催と成果
日本緩和医療学会 平成27年6月19日（横浜）

伏木雅人

事例検討 ～転移性脳腫瘍を考える～

Chugai Lung Cancer Symposium in 北琵琶湖 平成27年10月8日（彦根）

伏木雅人、入江桃好、杉山順哉、安永敏美、神部百合子、楠井隆、高木雄久、芳沢艶子、永田啓
放射線治療医から見たびわ湖メディカルネットのこれまでとこれから
日本放射線腫瘍学会 平成27年11月21日（前橋）

伏木雅人

第42回京滋緩和ケア研究会 一般演題

平成27年11月28日（栗東）

伏木雅人

滋賀県における高度先進医療と患者・家族の支援システムを育てよう

第7回滋賀県がん医療フォーラム 平成28年2月7日（近江八幡）

歯科口腔外科

荒木郁子、藤田将広、菅雄祐、家森正志、飯塚忠彦

悪性中皮腫の1例

第60回日本口腔外科学会総会 平成27年10月16～18日（名古屋）

家森正志、北本幸恵

小児の下顎に生じた静止性骨空洞の1例

第27回日本小児口腔外科学会総会 平成27年11月7日（宮崎）

家森正志

歯周病とリウマチ

南歯科医師会 地域保健推進事業研修会 平成27年11月14日（京都）

太田舞、藤田将広、北本幸恵、家森正志

市立長浜病院における病診連携と障害者歯科外来の現状について

湖北歯科医師会定例会 平成27年12月22日（長浜）

藤田将広、太田舞、北本幸恵、家森正志

市立長浜病院の外来診療について

湖北歯科医師会定例会 平成27年12月22日（長浜）

太田舞、藤田将広、北本幸恵、家森正志
抜歯後出血を契機に診断された多因子要因の凝固異常の一例
第32回滋賀歯学会 平成28年3月13日（大津）

緩和ケア科

花本宏治
企画責任者&座長 わたしが経験した在宅緩和ケア事例と課題一
第11回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 平成27年4月15日（長浜）

花本宏治
アドバイザー
大腸癌治療ガイドライン講座 平成27年5月22日（長浜）

花本宏治
滋賀県湖北地域における多職種連携のための研究会の開催と成果
第20回日本緩和医療学会 平成27年6月19日（横浜）

花本宏治
企画責任者&座長 看取り後の緩和ケアからつながってくること
第12回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 平成27年7月16日（長浜）

花本宏治
講師 大腸癌における化学療法の実態
大腸癌講師勉強会 平成27年7月21日（長浜）

花本宏治
企画責任者&座長 大切なことみんなで話そう
2015年度世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座 平成27年10月10日（米原）

花本宏治
企画責任者&座長 在宅緩和ケアで知っておきたい骨転移の知識
第13回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 平成27年10月22日（長浜）

花本宏治
企画責任者&講師&ファシリテーター
平成27年年度第4回滋賀緩和ケア研修会 平成27年11月7～8日（長浜）

花本宏治
企画責任者&座長&パネリスト
第42回京滋緩和ケア研究会 平成27年11月28日（栗東）

花本宏治

講師&ファシリテーター

第4回滋賀県緩和ケア・フォローアップ研修会 平成27年12月6日（甲賀）

花本宏治

企画責任者&座長 肺がん患者さんへの緩和ケア-呼吸困難感への対応を中心に-

第14回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 平成28年1月13日（長浜）

花本宏治

ファシリテーター

平成27年度第8回滋賀緩和ケア研修会 平成28年3月13日（甲賀）

薬剤科

寺村早貴、野洵孝二、大岡千寿子、田中祐輔、久保田理恵、中村俊之、高山直樹、茂森恵倫子、干井香織、池田遼太、竹越靖晃、中尾英里加、元持正樹、多賀俊明

がん薬物療法が安全にスムーズに行えるように～医師のレジメン適用⇒処方鑑査⇒無菌調製⇒ベットサイドへ～

滋賀県病院薬剤師会学術大会 平成27年8月2日（大津）

大岡千寿子、野洵孝二、寺村早貴、池田遼太、元持正樹、多賀俊明

市立長浜病院におけるがん化学療法実施患者の救急受診への取り組み

第26回日本医療薬学会 平成27年11月21～23日（横浜）

池田遼太、野洵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、多賀俊明

当院のNSAIDsとアセトアミノフェンの使用量変化について

第37回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成28年1月23～24日（神戸）

竹越靖晃、野洵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、多賀俊明

手術室における薬品管理と薬剤師介入の検討

第37回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成28年1月23～24日（神戸）

中尾英里加、野洵孝二、大岡千寿子、多賀俊明

当院における妊婦・授乳婦薬の知識向上のための薬剤師の取り組みについて

第37回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成28年1月23～24日（神戸）

元持正樹、酒井彩乃、西増春佳、古山英孝、寺村早貴、池田遼太、野洵孝二、大岡千寿子、多賀俊明

外来化学療法センターにおける薬剤師の介入の検討

第37回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成28年1月23～24日（神戸）

大岡千寿子

2015年度 滋賀県病院薬剤師会 プレアボイド報告研修会

滋賀県病院薬剤師会 プレアボイド報告研修会 平成28年3月15日（守山）

栄養科

中川太郎

がん医療と栄養

湖北医療圏域がん診療連携がん看護研修 平成27年8月8日（長浜）

西中幸恵、赤尾真樹子、田邊学、藤田新一

当院における献立改善の取り組みについて

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

放射線技術科

辻雅之、宮川孝史、木村拓美、村上義和

パラレルイメージングCAIPIRINHAとGRAPPAの画質特性の比較検討

第29回滋賀県放射線技師会学術研究発表会 平成27年5月31日（大津）

宮川孝史

最新技術を用いた臨床における撮像法の紹介

第52回滋賀MRI研究会 平成27年10月30日（草津）

木村拓美

診療支援棟の各装置の特色

湖北レントゲンアーベント 平成27年年11月17日（長浜）

川上正邦、田邊啓太、西村正明、守矢千春、辰己裕和、辻雅之、村上義和、安永敏美、伏木雅人

Development of QA Phantom for whole pelvic IMRT

第28回日本放射線腫瘍学会 平成27年11月20日（前橋）

北川徹

当院における心臓CT検査の現状

滋賀県放射線技師会CT研究会 平成28年1月26日（草津）

辰己裕和、田邊啓太、川上正邦、西村正明、守矢千春、辻雅之、村上義和、安永敏美、伏木雅人

当院における放射線治療品質管理室の役割

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成27年2月13日（京都）

辻雅之、宮川孝史、木村拓美、村上義和

Comparison of the image quality in parallel MR Imaging between CAIPIRINHA and GRAPPA

Seoul Radiological Technologists Association Annual Conference
平成28年3月19日（ソウル）

リハビリテーション技術科

山口卓也、梶谷友基、田中武也

慢性期脳卒中患者に対する経頭蓋直流電気刺激の併用療法 一歩行能力の向上が得られた一症例-
第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 平成28年5月21日（兵庫）

清水悠、石橋孝

意識障害を伴う急性心筋梗塞症に対し、冠動脈バイパス術施行後に低体温療法を行った一症例 一低体温療法中の早期リハビリテーションの試み-
第50回日本理学療法学術大会 平成27年6月5日～7日（東京）

西村圭二、南部利明、杉本正幸、後藤公志

下部体幹筋の収縮の有無が歩行立脚後期の股関節伸展運動に与える影響
第50回日本理学療法学術大会 平成27年6月7日（東京）

川瀬智隆、清水悠、石橋孝、江藤謹司

2014年度診療報酬改定後の当院での心大血管疾患に対する作業療法
第49回日本作業療法学会 平成27年6月19日～21日（神戸）

後藤祐美、川瀬智隆、岩口奈未、宮本茂輝

当院でのリウマチ教育入院の取り組みと作業療法士の関わり
第49回日本作業療法学会 平成27年6月19日～21日（神戸）

田中武也、川瀬智隆、杉江加代子、梶谷友基、佐藤岳史

経頭蓋直流電気と作業療法の併用で効果があつた脳卒中後片麻痺患者の1例
第49回日本作業療法学会 平成27年6月19日～21日（神戸）

清水悠、石橋孝、川瀬智隆、洞井和彦、曾我欣治

緊急冠動脈バイパス術後に低体温療法を行った一症例 一低体温療法中の早期リハビリテーションの試み-
第21回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成27年7月18日～19日（福岡）

川瀬智隆、浅井麻未、清水悠、石橋孝、杉村隆幸、江藤謹司

当院での慢性心不全患者に対する作業療法
第21回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成27年7月18日～19日（福岡）

中川寛一、田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川円香、江藤謹司、大野暢宏
嚥下機能評価における予後予測因子の検討

第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 平成27年9月11日～12日（京都）

持田純至、田邊信彦、藤田侑子、中川寛一、大野暢宏、家森正志、長谷川博美

当院における液体のとろみ調整方法の院内統一に向けた取り組み

第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 平成27年9月11日～12日（京都）

西村圭二、杉本正幸、後藤公志

片側大腿切断患者の対側下肢人工股関節全置換術後のADL動作における工夫

第42回日本股関節学会学術集会 平成27年10月30日（大阪）

浅井麻未、石橋孝、川瀬智隆、清水悠

慢性心筋梗塞症に対し経皮的冠動脈形成術後、心停止に陥り離症に難渋した一症例

第55回近畿理学療法学術大会 平成27年11月22日（神戸）

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、佐藤岳史

経頭蓋直流電気刺激を施行した伝導失語の一例―至適刺激部位に関する検討―

第39回日本高次脳機能障害学会学術大会 平成27年12月10日～11日（東京）

藤田侑子、田邊信彦、持田純至、中川寛一、中川円香、佐藤岳史

経頭蓋直流電気刺激を施行し発話流暢性に改善がみられた失語症の1例

第39回日本高次脳機能障害学会学術大会 平成27年12月10日～11日（東京）

中森見季、西村圭二、佐野圭未、香水静佳

早期からの病棟との連携によって入浴動作を獲得した症例

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

中川寛一、田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川円香、佐藤岳史

脳卒中患者に対する摂食嚥下リハビリテーションの現状と課題

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

中央検査技術科

岡本明子、新川由基、宮元伸篤、西野万由美、黒澤学、沢田眞治

胸水細胞診で組織型診断に苦慮した扁平上皮癌の一例

滋賀県臨床細胞学会平成27年度第1回疑問症例検討会 平成27年10月31日（長浜）

呉竹めぐみ 塚越均 新川由基

当検査科で行った新生児採血時におけるKYT活動について

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、黒澤学、沢田眞治

肺粘表皮癌の1例

第53回滋賀県臨床細胞学会学術集会 平成28年2月13日（守山）

笠井晴生、三上はづき、柴田紗希、塚越均、新川由基

抗Eおよび抗cが原因と考えられる新生児貧血の一例

第38回滋賀県医学検査学会 平成28年3月6日（長浜）

歯科眼科技術室

澤田 園

ロービジョン外来開設準備の具体例と補装具の処方統計～市立長浜病院の場合～

第11回京滋ロービジョン研究会 平成27年11月15日（京都）

宮前愛子、長谷川博美、田中麻貴、藤田亜沙美、近藤昭仁、家森正志

市立長浜病院における口腔ケアセンターの取り組みと課題について

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

医療安全管理室

近藤昭仁、橋本和幸、塚口昌文、赤井明美、山田耕士、新田朋美、藤本とき江、川崎悦子、村中幸二

コミュニケーションエラーに対する医療安全対策活動～情報伝達手法SBAR(エスパー)の導入を試みて～

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

藤本智美、藤本とき江、中村寛子、川崎悦子、大野暢宏

感染性廃棄物の回収方法の再構築～コンテナ交換方式を導入して～

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

藤本智美、中村寛子、塚 晴俊、野淵孝二、坪井房幸、大野暢宏

速乾性手指消毒剤使用量UPに向けた取り組み

第31回日本環境感染学会総会・学術集会 平成28年2月19日～20日（京都）

看護局

富田悠、松本由比乃、山口麻也、田附容子、杉山慎太郎

家族と共に行う意識障害患者へのリハビリテーション

第24回意識障害学会 平成27年7月24日（浜松）

杉山慎太郎

患者参画型看護介入が、脳卒中患者の在宅復帰に与える影響

第42回日本脳神経看護研究学会 平成27年10月16日（北海道）

笠原みずず、西尾多恵

当院におけるスキンケアの実態～有病率に着目して～

日本医療マネジメント学会第13回京滋支部学術集会 平成28年2月13日（京都）

中村初美、木村亜貴恵、松橋由香、伊藤亮子、上田優

回復期リハビリテーション病棟填入時にスタッフが持つ視点 ～患者・家族にとって有意義な生活リハビリを行うために～

リハビリテーション・ケア合同研究大会 平成27年10月1～3日（神戸）

越石由紀子、酒井さや香、八田頼卓

冠動脈バイパスを含めた開心術後のリハビリテーション ～動画を用いたオリエンテーションを実施して～

第60回日本集中治療医学会近畿地方会 平成27年7月4日（大阪）

宮崎秀雄、伊吹英代、田中悠美、塚田真理子

コミュニケーションに卓越した看護師の患者に対する言葉遣いの認識

第46回日本看護学会 看護教育 平成27年8月6日（奈良）

杉山慎太郎、川瀬智隆、佐藤岳史

看護師が行う電気刺激併用リハによって麻痺が改善した急性期脳梗塞患者の一例

日本リハビリテーション医学学術大会 平成27年6月9日～11日（京都）

IV－6 講習会／研修会への取り組み

1. 患者さん・市民を対象にしたもの

健康教室

婦人科化学療法患者会「ももの会」

患者同士ふれ合う中で、告知を受けた時の思いや病気と生活の話、治療の辛さ、不安などを共有してもらうことができた。我々スタッフもそのような患者の思いを聞くことができ、貴重な会であった。

がん患者は常に再発に対する不安があるため、入院中や治療中の患者だけではなく、その後のフォローとして、何かあった時の相談先を明確にすることで不安の軽減にもつながることが会の中で改めて分かった。新たに治療中の患者の参加もあり、治療後の患者から得たことがあったという声も聞かれた。

今後も効果的な交流の場となるよう、患者のニーズに合わせて支援していく。

◎3ヶ月に1回 土曜日 14時～16時 講義室にて実施

◎平成27年度活動内容と参加者

6月6日 体験談のお話 ペットボトル風鈴作り 写真撮影会

(参加者患者4名・スタッフ2名)

9月5日 がんフォーラム上映 体験談のお話 折り紙にてコスモス作り 写真撮影会

(参加者患者2名・スタッフ2名)

12月5日 体験談のお話 石けんデコパージュ、バーンスター作り 写真撮影会

(参加者患者2名・スタッフ2名)

妊婦教室（担当：4階東病棟助産師）

本院受診中の妊婦を対象に、妊娠中の生活や出産準備について助産師が説明します。

日時：第1水曜日 13時より約3時間 妊娠前期（妊娠8～11週対象）

第2・4水曜日 13時より約3時間 妊娠後期（妊娠28週頃対象）

場所：当院2階 講義室

平成27年度参加者 前期 61 名 後期 128 名

育児教室（担当：4階東病棟助産師）

本院で出産予定の妊婦とその夫を対象に、出産の流れや入院後の過ごし方を説明し、分娩入院の際のイメージをつけることを目的に助産師が説明します。また、沐浴体験やご主人の妊婦体験なども行っています。

月2回実施 1回につき、10組のご夫婦を対象とし、産婦人科外来にての予約制

日時：第3水曜日 第3土曜日 13時より約3時間 妊娠後期（妊娠28週以降対象）

場所：当院2階 講義室

平成27年度参加者 92 組

糖尿病患者会（いぶき会）（担当：6階東病棟、内科外来）

会員数：13名

1、定期総会：平成27年6月20日（土） 10時～11時

場 所：市立長浜病院 講堂

内 容：昨年度活動報告、今年度活動計画立案

参加者：10名（会員4名、スタッフ6名）

- 2、運動療法研修会：平成27年11月28日（土） 10時～12時
場 所：市立長浜病院 リハビリテーション室
内 容：体力測定、運動療法説明、体操とストレッチの実施
参加者：15名（会員2名、会員以外5名、スタッフ8名）
- 3、食事療法研修会：平成28年2月13日（土）11時30分～13時
場 所：和食「見付屋（みつけや）」
内 容：外食時の食品の選び方、食品のカロリーの予測
参加者：11名（会員6名、会員以外1名、スタッフ4名）

糖尿病教室

担当：腎臓代謝内科医師、6階東病棟、内科外来、薬剤部、栄養科、
リハビリテーション技術科

各専門分野別に担当者が、糖尿病の病態、治療、予防について資料や板書を利用してわかりやすく説明します。また、日常生活指導においては日常生活の注意点およびフットケアについて指導しています。

日時：毎週第1～第4火曜日 13時00分～14時30分

場所：当院本館2階 講義室

対象：外来通院、入院中の糖尿病患者及びその家族、糖尿病に興味のある方

年間参加者：141名＋α

広報ながはま

～市立病院通信～

掲載年月	題 名	診療科	医師名
平成27年 4月	「咳」について	呼吸器内科	中川 雅登
平成27年 5月	「産婦人科」について	産婦人科	樋口明日香
平成27年 6月	歯周病（歯槽膿漏）について ～歯科医院への定期受診の勧め～	歯科口腔外科	藤田 将広
平成27年 7月	定期健診のすすめ	心臓血管外科	鄒 貴光
平成27年 8月	勇気を出して早めの受診を	産婦人科	木村 文則
平成27年 9月	産婦人科に相談しよう	産婦人科	北澤 純
平成27年10月	「こつそしょうしょう」漢字で書けますか？	整形外科	尾田 和広
平成27年11月	定期健診のすすめ	呼吸器外科	武智 浩子
平成27年12月	「肺気腫」どのようなイメージをお持ちですか	呼吸器内科	高木 順平
平成28年 1月	多職種連携について	院長	多賀 俊明
平成28年 2月	子どものころ専門医と「子どもの心」相談医	院長	多賀 俊明
平成28年 3月	痛みはサイン ～がんの痛みについて～	がん性疼痛看護認定看護師	桂 衣里子

中日新聞

“お元気ですか”

- 1) 乳がん サブタイプ別治療が重要 平成27年5月20日
東出 俊一 外 科
- 2) ネフローゼ症候群 むくみでチェック 平成27年8月27日
森田 善方 腎臓代謝内科
- 3) 放射線 正しい知識を持とう 平成27年11月4日
安永 敏美 放射線科
- 4) 網膜剥離 初期症状でたら受診を 平成27年11月11日
清水 久雄 眼科
- 5) 大動脈瘤治療体に優しく 平成28年2月10日
曾我 欣治 心臓血管外科

*がんフォーラム2015

***がん・緩和ケアシリーズ 公開講座**

* 出前講座

* 公開教室

* 心のケアを考える会

– 99 –

2. 医療従事者、地域開業医を対象にしたもの

診療局 CPC

開催日時	演者	参加者数
平成27年6月11日	呼吸器内科 中川雅登 「悪性中皮腫様の分布を示した悪性腫瘍の一例」	10名
平成27年8月4日	腎臓代謝内科 上田久巳 「出血性膀胱炎の一例」	18名
平成27年9月18日	臨床研修医 簗田紗希 「慢性心不全の一例」	6名
平成27年12月8日	臨床研修医 三澤晶子 「腎細胞癌治療中止後に発症した呼吸困難」	14名
平成28年2月18日	臨床研修医 三澤晶子 「心肺停止で搬送された一例」	10名

地域医療事業部

* 開放型病床生涯教育研修会

平成27年4月16日		103名
平成26年度日本医療マネジメント学会報告京滋支部学術集会演題発表		
・がん性疼痛評価項目の情報収集に関する看護師の実態調査について	当院 看護局 河野 智一	
・病院介護職による尊厳を守るケア実践について	当院 看護局 北村 健宏	
・液体のとりみ調製方法の院内統一に向けた取り組みについて	当院 医療技術局 持田 純至	
・眼科検査室での椅子による転倒・転落防止対策	当院 医療技術局歯科眼科技術室 新田 朋美	
・循環器領域の診療（医療）材料費削減の取り組みについて	当院 地域医療がん対策推進事務室 中西 武	
・退院支援に関する記録の共有について	～「退院支援経過票」の活用に関するアンケートを実施して～	
	当院 地域医療連携室 尾崎 幸子	
薬剤部からの報告		
がん薬物療法認定薬剤師研修事業について	当院 薬剤科 大岡 千寿子	
平成27年5月7日		139名
慢性腎臓病（CKD）の診かた	当院 腎臓代謝内科 森田 善方	

- 平成27年6月4日 63名
 緩和ケア多職種連携カンファレンス
 ～地域みんなでカフェトーク～
 第1部 地域連携 在宅緩和ケア
 地域包括ケアセンターいぶきセンター長 畑野 秀樹 先生
 第2部 グループワーク
- 平成27年7月2日 81名
 小児科診療と遺伝子診療
 岐阜大学大学院
 医学系研究科小児病態学教授 深尾 敏幸 先生
- 平成27年9月3日 98名
 不整脈診療の最近の進歩と近未来
 滋賀医科大学
 呼吸循環器内科教授 堀江 稔 先生
- 平成27年10月8日 76名
 化学療法研修会「がんの集学的診療」
 京都大学大学院
 医学研究科特定准教授 石黒 洋 先生
- 平成27年11月5日 98名
 認知症の診療と看護
 セフィロト病院
 院長代行・認知症疾患医療センター長 松岡 俊樹 先生
 病棟師長 柴田 郁子 先生
- 平成27年12月3日 57名
 滋賀がん・生殖医療ネットワークの設立とがん患者さんの妊孕性温存について
 滋賀医科大学
 産科学婦人科学講座准教授 木村 文則 先生
- 平成28年2月4日 81名
 最近の歯科口腔外科治療について
 ～歯牙接触癰からがんの周術期口腔機能管理まで～
 当院 歯科口腔外科 家森 正志
 同上 北本 幸恵
 同上 藤田 将広

平成28年3月3日

100名

院内感染防止対策研修会

患者を感染症から守るために我々ができること

京都府立医科大学附属病院

臨床検査部・感染対策部 感染症科長 中西 雅樹 先生

がん対策推進事業部

* 滋賀県緩和ケア研修会

修了者 28名

平成27年11月7日、8日 企画責任者 田久保康隆・江藤謹司・花木宏治

講師 滋賀医科大学腫瘍センター 特任講師 森田幸代

地域包括ケアセンターいぶき 臼井恒仁

岩本整形外科 院長 岩本貴志

長浜赤十字病院 外科部長 中村一郎

当院医師 伏木雅人・野口哲男

田久保康隆・江藤謹司

花木宏治

* 緩和ケア講演会

第1回 平成27年6月4日 参加者：63名（開放型病床生涯教育研修会 共同開催）

「緩和ケア多職種連携カンファレンス」～地域みんなでカフェトーク～

第1部 講師：畑野秀樹 氏 地域包括ケアセンターいぶきセンター長

第2部 グループワーク

第2回 平成27年12月10日 参加者：82名

（ながまいnet：湖北地域多職種連携研究会 共同開催）

「緩和ケアを切れ目なくつなげるために」

話題提供：がん性疼痛看護認定看護師 河野智一

グループワーク

第3回 平成28年2月12日 参加者：52名

「臨床におけるコミュニケーションで大切なこと」

講師：がん対策推進室 臨床心理士 鈴木圭太

講師：SCU 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 杉山慎太郎

* 世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座 滋賀県がん診療連携協議会緩和ケア推進部会

平成27年10月10日 参加者：58名

「大切」なことをみんなで話そう

～がんとわかったときからの緩和ケアどう取り組む？どう受ける？～

講演：加藤那津 氏（若年性がん患者団体STAND UP!）

*** 化学療法研修会**

平成27年10月8日 京都大学大学院医学研究科 特定准教授 石黒 洋 氏 76名
「がんの集学的診療」

*** がんの妊孕性に関するDVD研修**

平成27年9月18日 OF－Net ShigaのDVD研修、活動内容紹介 17名

*** がん看護研修**

平成27年5月30日	当院 がん看護専門看護師 山岸美紀	がん看護概論
	当院 緩和ケア認定看護師 宮崎恵子	がん患者の症状マネジメント
	当院 薬剤師 寺村早貴	医療と薬理
平成27年7月11日	当院 がん看護専門看護師 山岸美紀	がん医療と倫理
	当院 がん性疼痛看護認定看護師 河野智一	がん患者と疼痛緩和ケア
	当院 がん化学療法看護認定看護師 河野真弓	がん化学療法
平成27年8月8日	訪問看護ステーションりぷる 訪問看護認定看護師 小倉敦子	がん患者の在宅療養支援
	当院 管理栄養士 中川太郎	がん医療と栄養
	滋賀医科大学医学部附属病院 精神看護専門看護師 安藤光子	がん患者とコミュニケーション
平成27年9月12日	当院 がん性疼痛看護認定看護師 河野智一	がん患者の喪失と危機
	当院 がん放射線療法看護認定看護師 杉山順哉 入江桃好	がん放射線療法
	滋賀県立成人病センター 家族支援専門看護師 松本修一	がん患者の家族ケア

のべ受講者 331名 修了者15名

Ⅳ－７ 委員会の状況

院内委員会組織図

平成27年度

所 管 部 署
病院事業管理部
健診センター
薬剤科
臨床工学技術科
栄養科
放射線技術科
中央検査技術科
リハビリテーション技術科
歯科・歯科口腔外科
看護科
中央手術室
総務課

経営企画課

医事課

診療情報支援室

医療安全管理室

地域医療事業部

がん対策推進事業部

会議・委員会名
病院事業運営調整会議
健診センター管理運営委員会
薬事委員会 医薬品安全管理委員会 レジメン審査小委員会（がん対策：化学療法委員会）
医療機器安全管理委員会 透析機器安全管理運営委員会
栄養委員会 NST委員会
放射線安全委員会 放射線治療品質保証委員会
臨床検査運営委員会 輸血療法委員会
嚥下委員会
歯科口腔外科院内感染防止対策委員会
褥瘡対策委員会
手術室運営委員会
病院幹部会議 診療局幹部会議 企画運営会議 運営協議会 大規模災害等防災対策計画策定合同会議 職員研修委員会 人権対策推進委員会 合同・臨床研修委員会 学生実習委員会 職員安全衛生委員会 集中治療室運営委員会 治験審査委員会 医療ガス安全管理委員会 防火・防災管理委員会 診療業務等役割分担推進委員会
病院管理運営会議 診療材料プロジェクト会議 コメディカル連絡会議 改革プラン推進会議 医療評価委員会 クリニカルパス専門部会 インフォームドコンセント専門部会
倫理委員会 IT推進会議 IT推進専門委員会 情報セキュリティ専門委員会
長浜市病院事業改革プラン評価委員会 病院機能再構築検討プロジェクト 医療機器等選定委員会 S P D 運営委員会 契約審査委員会
診療情報提供委員会 保険審査委員会 未収金対策検討委員会 外来患者のことを考えるプロジェクトチーム 救急体制検討委員会 救急運営委員会 救急救命士等病院実習カリキュラム委員会 救急症例検討委員会
診療情報・図書室管理運営委員会 院内がん登録委員会 DPC委員会
医療安全管理委員会 医療安全対策委員会 感染管理委員会 感染対策担当者会議 リンクナース検討部会 内部事故調査委員会
開放型病床運営委員会 医療型療養病棟入院患者判定委員会 回復期リハビリテーション病棟運営委員会 回復期リハビリテーション病棟入院判定員会
湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会 がん対策推進委員会 緩和ケア推進委員会 化学療法委員会（小委員会は薬剤科）

委 員 長 名
野 田 秀 樹
野 口 哲 男
多 賀 俊 明 野 洲 孝 二 東 出 俊 一
藤 田 忠 夫 森 田 善 方
森 田 善 方 潮 正 耀
伏 木 雅 人 伏 木 雅 人
神 田 雄 史 亀 崎 洋
家 森 正 志
家 森 正 志
藤 林 久 輝
林 嘉 彦

-
-
-
-
小 林 映 多 賀 俊 明 多 賀 俊 明 亀 崎 洋 亀 崎 洋 村 中 幸 二 神 田 雄 史 林 嘉 彦 柳 田 豊 伸 廣 瀬 伸 次 林 嘉 彦

副 院 長
神 田 雄 史 柴 田 博 文 多 賀 俊 明 神 田 雄 史 杉 本 正 幸 林 優 村 中 幸 二 多 賀 俊 明 東 出 俊 一 小 林 映
-
小 林 映 神 田 雄 史 神 田 雄 史 神 田 雄 史

若 宮 誠 洞 井 和 彦 村 中 幸 二
東 出 俊 一 東 出 俊 一 杉 本 正 幸 東 出 俊 一

林 優 東 出 俊 一 村 中 幸 二

村 中 幸 二 村 中 幸 二 大 野 暢 宏 花 木 宏 治 大 野 暢 宏 多 賀 俊 明
--

多 賀 俊 明 大 野 暢 宏 江 藤 謹 司 江 藤 謹 司
--

多 賀 俊 明 神 田 雄 史 花 木 宏 治 東 出 俊 一
--

院内設置会議（平成27年度）

会 議 名	設 置 目 的	事務局
病院幹部会議	病院運営の基本方針に係る病院事業管理者及び院長の意思決定に必要な事項の協議を行い、もって各部局間の総合的な調整と病院の円滑な運営を図るため	総務
診療局幹部会議	病院の経営・運営に関する重要な事項について審議を行うとともに、診療局幹部の経営参画を促すため	総務
企画運営会議	病院の運営に関する重要な課題について審議を行うとともに、病院幹部の意思の疎通を図るため	総務
運営協議会	病院の運営について、広く意見を求め、住民のニーズに添った病院運営に努めるとともに、相互理解を深め、地域の基幹病院として地元に根ざした病院事業を推進するため	総務
病院管理運営会議	病院の経営の安定とスムーズな運用を目指し、病棟・外来の管理運営等について協議検討するため	経企
診療材料プロジェクト会議	市立長浜病院の経営を圧迫する要因のひとつとなり得る、診療材料購入にかかる費用を削減し、もって医業収益に対する診療材料費の比率を下げるための方策を検討、実施するため	経企
コメディカル連絡会議	院内のコメディカル間の連携を密にし、円滑な運用を図るため	経企
改革プラン推進会議	改革プランの着実な実行と進捗管理を行うため	経企
病院事業運営調整会議	長浜市病院事業の適正かつ円滑な推進と運営を図るため	事業管理部

院内設置委員会（平成27年度）

委 員 会 名	設 置 目 的	事務局
健診センター管理運営委員会	健診センターの管理運営について、適正な執行を図るため	健診
化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療剤など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	がん対策
レジメン登録審査小委員会	院内で実施される化学療法のリヂメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	薬剤
薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため	薬剤
医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に係る安全管理体制の確保を図るため	薬剤
医療機器安全管理委員会	病院で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
透析機器安全管理運営委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
栄養委員会	病院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする	栄養
N S T 委員会	病院における患者の栄養状態を管理するため、NST（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実践することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする	栄養
放射線安全委員会	職員の放射線被爆防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	放射線
放射線治療品質保証委員会	放射線治療における安全の向上、並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事情を検討し、必要な事項を企画審議するため	放射線
臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る	中検
輸血療法委員会	輸血療法を安全かつ適正に遂行するため	中検

委 員 会 名	設 置 目 的	事務局
嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療の連携に貢献し、患者のQOL向上を図ること。看護師による摂食機能療法の算定が適切に実施できるよう支援し、摂食機能療法の算定数増加を目指す	リハビリ
歯科口腔外科院内感染防止対策委員会	歯科口腔外科内における院内感染の防止や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を図る	歯科
褥瘡対策委員会	院内の褥創対策を検討・立案し、その効率的な推進を図るため	看護局
手術室運営委員会	手術室の適性かつ効率的な運用を図るため	看護局
職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	総務
人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題を初めとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	総務
合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修を円滑かつ十分に行われること	総務
学生実習委員会	医学部学生に幅広い実習の機会を提供し、実習を通して患者に信頼される有為な人材になることを積極的に支援するため	総務
職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	総務
集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	総務
治験審査委員会	治験に関する厚生省令等に基づき、院内における治験（臨床研究・臨床試験）の実施の可否および倫理性や科学的妥当性を審査するため	総務
医療ガス安全管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保するため	総務
防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする	総務
大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて病院が採るべき災害対策の内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする	総務
診療業務等役割分担推進委員会	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う。	総務
医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	経企
救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	医事
倫理委員会	市立長浜病院で行われる人間を対象とした医学研究、医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する	経企
I T推進会議 IT推進専門委員会 情報セキュリティ専門委員会	情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため I T推進の専門的事項を検討するため 情報セキュリティ対策に関する専門的事項を検討するため	経企
長浜市病院事業改革プラン評価委員会	改革プランの着実な実行と進捗管理について、評価と点検の客観性を確保するため	経企
病院機能再構築検討プロジェクト	病院機能の改善や将来に向けた高度医療を提供できる施設や設備の整備を図るため、新棟増築を目指した検討を行う	経企
医療機器等選定委員会	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする	経企
S P D運営委員会	病院の経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、S P Dシステム運用等に関し必要な事項を定める	経企

委 員 会 名	設 置 目 的	事務局
契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする	経企
診療情報提供委員会	診療情報の提供に関する指針に基づき、事務の適正な執行を図るため	医事
保険審査委員会	診療報酬請求等に関連する請求もれ、原点内容のチェック及び再審査請求の徹底を図るとともに、保険医療の適正化に努める	医事
長浜市病院事業未収金対策検討委員会	市立長浜病院及び市立湖北病院における未収金に関する事務の適正を図り、収入（診療費等）の不納欠損処分並びにこれらに関連する事務の適正な執行を図るため	医事
外来患者のことを考えるプロジェクトチーム	病院の急性期病院としての機能を十分に果たすため	医事
D P C 委員会	D P C 請求（適切なコーディング、DPC請求の運用、その他D）に関連する事務の適正な執行を図るため。また、調査・検討を行い、関係者に周知または必要な助言及び指導を行う	診療情報
診療情報・図書室管理運営委員会	病院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	診療情報
院内がん登録委員会	病院がん登録の実施に必要な事項を定め、がん登録業務の適正な企画、管理及び運用を図るため	診療情報
医療安全管理委員会 医療安全対策委員会	病院における良質な医療を提供する体制の確立を図るため、医療安全、医療機器安全管理、医薬品安全管理の対策を総合的に企画、実施することを目的に設置する 病院における安全管理のため、医療・医学の諸問題を検討し、基本的な基準について定める	医安全
感染管理委員会 感染対策担当者会議 感染対策リンクナース検討部会	院内感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、院内感染が発生した場合の病院としての方針を決定するため 院内における院内感染の防止対策や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を図る 患者及び医療従事者に対し、感染のリスクが最小限となるように、臨床現場での感染対策を実践するため	医安全
内部事故調査委員会	院内で極めて重大な医療事故が発生した場合、医療事故内容を正確に把握し、原因の分析を行い、適切な対応を取るため	医安全
開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	地域医
医療型療養病棟入院患者判定委員会	医療型療養病棟への入退院にあたり適正な審査・判定を期すること	地域医
回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う	地域医
回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	地域医
湖北保健医療圏地域がん予防診療推進協議会	湖北保健医療圏域におけるがん予防、がん診療に携わる保健医療従事者に対する研修の実施、がん診療情報の収集および提供、関係機関への連携を進め、圏域のがん予防、がん診療の水準の向上に貢献するとともに、圏域住民へのがん予防の啓発事業等に関する協議を行うこと	がん対策
がん対策推進委員会	がん診療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	がん対策
緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	がん対策

市立長浜病院栄養委員会	当院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 森田善方	委員 三瀬昌宏、村上義和、徳田敏子、嶋吉夫、藤田新一	事務局 栄養科
活動内容 第1回委員会 8月10日 開催 1. 報告事項 (1) 平成26年度 栄養管理業務について ・給食業務状況（食数等） ・栄養指導業務状況（指導件数等） 等 (2) 施設基準にかかる近畿厚生局の立ち入り結果について (3) 食事療養標準負担額増額に伴う食事内容の検討 2. 協議事項 (1) 平成27年度 嗜好調査結果について (2) 食物アレルギー等対応マニュアルについて (3) 遅延食について 第2回委員会 11月2日 開催 1. 報告事項 (1) 職員の食事（当直食等）について 2. 協議事項 (1) 嗜好調査結果について (2) 朝の特別メニュー食について (3) 入院時栄養食事指導の増加への取り組みについて (4) 院内食事規約の一部改訂（塩分制限6g未満）への変更について 第3回委員会 2月15日 開催 1. 報告事項 (1) 医療機関立ち入り検査について (2) 当直食の提供について (3) 朝食の特別メニュー食変更について 2. 協議事項 (1) 嗜好調査結果について (2) 食物アレルギー等対応不備への対策について (3) 食事オーダー締め切り後の対応について 栄養補助食品等の採用に伴う書面会議 1 回開催		

市立長浜病院 NST委員会	当院における患者の栄養状態を管理するため、NST（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 潮正輝	委員 井階幸一、三瀬昌宏、米永吉邦、森田善方、 前田佐和子、伊吹英代、伊藤亮子、小谷恵、 笠原みすず、田中祐輔、高山直樹、柴田紗希、 宮前愛子、赤尾真樹子、田中有紀、中川太郎	事務局 栄養科
活動内容 1. 委員会の開催 合計12回開催（4月から3月の間、毎月1回を目安に第4月曜日に開催） ・前年度（H26年度）の活動実績報告（NST病棟回診件数等） ・平成27年度の取り組みについて ・褥瘡発生患者の対応について ・濃厚流動食品の変更について ・栄養スクリーニング項目の見直しについて ・施設基準にかかる適時調査の実施について（栄養管理計画書（再評価）実施の確認） ・近畿厚生局による施設基準にかかる適時調査の指摘事項の対応について ・経腸栄養剤マップの活用について ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定の更新について ・Saraの採用について ・平成28年度診療報酬の改定に伴う対応について - 歯科医師との連携による栄養管理の課題と論点 - 入院時の経腸栄養用製品の使用に係る給付の見直し ・濃厚流動食品等の削除の取り決めについて 2. NST病棟回診の実施 週1回（毎週水曜日） 233件／年 3. NST勉強会の開催 4回／年開催		

薬事委員会	各処方医師より申請があった新規使用薬剤についての採用の可否を行っている。委員会にて申請医師とヒアリングを行い、製造元の製薬会社から提出された資料と照らし合わせて、使用患者の有益性を尊重するものである。					
委員長 多賀俊明	委員 曾我欣治、森田善方、米永吉邦、高島弘行、 藤本とき江、吉川敬子、押谷和嗣、嶋吉夫、 神田雄史、野淵孝二、大岡千寿子			事務局 薬剤部		
活動内容						
		新規採用薬剤		中止薬剤	院外→院内	院内→院外
		正規採用	院外専用			
第1回（平成27年4月23日）		3	1	1	0	0
第2回（平成27年6月3日）		2	5	2	0	0
第3回（平成27年7月8日）		8	3	4	0	1
第4回（平成27年9月4日）		9	4	5	0	0
第5回（平成27年10月22日）		5	1	0	0	0
第6回（平成27年12月7日）		4	2	4	0	0
第7回（平成28年1月20日）		3	4	1	0	0
第8回（平成28年2月24日）		4	4	2	1	0
第9回（平成28年3月17日）		0	0	0	1	0

後発品切り替え、院内採用数実績
中止または院外専用へ変更(予定を含む)・・・123品目
後発医薬品への変更(予定を含む)・・・8品目
院内採用薬品数・・・1602品目
後発医薬品・・・302品目 先発医薬品・・・1300品目(うち後発品のあるもの345品目)

医薬品安全管理委員会		医薬品を安全に使用すること	
委員長 野淵孝二		委員 多賀俊明、小室太郎、廣瀬伸次、曾我欣治、森田善方、藤本とき江、吉川敬子、嶋吉夫、大岡千寿子	事務局 薬剤部
活動内容			
研修会：医薬品ミニ講座開催			
1回目			
日時：平成27年7月13日、15日から17日の4日間通して同じ内容で開催			
対象：看護師			
内容：麻薬・向精神薬の取り扱いと注意点			
講師：薬剤部職員 参加：151名			
2回目			
日時：平成27年11月16日、18日、20日の3日間通して同じ内容で開催			
対象：看護師			
内容：糖尿病治療薬の薬効薬理と当院採用薬について			
講師：薬剤部職員 参加：99名			

医療機器安全管理委員会	医療機器安全管理の拡大 医療機器の安全教育	
委員長 藤田忠夫	委員 洞井和彦、阪本仁、松宮喜明、吉川敬子、 佐野勝治、富田聡、辻克信、草野信悟	事務局 臨床工学技術科
活動内容 開催日：平成28年3月23日（水） 1. RSTの活動報告 2. 院内貸出呼吸器に関する環境整備について 3. 医療機器研修履歴に参加者の職員情報を付加する提案について 4. 5月22日(日)計画停電について		

透析機器安全管理委員会	・透析液水質管理加算1の算定基準のため ①関連学会水質基準を満たすこと ②透析液安全管理者の配置 ③透析機器安全管理委員会の設置 ・透析に係る機器・装置、透析液の安全管理	
委員長 ・透析液安全管理者 森田善方 (医師・腎臓内科)	委員 西田泰人、塚口昌文、辻克信、浦部紀子	事務局 臨床工学技術科
活動内容 2015/6/1開催 平成27年第一回透析機器安全管理委員会会議 協議内容 平成26年度エンドトキシン・生菌数測定結果の報告説明 平成27年度エンドトキシン・生菌数測定計画と現在までの結果の報告説明 平成26年度の透析関係装置の保守点検について 透析関係装置の不具合、トラブルについて 透析関係の研修について		

放射線安全委員会	職員の放射線被ばく防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	
委員長 放射線科部長 伏木雅人	委員 若宮誠、村上義和、家森正志、押谷和嗣、佐野勝治、 草野美樹、宮川孝史	事務局 放射線技術科
活動内容 活動内容 【委員会の開催】 ○平成27年7月31日（金） 午後4時45分～5時40分 議事内容：平成26年度放射線安全委員会報告 平成27年度放射線安全教育研修会の開催について クイクセルバッチの着用について 【クイクセルバッチの啓蒙活動】 装着率が低迷傾向は変わりなく、一層の喚起を促していく。 管理運営会議などで、その旨を伝えていく 着用についての問い合わせなどあれば放射線科、総務課などへ連絡もありと伝える Cessメールだけでなく、MegaOakメールでの配信やRadiation infoなどでもアナウンスを行う 着用方法を間違えた例もあり、放射線安全研修会でも講義していきたい 自分がクイクセルバッチ着用者の認識不足も露呈 個人の意志なども踏まえ、被ばくの恐れがあるかないかも判断しつつ、着用者リストの人へのアナウンスを行う 【放射線安全研修会】 平成27年12月9日（水） 17時45分～19時00分 講堂にて下記の内容にて医療事故防止対策委員会と合同で行いました。 （参加者 計70名） ・ R I 検査における使用済み廃棄物について 辰己 裕和 ・ MR I 検査の注意点および造影検査について 木村 拓美 ・ 当院の放射線治療の実際 西村 正明 ・ 放射線治療における副作用について 杉山 順哉 特別講演 「放射線被ばくって何？（福島原発事故を理解していただくために）」 放射線科（治療部門） 安永敏美先生 【滋賀県緊急被ばく医療人材育成支援補助金事業】への協力 平成27年度第滋賀県湖北医療圏放射線被ばく医療対応研修 今年度は長浜市立湖北病院で開催される 協力依頼があれば、当委員会も積極的に後方支援を行う 【放射線安全管理講習会参加】 平成27年10月19日（月）岡山コンベンションセンターにて開催された、平成27年度「医療機関のための放射線安全管理講習会」に放射線技術科田辺次長が出席しました。 【サーベイメータの校正】 平成27年8月8日（日）京都医療科学大学にてサーベイメータ校正実習 村上、古山、宮川、北川、来本の合計5名が放射線技術科から参加 1台持参し校正する校正済み証書発行されました。 残りのサーベイメータについても、3年に1度は校正が必要 毎年1台ずつ校正していくよう予算取りの手配を行い、今後順に校正し管理する		

放射線治療 品質保証委員会	放射線治療における安全の向上 並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事項を検討し、必要な事項を企画審議するため。	
委員長 放射線科部長（治療部門） 伏木雅人	委員 村上義和、田辺啓太、川上正邦、辻雅之、 入江桃好、秋元麻未	事務局 放射線技術科
活動内容 【委員会の開催】 ○第1回 平成27年7月14日（火） 第2回 平成28年 2月2日（火） 議事内容：各種マニュアル、手順書の確認 安全の向上に関すること 教育、研修に関すること その他 【QA会議の開催】 ○原則毎週火曜日業務終了後、QA会議を開催し、放射線治療に関する機器の精度管理、安全管理および運用等について検討した。 【研修会の開催】 ○医療事故防止対策委員会、放射線安全委員会との共催で一般にも公開 当委員会と関係する内容 ・「当院の放射線治療の実際」 西村正明 ・「放射線治療における副作用について」 杉山順哉		

臨床検査運営 委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化・効率化を図る	
委員長 副院長兼中央検査科部長 神田雄史	委員 黒澤学、青山雅博、横川竜生、押谷和嗣、福永武浩、 山口優子、草野美樹、新川由基、藤田忠夫	事務局 中央検査技術科
活動内容 ○平成27年度第1回臨床検査運営委員会 日 時 平成27年7月15日 協議事項 1・臨床検査運営委員の変更について 2・平成26年度検査実績について 3・平成26年度外部精度管理報告について 4・新規試薬の採用について 5・エアシューターの運用について 6・バイオ大学臨床検査技師養成プログラムへの協力について ○平成27年度第2回臨床検査運営委員会 日 時 平成28年3月25日 協議事項 1・平成27年度日本医師会精度管理報告 2・平成27年度滋賀県臨床検査技師会精度管理報告 3・平成27年度日本臨床衛生検査技師会精度管理報告 4・新規購入試薬の採用について 5・バイオ大学臨床検査技師養成プログラムへの残余検体の分与について 6・平成28年度診療報酬改訂について		

輸血療法委員会		輸血療法を安全かつ適正に遂行するため
委員長 副院長 亀崎洋	委員 曾我欣治、村田巨樹、北村文代、曾我浩士、塚越均、笠井晴生、	事務局 中央検査技術科
活動内容 平成27年7月29日 第1回輸血療法委員会 1. 血液使用および破棄状況について 2. 血液適及患者の対応について 3. 輸血管理料2の取得状況について 4. 血小板用恒温槽付き震盪機の必要性について 平成27年9月30日 第2回輸血療法委員会 1. 血液使用および破棄状況について 2. 血液適及調査について 3. 輸血マニュアルの改正について 4. 滋賀県輸血療法委員会について 平成27年10月27日 第3回輸血療法委員会 1. 血液使用および破棄状況について 2. 輸血マニュアルの改正について 3. 血小板用恒温槽付き震盪機の購入について 平成27年12月25日 第4回輸血療法委員会 1. 血液使用および破棄状況について 2. 血液適及調査について 3. 滋賀県輸血療法委員会について 平成28年1月29日 第5回輸血療法委員会 1. 血液使用および破棄状況について 2. 血液適及調査について 3. 滋賀県血液製剤適正使用研修会について 平成28年3月22日 第6回輸血療法委員会 1. 血液使用および破棄状況について 2. 血液適及調査について 3. 血小板用恒温槽付き震盪機の納入について 輸血研修会の開催 新採用の看護職員を対象に、輸血業務の注意点に関する研修会を開催しました。（30名参加） 日時：平成27年11月27日（金）15：00 16：00 演題：看護局新人教育研修 輸血業務の主な注意点 講師：中央検査技術科輸血担当 塚越		

嚥下委員会		摂食嚥下障害を有する患者に適正な嚥下機能訓練方法を選択し実施することにより、患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療との連携に貢献し、患者のQOL向上を図る
委員長 歯科口腔外科部長 家森正志	委員 菅雄祐、大江祐一郎、大野暢宏、江藤謹司、田邊信彦、町本高章、植松真子、松井亜希子、徳田喜子、秋吉英市、森真紀、伊藤大輝、長谷川博美	事務局 リハビリテーション技術科
活動内容 1. 毎月第2・4月曜日に嚥下委員会を開催し、症例検討を実施している。 2. 毎週火・木曜日に嚥下回診を実施し、適切な摂食嚥下リハビリテーション方法の指導、伝達と共に、病棟での摂食機能療法算定率の拡大に取り組んでいる。 3. 毎週月・水曜日に嚥下造影検査（VF）と嚥下内視鏡検査（VE）を実施している。 4. 6月に病棟嚥下委員に対して摂食機能療法算定に関する勉強会を実施した。 5. 嚥下出前講座として、病棟毎個別に年間2回（4講座）の勉強会を開催し、院内における摂食嚥下リハビリテーションの周知、および技術の向上に取り組んでいる。平成27年度は、症例検討を必須項目とし、症例のVF動画をもとに掘り下げた研修をおこなっている。 6. 平成28年4月からの診療報酬改訂に伴う、摂食機能療法算定要件変更に対応するため協議をおこなった。平成28年度からは脳血管疾患の病名のない患者に対して全例にVF・VEを実施することになった。 7. 知識・技術向上のため、第21回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会において、委員2名が発表をおこなった。		

歯科口腔外科院内 感染防止対策委員 会	歯科口腔外科における特殊器材使用時の院内感染防止等を図る	
委員長 歯科口腔外科責任部長 家森正志	委員 藤田将広、藤木智美、長谷川博美、近藤昭仁	事務局 歯科口腔外科
活動内容 平成27年 5月28日 手洗い用水栓の改修について 平成27年 7月21日 手指消毒用アルコールの使用頻度について 平成27年 10月15日 針刺し事象に対する検討 平成27年 10月25日 針刺し事象に対する検討2 平成28年 3月30日 手術室への貸し出し物品について		

RST(呼吸ケアサ ポートチーム)	院内呼吸器関連相談、支援	
委員長 呼吸器内科医長 中川雅登	委員 草野信悟、清水悠、尚永直哉、杉山慎太郎、石橋孝、 浅見秀治、山口清香、毛利由布子、野村耕一郎	事務局 臨床工学技術科
活動内容 1回/週（火曜日ラウンド） 院内研修9月25日、11月10日開催 RST 平成27年度 活動内容 ● RST活動 73回（1.4回/週） ● 介入延べ人数 80人 脳神経病棟（33）、呼吸器科病棟（16）、消化器科病棟（13）、ICU（13）、その他（5） ● 介入内容 人工呼吸器関連（62）、気管切開チューブ関連（15）、NHF関連（2）、その他（1） ● RSTが介入し抜管に至った件数 13件 平均人工呼吸器装着日数 15.8日 ICU7件（平均6.7日）、脳神経病棟4件（平均23.3日）、消化器病棟1件（27日）、 呼吸器病棟1件（29日） ● RST加算算定件数 29件（150点/件）		

人権対策 推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	
委員長 院長 多賀俊明	委員 村中幸二、村上義和、松田和子、芳沢艶子、柴田博文	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 内容 ・人権対策推進体制を整備し、院内の人権対策について総合的に推進するための方策を検討する。 ・同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深めるため職員の研修計画の策定と推進を行う。 ・人権問題解決のため市長部局や市の他の部門との積極的な連携を図る。		

合同・臨床研修 委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修が円滑かつ十分に行われるよう、臨床プログラムの管理を行う。	
委員長 副院長 亀崎洋	副委員長 社会福祉法人青祥会セフィロト病院院長代理 松岡俊樹 副院長 小林 映 委員 太田直也、村中幸二、神田雄史、田久保康隆、 森田善方、宮本茂樹、松田和子、柴田博文、 手繰忠善、松井善典、雨森正洋、奥田哲也、 七里源正、湯本義一、畑野秀樹、橋本修、布施隆治、 花戸貴司、小泉俊三、高橋文雄	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 委員会の内容 臨床研修医の研修プログラムの管理、教育等の実施、臨床研修終了にかかる臨床研修医の評価について審議する。なお、プログラムの作成、運営調整は、同委員会小委員会（プログラム委員会）にて、内科担当、外科担当、プライマリケア担当の責任者を中心に各々の科の指導医と協議の上、研修医の希望を考慮しながら行う。 2. 委員会の開催 第1回 平成28年3月10日（木） 1. 修了認定について 2. 来年度のローテーション計画について 3. 今後のスケジュールについて		

学生実習委員会	医学部学生に幅広い実習の機会を提供し、実習を通して患者に信頼される有為な人材になることを積極的に支援するため	
委員長 副院長 小林映	委員 亀崎洋、田久保康隆、松田和子	事務局 総務課総務グループ
活動内容 医学部学生に幅広い実習の機会を提供し、実習を通して患者に信頼される有為な人材になることを積極的に支援するため、学生実習の受け入れに関し必要な事項を協議する。 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、開催する。		

職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	
委員長 副院長 村中幸二	委員 村上義和、柴田博文、林優、野淵孝二、近藤正也、町本高章、尚永亜希子、笠井晴生、中村弘美	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 内容 (1) 職場における職員の安全と健康の確保 (2) 快適な作業環境の形成、健康管理事業の適正運営の確保 (3) 危険防止のための基本的対策、労働災害の原因、再発防止対策 2. 協議事項 (1) 職場巡視 (2) 時間外勤務について (3) 年次休暇・夏季休暇の取得状況について (4) 感染予防について (5) 禁煙対策について (6) 健康診断受診状況について (7) ストレスチェックについて (8) 年間活動総括 委員会開催月日 4月30日、5月28日、6月25日、8月27日、9月24日、10月29日、12月24日、1月28日、2月25日、3月24日		

集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	
委員長 麻酔科責任部長 萬代良一	委員 佐藤岳史、曾我欣治、高島弘行、柴田博文、松田和子、織田頼子、吉川敬子、宮部照子	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 業務 I C Uの運営について次のことを審議する。 (1) 各診療科、病棟との連絡調整 (2) 施設の管理および設備の整備計画 (3) 業務の管理手順 (4) その他運営に関する必要事項		

診療業務等役割分担推進委員会	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う。	
委員長 診療局理事 林 嘉彦	委員 若宮誠、芳沢艶子、梅本範子、中川太郎、野淵孝二、宮川孝史、近藤昭仁、宮元伸篤、草野信悟、吉田洋次郎、堀江智美	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 業務 (1) 診療業務の役割分担に関し、現状把握、問題点抽出、課題整理等を行う。 (2) 役割分担に関し必要な見直しや新たな役割分担の必要性等について協議する。 2. 活動状況 平成27年6月1日（月） 平成27年度医師の負担軽減計画について 平成28年3月9日（木） 平成27年度の達成状況の確認		

治験審査委員会	院内で行われる治験等がヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び新GCP省令等関連法規を遵守した上で実施されるために、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を審議し、その可否を決定するため設置するもの	
委員長 林 嘉彦	委員 林嘉彦、小川雅文、小室太郎、阪本仁、松田和子、藤田忠夫、大岡千寿子、柴田博文、福永武浩、宮本香代子、荒木まつゑ	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 目的 当院の医薬品・医療機器等にかかる治験等の実施について審議し、病院全体の医療の質の向上を図る。 2. 委員会の開催 第1回 平成27年12月21日（月） 第2回 平成28年3月29日（火）		

企画運営会議	病院の円滑な運営を図るため	
	委員 野田秀樹、多賀俊明、村中幸二、小林映、亀崎洋、神田雄史、杉本正幸、林嘉彦、伏木雅人、村上義和、松田和子、梅本範子、柴田博文、田中正樹、嶋吉夫、芳沢艶子、中西武、曾我浩士	事務局 総務課総務グループ
活動内容 毎月第1・第3月曜日開催（月曜日が祝日の場合は火曜日）（30分程度） 各局にわたる1週間の行事、周知すべき事項、報告すべき事項について情報共有を行う。		

診療局幹部会議	病院の円滑な運用を図るため	
	委員 野田秀樹、多賀俊明、村中幸二、小林映、亀崎洋、神田雄史、杉本正幸、林嘉彦、伏木雅人、松田和子、梅本範子、芳沢艶子、村上義和、柴田博文、曾我浩士	事務局 総務課総務グループ
活動内容 毎月第2・第4月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）（30分程度） 各局にわたる1週間の行事、周知すべき事項、報告すべき事項について情報共有する。		

職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内・外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	
委員長 院長 多賀俊明	委員 村上義和、松田和子、芳沢艶子、柴田博文	事務局 総務課総務グループ
活動内容 公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させ、人間性豊かで有為な人材の育成を図るため、職員に院内・外の幅広い研修機会が提供できるように設置。 1. 業務 （1）人材育成支援計画の策定等 （2）各所属の年間研修計画および年間研修実績のとりまとめ （3）研修に対する評価のとりまとめ		

防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他災害による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする。	
委員長 整形外科部長 廣瀬伸次	委員 村上義和、織田頼子、柴田博文	事務局 総務課施設グループ
活動内容 1、委員会 ① 開催日時 平成27年7月27日（月） ② 議事内容 ・消防訓練実施要領（案）について ・長浜市総合防災訓練について 2、消防訓練（消防検証）の実施 ① 実施日 平成27年10月28日（水） ② 参加者 約85名 ③ 実施場所 4階東病棟及び診療支援棟北側屋外付近 ④ 訓練目的 病院消防計画に基づく防火教育の一環として、夜間に火災が発生した場合を想定して、万一の際、被害を最小限に抑えられるよう消防訓練を実施しました。		

医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。	
委員長 麻酔科医長 柳田豊伸	委員 松田和子、田中祐輔、辻克信、加藤一尚、押谷和嗣、 福永武浩	事務局 総務課施設グループ
活動内容 1. 点検内容 ①日常点検 各部署で毎週実施し、月1回委員会に報告 ②定期点検 専門業者により年4回実施し、結果を委員会に報告		

大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて当院が採るべき災害対策の内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする。	
委員長 副院長 小林映 副統括 外科責任部長 東出俊一	委員 林優、廣瀬伸次、松田和子、織田頼子、土川陽子、 烏脇富子、浦部紀子、藤木智美、山田真納美、 山崎英雄、野淵孝二、大岡千寿子、村上義和、 古山忠宏、中川太郎、柴田博文、曾我浩士、 福永武浩、村上義幸、今村大志	事務局 総務課施設グループ
活動内容 大規模災害等対策計画につきましては平成23年度から検討されていましたが、今回、診療支援棟が建設されることで計画の内容を再検討することとなり、平成27年度中は合同会議及び専門部会は開催しておりません。		

倫理委員会	病院で行われる人を対象とした医学研究及び医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的かつ社会的配慮のもとに行われるよう、医の倫理に関する事項を審議する。	
委員長 副院長 村中幸二	委員 清水久夫、塩山力也（～H27.9.30）、 阪本仁（H27.9.1～）、松田和子、藤田新一、 柴田博文、野洲孝二、桐山郁雄、澤崎恭子	事務局 経営企画課 経営企画グループ
活動内容 1. 病院で行われる医学研究及び医療行為に関し、実施責任者から申請された実施計画の内容及びその成果の発表に関する事項を審議する。 2. 病院における医学研究及び医療行為に関する倫理的かつ社会的配慮についての基本的な事項の調査検討を行う。 3. その他委員長が必要と認めた事項を審議する。 開催月日・協議事項など ○第1回倫理委員会（平成27年9月7日（月） 16:30～17:45 第1会議室） 審議1件、報告9件 ○第2回倫理委員会（平成28年3月2日（水） 16:30～18:00 第2会議室（旧医局）） 審議1件、報告19件		

IT推進会議	情報化施策を総合的かつ体系的に推進する IT推進計画の策定および実施ならびに進行管理 コンピュータシステムの情報セキュリティ その他情報化施策についての重要事項	
委員長 院長 多賀俊明	委員 小林映、柴田博文、東出俊一、吉川敬子、神田弘、 古山忠宏、宮元伸篤、北村淳、中川太郎、田中正樹、 伊藤仁文、嶋吉夫、芳沢艶子、曾我浩士	事務局 経営企画課 経営企画グループ
活動内容 □IT推進会議 ・IT推進計画の策定、IT推進計画の実施及び進行管理、コンピュータシステムの情報セキュリティ等について協議します。 □専門委員会 ①IT推進専門委員会 ・IT推進の専門的事項の検討 ・IT推進会議に付議する事項及びIT推進会議で決定した内容の実施に必要な事項について検討します。 ②情報セキュリティ専門委員会 ・情報セキュリティ対策に関する専門的事項の検討 ・コンピュータシステムのセキュリティ対策に関する基本ルール及び緊急時の対応に関することについて協議します。 開催月日・協議事項など □IT推進会議 ○平成27年度 開催なし □IT推進専門委員会 ○通知 システム改修要望について照会（平成27年11月10日付け） 平成28年度に改修を希望する機能等について、各科へ照会、改修要望を集約しました。 □情報セキュリティ専門委員会 ○平成27年度 開催なし ◎情報セキュリティに関する研修会 ・情報セキュリティポリシー研修会（平成27年4月15日（月）、18日（水） 17:30～ 講堂） 情報セキュリティポリシーについて、院内全職員を対象に研修会を実施 参加者：2日間合計 245人		

医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	
委員長 副院長 神田雄史	委員 杉本正幸、林優、糟谷憲邦、松田和子、藤田新一、村上義和、音居玲子、古山忠宏、神田弘、藤田忠夫、新川由基、田中正樹、伊藤仁文、押谷和嗣、嶋吉夫、芳沢艶子、堀江智美、曾我浩士	事務局 経営企画課 経営企画グループ
活動内容 1. 医療評価委員会の取組み 当院は、平成10年2月に県下で初めて（財）日本医療機能評価機構の認定を受けて以来、5年毎に認定更新審査を受けており、平成25年2月にバージョン6.0での更新認定を受けています。 次回の更新受審については未定としていますが、前回受審時の質疑応答内容や最終的な審査結果を、日々の業務を点検する視点とし、引き続き評価項目を意識して業務を遂行するよう各部署に働きかけています。 クリニカルパス並びにインフォームドコンセントについては、円滑な運用を図るため院内専門部会により、新規作成や修正に関する対応を随時行いました。 開催月日・協議事項など ○第13回病院医療機能評価受審フォーラム参加（平成27年10月9日） 6名参加 ・講演「機能種別版評価項目〈3rdG：Ver.1.0〉の概要と動向」 ・講演「3rdG：Ver.1.1のポイント①診療サーベイヤーの視点から」 ・講演「3rdG：Ver.1.1のポイント②看護サーベイヤーの視点から」 ・講演「3rdG：Ver.1.1のポイント③事務管理サーベイヤーの視点から」		

医療機器等選定委員会 （長浜病院関係）	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 神田雄史	委員 林優、森田善方、小室太郎、廣瀬伸次、松田和子、柴田博文、村上義和	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 医療機器等購入にかかる機種選定の審査ならびに協議、高額診療材料購入にかかる審議を行った。 2. 開催日（全9回） 平成27年4月3日、5月20日、7月9日、7月24日、8月11日、12月7日 平成28年1月8日、1月15日、3月14日		

SPD運営委員会	経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、SPDシステム運用等に関し必要な事項を定める。	
委員長 副院長 神田雄史	委員 織田頼子、野一色真弓、中村寛子、寺村郁子、三浦浩之、佃義則、田中祐輔、岡本明子、長谷川博美、田中宏明、窪田美好、松山桂士	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 院内の効率的な物品供給や適正な在庫管理のあり方等の検討を行った。また、適正な物品管理と無駄の抑制を図るため実施した。 診療材料滅菌切れチェック及び診療材料定数見直しの内容について、報告を行った。 2. 開催日（1回） 平成28年3月4日 3. 主な内容 ①各部署における診療材料滅菌期限切れチェックの実施報告 ②診療材料定数見直しの実施報告 ③救急カート運用の変更報告		

契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 神田雄史	委員 平尾真弓、国友富明、中川英治※、清水善信※、柴田博文、西川昇、福永武浩、田中正樹 ※長浜市病院事業工事契約審査委員会のみ所掌	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 医療機器等の購入及び建設工事等における契約方法及び指名競争入札の参加者または随意契約の相手方の選定について、審査を行った。 2. 開催日（全12回） 平成27年4月10日、5月26日、6月26日、7月14日、8月17日、9月11日、10月16日、11月19日、12月14日 平成28年1月26日、2月26日、3月25日		

救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	
委員長 外科部長 東出俊一	委員 小林映、國友健生、橋本和幸、櫻木淳史、柳田豊伸、古山忠宏、野瀬孝二、新川由基、松田和子、土川陽子、福永武浩、嶋吉夫、曾我浩士 ※平成28年2月 櫻木淳史 ⇒ 日根野翔 変更	事務局 医事課 医事請求グループ
活動内容		
【委員会の開催】		
○第1回救急体制検討委員会（平成27年 4月27日（月） 18：00～19：00 第2会議室） 委員会組織について、5月連休中の救急診療体制について		
○第2回救急体制検討委員会（平成27年12月14日（月） 17：30～18：10 講義室） 委員会組織について、年末年始の救急体制について		
【実施事業等】		
○5月連休中、年末年始の救急における点滴患者の対応について通知（平成27年4月28日、平成27年12月16日）		
○救急ミニ講座開催：全1回、参加者計30人		
○OLSAーICLS長浜曳山コース実施：全2回：第15回…平成27年6月6日／参加者64人 第16回…平成27年12月5日／参加者42人		
○外傷初期診療プログラムJATEC滋賀コース：平成27年12月5日～12月6日／当院参加者1名		
○救急救命士病院実習（通常実習）受入れ：平成27年6月～平成28年3月		
○救急救命士病院実習（就業前実習）受入れ：平成27年6月1日～6月19日		

診療情報提供委員会	診療情報の提供に関する指針に基づき、具体的な方策等、必要事項を定めるため	
委員長 放射線科部長 若宮誠	委員 中西正典、村上正和、弓削悦子、田中正樹、福永武治	事務局 医事課 医事管理グループ
活動内容 市立長浜病院診療情報提供に関する指針（ガイドライン）に基づきカルテ開示を行っています。 なお、平成27年度の開示申請件数は28件でした。		

未収金対策検討委員会	未収金に関する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 村中幸二	委員 田中新司(湖)、亀崎洋、柴田博文、西川昇(湖)、村上義和、松田和子、田中正樹、福永武治、中西武、嶋吉夫、中川浩孝(湖)、平尾真弓(市会計管理者)	事務局 医事課 医事管理グループ
活動内容		
平成27年12月17日 未収金対策検討委員会開催。未収金の推移と回収実績・対策検討、診療費等債権の放棄審査について協議を行いました。		

保険審査委員会	請求もれ、減点内容のチェック及び再審査請求の徹底を図るとともに、保険医療の適正化に努める	
委員長 心臓血管外科部長 洞井 和彦	委員 廣瀬伸次、山科聡、梅本範子、野洲孝二、藤田忠夫 吉田洋次郎、堀江智美、嶋吉夫	事務局 医事課 医事請求グループ
活動内容 平成27年度は、当院が開催する診療報酬研修会の中で療養担当規則及び指導管理料の要点記載等の説明を行いました。		

医療安全管理委員会	院内における医療安全対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療相談業務を総合的に企画実施し、また、事故対策を講じるために必要な事項を審議し、意思決定する。	
委員長 副院長 村中幸二	委員 野田秀樹、多賀俊明、小林映、亀崎洋、神田雄史、林嘉彦、大野暢宏、伏木雅人、家森正志、松田和子、村上義和、柴田博文、梅本範子、福永武浩、藤田忠夫、野淵孝二、曾我浩士、藤本とき江、川崎悦子、藤木智美	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 ・病院全体の医療安全対策の方針について協議決定を行っています。 2. 医療安全管理委員会開催 - 毎月第2月曜日開催 12回 1) 各委員会等報告と協議 ・医療機器安全管理に関する事項 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・医薬品安全管理 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・医療安全管理に関する事項 インシデント報告事象の共有（患者誤認・レベル3b以上の事象） 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・各委員会活動方針の合議 ・各委員会研修会開催報告 2) その他 ・各委員会マニュアル内容の検討 3. 報告事項 ・平成27年度医療事故報告分析結果（全体・部署別） ・平成27年度各委員会活動評価 ・医療相談・苦情件数の報告（1回/年）		

医療安全対策委員会	医療の安全確保と医療事故防止のため各種事業を行う。	
委員長 副院長 村中幸二	委員 矢田善弘、橋本和幸、潮正輝、村瀬陽子、杉江加代子、塚越均、川上正邦、山田耕士、新田朋美、塚口昌文、野淵孝二、草野美樹、服部直美、赤井明美、関谷洋子、今莊悠、堀江智美、藤原克徳、中山さゆり、伊吹友宏、近藤昭仁、藤本とき江、川崎悦子	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内容 全部署インシデント報告の集計と分析・評価・報告 事故発生時の分析と防止対策の検討・啓発・課題提示 現場巡回と評価・啓発 医療安全に関する調査 リスクマネージャーの育成・・・リスクマネージャー会（2回/年開催） 院内研修会の実施および院外研修参加の推進 医療安全情報提供・・・リスクめ〜る発行(46回)、安全ニュース発行(57回) マニュアルの見直し スタッフハンドブックの改訂 2. 医療安全対策委員会の開催 毎月第2木曜日開催 11回（8月を除く） 1）各職場におけるK Y T活動(年間4事例報告）の実践と支援 2）マニュアル周知、業務改善、活動指標のための調査および巡視の実施（グループ活動） 患者誤認防止グループ、転倒・転落防止グループ、アレルギー情報管理グループ、コミュニケーション推進グループ、看護局リスクナース検討部会 3）グループ活動内容 (1)患者誤認防止グループ ・指差し呼称強化月間の実施(年2回) ・救急事務当直マニュアル(患者誤認防止策改訂)の周知と評価 ・放射線治療室におけるタイムアウトの推進 (2)転倒・転落防止グループ ・転倒転落防止DVD視聴推進、転倒転落防止DVD視聴状況評価（年2回）、 ・院内転倒転落危険箇所の確認と問題の発信 ・離床センサー使用状況のKYT、再開忘れの対策検討 (3)アレルギー情報管理グループ ・アレルギー情報システムの運用周知と活用推進 ・問診票の見直しとテンプレートの作成 ・現行システム連動状況の確認（薬剤科・栄養科） ・アレルギー情報管理マニュアルの周知活動 ・患者向けアレルギー- 情報申告の啓発・広報への掲載 (4)コミュニケーション推進グループ ・コミュニケーションエラー及びSBARについて理解と周知 ・各部署におけるSBAR推進活動の継続 (5)看護局リスクナース検討部会 ・生体情報モニターアラーム「誤報」低減に向け、管理、基準の遵守 ・患者自己管理薬基準の運用と評価 ・離床センサー使用方法と管理方法の整備 4）マニュアルについて ・スタッフハンドブック第3版改訂 ・医療安全管理(管理指針・他) マニュアル(7項目見直し) ・血管外漏出対応(抗がん剤以外)マニュアル（一部見直し） 5）医療安全研修会 ・平成26年度医療安全取り組み報告会(5月) ・コミュニケーションスキルSBAR(6月) ・医薬品安全管理（麻薬・向精神薬）(糖尿病治療薬)研修会（7月・11月） ・医療事故調査制度の概要と対策(9月) ・SBAR推進活動報告会(3回) ・医療機器安全(呼吸器ケア)研修会（11月） ・放射線安全研修会(12月) ・リスクマネージャー会（5月・10月） 3. 報告事項 ・各部署におけるKYT取り組み結果 ・院内巡視結果（誤認防止・転落転倒・医療機器安全対策・医療安全管理室巡視） ・毎月の安全対策取り組み状況（毎月委員会で報告） ・平成27年度医療安全対策委員会活動 ・平成27年度各部署における医療安全取り組み活動 ・平成27年度医療事故報告分析結果（全体・部署別）		

感染管理委員会	医療関連感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、医療関連感染が発生した場合の病院としての方針を決定するために設置する	
委員長 診療局部長 大野暢宏	委員 野田秀樹、多賀俊明、村中幸二、小林映、亀崎洋、神田雄史、林嘉彦、伏木雅人、家森正志、松田和子、村上義和、柴田博文、梅本範子、福永武浩、藤田忠夫、野淵孝二、曾我浩士、藤本とき江、川崎悦子、藤木智美	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 ・ 医療関連感染の防止対策や、院内全体の感染対策の方針について協議決定を行っています。 2. 感染管理委員会開催 毎月第2月曜日開催 12回 (1) 各委員会等報告 ・ 院内感染防止対策取り組み ・ MRSA等院内感染症発生報告 ・ 特定抗菌薬の使用状況と届出の提出状況の報告 ・ 歯科口腔外科院内感染防止対策取り組み ・ 研修会開催報告 (2) その他 ・ マニュアル内容の検討 ・ 流行している疾患など厚生労働省や県・保健所の通知を確認し、当院の方針を決定		

感染対策担当者会議	院内における医療関連感染の防止対策や、啓蒙等を推進する。	
委員長 外科部長 花本宏治	委員 大野暢宏、塚晴俊、家森正志、山根達也、坪井房幸、音羽幸子、岩崎昌子、押谷裕也、佃義則、野洲孝二、干井香織、中村寛子、岸田智恵子、井上弘美、新川君代、下村哲也、伊藤仁文、一居隆司、藤本智美	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 院内感染の防止、感染症に対する啓発、研修の推進 マニュアルの作成、見直しの推進 必要部署の環境調査の実施 編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止」の発行 院内感染サーベイランスの実施 2. 感染対策担当者会議開催 隔月第3月・木曜日開催 年4回（8月除く） (1) マニュアルについて ・院内感染防止対策のための指針（一部見直し） ・カテーテル関連血流感染防止マニュアル ・針刺し損傷防止マニュアル ・耐性菌マニュアル (2) 院内感染サーベイランス協議 ・サーベイランス内容の検討・データ分析・評価を実施 ・サーベイランスの実施 「耐性菌発生状況」「クロストリジウム・ディフィシル発生状況」 (3) 必要部署の環境調査の実施（I C Tラウンド） 毎週金曜日 ○ラウンド回数（42回） ・環境ラウンド ・MRSA患者の抗菌剤使用状況調査 ・感染対策の協議 (4) 編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止」の発行 ・51号「デング熱特集」 平成27年 7月29日発行 ・52号「インフルエンザ特集！予防と対策！」 平成27年11月27日発行 ・53号「ノロウイルスについて」 平成28年 4月21日発行 (5) 委員会主催による研修会開催 感染対策研修 ・「カテーテル関連血流感染の対策～プラネクタを安心して使用するために～」 (株)ジェイ・エム・エス 平成27年10月1日 ・「患者を感染症から守るために我々ができること」 京都府立医科大学附属病院 中西雅樹先生 平成28年 3月3日 (6) その他 ・各感染症に対する専門知識と感染予防の普及 ・感染管理認定看護師（リンクナース）を中心とした効率的な感染防止活動 ・スタンダードプリコーションに基づく院内感染防止対策の推進 ・十二指腸内視鏡の洗浄消毒に関する対策活動 ・手指衛生タイミング確認ラウンドの推進 ・中東呼吸器症候群（MERS）について ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌発生に伴う感染対策内容の協議 ・新棟の感染対策についてラウンド実施 ・歯科医師会の針刺し損傷マニュアルの検証及びフォロー検診 ・インフルエンザ及び感染性胃腸炎の対応（あすなろ園） ・点滴関連器具の課題に伴う調整：平成27年度継続 ・循環浴槽の薬液注入ポンプの検証：平成28年度継続		

開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	
委員長 院長・開放病床 責任部長 多賀俊明	委員 上松貞彦、湯本義一、小林清亮、華房順子、工藤寛、 畑野秀樹、七里源正、廣田光前、雨森正洋、塚本隆弘、 中村義則、澤渡新太郎、林優、家森正志	事務局 地域医療事業部 地域医療連携室
活動内容 年1回開催 平成28年1月28日（木） 開放病床の運営について （1）開放型病床利用状況について （2）病診連携運用状況について （3）平成26年度開放型病床運営委員会の要望事項に対する改善内容について		

医療型療養病棟入院患者判定委員会	医療型療養病棟への入退院にあたり適正な審査・判定を期すること	
委員長 療養病棟担当医師 大野 暢宏	委員 永田裕一、音居玲子、嶋吉夫、前川純子、尾崎幸子、 間塚摩美、林優	事務局 地域医療事業部 地域医療連携室
活動内容 原則火曜日に（延べ 12回）開催し、院外枠7人、レスパイト入院38人の方を審査・判定した。 院内からの転棟については、毎週2回（原則 火曜日と金曜日）に開催し、206人の方を審査・判定した。		

回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う。	
委員長 リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤 謹司	委員 永田裕一、北村淳、杉江加代子、宮川久義、 遠藤邦枝、尾崎幸子、今莊悠	事務局 地域医療事業部 地域医療連携室
活動内容 平成27年4月3日に第1回目を開催し、その後、毎週金曜日に（延べ61回）開催し、院内103人、院外75人、計178人の方を審査・判定した。		

回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	
〔運営委員会〕 委員長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司 〔運営検討部会〕 部会長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員 相本まどか、雨森正洋、伊吹宗人、中川勝、 高橋さゆり、山本浩子、濱上洋、雑賀正明、 海津千津子、大脇和子、呉竹幸子、榊原尊、柴田博文、 音居玲子、芳沢艶子 委員 林優、小室太郎、北村淳、徳田敏子、福永武浩、 田中正樹、嶋吉夫、芳沢艶子、尾崎幸子、遠藤邦枝、 高橋祐子、中嶋和美	事務局 地域医療事業部 地域医療がん対策推進事務室
活動内容 〔運営委員会〕 平成27年度第1回委員会 平成27年8月20日（木） (1)回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会の状況について (2)回復期リハビリテーション病棟の運営状況について (3)リハビリテーションの実施状況について (4)リハビリテーションの質的評価について 〔運営検討部会〕 平成27年度第1回部会 平成27年8月5日（水） (1)事業報告 ・回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会報告 ・回復期リハビリテーション病棟運営報告 ・リハビリテーション実施報告 ・回復期リハビリテーション病棟収支報告 (2)リハビリテーションの質的評価 (3)平成27年度回復期リハビリテーション病棟運営について		

緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	
委員長： 外科部長 花木宏治	委員 伏木雅人、野口哲男、田久保康隆、江藤謹司、家森正志、河野智一、久保田理恵、藤井三和子、長谷川博美、伊藤大輝、橋本祥子、芳沢艶子、山岸美紀、宮崎恵子 准委員 森田幸代、鈴木圭太	事務局 がん対策推進事業部 がん対策推進室
活動内容 1. 緩和ケアチーム回診の実施（毎週火曜日：チーム回診、毎週金曜日：チーム看護師回診） 2. 委員会の開催（1回） 平成27年7月3日 3. 責任者・担当者会議の開催 平成27年10月16日、12月11日、平成28年3月29日 4. 緩和ケア研修会、緩和ケア講演会の開催 ○緩和ケア研修会：平成27年11月7日、8日 修了者28名 ○緩和ケア講演会 - 第1回 平成27年6月4日 参加者：63名 開放型病床生涯教育研修会 共同開催 「緩和ケア他職種連携カンファレンス」～地域のみinnでカフェトーク～ 第1部 講師：畑野秀樹 氏 包括ケアセンターいぶきセンター長 第2部 グループワーク - 第2回 平成27年12月10日 参加者：82名 ながまいnet：湖北地域他職種連携研究会 共同開催 「緩和ケアを切れ目なくつなげるために」 話題提供：がん性疼痛認定看護師 河野智一 グループワーク - 第3回 平成28年2月12日 参加者：52名 「臨床におけるコミュニケーションで大切なこと」 講師：がん対策推進室 臨床心理士 鈴木圭太 講師：S C U 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 杉山慎太郎 ○世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座 滋賀県がん診療連携協議会緩和ケア推進部会 平成27年10月10日 参加者：58名 「大切」なことをinnで話そう ～がんとわかったときからの緩和ケアどう取り組む？どう受ける？～ 講演：加藤那津 氏（若年性がん患者団体STAND UP！） 5. 緩和ケア総合外来 診療数 のべ13件 6. 緩和ケア地域連携クリニカルパス 連携3件 7. がんリハビリテーション 介入件数延べ単位 3367単位		

がん対策推進委員会	がん治療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	
委員長： 副院長・診療局長 （外科系）・がん対策推進事業部管理監 神田 雄史	委員 林 嘉彦、田久保康隆、東出俊一、花木宏治、伏木雅人、寺村早貴、村上義和、徳田敏子、柴田博文、堀江智美、芳沢艶子、山岸美紀、新川君代	事務局 がん対策推進事業部 がん対策推進室
活動内容 【委員会の開催】(3回) 第1回 平成27年7月10日(金) ・がん診療連携拠点病院現況報告について ・緩和ケア研修会の受講率向上について ・P D C Aサイクルの実施について ・各部署・委員会からの報告 ・市立長浜病院がんフォーラム2015並びにがんフォーラム2016について 第2回 平成27年8月28日(金) ・市立長浜病院がんフォーラム2015開催結果並びにがんフォーラム2016開催計画について 第3回 平成28年2月25日(木) ・がんフォーラム2016の企画について ・がん教育の推進について ・P D C Aサイクル中間評価について ・ホームページの更新について ◆がんフォーラム2015関係者協議 平成27年4月30日(木) 各部門の映像視聴 平成27年5月28日(木) 作成映像の発表 平成27年6月24日(水) 作成映像の発表 平成27年7月 6日(水) 当日の予行演習 平成27年7月22日(水) タイムスケジュール、スタッフ役割分担		

化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法を用いる抗悪性腫瘍剤(化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療薬など)の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	
委員長： 外科責任部長 東出俊一	委員 亀崎洋、野口哲男、塚晴俊、矢田善弘、野田恵加、大岡千寿子、寺村早貴、吉川敬子、酒谷ひろみ、山岸美紀	事務局 がん対策推進事業部 がん対策推進室
活動内容 1. 委員会の開催（2回） - 第1回 平成27年7月17日(金) - 第2回 平成28年3月15日(火) 2. 化学療法研修会の開催 - 平成27年10月8日(木) 参加者：76名 - テーマ：「がんの集学的診療」 - 講師：京都大学大学院医学研究科特定准教授 石黒 洋 先生 3. 曝露予防対策ガイドラインの改訂について 4. レジメン登録審査小委員会が審査したレジメンの確認		

レジメン登録審査小委員会	院内で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	
委員長： 外科責任部長 東出俊一	委員 亀崎洋、野口哲男、塚晴俊、野田恵加、糟谷憲邦、中多真理、大岡千寿子、寺村早貴、酒谷ひろみ、山岸美紀、河野真弓	事務局 薬剤部
活動内容 1. 小委員会設置(化学療法委員会設置要綱第7条) 2. レジメン登録数 平成27年度 16件 4月：0件 5月：3件 6月：0件 7月：0件 8月：4件 9月：0件 10月：0件 11月：2件 12月：1件 1月：1件 2月：1件 3月：4件 - うち、添付文書通りの登録 1件 - 患者限定 3件 - 倫理委員会へ申請後登録 2件		

看護局 看護管理者会	中間管理者として病院の運営・看護局方針をよく理解して業務の改善向上につとめるとともに看護業務を円滑に進めていくために補佐・係長と主任間のコミュニケーションと他部門との意見調整をはかる	
委員長 看護局長 松田和子	委員 係長級以上の者	事務局 看護局
活動内容： 4月：＜平成28年度に関する資料説明＞看護局組織機能図、地域医療事業部体制、業務分掌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護局看護管理者会計画、看護局事業計画、看護管理者における目標管理に関する書類、目標管理、教育委員会年間教育計画、臨床実習年間計画、会議・委員会・プロジェクト、看護管理者会当番表、師長会会計、部署の会議の持ち方、緊急連絡網、SNSにおける個人情報など取り扱いブック抄読会、夜勤勤務時間の休憩・休息时间、薬剤科からのお話、小グループ活動 5月：目標管理スケジュール、教育研修計画、認定・専門看護師報告体制、近畿厚生局適時調査、今後のスケジュール前回の指摘事項とその後の対応策の変更確認、今回の準備に向けて、提出物とチェックリストの説明、採血トレー洗浄・返却、小グループ活動ーグループ活動発表、入院ビデオ、病棟巡回、巡回の結果、看護管理規定マニュアル入れ換え、マニュアル変更箇所 6月：病棟巡回、巡回の結果と当日までの対応策（各セクション）、当日の対応、小グループ活動、適時調査結果報告と今後の課題、教育協力費26年度決算報告、27年度目標管理セクション発表・委員会等発表 7月：小グループ発表会、全体討議、研修後のアンケート、目標管理の中での研修の成果確認 9月：診療支援棟見学、診療支援棟運用(手術室、ICU、救急外来、放射線科、当直室)診療支援棟引越し作業、新人研修から超過勤務、組合アンケート結果、退院支援計画表の変更、身だしなみ、継続看護情報交換用紙 10月：目標管理中間報告 「働きやすい職場」作り、業務改善シート報告、看護管理者としての労務管理へのとりくみ姿勢全体発表、その他 11月人事異動発表、研修前挨拶 11月：診療支援棟（OP、ICU）・救急体制、外来の運営、現状の運用からの課題、全体周知、主任会からの報告・依頼病棟・外来連絡用紙、患者総合支援センター（仮）の概容案、外来～病棟の連携についてGW、次期システムに係るプログラム改修要望 12月：患者総合支援センター（入退院支援センター）の体制案についてGW、退院支援ルール策定評価検討事業にかかる情報交換会の意見徴収 GW、退院支援用紙の取り扱いについて、病棟・外来連絡用紙について次年度目標管理スケジュールについて、保健所立ち入り監査について 1月：看護局長講話より看護局長の方針を理解する、平成28年度看護局目標を作成する.SWOT分析マトリックス表を用いて積極的攻勢・段階的施策・差別的戦略・専守防衛について、分析する1. SWOT分析から見えてきた課題から、看護局目標を決定する2. 重点目標を決定する、平成28年新人看護職員研修について 2月：病床利用の問題について協議し目標を決定する、目標の共有と重点目標を決定する、成果目標の設定事異動、連絡事項、目標管理、小グループ活動アンケート、セクショントピックス、売店商品アンケート、地方公務員、標準看護計画、目標管理 3月：看護管理者発表会、目標管理、会議・委員会・プロジェクトについて 小グループ活動について 職員のモラルについて最近の現状と課題 当面の対応策（新年度を迎えるにあたって） GW、管理運営会議報告 診療報酬改訂について 職員のモラルについて 当面の対応策（新年度を迎えるにあたって）各セクション発表 環境整備 （古い病院・看護局マニュアルや書類など回収など）		

看護局主任会	①看護実践の責任者としての資質を高め、現状の問題解決に積極的に取り組み職場の活性化を図る ②医療監査における課題抽出と解決 ③病院機能評価受審を意識した取り組みを行う	
委員長 伊藤雅子	委員 新木貴枝、三枝弘美、坪井和子、森中かおり、西堀靖子、岡島智恵子、谷口智子、北村美幸、岡部奈緒、西島好子、久保田照巳、河嶋智子、岸田智恵子、小川由美子、椎葉千津子、沖田小百合、田附容子、山本理恵、山下智子	事務局 看護局
活動内容： 5月 自己紹介、今年度抱負発表 今年度の取り組み内容検討GW 6月 今年度成果目標、行動計画発表GW 7月・9月・11月・1月 業務改善、退院調整グループごとに活動 時間外削減として業務改善、退院調整の2つのテーマにしぼり取り組みを行った。業務改善では残務調整シートを用いて時間管理の意識づけを呼びかけ、境界時間の入院業務、入力業務のスリム化などは病棟ごとに超過勤務時間の認識の誤差があることがわかり実践的な取り組みはできなかったが主任の職務としての認識は高まった。 退院調整では外来病棟との情報交換用紙の様式と基準を改正した。また退院スクリーニングシートの理解を深めるためフローチャートの改正、Q&Aを作成しより統一した基準でスクリーニングができることに努めた。		

看護局固定リーダー会	問題提起し解決を図り、スタッフの質的向上とリーダーの自己啓発を推進する	
委員長 看護係長 中村寛子	委員 阪東美加、伊藤優子、大西里美、坂口智洋、東野千佳、八尾さおり、棕田悦子、浅井知美、北川清子、斉藤敬子、奥村佳苗 近藤妙子、野崎有美、西澤早苗、高田憲明、筒井寛一	事務局 看護局
活動内容： 5月12日：今年度活動計画の共有 「コテリ」活動評価表について説明 グループワーク（年間活動について） 7月 6日：グループ討議（問題点・工夫点・手法など） 周知徹底について主任・師長に提案 グループ討議（事例検討の活動の共有、中間評価） 9月 7日：「周知徹底」について活動評価 事例検討（現状の意見交換と共有） 11月 2日：グループ討議（チーム内の周知徹底について意見交換）各部署事例検討の共有 グループ活動の共有 2月 1日：固定リーダー会活動報告会（各部署 プレゼンテーション）		

看護局看護記録委員会	実践した看護を記録に反映させるために、記録の書式の検討や省略化を推進し、記録の有効な活用を図る。また基準に沿って監査し記録の向上を図る。	
委員長 宮部照美	委員 吉川敬子、西村亜矢子、三ツ橋雅子、中村初美	事務局 看護局
活動内容： 5月18日：昨年度の委員会の活動経過の説明 今年度の活動計画 記録の学習会について検討 7月13日：標準看護計画の診断を看護計画として修正 疾患別看護計画の作成の必要性について協議 9月14日：院外研修（看護診断セミナー）の報告と共有 グループワーク 11月16日：記録監査の結果報告 事例学習会の報告 今後の看護診断研修会について協議 1月18日：レベルIIケーススタディの事例を参考に看護診断研修会の内容を検討 毎月各部署で看護記録の監査を実施し評価を行う		

看護局 退院調整検討会	病棟退院計画リーダーとしてのスキルアップを図り、入院時から患者や家族が安心して在宅に移行できるよう支援し円滑な地域連携を目指す。	
委員長 看護主幹 清水満子	委員 前川純子、伊藤雅子、中川栄子、伊吹誠子	事務局 看護局
活動方針： 1) 退院支援計画チェック表の活用と定着化を行い、対象患者のいる病棟において退院支援カンファレンスが定期的に実施できているか確認 2) スタッフへ退院調整に対する知識を深められるように地域医療連携マニュアルの周知と教育企画研修へ参画 3) 外来⇄病棟連携用紙の活用確認 活動内容： 5月28日 活動計画、目標の共有 退院支援カンファレンスの現状確認 退院支援計画チェック表の修正、確認（6月中） 7月23日 上記カンファレンス現状確認結果報告 修正した退院支援計画チェック表の共有、病棟への周知 退院支援 カンファレンスマニュアル作成 9月24日 カンファレンス数把握 外来病棟連携用紙の把握、修正 研修企画参加 10月、11月 ラダーレベルⅢ、Ⅳ合同継続看護研修参加（アドバイザー） 11月26日 外来病棟連絡用紙修正案確認 カンファレンス数・外来病棟連携用紙活用数確認 1月28日 活動内容目標評価 今後の活動課題共有 今年度の最終評価： ・退院支援チームカンファレンスのあり方について文章化と退院支援計画チェック表の修正を行い、各病棟退院支援カンファレンスを行えている結果から、退院調整への意識付けとカンファレンスの定着化を行うことができたと考える。 ・教育企画研修に企画より参加し、どのように退院調整について理解してもらえるか考えることができた ・退院スクリーニングシートの使用法や外来病棟連携用紙の修正への意見をを行うことができた。連携用紙の記入は病棟ごとのばらつきもあるが少数であったため、今後修正した用紙の活用を行う必要あり 次年度の課題： ・修正した退院支援計画チェック表の必要性を検討 ・修正した連携用紙の活用状況確認、保管場所の検討 ・地域連携室との協働		

褥瘡対策委員会	院内での褥瘡対策を検討・立案し、その効率的な推進を図る	
委員長 形成外科部長 藤林 久輝	委員 井階幸一、田中裕輔、伊藤大貴、中川彩子、西尾多恵、 森田美帆、石崎仁子、中井小百合、笠原みずず	事務局 地域医療事業部
活動内容： 1. 褥瘡回診の実施 ・月2回（第2、4木曜日） のべ276名 2. 褥瘡に関するデータ集約 ・褥瘡有病率 3.29% ・褥瘡推定発生率 1.93% 3. 褥瘡対策備品の整備 ・車いすクッション購入 4. 褥瘡対策専任看護師会の運営 ・院内研修 平成27年12月14日 「褥瘡予防の基礎 ポジショニングについて」		

看護局 新人看護職員研修 委員会	新卒看護師の指導方法を学び、実践から生じた問題を検討し自己啓発に努める	
委員長 看護係長 岸本尚子	委員 山本理恵、牧野茜、北村裕子、上田あかね、中川裕香、 杉山愛、宮崎秀雄、鍋里実、居川真弓、高木ひとみ、 岸本真梨子	事務局 看護局
活動方針 1) 効果的な実践に即した体験型シュミレーション研修ができ、実施結果の評価ができる 2) 中央研修と現場の実践場面を結びつけて、新人看護師の学びの定着化を図り、教育担当者は結果を評価し、次年度の教育に繋がられる 委員会開催日 4月16日、5月21日、7月16日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日、1月21日、2月18日、3月17日		
活動内容 各振り返り月ごとに問題点の明確化と解決策の検討を行った。 指導者研修、新人研修を実施し実施結果の評価を行った。 次年度に向け体験型シュミレーション研修の指導案の作成を行い、研修準備を行った。 勉強会を行い、教育担当者の指導能力の向上に努めた。 新人看護師の出勤時間、休憩・休息時間、情報収集について調査し、労務管理の視点からも改善に努めた。		
今年度の最終評価と次年度の課題 中央研修後の現場実践において経験する機会が少ないものは理解できていても習得度が伸びなかった。看護実践内容によって適切な時期にフォローを行う必要がある。体験型シュミレーション研修は指導案作成ができた。		

看護局 教育委員会	看護の質の向上をめざして、看護職員が専門職業人として生涯にわたる能力開発とキャリア開発を支援するために教育研修の企画・運営・評価を行う	
委員長 看護科長補佐 草野美樹	委員 土川陽子、岸本尚子、毛利由布子、野村規久子、 伊吹理子、森昌美、北村健宏	事務局 看護局
活動内容： 5月 8日：H27年度活動方針について 教育委員会の組織・役割 看護研究発表会について 6月 5日：病棟教育委員の役割と連携について 各レベル別評価ツールの説明 6月研修指導の検討 看護研究発表会の報告 教育マニュアルの差し替え作業 7月 3日：教育面接の進捗状況確認 6月研修報告（褥創・継続看護・救急看護） 7月研修指導の検討（救急看護・レベルⅡ論文・介護過程） 9月 4日：中間評価 7月研修報告（救急看護・レベルⅡ論文・介護過程） 9月研修指導の検討 （看護補助者・レベルⅡ危険薬） 10月2日：9月研修報告（看護補助者・レベルⅡ危険薬・介護過程） 10月研修指導の検討（レベルⅢ、Ⅳ 継続看護・看護倫理・看護研究）新人看護師の時間外勤務について 11月6日：レベルⅡ、Ⅲ、Ⅳの研修報告 新人看護師のメンタルサポートについて 各レベルからの 問題に ついて協議 12月4日：レベルⅡ、Ⅲ、Ⅳ、看護補助者研修報告 レベルⅡ注射ツールについて協議 次年度の課題について 1月 8日：1月2月の研修指導の検討 中央委員・企画委員・病棟委員の役割と業務について振り返り 3月 4日：各レベルツール評価結果について 次年度各レベルツール見直しと説明会について 次年度研修計画案の検討		

看護局 基準検討会	提供する看護を一定の基準に保障するために、看護基準・看護手順の作成や見直しを行う。 また、個々の職員が活用し実践しているか監査し指導する。	
委員長 看護係長 寺田泰子	委員 堀江恵子、中川裕香、葛城綾那、林ひろ子、吉川敬子	事務局 看護局
活動方針 1) 標準看護計画の新規作成 2) 標準看護計画の運用を作成し、看護実践に活かす 3) 現場の要望に応じて看護手順を改正する(適宜)		
活動内容 5月 26日 活動方針の共有と活動計画の検討 中央委員の役割分担決定 7月 13日 記録委員会と合同会議 看護展開についての意識改革と標準看護計画の運用・記録方法などについて協議 新規作成リスト作成 9月 29日 標準看護計画作成における問題点の抽出 11月 24日 標準看護計画作成進捗状況確認 術前チェックリスト全科共通に向けて 2月 23日 年間評価と次年度への課題抽出 ヘパリンロック・Aライン・シーツ交換・一時的ペースメーカ手順改正		
今年度の最終評価と次年度の課題 標準看護計画作成が主な活動となった。当初は、年度内に使用し、評価まで行う予定であったが、作成とその修正に時間を要したため、使用には至らなかった。引き続き、標準看護計画の作成と活用を行っていき、使用状況の把握と問題の抽出等評価していく。		

看護局 看護師確保プロジェクト	看護師定着・確保のために、病院・看護局の情報提供システムを見直し、看護師採用事業に協力する	
委員長 看護係長 中畠和美	委員 尚永直哉、丸本麻貴実、早川由梨	事務局 看護局
活動方針 1) 病院説明会等で病院の魅力や特徴を効果的に説明する 2) 看護局のホームページの更新、各病棟紹介の更新し看護局の情報発信を行う 3) 接遇を強化し明るく魅力あるスタッフ育成を行う		
活動内容 4月13日 プンナビ京都 病院説明会 6月11日 活動目標・方針の共有と活動計画説明・ホームページの更新依頼・中央委員の病棟担当の決定 6月28日 7月12日 病院説明会にて各病棟見学・先輩と語る会実施 9月10日 身だしなみチェック項目の修正と巡回（16セクション）巡回結果検討 10月 12月 各病棟委員にて身だしなみチェック強化月間実施 1月14日 身だしなみチェック強化月間実施報告 2回目身だしなみチェック巡回実施・内容検討		
今年度の最終評価と次年度の課題 ホームページの更新については各病棟とも実施できた。身だしなみチェックは巡回と各病棟毎の強化月間にてスタッフの意識向上に繋がったが、継続には至らず、定期的なチェック・巡回を今後も継続し実施していく必要がある。		

診療情報・図書室 管理運営委員会	当院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	
委員長 老年・高血圧内科 林優	委員 神田雄史、清水久雄、上津昌広、村田巨樹、 大岡千寿子、北村淳、桐畑千尋、弓削悦子、 吉川敬子、松山桂士、尾崎幸子、嶋吉夫、 川瀬由美子、番野晶子	事務局 診療情報支援室
活動内容 第1回 平成27年7月6日（月） ○協議事項 ①電子カルテ登録病名の削除について ②災害時の診療録について ③電子カルテ記事のコピー部分について ④薬等のアレルギーについての問診票（歯科口腔外科）について ⑤入院診療計画書について ⑥入院診療録の監査について 第2回 平成27年10月27日（火） ○協議事項 ①スキャンセンター運用規程の変更について ②入院診療計画書の文言について ③電子カルテ記事のコピー部分について ④外出外泊許可申請書について ⑤入院診療録の監査結果について ⑥その他 第3回 平成28年2月25日（木） ○協議事項 ①個室使用申込書、外部医師用診療録閲覧依頼書の様式変更について ②診療情報支援室マニュアルの作成について ③システムトラブル時の病名修正について ④入院診療録の監査結果について ⑤その他		

V 経営状況

平成27年度決算状況

(1)経営収支比較

(単位：千円)

区 分		平成27年度	平成26年度	増 減	増減率
収 入	1 入 院 収 益	8,021,068 ^{千円}	8,065,161 ^{千円}	△ 44,093 ^{千円}	99.5 [%]
	入院診療収入	7,778,398	7,822,761	△ 44,363	99.4
	給食料収入	242,670	242,400	270	100.1
	2 外 来 収 益	3,589,051	3,595,385	△ 6,334	99.8
	3 その他医業収益	199,790	214,550	△ 14,760	93.1
	4 受取利息配当金	23,021	23,981	△ 960	96.0
	5 補 助 金	38,891	40,064	△ 1,173	97.1
	6 負担金交付金	493,145	565,604	△ 72,459	87.2
	7 患者外給食収益	2,160	2,369	△ 209	91.2
	8 院内保育所収益	6,953	7,285	△ 332	95.4
	9 院内売店収益	79,342	82,469	△ 3,127	96.2
	10 訪問看護ステーション収益	65,450	67,214	△ 1,764	97.4
	11 長期前受金戻入	75,051	68,905	6,146	108.9
	12 その他医業外収益	90,100	107,316	△ 17,216	84.0
	収 入 合 計	12,684,022	12,840,303	△ 156,281	98.8
支 出	13 給 与 費	6,881,184	6,538,827	342,357	105.2
	給 料	2,429,595	2,403,596	25,999	101.1
	諸 手 当	1,860,499	1,845,709	14,790	100.8
	賃 金	1,092,381	975,681	116,700	112.0
	そ の 他	1,498,709	1,313,841	184,868	114.1
	14 材 料 費	3,368,663	3,337,114	31,549	100.9
	薬 品 費	1,689,480	1,725,547	△ 36,067	97.9
	診 療 材 料 費	1,548,517	1,494,199	54,318	103.6
	給 食 材 料 費	98,244	93,367	4,877	105.2
	医療消耗備品費	32,422	24,001	8,421	135.1
	15 経 費	1,510,852	1,426,772	84,080	105.9
	16 支払利息及び企業債取扱諸費	277,612	297,472	△ 19,860	93.3
	17 長期前払消費税償却	24,334	24,332	2	100.0
	18 患者外給食材料費	2,200	2,360	△ 160	93.2
	19 院内保育所費	42,364	44,147	△ 1,783	96.0
	20 院内売店費	72,225	74,436	△ 2,211	97.0
	21 訪問看護ステーション費	70,124	61,879	8,245	113.3
	22 そ の 他 の 支 出	1,260,179	1,351,239	△ 91,060	93.3
	23 特 別 損 失	137,161	2,233,801	△ 2,096,640	6.1
	支 出 合 計	13,646,898	15,392,379	△ 1,745,481	88.7

(2)貸借対照表

(平成28年3月31日)

借 方			貸 方	
科 目	金 額		科 目	金 額
		円		円
固 定 資 産		13,719,477,043	固 定 負 債	13,210,509,768
有形固定資産		13,317,310,744	企 業 債	10,744,472,651
土 地		2,975,507,175	引 当 金	2,466,037,117
建 物	17,073,423,116		退職給与引当金	2,254,068,966
建物 減価償却累計額	△ 9,379,102,591	7,694,320,525	修繕引当金	211,968,151
構 築 物	668,992,728		流 動 負 債	2,717,285,842
構築物 減価償却累計額	△ 343,315,757	325,676,971	企 業 債	1,223,115,434
器械及び備品	6,413,592,716		未 払 金	996,225,772
器械及び備品 減価償却累計額	△ 4,097,663,377	2,315,929,339	引 当 金	429,218,808
車 両	27,304,457		その他流動負債	68,725,828
車両 減価償却累計額	△ 23,872,971	3,431,486	繰 延 収 益	701,543,440
建設仮勘定		2,445,248	長 期 前 受 金	1,384,452,020
投 資		402,166,299	収益化累計額	△ 682,908,580
長期貸付金		148,556,000	資 本 金	7,320,672,390
長期前払消費税		223,267,299	剰 余 金	△ 1,903,791,059
その他投資		30,343,000	資 本 剰 余 金	68,688,152
流 動 資 産		8,326,743,338	欠 損 金	1,972,479,211
現 金 預 金		4,260,242,164	減 債 積 立 金	168,300,000
未 収 金		2,160,043,613	建設改良積立金	1,313,000,000
貸倒引当金		△ 30,555,565	当年度未処理 欠 損 金	3,453,779,211
有 価 証 券		1,899,360,000		
貯 蔵 品		37,653,126		
合 計		22,046,220,381	合 計	22,046,220,381

(3)経営状況①

(単位：千円)

決 算 状 況	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総 収 益	12,684,022	12,840,304	12,207,809	11,907,860	12,583,911	12,359,818
經常収益	12,684,022	12,840,304	12,207,809	11,907,860	12,583,911	12,359,243
医業収益	11,809,909	11,875,096	11,265,816	10,910,243	11,396,623	11,047,264
料金収入	11,610,119	11,660,546	11,043,255	10,664,373	11,116,438	10,768,488
他会計繰入金	493,145	565,604	580,362	577,849	839,923	998,068
特別利益	-	-	-	-	-	575
総 費 用	13,646,898	15,392,378	12,290,100	12,005,320	12,126,119	11,383,266
經常費用	13,509,737	13,158,577	12,277,266	11,996,127	12,068,637	11,383,266
医業費用	12,598,775	12,212,413	11,517,107	11,173,910	11,304,794	10,641,596
職員給与費	6,881,184	6,538,828	6,272,176	6,322,182	6,282,659	5,960,387
材料費	3,368,663	3,337,115	2,957,873	2,760,745	2,821,703	2,496,004
減価償却費	759,617	871,347	815,568	590,558	731,440	744,590
支払利息	277,612	297,472	317,658	334,230	354,947	373,455
特別損失	137,161	2,233,801	12,834	9,193	57,482	-
純利益(損失)	△ 962,876	△ 2,552,074	△ 82,291	△ 97,460	457,792	976,552
累積欠損金	3,453,779	2,490,904	0	0	0	27,837

経営状況②

経 営 指 標	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総収支比率%	92.94	83.42	99.33	99.19	103.78	108.58
經常収支比率%	93.89	97.58	99.43	99.26	104.27	108.57
医業収支比率%	93.74	97.24	97.82	97.64	100.81	103.81
他会計繰入金対医業収益比率%	4.18	4.76	5.15	5.30	7.37	9.03
職員給与費対医業収益比率%	58.27	55.06	55.67	57.95	55.13	53.95
材料費対医業収益比率%	28.52	28.10	26.26	25.30	24.76	22.59
病床数 (年度末現在)	一 般	616	624	624	676	676
	結核精神伝染					
	計	616	624	624	676	676
病床利用率%	65.0	63.9	63.4	61.6	70.4	67.6
入院患者数 (人)	年延数	146,568	145,606	144,426	140,258	159,766
	1日平均	400	399	396	384	436
外来患者数 (人)	年延数	262,439	271,703	275,051	297,823	325,854
	1日平均	1,080	1,114	1,127	1,216	1,335
外来入院比率%	179.06	186.60	190.44	212.34	203.96	194.29
職員1人 1日当たり 患者数(人)	医師	入院	4.5	4.3	4.3	4.5
		外来	12.3	12.0	12.1	14.1
	看護師	入院	0.8	0.8	0.7	0.9
		外来	2.1	2.1	2.1	2.3
患者1人1日 当たり診療収入 (円)	入 院	54,726	55,390	53,969	53,768	50,037
	外 来	13,676	13,233	11,812	10,486	9,582
100床当たり 職 員 数 (人)	医 師	14.3	14.9	14.9	13.8	12.9
	看護部門	84.1	84.0	84.1	83.0	76.0
	全職員	163.0	163.1	161.5	157.4	142.9
診療収入 (千円)	入 院	8,021,068	8,065,161	7,794,477	7,541,421	7,994,199
	外 来	3,589,051	3,595,385	3,248,778	3,122,952	3,122,239

(4)資本的収入及び支出 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

収 入

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的収入	3,039,714,000	1,000,000	3,040,714,000	0	0	3,040,714,000
第1項 企業債	2,356,000,000	0	2,356,000,000	0	0	2,356,000,000
第2項 出資金	666,504,000	0	666,504,000	0	0	666,504,000
第3項 補助金	7,200,000	0	7,200,000	0	0	7,200,000
第4項 寄附金	10,000,000	1,000,000	11,000,000	0	0	11,000,000
第5項 投資返戻金	10,000	0	10,000	0	0	10,000

決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円	円	
3,005,754,560	△ 34,959,440	
2,314,000,000	△ 42,000,000	
666,504,000	0	
850,560	△ 6,349,440	
11,000,000	0	
13,400,000	13,390,000	

支 出

区 分	予 算 額						
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	4,852,084,000	1,000,000	0	4,853,084,000	0	0	4,853,084,000
第1項 建設改良費	3,685,979,000	1,000,000	△ 3,842	3,686,975,158	0	0	3,686,975,158
第2項 企業債償還金	1,115,635,000	0	0	1,115,635,000	0	0	1,115,635,000
第3項 投 資	50,460,000	0	0	50,460,000	0	0	50,460,000
第4項 補助金消費税返還金	10,000	0	3,842	13,842	0	0	13,842

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,002,557,815円(寄附金未充当分550,000円除く)は、損益勘定留保資金で補てんした。

決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継 続 費 通 繰 越 額	合 計		
円	円	円	円	円	円
4,008,312,375	745,139,360	0	745,139,360	99,632,265	
2,864,054,350	745,139,360	0	745,139,360	77,781,448	(212,134,096)
1,115,634,183	0	0	0	817	
28,610,000	0	0	0	21,850,000	
13,842	0	0	0	0	

() は、仮払消費税

VI 各種統計資料

1. 患者状況

(1) 一般病棟科別入院患者数

診療科名	27年度初 人	入 院 人	転科増減 人	退 院 人	27年度末 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	51	802	-13	788	52	18,918	51.7	16.3	23.8
神 経 内 科	2	124	-1	116	9	2,837	7.8	2.5	23.6
呼吸器内科	27	671	-28	644	26	9,489	25.9	8.2	14.4
消化器内科	6	417	-4	412	7	2,103	5.8	1.8	5.1
循環器内科	26	1,007	-45	969	19	7,847	21.4	6.8	7.9
小 児 科	13	956	-2	957	10	5,552	15.2	4.8	5.8
外 科	21	662	-11	654	18	9,664	26.4	8.3	14.7
呼吸器外科	15	446	-6	441	14	4,927	13.5	4.3	11.1
整 形 外 科	69	1,037	-65	964	77	24,558	67.1	21.2	24.5
形 成 外 科	2	29	1	30	2	285	0.8	0.3	9.7
脳神経外科	35	475	-69	412	29	9,551	26.1	8.2	21.5
心臓血管外科	20	329	22	355	16	5,568	15.2	4.8	16.3
泌 尿 器 科	10	396	2	399	9	3,905	10.7	3.4	9.8
産 婦 人 科	27	714	1	721	21	7,710	21.1	6.7	10.7
眼 科	2	461	3	460	6	1,256	3.4	1.1	2.7
耳鼻咽喉科	5	185	-11	177	2	1,162	3.2	1.0	6.4
歯科・歯科口腔外科	2	223	0	222	3	565	1.5	0.5	2.5
合 計	333	8,934	-226	8,721	320	115,897	316.7	100	13.1

1日平均患者数は、診療日数366日で除しています。

表には、人間ドックは含んでいません。

在院日数は、延患者数/（入院＋退院）×2で算定しています。

療養病棟は、含んでいません（（2）で掲載）。

(2) 療養病棟科別入院患者数

診療科名	27年度初 人	入 院 人	転 入 人	転 出 人	退 院 人	27年度末 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科			8		6	2	190	0.5	0.9	27.1
神 経 内 科	3	1	10	6	22	7	2,132	5.8	9.9	109.3
呼吸器内科	13	48	28	1	71	15	5,156	14.1	23.8	69.7
消化器内科			6		6		101	0.3	0.5	16.8
循環器内科	2		9		10	1	408	1.1	1.9	42.9
小 児 科	1		1	1	2		69	0.2	0.3	34.5
外 科	3		15		14	4	657	1.8	3.0	45.3
呼吸器外科			15		14	1	713	2.0	3.3	49.2
整 形 外 科	20	26	74	7	100	13	5,874	16.1	27.2	56.8
脳神経外科	17	31	72	4	76	20	5,802	15.9	26.8	63.4
心臓血管外科			5		4	1	363	1.0	1.7	80.7
産 婦 人 科			2		2		159	0.4	0.7	79.5
泌 尿 器 科			1	1				0.0	0.0	0.0
合 計	59	106	246	20	327	64	21,624	59.1	100	61.9

1日平均患者数は、診療日数366日で除しています。

在院日数は、延患者数/（入院＋転入＋退院＋転出）×2で算定しています。

(3) 科別外来患者数

診療科名	新来患者数 人	1日平均 人	再来患者数 人	1日平均 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %
内 科	1,281	5.3	60,838	249.3	62,119	255.6	23.7
神 経 内 科	776	3.2	4,046	16.6	4,822	19.8	1.8
呼吸器内科	1,017	4.2	8,940	36.6	9,957	41.0	3.8
消化器内科	613	2.5	8,007	32.8	8,620	35.5	3.3
循環器内科	941	3.9	16,973	69.6	17,914	73.7	6.8
小 児 科	389	1.6	11,792	48.3	12,181	50.1	4.6
外 科	1,194	4.9	12,810	52.5	14,004	57.6	5.3
呼吸器外科	200	0.8	4,123	16.9	4,323	17.8	1.6
整 形 外 科	1,841	7.5	34,318	140.6	36,159	148.8	13.8
形 成 外 科	405	1.7	2,997	12.3	3,402	14.0	1.3
脳神経外科	463	1.9	6,746	27.6	7,209	29.7	2.7
心臓血管外科	334	3.4	2,833	28.6	3,167	32.0	1.2
皮 膚 科	1,065	4.4	4,586	18.8	5,651	23.3	2.2
泌 尿 器 科	879	3.6	12,740	52.2	13,619	56.0	5.2
産 婦 人 科	856	3.5	14,066	57.6	14,922	61.4	5.7
眼 科	928	3.8	9,957	40.8	10,885	44.8	4.1
耳鼻咽喉科	1,535	6.3	10,757	44.1	12,292	50.6	4.7
放 射 線 科	186	0.8	8,928	36.6	9,114	37.5	3.5
麻 酔 科	52	1.1	89	1.9	141	2.9	0.1
歯科・歯科口腔外科	1,285	5.3	10,653	43.7	11,938	49.1	4.5
救 急 科	15,901	43.6					
合 計	32,141	131.7	246,199	1,009.0	262,439	1,080.0	100

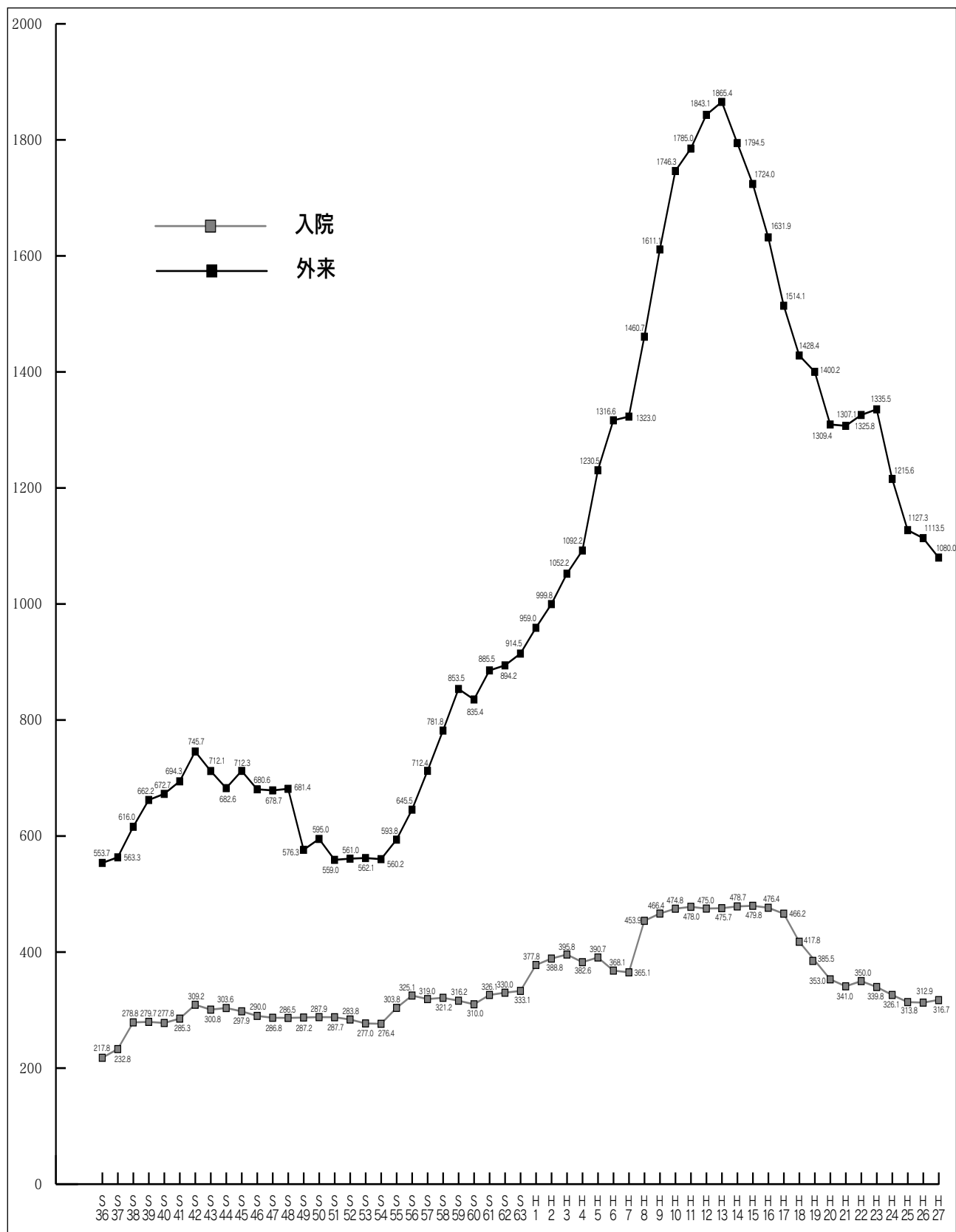
ただし、心臓血管外科は、火曜日、金曜日の外来診療日数99日で除しています。

麻酔科は、火曜日の外来診療日48日で除しています。

一日平均患者数は、診療日数243日で除しています。

新来患者数は、当該診療科を初めて受診した患者数で示しています。

(4) 入院外来患者数の年次推移（一般病棟）



(5)－1 入院年代別患者数統計表（616床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	224	209	169	167	195	123	136	240	285	142	269	260	2,419
(%)	2.0	1.9	1.6	1.4	1.7	1.1	1.2	2.0	2.4	1.3	2.2	2.2	1.8
1 歳	59	52	47	88	51	72	104	80	106	50	56	48	813
(%)	0.5	0.5	0.4	0.8	0.4	0.7	0.9	0.7	0.9	0.4	0.5	0.4	0.6
2歳～ 5歳	95	109	91	97	111	155	163	145	189	81	100	114	1,450
(%)	0.8	1.0	0.8	0.8	1.0	1.4	1.4	1.2	1.6	0.7	0.8	0.9	1.1
6歳～ 9歳	33	37	30	49	77	43	26	58	62	36	102	37	590
(%)	0.3	0.3	0.3	0.4	0.7	0.4	0.2	0.5	0.5	0.3	0.8	0.3	0.4
10歳～14歳	32	71	85	30	64	39	67	44	43	27	44	71	617
(%)	0.3	0.7	0.8	0.3	0.6	0.4	0.6	0.4	0.4	0.2	0.4	0.6	0.4
15歳～19歳	41	36	21	32	92	117	75	54	78	66	74	36	722
(%)	0.4	0.3	0.2	0.3	0.8	1.1	0.7	0.5	0.7	0.6	0.6	0.3	0.5
20歳～29歳	247	206	302	361	338	377	276	281	308	269	271	255	3,491
(%)	2.2	1.9	2.8	3.1	3.0	3.4	2.4	2.4	2.6	2.4	2.2	2.1	2.5
30歳～39歳	617	567	473	484	531	460	349	449	451	531	657	632	6,201
(%)	5.5	5.2	4.3	4.2	4.6	4.2	3.0	3.8	3.8	4.7	5.4	5.2	4.5
40歳～49歳	443	434	405	475	619	482	413	408	424	261	369	356	5,089
(%)	4.0	4.0	3.7	4.1	5.4	4.4	3.6	3.5	3.6	2.3	3.1	3.0	3.7
50歳～59歳	868	629	657	618	682	584	614	760	806	767	750	789	8,524
(%)	7.7	5.8	6.0	5.3	6.0	5.3	5.3	6.5	6.8	6.8	6.2	6.5	6.2
60歳～64歳	751	859	864	1,052	885	817	729	618	823	810	687	589	9,484
(%)	6.7	7.9	7.9	9.1	7.7	7.4	6.3	5.3	7.0	7.2	5.7	4.9	6.9
65歳～69歳	1,151	1,092	1,337	1,530	1,305	929	1,044	1,283	984	1,034	1,360	1,554	14,603
(%)	10.3	10.0	12.3	13.2	11.4	8.4	9.1	10.9	8.3	9.2	11.2	12.9	10.6
70歳～79歳	2,997	3,219	3,160	3,042	2,762	3,086	3,462	3,078	3,109	3,056	3,162	3,145	37,278
(%)	26.7	29.5	29.0	26.2	24.1	28.0	30.1	26.2	26.3	27.3	26.1	26.1	27.1
80歳～	3,647	3,379	3,239	3,571	3,740	3,747	4,052	4,248	4,157	4,083	4,212	4,165	46,240
(%)	32.5	31.0	29.8	30.8	32.7	34.0	35.2	36.2	35.2	36.4	34.8	34.6	33.6
合 計	11,205	10,899	10,880	11,596	11,452	11,031	11,510	11,746	11,825	11,213	12,113	12,051	137,521
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成26年度	10,974	11,421	11,241	11,043	11,380	10,647	11,671	11,398	11,510	11,185	11,387	12,462	136,319

*療養は含まれています。

*ドックは含まれていません。

*平成27年4月1日より、旧624床から、許可病床数616床（うち、一般病棟512床）にて変更届出しています。

(5)ー2 入院年代別患者数統計表 (512床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	224	209	169	167	195	123	136	240	285	142	269	260	2,419
(%)	2.4	2.3	1.8	1.7	2.0	1.3	1.4	2.4	2.9	1.5	2.6	2.6	2.1
1 歳	59	52	47	88	51	72	104	80	106	50	56	48	813
(%)	0.6	0.6	0.5	0.9	0.5	0.8	1.1	0.8	1.1	0.5	0.5	0.5	0.7
2歳～ 5歳	95	109	91	97	111	155	163	145	189	81	100	114	1,450
(%)	1.0	1.2	1.0	1.0	1.1	1.7	1.7	1.4	1.9	0.9	1.0	1.1	1.3
6歳～ 9歳	33	37	30	49	77	43	26	58	62	36	102	37	590
(%)	0.4	0.4	0.3	0.5	0.8	0.5	0.3	0.6	0.6	0.4	1.0	0.4	0.5
10歳～14歳	32	71	85	30	64	39	67	44	43	27	44	71	617
(%)	0.3	0.8	0.9	0.3	0.7	0.4	0.7	0.4	0.4	0.3	0.4	0.7	0.5
15歳～19歳	37	36	21	32	92	117	75	27	47	59	74	36	653
(%)	0.4	0.4	0.2	0.3	0.9	1.3	0.8	0.3	0.5	0.6	0.7	0.4	0.6
20歳～29歳	247	206	302	350	295	347	245	251	297	269	271	255	3,335
(%)	2.6	2.3	3.3	3.5	3.0	3.8	2.5	2.5	3.0	2.9	2.7	2.5	2.9
30歳～39歳	595	567	473	465	500	430	318	419	432	531	655	632	6,017
(%)	6.4	6.2	5.1	4.7	5.1	4.7	3.3	4.1	4.3	5.7	6.4	6.2	5.2
40歳～49歳	413	410	405	467	562	392	343	344	365	247	369	296	4,613
(%)	4.4	4.5	4.4	4.7	5.8	4.3	3.6	3.4	3.7	2.6	3.6	2.9	4.0
50歳～59歳	714	568	576	522	591	524	512	692	766	701	638	626	7,430
(%)	7.6	6.3	6.3	5.3	6.1	5.7	5.3	6.8	7.7	7.5	6.2	6.2	6.4
60歳～64歳	576	708	720	919	756	737	645	539	736	701	548	527	8,112
(%)	6.2	7.8	7.8	9.3	7.8	8.0	6.7	5.3	7.4	7.5	5.4	5.2	7.0
65歳～69歳	983	821	1,072	1,282	1,122	812	974	1,237	902	925	1,254	1,387	12,771
(%)	10.5	9.0	11.7	13.0	11.5	8.8	10.1	12.2	9.0	9.9	12.3	13.7	11.0
70歳～79歳	2,445	2,587	2,598	2,549	2,371	2,674	3,009	2,683	2,555	2,490	2,615	2,660	31,236
(%)	26.2	28.5	28.3	25.8	24.3	29.1	31.2	26.5	25.6	26.5	25.6	26.3	27.0
80歳～	2,882	2,700	2,606	2,867	2,964	2,717	3,034	3,365	3,182	3,129	3,220	3,175	35,841
(%)	30.9	29.7	28.3	29.0	30.4	29.6	31.4	33.2	31.9	33.3	31.5	31.4	30.9
合 計	9,335	9,081	9,195	9,884	9,751	9,182	9,651	10,124	9,967	9,388	10,215	10,124	115,897
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成26年度	9,004	9,436	9,423	9,262	9,645	8,799	9,783	9,630	9,724	9,423	9,686	10,401	114,216

* ドックは含まれていません。

* 平成27年4月1日より、旧520床から、許可病床数512床にて変更届出しています。

(5)－3 入院年代別患者数統計表（療養 104床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
0 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳～ 5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6歳～ 9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10歳～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15歳～19歳	4	0	0	0	0	0	0	27	31	7	0	0	69
(%)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	0.4	0.0	0.0	0.3
20歳～29歳	0	0	0	11	43	30	31	30	11	0	0	0	156
(%)	0.0	0.0	0.0	0.6	2.5	1.6	1.7	1.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.7
30歳～39歳	22	0	0	19	31	30	31	30	19	0	2	0	184
(%)	1.2	0.0	0.0	1.1	1.8	1.6	1.7	1.8	1.0	0.0	0.1	0.0	0.9
40歳～49歳	30	24	0	8	57	90	70	64	59	14	0	60	476
(%)	1.6	1.3	0.0	0.5	3.4	4.9	3.8	3.9	3.2	0.8	0.0	3.1	2.2
50歳～59歳	154	61	81	96	91	60	102	68	40	66	112	163	1,094
(%)	8.2	3.4	4.8	5.6	5.3	3.2	5.5	4.2	2.2	3.6	5.9	8.5	5.1
60歳～64歳	175	151	144	133	129	80	84	79	87	109	139	62	1,372
(%)	9.4	8.3	8.5	7.8	7.6	4.3	4.5	4.9	4.7	6.0	7.3	3.2	6.3
65歳～69歳	168	271	265	248	183	117	70	46	82	109	106	167	1,832
(%)	9.0	14.9	15.7	14.5	10.8	6.3	3.8	2.8	4.4	6.0	5.6	8.7	8.5
70歳～79歳	552	632	562	493	391	412	453	395	554	566	547	485	6,042
(%)	29.5	34.8	33.4	28.8	23.0	22.3	24.4	24.4	29.8	31.0	28.8	25.2	27.9
80歳～	765	679	633	704	776	1,030	1,018	883	975	954	992	990	10,399
(%)	40.9	37.3	37.6	41.1	45.6	55.7	54.8	54.4	52.5	52.3	52.3	51.4	48.1
合 計	1,870	1,818	1,685	1,712	1,701	1,849	1,859	1,622	1,858	1,825	1,898	1,927	21,624
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

* ドックは含まれていません。

(5)－4 入院年代別患者数統計表（医療 52床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20歳～29歳	0	0	0	11	31	0	0	0	0	0	0	0	42
(%)	0.0	0.0	0.0	1.5	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
30歳～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
40歳～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.3
50歳～59歳	42	30	14	1	0	0	0	0	0	0	0	23	110
(%)	4.7	3.1	1.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1
60歳～64歳	60	89	103	93	69	20	31	34	87	98	110	31	825
(%)	6.7	9.3	13.7	12.4	8.8	2.4	3.8	5.3	10.0	10.6	11.7	3.1	8.1
65歳～69歳	45	68	97	101	88	68	39	0	0	27	41	96	670
(%)	5.0	7.1	12.9	13.5	11.3	8.1	4.7	0.0	0.0	2.9	4.4	9.7	6.6
70歳～79歳	329	351	184	140	180	189	252	163	264	200	178	192	2,622
(%)	36.8	36.7	24.5	18.7	23.0	22.6	30.6	25.4	30.4	21.6	19.0	19.4	25.8
80歳～	418	419	352	401	413	559	501	444	518	603	608	618	5,854
(%)	46.8	43.8	46.9	53.7	52.9	66.9	60.9	69.3	59.6	65.0	64.7	62.4	57.6
合 計	894	957	750	747	781	836	823	641	869	928	939	991	10,156
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(5)－5 入院年代別患者数統計表（回復期リハビリ 52床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15歳～19歳	4	0	0	0	0	0	0	27	31	7	0	0	69
(%)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	3.1	0.8	0.0	0.0	0.6
20歳～29歳	0	0	0	0	12	30	31	30	11	0	0	0	114
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	3.0	3.0	3.1	1.1	0.0	0.0	0.0	1.0
30歳～39歳	22	0	0	19	31	30	31	30	19	0	0	0	182
(%)	2.3	0.0	0.0	2.0	3.4	3.0	3.0	3.1	1.9	0.0	0.0	0.0	1.6
40歳～49歳	30	24	0	8	57	90	70	64	59	14	0	29	445
(%)	3.1	2.8	0.0	0.8	6.2	8.9	6.8	6.5	6.0	1.6	0.0	3.1	3.9
50歳～59歳	112	31	67	95	91	60	102	68	40	66	112	140	984
(%)	11.5	3.6	7.2	9.8	9.9	5.9	9.8	6.9	4.0	7.4	11.7	15.0	8.6
60歳～64歳	115	62	41	40	60	60	53	45	0	11	29	31	547
(%)	11.8	7.2	4.4	4.1	6.5	5.9	5.1	4.6	0.0	1.2	3.0	3.3	4.8
65歳～69歳	123	203	168	147	95	49	31	46	82	82	65	71	1,162
(%)	12.6	23.6	18.0	15.2	10.3	4.8	3.0	4.7	8.3	9.1	6.8	7.6	10.1
70歳～79歳	223	281	378	353	211	223	201	232	290	366	369	293	3,420
(%)	22.8	32.6	40.4	36.6	22.9	22.0	19.4	23.6	29.3	40.8	38.5	31.3	29.8
80歳～	347	260	281	303	363	471	517	439	457	351	384	372	4,545
(%)	35.6	30.2	30.1	31.4	39.5	46.5	49.9	44.8	46.2	39.1	40.0	39.7	39.6
合 計	976	861	935	965	920	1,013	1,036	981	989	897	959	936	11,468
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

*ドックは含まれていません。

(6) 外来年代別患者数統計表

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	278	247	253	261	231	215	196	200	208	170	167	200	2,626
(%)	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.9	1.0
1 歳	166	178	203	217	167	157	157	143	205	156	127	143	2,019
(%)	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.9	0.8	0.6	0.6	0.8
2歳～ 5歳	459	414	430	483	511	461	398	482	459	307	370	408	5,182
(%)	2.1	2.0	1.9	2.0	2.4	2.1	1.8	2.3	2.1	1.5	1.7	1.8	2.0
6歳～ 9歳	264	266	282	313	284	245	216	215	250	222	299	327	3,183
(%)	1.2	1.3	1.2	1.3	1.3	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	1.4	1.4	1.2
10歳～14歳	198	220	301	281	305	219	233	209	234	222	240	266	2,928
(%)	0.9	1.1	1.3	1.2	1.4	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
15歳～19歳	249	248	200	260	273	229	181	179	232	198	259	292	2,800
(%)	1.1	1.2	0.9	1.1	1.3	1.1	0.8	0.9	1.1	1.0	1.2	1.3	1.1
20歳～29歳	721	687	691	773	725	720	696	671	683	660	752	803	8,582
(%)	3.3	3.4	3.0	3.2	3.4	3.3	3.1	3.2	3.1	3.3	3.5	3.5	3.3
30歳～39歳	1,280	1,151	1,335	1,353	1,251	1,229	1,241	1,174	1,292	1,125	1,305	1,337	15,073
(%)	5.8	5.6	5.8	5.7	5.8	5.7	5.5	5.6	5.9	5.5	6.2	5.8	5.7
40歳～49歳	1,734	1,598	1,854	1,888	1,654	1,683	1,790	1,588	1,663	1,580	1,594	1,744	20,370
(%)	7.9	7.8	8.1	7.9	7.7	7.8	7.9	7.6	7.5	7.8	7.5	7.5	7.8
50歳～59歳	2,369	2,136	2,417	2,565	2,288	2,326	2,472	2,367	2,502	2,356	2,461	2,531	28,790
(%)	10.7	10.5	10.5	10.8	10.7	10.7	11.0	11.3	11.4	11.6	11.6	10.9	11.0
60歳～64歳	1,927	1,795	2,007	2,140	1,934	1,956	1,923	1,842	1,889	1,728	1,777	1,838	22,756
(%)	8.7	8.8	8.7	9.0	9.0	9.0	8.5	8.8	8.6	8.5	8.4	7.9	8.7
65歳～69歳	2,722	2,485	2,879	2,916	2,698	2,631	2,916	2,580	2,682	2,670	2,655	3,050	32,884
(%)	12.3	12.2	12.5	12.2	12.6	12.1	12.9	12.4	12.2	13.2	12.5	13.2	12.5
70歳～79歳	5,683	5,389	6,096	6,210	5,282	5,749	6,068	5,460	5,729	5,360	5,290	5,986	68,302
(%)	25.8	26.4	26.5	26.1	24.7	26.5	26.9	26.2	26.0	26.4	25.0	25.8	26.0
80歳～	4,011	3,600	4,048	4,164	3,798	3,837	4,073	3,752	4,012	3,519	3,889	4,241	46,944
(%)	18.2	17.6	17.6	17.5	17.7	17.7	18.1	18.0	18.2	17.4	18.4	18.3	17.9
合 計	22,061	20,414	22,996	23,824	21,401	21,657	22,560	20,862	22,040	20,273	21,185	23,166	262,439
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成26年度	22,759	22,778	22,643	24,357	22,499	22,397	23,979	21,110	22,884	22,252	20,579	23,466	271,703

* ドックは含まれていません。

(7)－1 入院地域別患者数統計表 (616床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	679	565	481	609	600	454	589	624	572	380	503	396	6,452
六荘地区	766	802	695	726	585	814	722	748	895	819	857	744	9,173
南郷里地区	517	460	601	642	529	463	516	604	730	804	596	495	6,957
神照地区	641	780	919	981	990	864	867	949	964	982	1,009	892	10,838
北郷里地区	620	585	316	382	534	507	508	508	498	451	441	419	5,769
西黒田地区	236	198	233	210	293	280	207	233	245	235	286	262	2,918
神田地区	132	159	141	113	49	67	128	127	80	100	60	112	1,268
旧浅井町	731	593	628	744	771	556	613	630	726	628	592	714	7,926
旧虎姫町	269	440	330	288	328	297	268	365	385	386	495	424	4,275
旧湖北町	462	443	506	451	500	321	528	616	654	549	452	555	6,037
旧びわ町	348	312	429	430	511	383	339	318	285	344	455	410	4,564
旧高月町	512	467	445	559	514	582	616	484	444	358	702	685	6,368
旧木之本町	430	475	386	533	463	484	543	532	441	526	423	459	5,695
旧余呉町	121	184	229	116	150	253	187	165	167	142	111	179	2,004
旧西浅井町	185	207	292	295	208	132	199	223	202	125	114	218	2,400
計 長浜市	6,649	6,670	6,631	7,079	7,025	6,457	6,830	7,126	7,288	6,829	7,096	6,964	82,644
(%)	59.3	61.2	60.9	61.0	61.3	58.5	59.3	60.7	61.6	60.9	58.6	57.8	60.1
旧山東町	940	913	977	948	801	895	633	833	793	894	963	870	10,460
旧伊吹町	239	219	241	274	215	296	391	343	254	217	406	425	3,520
旧米原町	1,035	903	840	865	901	951	1,244	1,126	1,070	1,131	1,194	1,267	12,527
旧近江町	766	653	625	628	821	889	834	838	787	724	741	710	9,016
計 米原市	2,980	2,688	2,683	2,715	2,738	3,031	3,102	3,140	2,904	2,966	3,304	3,272	35,523
(%)	26.6	24.7	24.7	23.4	23.9	27.5	27.0	26.7	24.6	26.5	27.3	27.2	25.8
彦根市	1,051	998	985	1,113	1,055	1,023	1,151	978	993	924	1,297	1,166	12,734
(%)	9.4	9.2	9.1	9.6	9.2	9.3	10.0	8.3	8.4	8.2	10.7	9.7	9.3
そ の 他	356	376	436	425	386	334	293	331	484	334	279	517	4,551
(%)	3.2	3.4	4.0	3.7	3.4	3.0	2.5	2.8	4.1	3.0	2.3	4.3	3.3
県内合計	11,036	10,732	10,735	11,332	11,204	10,845	11,376	11,575	11,669	11,053	11,976	11,919	135,452
(%)	98.5	98.5	98.7	97.7	97.8	98.3	98.8	98.5	98.7	98.6	98.9	98.9	98.5
県外合計	169	167	145	264	248	186	134	171	156	160	137	132	2,069
(%)	1.5	1.5	1.3	2.3	2.2	1.7	1.2	1.5	1.3	1.4	1.1	1.1	1.5
総 合 計	11,205	10,899	10,880	11,596	11,452	11,031	11,510	11,746	11,825	11,213	12,113	12,051	137,521
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成26年度	10,974	11,421	11,241	11,043	11,380	10,647	11,671	11,398	11,510	11,185	11,387	12,462	136,319

*療養は含まれています。

*ドックは含まれていません。

*平成27年4月1日より、旧624床から、許可病床数616床（うち、一般病棟512床）にて変更届出しています。

(7)－2 入院地域別患者数統計表 (512床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	488	434	416	514	538	381	466	506	497	358	443	334	5,375
六荘地区	585	608	505	544	474	659	567	688	762	663	677	617	7,349
南郷里地区	443	410	544	565	487	449	499	555	598	648	456	379	6,033
神照地区	585	683	783	836	740	679	683	802	795	772	806	701	8,865
北郷里地区	525	453	271	382	527	475	472	416	372	375	378	343	4,989
西黒田地区	223	198	233	210	265	277	207	233	201	173	250	231	2,701
神田地区	111	116	120	113	49	67	121	127	80	100	60	112	1,176
旧浅井町	591	510	598	713	709	456	494	525	633	552	523	658	6,962
旧虎姫町	196	308	256	226	266	231	206	310	331	341	422	306	3,399
旧湖北町	354	385	476	377	340	238	478	552	577	447	328	414	4,966
旧びわ町	288	251	399	399	480	349	308	288	254	261	356	360	3,993
旧高月町	435	440	410	499	502	499	523	423	431	327	634	627	5,750
旧木之本町	384	418	314	446	398	406	469	442	353	448	314	366	4,758
旧余呉町	121	184	229	93	105	193	127	132	144	123	82	126	1,659
旧西浅井町	185	180	214	217	155	102	137	155	173	125	114	193	1,950
計 長浜市	5,514	5,578	5,768	6,134	6,035	5,461	5,757	6,154	6,201	5713	5,843	5,767	69,925
(%)	59.1	61.4	62.7	62.1	61.9	59.5	59.7	60.8	62.2	61	57.2	57.0	60.3
旧山東町	723	794	813	747	625	650	471	747	691	725	769	705	8,460
旧伊吹町	184	157	181	243	198	266	360	313	223	186	377	361	3,049
旧米原町	918	769	646	734	769	828	1,100	1,006	867	955	1,077	1,114	10,783
旧近江町	617	500	505	501	627	590	564	616	552	523	522	505	6,622
計 米原市	2,442	2,220	2,145	2,225	2,219	2,334	2,495	2,682	2,333	2389	2,745	2,685	28,914
(%)	26.2	24.4	23.3	22.5	22.8	25.4	25.9	26.5	23.4	25	26.9	26.5	24.9
彦根市	869	795	766	904	909	927	1,012	816	863	847	1,222	1,054	10,984
(%)	9.3	8.8	8.3	9.1	9.3	10.1	10.5	8.1	8.7	9	12.0	10.4	9.5
その他	341	321	371	376	371	304	284	331	464	285	268	494	4,210
(%)	3.7	3.5	4.0	3.8	3.8	3.3	2.9	3.3	4.7	3	2.6	4.9	3.6
県内合計	9,166	8,914	9,050	9,639	9,534	9,026	9,548	9,983	9,861	9234	10,078	10,000	114,033
(%)	98.2	98.2	98.4	97.5	97.8	98.3	98.9	98.6	98.9	98	98.7	98.8	98.4
県外合計	169	167	145	245	217	156	103	141	106	154	137	124	1,864
(%)	1.8	1.8	1.6	2.5	2.2	1.7	1.1	1.4	1.1	2	1.3	1.2	1.6
総 合 計	9,335	9,081	9,195	9,884	9,751	9,182	9,651	10,124	9,967	9,388	10,215	10,124	115,897
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成26年度	9,004	9,436	9,423	9,262	9,645	8,799	9,783	9,630	9,724	9,423	9,686	10,401	114,216

* ドックは含まれていません。

* 平成27年4月1日より、旧520床から、許可病床数512床にて変更届出しています。

(7)－3 入院地域別患者数統計表（療養 104床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	191	131	65	95	62	73	123	118	75	22	60	62	1,077
六荘地区	181	194	190	182	111	155	155	60	133	156	180	127	1,824
南郷里地区	74	50	57	77	42	14	17	49	132	156	140	116	924
神照地区	56	97	136	145	250	185	184	147	169	210	203	191	1,973
北郷里地区	95	132	45	0	7	32	36	92	126	76	63	76	780
西黒田地区	13	0	0	0	28	3	0	0	44	62	36	31	217
神田地区	21	43	21	0	0	0	7	0	0	0	0	0	92
旧浅井町	140	83	30	31	62	100	119	105	93	76	69	56	964
旧虎姫町	73	132	74	62	62	66	62	55	54	45	73	118	876
旧湖北町	108	58	30	74	160	83	50	64	77	102	124	141	1,071
旧びわ町	60	61	30	31	31	34	31	30	31	83	99	50	571
旧高月町	77	27	35	60	12	83	93	61	13	31	68	58	618
旧木之本町	46	57	72	87	65	78	74	90	88	78	109	93	937
旧余呉町	0	0	0	23	45	60	60	33	23	19	29	53	345
旧西浅井町	0	27	78	78	53	30	62	68	29	0	0	25	450
計 長浜市	1,135	1,092	863	945	990	996	1,073	972	1,087	1,116	1,253	1,197	12,719
(%)	60.7	60.1	51.2	55.2	58.2	53.9	57.7	59.9	58.5	61.2	66.0	62.1	58.8
旧山東町	217	119	164	201	176	245	162	86	102	169	194	165	2,000
旧伊吹町	55	62	60	31	17	30	31	30	31	31	29	64	471
旧米原町	117	134	194	131	132	123	144	120	203	176	117	153	1,744
旧近江町	149	153	120	127	194	299	270	222	235	201	219	205	2,394
計 米原市	538	468	538	490	519	697	607	458	571	577	559	587	6,609
(%)	28.8	25.7	31.9	28.6	30.5	37.7	32.7	28.2	30.7	31.6	29.5	30.5	30.6
彦根市	182	203	219	209	146	96	139	162	130	77	75	112	1,750
(%)	9.7	11.2	13.0	12.2	8.6	5.2	7.5	10.0	7.0	4.2	4.0	5.8	8.1
そ の 他	15	55	65	49	15	30	9	0	20	49	11	23	341
(%)	0.8	3.0	3.9	2.9	0.9	1.6	0.5	0.0	1.1	2.7	0.6	1.2	1.6
県内合計	1,870	1,818	1,685	1,693	1,670	1,819	1,828	1,592	1,808	1,819	1,898	1,919	21,419
(%)	100.0	100.0	100.0	98.9	98.2	98.4	98.3	98.2	97.3	99.7	100.0	99.6	99.1
県外合計	0	0	0	19	31	30	31	30	50	6	0	8	205
(%)	0.0	0.0	0.0	1.1	1.8	1.6	1.7	1.8	2.7	0.3	0.0	0.4	0.9
総 合 計	1,870	1,818	1,685	1,712	1,701	1,849	1,859	1,622	1,858	1,825	1,898	1,927	21,624
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

* ドックは含まれていません。

(7)－4 入院地域別患者数統計表（医療 52床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	123	91	18	40	30	14	37	36	20	22	60	62	553
六 荘 地 区	102	145	88	101	74	84	110	30	48	83	134	65	1,064
南郷里地区	49	19	13	46	13	14	14	13	70	94	100	116	561
神 照 地 区	47	60	45	73	122	71	48	30	31	58	39	62	686
北郷里地区	83	111	45	0	7	32	36	60	66	38	34	45	557
西黒田地区	0	0	0	0	28	3	0	0	23	31	29	31	145
神 田 地 区	0	12	2	0	0	0	7	0	0	0	0	0	21
旧 浅 井 町	50	40	30	31	44	76	88	75	89	76	69	56	724
旧 虎 姫 町	30	51	33	31	31	47	33	30	31	7	0	25	349
旧 湖 北 町	42	31	30	57	98	30	13	4	15	31	29	47	427
旧 び わ 町	60	61	30	31	31	34	31	30	31	83	99	50	571
旧 高 月 町	8	0	8	8	9	34	14	4	0	0	0	0	85
旧木之本町	30	31	59	56	47	50	33	30	49	42	29	62	518
旧 余 呉 町	0	0	0	0	14	23	31	26	0	0	0	0	94
旧西浅井町	0	5	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
計 長 浜 市	624	657	419	474	548	512	495	368	473	565	622	621	6,378
(%)	69.8	68.7	55.9	63.5	70.2	61.2	60.1	57.4	54.4	60.9	66.2	62.7	62.8
旧 山 東 町	52	21	26	43	31	43	31	2	7	48	81	63	448
旧 伊 吹 町	0	0	0	0	7	30	31	30	31	31	29	41	230
旧 米 原 町	35	41	69	31	17	31	51	30	105	79	23	36	548
旧 近 江 町	90	93	90	93	120	190	180	157	169	150	155	159	1,646
計 米 原 市	177	155	185	167	175	294	293	219	312	308	288	299	2,872
(%)	19.8	16.2	24.7	22.4	22.4	35.2	35.6	34.2	35.9	33.2	30.7	30.2	28.3
彦 根 市	93	145	131	94	58	30	35	54	37	31	29	48	785
(%)	10.4	15.2	17.5	12.6	7.4	3.6	4.3	8.4	4.3	3.3	3.1	4.8	7.7
そ の 他	0	0	15	12	0	0	0	0	16	18	0	23	84
(%)	0.0	0.0	2.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.9	0.0	2.3	0.8
県 内 合 計	894	957	750	747	781	836	823	641	838	922	939	991	10,119
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.4	99.4	100.0	100.0	99.6
県 外 合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	31	6	0	0	37
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.6	0.0	0.0	0.4
総 合 計	894	957	750	747	781	836	823	641	869	928	939	991	10,156
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(7)－5 入院地域別患者数統計表（回復期リハビリ 52床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	68	40	47	55	32	59	86	82	55	0	0	0	524
六 荘 地 区	79	49	102	81	37	71	45	30	85	73	46	62	760
南郷里地区	25	31	44	31	29	0	3	36	62	62	40	0	363
神 照 地 区	9	37	91	72	128	114	136	117	138	152	164	129	1,287
北郷里地区	12	21	0	0	0	0	0	32	60	38	29	31	223
西黒田地区	13	0	0	0	0	0	0	0	21	31	7	0	72
神 田 地 区	21	31	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
旧 浅 井 町	90	43	0	0	18	24	31	30	4	0	0	0	240
旧 虎 姫 町	43	81	41	31	31	19	29	25	23	38	73	93	527
旧 湖 北 町	66	27	0	17	62	53	37	60	62	71	95	94	644
旧 び わ 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧 高 月 町	69	27	27	52	3	49	79	57	13	31	68	58	533
旧木之本町	16	26	13	31	18	28	41	60	39	36	80	31	419
旧 余 呉 町	0	0	0	23	31	37	29	7	23	19	29	53	251
旧西浅井町	0	22	60	78	53	30	62	68	29	0	0	25	427
計 長 浜 市	511	435	444	471	442	484	578	604	614	551	631	576	6,341
(%)	52.4	50.5	47.5	48.8	48.0	47.8	55.8	61.6	62.1	61.4	65.8	61.5	55.3
旧 山 東 町	165	98	138	158	145	202	131	84	95	121	113	102	1,552
旧 伊 吹 町	55	62	60	31	10	0	0	0	0	0	0	23	241
旧 米 原 町	82	93	125	100	115	92	93	90	98	97	94	117	1,196
旧 近 江 町	59	60	30	34	74	109	90	65	66	51	64	46	748
計 米 原 市	361	313	353	323	344	403	314	239	259	269	271	288	3,737
(%)	37.0	36.4	37.8	33.5	37.4	39.8	30.3	24.4	26.2	30.0	28.3	30.8	32.6
彦 根 市	89	58	88	115	88	66	104	108	93	46	46	64	965
(%)	9.1	6.7	9.4	11.9	9.6	6.5	10.0	11.0	9.4	5.1	4.8	6.8	8.4
そ の 他	15	55	50	37	15	30	9	0	4	31	11	0	257
(%)	1.5	6.4	5.3	3.8	1.6	3.0	0.9	0.0	0.4	3.5	1.1	0.0	2.2
県 内 合 計	976	861	935	946	889	983	1,005	951	970	897	959	928	11,300
(%)	100.0	100.0	100.0	98.0	96.6	97.0	97.0	96.9	98.1	100.0	100.0	99.1	98.5
県 外 合 計	0	0	0	19	31	30	31	30	19	0	0	8	168
(%)	0.0	0.0	0.0	2.0	3.4	3.0	3.0	3.1	1.9	0.0	0.0	0.9	1.5
総 合 計	976	861	935	965	920	1,013	1,036	981	989	897	959	936	11,468
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

* ドックは含まれていません。

(8) 外来地域別患者数統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	1,101	1,051	1,179	1,251	1,113	1,058	1,132	959	1,067	971	1,068	1,060	13,010
六荘地区	1,981	1,860	2,087	2,086	1,882	1,886	2,017	1,700	1,957	1,748	1,951	2,043	23,198
南郷里地区	1,327	1,224	1,474	1,584	1,405	1,385	1,389	1,365	1,381	1,293	1,214	1,399	16,440
神照地区	1,936	1,730	1,991	2,102	1,816	1,935	2,018	1,770	1,845	1,637	1,853	2,020	22,653
北郷里地区	838	779	849	890	832	799	813	792	751	738	713	774	9,568
西黒田地区	418	374	421	383	361	377	420	349	379	371	411	454	4,718
神田地区	234	253	294	266	228	232	236	261	237	219	230	234	2,924
旧浅井町	1,463	1,238	1,388	1,545	1,421	1,359	1,407	1,265	1,380	1,320	1,360	1,485	16,631
旧虎姫町	595	584	619	609	568	569	608	649	586	643	658	674	7,362
旧湖北町	825	842	903	947	810	805	884	812	935	842	861	929	10,395
旧びわ町	717	712	750	768	680	679	683	596	682	684	679	740	8,370
旧高月町	1,032	985	1,050	1,183	1,003	986	1,062	1,007	992	925	1,069	1,106	12,400
旧木之本町	725	643	742	761	720	722	751	697	712	593	656	730	8,452
旧余呉町	291	282	361	308	296	345	343	268	294	274	247	349	3,658
旧西浅井町	349	314	387	393	332	325	312	316	323	320	306	335	4,012
計 長浜市	13,832	12,871	14,495	15,076	13,467	13,462	14,075	12,806	13,521	12,578	13,276	14,332	163,791
(%)	62.7	63.0	63.0	63.3	62.9	62.2	62.4	61.4	61.3	62.0	62.7	61.9	62.4
旧山東町	1,799	1,610	1,872	1,881	1,540	1,676	1,610	1,555	1,745	1,625	1,643	1,757	20,313
旧伊吹町	598	558	637	723	580	591	606	617	584	561	589	683	7,327
旧米原町	1,559	1,412	1,657	1,660	1,598	1,661	1,770	1,675	1,688	1,522	1,716	1,746	19,664
旧近江町	1,314	1,239	1,321	1,321	1,259	1,269	1,419	1,271	1,337	1,238	1,216	1,463	15,667
計 米原市	5,270	4,819	5,487	5,585	4,977	5,197	5,405	5,118	5,354	4,946	5,164	5,649	62,971
(%)	23.9	23.6	23.9	23.4	23.3	24.0	24.0	24.5	24.3	24.4	24.4	24.4	24.0
彦根市	2,166	1,982	2,223	2,287	2,128	2,175	2,217	2,094	2,235	2,000	2,008	2,348	25,863
(%)	9.8	9.7	9.7	9.6	9.9	10.0	9.8	10.0	10.1	9.9	9.5	10.1	9.9
そ の 他	608	547	622	610	588	638	654	653	696	548	566	641	7,371
(%)	2.8	2.7	2.7	2.6	2.7	2.9	2.9	3.1	3.2	2.7	2.7	2.8	2.8
県内合計	21,876	20,219	22,827	23,558	21,160	21,472	22,351	20,671	21,806	20,072	21,014	22,970	259,996
(%)	99.2	99.0	99.3	98.9	98.9	99.1	99.1	99.1	98.9	99.0	99.2	99.2	99.1
県外合計	185	195	169	266	241	185	209	191	234	201	171	196	2,443
(%)	0.8	1.0	0.7	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	1.1	1.0	0.8	0.8	0.9
総 合 計	22,061	20,414	22,996	23,824	21,401	21,657	22,560	20,862	22,040	20,273	21,185	23,166	262,439
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成26年度	22,759	22,778	22,643	24,357	22,499	22,397	23,979	21,110	22,884	22,252	20,579	23,466	271,703

* ドックは含まれていません。

(9) 科別月別入院退院数

(単位：人)

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内 科	75	68	72	62	54	66	76	73	72	74	70	63	63	65
血 液 内 科	7	9	9	7	9	7	9	15	5	7	9	10	12	5
腎臓代謝内科	60	54	57	50	43	52	61	53	65	64	58	51	45	56
神 経 内 科	7	6	5	2	7	6	9	9	8	8	9	8	15	13
呼 吸 器 内 科	56	58	46	53	63	48	62	61	45	49	62	53	58	60
消 化 器 内 科	26	25	41	41	35	29	35	43	41	37	38	34	37	46
循 環 器 内 科	79	86	85	78	91	87	85	87	79	76	67	59	79	85
小 児 科	72	70	62	66	75	68	92	101	79	77	81	78	89	85
外 科	53	60	54	50	66	55	61	66	77	75	56	60	56	56
呼 吸 器 外 科	34	38	29	25	40	42	40	33	33	35	34	31	40	37
整 形 外 科	84	83	79	72	81	76	84	76	99	88	80	79	82	82
形 成 外 科	1	3	1	1	1	1	3	2	1	3	2	1	4	4
脳 神 経 外 科	38	30	34	37	39	42	43	34	36	23	30	30	47	41
心臓血管外科	22	27	17	23	30	27	29	30	23	30	29	27	24	30
皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌 尿 器 科	27	30	35	30	48	45	37	43	25	22	27	31	30	32
産 婦 人 科	59	64	45	53	59	58	64	56	66	60	60	75	64	60
眼 科	24	26	29	28	34	29	61	66	30	29	48	47	35	37
耳 鼻 咽 喉 科	12	17	7	6	21	15	13	16	14	12	14	11	12	13
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔・ペイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膠原病・リウマチ内科	6	5	4	4	3	4	4	5	2	2	2	3	2	2
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	15	16	13	12	14	14	14	15	26	27	15	13	19	21
小 計	690	712	658	643	761	712	812	816	756	727	724	703	756	769
健診センター	2	2	1	1	5	5	5	5	8	7	0	1	3	3
合 計	692	714	659	644	766	717	817	821	764	734	724	704	759	772
医 療 R 2	6	15	2	15	4	19	3	9	3	14	5	11	3	20
回リハ R 3	5	14	3	15	7	10	7	16	5	13	5	8	5	13
小 計	11	29	5	30	11	29	10	25	8	27	10	19	8	33
健診センター療養	0	0	1	1	5	5	7	7	9	8	0	1	3	3
合 計	11	29	6	31	16	34	17	32	17	35	10	20	11	36
総 合 計	703	743	665	675	782	751	834	853	781	769	734	724	770	808

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内 科	53	56	49	62	57	42	63	64	60	54	764	749
血 液 内 科	6	14	8	12	9	2	8	10	11	6	102	104
腎臓代謝内科	45	40	37	45	46	38	53	52	46	46	616	601
神 経 内 科	11	14	14	12	11	11	19	19	9	8	124	116
呼 吸 器 内 科	58	50	58	65	60	47	52	52	51	48	671	644
消 化 器 内 科	39	35	28	34	29	26	38	33	30	29	417	412
循 環 器 内 科	107	91	87	95	90	83	84	68	74	74	1,007	969
小 児 科	88	83	110	118	62	55	74	74	72	82	956	957
外 科	53	46	57	68	45	28	41	37	43	53	662	654
呼 吸 器 外 科	38	34	35	48	41	38	42	37	40	43	446	441
整 形 外 科	91	77	78	94	96	59	88	83	95	95	1,037	964
形 成 外 科	4	3	2	4	3	3	3	3	4	2	29	30
脳 神 経 外 科	42	37	40	38	45	40	39	30	42	30	475	412
心臓血管外科	30	27	31	36	32	25	30	36	32	37	329	355
皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌 尿 器 科	36	30	32	39	34	32	29	32	36	33	396	399
産 婦 人 科	70	63	45	56	60	51	56	61	66	64	714	721
眼 科	50	49	41	45	29	29	37	32	43	43	461	460
耳 鼻 咽 喉 科	19	18	15	18	16	15	20	13	22	23	185	177
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔・ペイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膠原病・リウマチ内科	4	1	2	2	1	2	4	2	4	7	38	39
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	17	17	12	11	22	21	25	26	31	29	223	222
小 計	810	731	736	845	733	607	744	702	754	754	8,934	8,721
健診センター	3	2	3	4	3	3	4	4	2	2	39	39
合 計	813	733	739	849	736	610	748	706	756	756	8,973	8,760
医 療 R 2	2	6	5	18	4	17	6	15	5	20	48	179
回リハ R 3	5	13	5	18	5	5	4	15	2	8	58	148
小 計	7	19	10	36	9	22	10	30	7	28	106	327
健診センター療養	3	2	4	5	4	4	5	5	4	4	45	45
合 計	10	21	14	41	13	26	15	35	11	32	151	372
総 合 計	823	754	753	890	749	636	763	741	767	788	9,124	9,132

*退院には、死亡退院を含んでいます。

(10) 科別月別入院患者数

月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
診療日数	30		31		30		31		31		30		31	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	1,537	51.2	1,510	48.7	1,403	46.8	1,568	50.6	1,426	46.0	1,513	50.4	1,727	55.7
血液内科	613	20.4	583	18.8	706	23.5	703	22.7	545	17.6	610	20.3	728	23.5
腎臓代謝内科	779	26.0	731	23.6	585	19.5	743	24.0	829	26.7	812	27.1	885	28.5
神経内科	133	4.4	106	3.4	173	5.8	259	8.4	127	4.1	199	6.6	367	11.8
呼吸器内科	716	23.9	604	19.5	755	25.2	883	28.5	660	21.3	852	28.4	909	29.3
消化器科	164	5.5	209	6.7	198	6.6	206	6.6	209	6.7	195	6.5	144	4.6
循環器科	702	23.4	722	23.3	648	21.6	661	21.3	664	21.4	563	18.8	565	18.2
小児科	425	14.2	461	14.9	415	13.8	411	13.3	443	14.3	409	13.6	488	15.7
外科	660	22.0	730	23.5	887	29.6	966	31.2	1,027	33.1	801	26.7	733	23.6
呼吸器外科	426	14.2	376	12.1	464	15.5	325	10.5	359	11.6	284	9.5	352	11.4
整形外科	1,810	60.3	1,921	62.0	1,880	62.7	2,109	68.0	2,155	69.5	1,883	62.8	1,977	63.8
形成外科	3	0.1	7	0.2	7	0.2	17	0.5	24	0.8	10	0.3	44	1.4
脳神経外科	1,065	35.5	916	29.5	647	21.6	627	20.2	802	25.9	782	26.1	731	23.6
心臓血管外科	491	16.4	398	12.8	432	14.4	433	14.0	445	14.4	365	12.2	515	16.6
皮膚科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泌尿器科	266	8.9	384	12.4	412	13.7	394	12.7	309	10.0	285	9.5	284	9.2
産婦人科	662	22.1	478	15.4	521	17.4	641	20.7	799	25.8	744	24.8	499	16.1
眼科	34	1.1	61	2.0	79	2.6	161	5.2	90	2.9	126	4.2	145	4.7
耳鼻咽喉科	83	2.8	30	1.0	108	3.6	106	3.4	89	2.9	92	3.1	78	2.5
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
膠原病・リウマチ内科	131	4.4	146	4.7	118	3.9	97	3.1	57	1.8	61	2.0	57	1.8
歯科口腔外科	27	0.9	22	0.7	48	1.6	20	0.6	66	2.1	18	0.6	36	1.2
小計	9,335	311.2	9,081	292.9	9,195	306.5	9,884	318.8	9,751	314.5	9,182	306.1	9,651	311.3
健診センター	2	0.1	1	0.0	5	0.2	5	0.2	8	0.3	0	0.0	3	0.1
合計	9,337	311.2	9,082	293.0	9,200	306.7	9,889	319.0	9,759	314.8	9,182	306.1	9,654	311.4
医療 R 2	894	29.8	957	30.9	750	25.0	747	24.1	781	25.2	836	27.9	823	26.5
回りハ R 3	976	32.5	861	27.8	935	31.2	965	31.1	920	29.7	1,013	33.8	1,036	33.4
小計	1,870	62.3	1,818	58.6	1,685	56.2	1,712	55.2	1,701	54.9	1,849	61.6	1,859	60.0
健診センター療養	0	0.0	1	0.0	5	0.2	7	0.2	9	0.3	0	0.0	3	0.1
合計	1,870	62.3	1,819	58.7	1,690	56.3	1,719	55.5	1,710	55.2	1,849	61.6	1,862	60.1
総合計	11,207	373.6	10,901	351.6	10,890	363.0	11,608	374.5	11,469	370.0	11,031	367.7	11,516	371.5

月	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		4－3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	30		31		31		29		31		366		91	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	1,518	50.6	1,290	41.6	1,385	44.7	1,392	48.0	1,476	47.6	17,745	48.5	4,253	46.7
血液内科	745	24.8	631	20.4	671	21.6	689	23.8	769	24.8	7,993	21.8	2,129	23.4
腎臓代謝内科	698	23.3	564	18.2	624	20.1	643	22.2	612	19.7	8,505	23.2	1,879	20.6
神経内科	311	10.4	318	10.3	299	9.6	358	12.3	187	6.0	2,837	7.8	844	9.3
呼吸器内科	985	32.8	769	24.8	790	25.5	792	27.3	774	25.0	9,489	25.9	2,356	25.9
消化器科	168	5.6	171	5.5	111	3.6	167	5.8	161	5.2	2,103	5.7	439	4.8
循環器科	767	25.6	618	19.9	644	20.8	620	21.4	673	21.7	7,847	21.4	1,937	21.3
小児科	521	17.4	664	21.4	331	10.7	520	17.9	464	15.0	5,552	15.2	1,315	14.5
外科	830	27.7	773	24.9	686	22.1	842	29.0	729	23.5	9,664	26.4	2,257	24.8
呼吸器外科	509	17.0	581	18.7	442	14.3	344	11.9	465	15.0	4,927	13.5	1,251	13.7
整形外科	1,931	64.4	2,027	65.4	2,019	65.1	2,417	83.3	2,429	78.4	24,558	67.1	6,865	75.4
形成外科	44	1.5	35	1.1	19	0.6	43	1.5	32	1.0	285	0.8	94	1.0
脳神経外科	812	27.1	811	26.2	785	25.3	749	25.8	824	26.6	9,551	26.1	2,358	25.9
心臓血管外科	409	13.6	473	15.3	505	16.3	584	20.1	518	16.7	5,568	15.2	1,607	17.7
皮膚科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泌尿器科	337	11.2	371	12.0	318	10.3	278	9.6	267	8.6	3,905	10.7	863	9.5
産婦人科	619	20.6	644	20.8	690	22.3	699	24.1	714	23.0	7,710	21.1	2,103	23.1
眼科	118	3.9	138	4.5	71	2.3	111	3.8	122	3.9	1,256	3.4	304	3.3
耳鼻咽喉科	135	4.5	91	2.9	102	3.3	120	4.1	128	4.1	1,162	3.2	350	3.8
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
膠原病・リウマチ内科	37	1.2	118	3.8	117	3.8	116	4.0	118	3.8	1,173	3.2	351	3.9
歯科口腔外科	73	2.4	75	2.4	74	2.4	63	2.2	43	1.4	565	1.5	180	2.0
小計	10,124	337.5	9,967	321.5	9,388	302.8	10,215	352.2	10,124	326.6	115,897	316.7	29,727	326.7
健診センター	3	0.1	3	0.1	3	0.1	4	0.1	2	0.1	39	0.1	9	0.1
合計	10,127	337.6	9,970	321.6	9,391	302.9	10,219	352.4	10,126	326.6	115,936	316.8	29,736	326.8
医療 R 2	641	21.4	869	28.0	928	29.9	939	32.4	991	32.0	10,156	27.7	2,858	31.4
回りハ R 3	981	32.7	989	31.9	897	28.9	959	33.1	936	30.2	11,468	31.3	2,792	30.7
小計	1,622	54.1	1,858	59.9	1,825	58.9	1,898	65.4	1,927	62.2	21,624	59.1	5,650	62.1
健診センター療養	3	0.1	4	0.1	4	0.1	5	0.2	4	0.1	45	0.1	13	0.1
合計	1,625	54.2	1,862	60.1	1,829	59.0	1,903	65.6	1,931	62.3	21,669	59.2	5,663	62.2
総合計	11,752	391.7	11,832	381.7	11,220	361.9	12,122	418.0	12,057	388.9	137,605	376.0	35,399	389.0

(11) 科別月別外来患者数

月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
診 療 日 数	21		18		22		22		21		19		21	
	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均
内 科	4,550	216.7	4,314	239.7	4,458	202.6	4,742	215.5	4,550	216.7	4,437	233.5	4,596	218.9
血 液 内 科	327	15.6	335	18.6	390	17.7	360	16.4	384	18.3	384	20.2	387	18.4
腎臓代謝内科	1,665	79.3	1,481	82.3	1,663	75.6	1,640	74.5	1,522	72.5	1,529	80.5	1,586	75.5
透 析 内 科	1,437	68.4	1,396	77.6	1,445	65.7	1,573	71.5	1,543	73.5	1,527	80.4	1,620	77.1
心 療 内 科	74	3.5	54	3.0	49	2.2	76	3.5	57	2.7	62	3.3	95	4.5
神 経 内 科	394	18.8	354	19.7	455	20.7	412	18.7	387	18.4	367	19.3	437	20.8
呼 吸 器 内 科	844	40.2	774	43.0	850	38.6	908	41.3	761	36.2	905	47.6	838	39.9
消 化 器 科	729	34.7	646	35.9	688	31.3	711	32.3	747	35.6	747	39.3	822	39.1
循 環 器 科	1,565	74.5	1,403	77.9	1,608	73.1	1,611	73.2	1,392	66.3	1,417	74.6	1,560	74.3
小 児 科	1,074	51.1	997	55.4	1,099	50.0	1,208	54.9	1,097	52.2	967	50.9	894	42.6
外 科	1,198	57.0	1,064	59.1	1,169	53.1	1,284	58.4	1,131	53.9	1,161	61.1	1,317	62.7
呼 吸 器 外 科	367	17.5	317	17.6	366	16.6	375	17.0	363	17.3	354	18.6	398	19.0
整 形 外 科	3,076	146.5	2,910	161.7	3,249	147.7	3,231	146.9	2,995	142.6	2,943	154.9	3,121	148.6
形 成 外 科	204	9.7	257	14.3	299	13.6	343	15.6	242	11.5	274	14.4	299	14.2
脳神経外科	690	32.9	604	33.6	638	29.0	632	28.7	547	26.0	640	33.7	662	31.5
心臓血管外科	233	29.1	253	31.6	294	32.7	279	31.0	212	26.5	299	37.4	276	30.7
皮 膚 科	385	18.3	464	25.8	521	23.7	605	27.5	523	24.9	459	24.2	484	23.0
泌 尿 器 科	1,195	56.9	1,058	58.8	1,280	58.2	1,290	58.6	1,003	47.8	1,141	60.1	1,245	59.3
産 婦 人 科	1,287	61.3	1,095	60.8	1,375	62.5	1,330	60.5	1,213	57.8	1,292	68.0	1,328	63.2
眼 科	844	40.2	942	52.3	974	44.3	1,090	49.5	939	44.7	911	47.9	928	44.2
耳 鼻 咽 喉 科	1,052	50.1	918	51.0	1,094	49.7	1,051	47.8	1,021	48.6	987	51.9	999	47.6
放 射 線 科	152	7.2	153	8.5	236	10.7	193	8.8	160	7.6	143	7.5	161	7.7
麻酔・ペイン	9	2.3	5	1.7	6	1.2	8	2.0	12	3.0	14	3.5	12	3.0
膠原病・リウマチ内科	639	30.4	571	31.7	613	27.9	701	31.9	562	26.8	640	33.7	657	31.3
放射線治療科	620	29.5	460	25.6	643	29.2	790	35.9	566	27.0	593	31.2	532	25.3
歯科口腔外科	954	45.4	855	47.5	1,081	49.1	1,030	46.8	978	46.6	966	50.8	994	47.3
小 計	22,061	1,050.5	20,414	1,134.1	22,996	1,045.3	23,824	1,082.9	21,401	1,019.1	21,657	1,139.8	22,560	1,074.3
健診センター	175	8.3	232	12.9	302	13.7	290	13.2	267	12.7	229	12.1	291	13.9
合 計	22,236	1,058.9	20,646	1,147.0	23,298	1,059.0	24,114	1,096.1	21,668	1,031.8	21,886	1,151.9	22,851	1,088.1
総 合 計	22,236	1,058.9	20,646	1,147.0	23,298	1,059.0	24,114	1,096.1	21,668	1,031.8	21,886	1,151.9	22,851	1,088.1

月	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診 療 日 数	19		19		19		20		22		243		61	
	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均	人 数	1日平均
総合診療科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
内 科	4,206	221.4	4,716	248.2	4,481	235.8	4,597	229.9	4,824	219.3	54,471	224.2	13,902	227.9
血 液 内 科	327	17.2	410	21.6	301	15.8	351	17.6	421	19.1	4,377	18.0	1,073	17.6
腎臓代謝内科	1,491	78.5	1,608	84.6	1,564	82.3	1,622	81.1	1,759	80.0	19,130	78.7	4,945	81.1
透 析 内 科	1,457	76.7	1,625	85.5	1,530	80.5	1,434	71.7	1,501	68.2	18,088	74.4	4,465	73.2
心 療 内 科	60	3.2	63	3.3	70	3.7	54	2.7	78	3.5	792	3.3	202	3.3
神 経 内 科	404	21.3	360	18.9	375	19.7	426	21.3	451	20.5	4,822	19.8	1,252	20.5
呼 吸 器 内 科	778	40.9	871	45.8	790	41.6	759	38.0	879	40.0	9,957	41.0	2,428	39.8
消 化 器 科	694	36.5	741	39.0	690	36.3	676	33.8	729	33.1	8,620	35.5	2,095	34.3
循 環 器 科	1,425	75.0	1,415	74.5	1,441	75.8	1,466	73.3	1,611	73.2	17,914	73.7	4,518	74.1
小 児 科	993	52.3	1,031	54.3	843	44.4	951	47.6	1,027	46.7	12,181	50.1	2,821	46.2
外 科	1,169	61.5	1,152	60.6	1,138	59.9	1,046	52.3	1,175	53.4	14,004	57.6	3,359	55.1
呼 吸 器 外 科	384	20.2	347	18.3	333	17.5	345	17.3	374	17.0	4,323	17.8	1,052	17.2
整 形 外 科	3,051	160.6	2,962	155.9	2,607	137.2	2,894	144.7	3,120	141.8	36,159	148.8	8,621	141.3
形 成 外 科	294	15.5	296	15.6	276	14.5	292	14.6	326	14.8	3,402	14.0	894	14.7
脳神経外科	535	28.2	572	30.1	514	27.1	505	25.3	670	30.5	7,209	29.7	1,689	27.7
心臓血管外科	262	37.4	286	35.8	213	26.6	249	31.1	311	34.6	3,167	32.0	773	30.9
皮 膚 科	428	22.5	477	25.1	385	20.3	424	21.2	496	22.5	5,651	23.3	1,305	21.4
泌 尿 器 科	962	50.6	1,159	61.0	1,021	53.7	1,005	50.3	1,260	57.3	13,619	56.0	3,286	53.9
産 婦 人 科	1,170	61.6	1,355	71.3	1,083	57.0	1,136	56.8	1,258	57.2	14,922	61.4	3,477	57.0
眼 科	865	45.5	820	43.2	715	37.6	899	45.0	958	43.5	10,885	44.8	2,572	42.2
耳 鼻 咽 喉 科	976	51.4	1,030	54.2	1,001	52.7	1,031	51.6	1,132	51.5	12,292	50.6	3,164	51.9
放 射 線 科	155	8.2	157	8.3	129	6.8	183	9.2	167	7.6	1,989	8.2	479	7.9
麻酔・ペイン	11	3.7	9	2.3	18	4.5	17	4.3	20	4.0	141	2.9	55	4.2
膠原病・リウマチ内科	584	30.7	621	32.7	688	36.2	647	32.4	725	33.0	7,648	31.5	2,060	33.8
放射線治療科	543	28.6	639	33.6	611	32.2	619	31.0	509	23.1	7,125	29.3	1,739	28.5
歯科口腔外科	973	51.2	1,024	53.9	921	48.5	1,018	50.9	1,144	52.0	11,938	49.1	3,083	50.5
小 計	20,862	1,098.0	22,040	1,160.0	20,273	1,067.0	21,185	1,059.3	23,166	1,053.0	262,439	1,080.0	64,624	1,059.4
健診センター	251	13.2	219	11.5	192	10.1	242	12.1	108	4.9	2,798	11.5	542	8.9
合 計	21,113	1,111.2	22,259	1,171.5	20,465	1,077.1	21,427	1,071.4	23,274	1,057.9	265,237	1,091.5	65,166	1,068.3
総 合 計	21,113	1,111.2	22,259	1,171.5	20,465	1,077.1	21,427	1,071.4	23,274	1,057.9	265,237	1,091.5	65,166	1,068.3

*ただし、心臓血管外科（火曜日、金曜日）・麻酔科（火曜日）の2科は、各科外来診療日数で除してあります。

(12) 時間内患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成27年度計	平成26年度計
日 数 (日)		21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	20	22	243	244
救急室対応 患 者 数		247	245	267	312	289	220	284	232	240	271	354	307	3,268	3,357
救急室対応 1日平均患者数		11.8	13.6	12.1	14.2	13.8	11.6	13.5	12.2	12.6	14.3	17.7	14.0	13.4	13.8
各科外来対応 患 者 数		28	35	31	45	47	21	26	31	32	21	18	36	371	529
各科外来対応 1日平均患者数		1.3	1.9	1.4	2	2.2	1.1	1.2	1.6	1.7	1.1	0.9	1.6	1.5	2.2
患者数の内 重傷患者(入院)	一般	63	59	65	74	74	54	65	72	63	60	81	72	802	794
	お産		1				2	1						4	0
患者数の内 救 急 車		73	79	77	93	82	63	80	78	73	77	87	75	937	952
患者数の内 交 通 事 故		15	8	14	13	13	10	8	4	5	8	9	9	116	171
合 計		275	280	298	357	336	241	310	263	272	292	372	343	3,639	3,886
1日平均患者数		13.1	15.6	13.5	16.2	16.0	12.7	14.8	13.8	14.3	15.4	18.6	15.6	15.0	15.9

(13) 休日患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成27年度計	平成26年度計
日 数 (日)		9	13	8	9	10	11	10	11	12	12	9	9	123	121
患 者 数		290	476	235	334	362	405	289	357	434	447	405	327	4,361	4,847
患者数の内 重傷患者(入院)	一般	30	40	26	34	33	50	34	51	51	46	46	31	472	439
	お産	1	2				1	1	1	1		2		9	14
患者数の内 救 急 車		33	42	28	44	37	47	33	35	52	39	36	34	460	465
患者数の内 交 通 事 故		9	10	6	6	13	9	11	4	24	5	8	7	112	148
1 日 平 均 患 者 数		32.2	36.6	29.4	37.1	36.2	36.8	28.9	32.5	36.2	37.3	45.0	36.3	35.5	40.1

(14) 夜間患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成27年度計	平成26年度計
日 数 (日)		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365
患 者 数		799	943	783	906	940	851	680	687	802	685	813	799	9,688	10,657
患者数の内 重傷患者(入院)	一般	84	89	83	69	82	84	85	70	90	64	70	67	937	950
	お産	16	6	9	10	8	15	10	2	7	8	9	9	109	123
患者数の内 救 急 車		94	100	103	90	141	95	105	96	124	109	93	94	1244	1258
患者数の内 交 通 事 故		20	17	21	21	26	30	18	22	22	24	21	23	265	251
1 日 平 均 患 者 数		26.6	30.4	26.1	29.2	30.3	28.4	21.9	22.9	25.9	22.1	28.0	25.8	26.5	29.2

(15) 救急車利用状況

搬送月	件数	搬送エリア			診 療 科																			時間外 搬送件数		患者費 用負担 件数
		長浜 市内	滋賀 県内	滋賀 県外	外科	脳外	整形	呼吸	神内	消器	泌尿器	眼科	心外	内科	腎臓	循環	血内	小児 (NICU)	産婦	耳鼻	救急	療養	時外	休日		
4	6	2	3	1			1	1	1				3												3	
5	3	2	1											1		1		1							1	
6	9	4	3	2			1	1	1	1					1	1		3								
7	3		2	1		1										2										
8	4		3	1		1							1									2				
9	3		3					1							1		1								1	
10	4	1	2	1		1		1	1												1				1	
11	2	2											2													
12	2	1	1					1													1				1	
1	6	1	2	3			1	2								1	1				1				3	
2	1	1								1																
3	5		5							1			2			1						1			1	
計	48	14	25	9	0	3	3	7	3	3	0	0	8	1	2	6	2	4	0	0	3	3	0	0	11	

(搬送先医療機関名)

長浜市内・・・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院・橋場レディスクリニック

滋賀県内・・・滋賀医科大学医学部附属病院・東近江総合医療センター・滋賀県立成人病センター・近江八幡市立総合医療センター・彦根市立病院・友仁山崎病院・彦根中央病院

滋賀県外・・・国立循環器病研究センター・京都大学医学部附属病院・京都府立医科大学附属病院・岐阜県総合医療センター・浜田会洛北病院・第一なるみ病院・守山いつき病院・関ヶ原病院・藤井病院

2. ICU・CCU業務状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総計
稼働床	128	111	112	88	85	116	125	121	127	95	115	117	1340
入院	8	7	9	9	10	10	13	14	15	12	12	9	128
転入	19	23	23	36	25	17	25	21	24	24	22	30	289
退院	4	3	2	4	3	2	6	5	4	1	1	3	38
転出	24	27	31	41	33	22	32	31	36	35	32	36	380
平均患者数	4.3	3.6	3.7	2.8	2.7	3.9	4	4	4.1	3.1	4	3.8	3.7
在室患者数	4.7	3.7	3.4	2	2.4	4.5	3.3	3.4	3.2	2.6	3.4	3	3.2
占床率(%)	53.3	44.8	46.7	35.5	34.3	48.3	50.4	50.4	51.2	38.3	49.6	47.2	45.8
科名	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	入室数	
内科	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
腎臓代謝内科	2	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
延室患者数	3	0	0	1	3	2	1	1	3	4	0	0	18
延室患者数	7	0	0	0	17	16	0	5	2	10	0	0	57
血液内科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
延室患者数	0	0	0	3	0	5	0	0	0	0	0	0	8
神経内科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
延室患者数	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	16
呼吸器内科	1	0	2	2	1	0	1	1	2	0	0	0	10
延室患者数	3	0	3	2	3	0	22	3	3	6	0	0	45
呼吸器外科	1	2	3	6	4	3	3	2	3	2	1	4	34
延室患者数	1	6	3	6	4	4	2	1	2	2	1	14	46
消化器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科	2	5	3	3	2	4	4	8	9	6	7	8	61
延室患者数	4	12	10	4	2	20	15	27	19	15	33	40	201
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	1	3	0	0	2	1	1	1	1	1	11
延室患者数	0	0	1	3	0	0	4	20	1	5	2	1	37
整形外科	0	2	1	6	2	2	2	1	3	3	2	2	26
延室患者数	0	4	1	8	3	2	1	1	3	7	2	2	34
形成外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
延室患者数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
脳神経外科	5	6	7	8	9	4	5	5	4	6	6	7	72
延室患者数	16	11	6	18	14	8	15	15	11	5	9	19	147
心臓血管外科	12	14	13	14	13	11	19	15	14	14	15	17	171
延室患者数	82	74	84	43	41	60	65	48	86	45	64	41	733
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
延室患者数	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科・ペイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予定手術	9	14	21	29	22	12	19	13	18	17	16	26	216
緊急手術	6	6	2	7	6	4	8	5	4	5	6	1	60
入院	9	7	9	9	10	10	13	14	15	12	12	9	129
緊急入院	7	9	2	6	2	4	5	8	6	6	6	4	65
心臓冠動脈形成術	2	4	2	2	2	3	3	7	6	6	4	9	50
経皮的冠動脈形成術	2	1	1	1	1	3	3	6	4	5	4	5	36
緊急心臓カテーテル	2	2	2	2	2	2	2	4	4	5	3	5	35
予定心臓カテーテル	0	2	0	0	0	1	1	3	2	1	1	4	15
造影の	0	3	1	1	1	0	0	1	2	1	0	4	14
特殊治療													
C H D F 延日数	6	2	3	5	4	5	1	6	5	1	1	3	42
C H D F 延日数	40	12	6	19	32	44	10	39	37	6	11	23	279
H D 延日数	4	1	0	3	3	2	4	3	4	4	1	1	30
H D 延日数	6	6	0	8	5	6	7	6	8	6	1	1	60
低体温療法	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
低体温療法	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	7
I A B P 延日数	1	0	0	1	0	2	1	2	3	1	2	4	17
I A B P 延日数	3	0	0	2	0	8	5	5	13	2	8	20	66
体外式ベースメーカー	4	5	4	3	5	7	5	4	4	6	5	6	58
体外式ベースメーカー延日数	30	24	15	11	17	27	25	17	7	30	19	11	233
P C P S 延日数	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	5
P C P S 延日数	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	6	10
血漿交換	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
血漿交換	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
呼吸器使用	10	9	12	13	12	10	19	9	8	10	14	16	142
呼吸器使用延日数	52	22	62	35	47	56	69	27	44	25	61	63	563
呼吸器(バイパップ)	6	2	1	1	1	1	1	2	0	0	0	1	16
呼吸器(バイパップ)延日数	13	21	3	1	4	7	3	7	0	0	0	1	60

3. 手術業務状況

(1) 各科別手術実施件数（中央手術室実施分）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外 科	39	31	45	44	40	36	36	33	34	27	31	30	426
整 形 外 科	94	100	100	89	88	81	100	99	80	98	90	98	1,117
産 婦 人 科	24	15	19	24	26	17	26	38	20	17	21	26	273
耳 鼻 咽 喉 科	8	5	14	13	9	9	11	16	10	14	13	12	134
泌 尿 器 科	13	15	25	22	16	16	13	25	15	13	18	24	215
眼 科	39	55	74	101	52	77	78	83	74	69	77	91	870
脳 神 経 外 科	8	12	10	13	6	6	10	8	6	9	6	10	104
歯 科 口 腔 外 科	37	30	37	41	39	40	43	34	31	43	49	53	477
呼 吸 器 外 科	4	5	14	13	8	8	10	13	14	11	8	12	120
形 成 外 科	2	11	13	14	8	14	8	13	14	13	12	16	138
心 臓 血 管 外 科	26	19	29	29	26	31	30	23	31	28	32	33	337
そ の 他		3				1							4
合 計	294	301	380	403	318	336	365	385	329	342	357	405	4,215

(2) 外来手術件数（入院中外来を含む）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外 科	3	4	10	10	11	10	6	7	4	5	3	6	79
整 形 外 科	35	41	46	36	34	36	47	44	26	39	39	30	453
産 婦 人 科	5	3	4	6	8	5	7	8	2	3	5	5	61
耳 鼻 咽 喉 科	4	8	10	12	5	6	10	7	14	16	13	11	116
泌 尿 器 科	14	11	9	13	16	18	7	8	8	6	9	4	123
眼 科	16	19	20	21	30	14	18	16	12	15	14	22	217
脳 神 経 外 科	18	12	15	9	21	11	10	9	9	12	13	8	147
歯 科 口 腔 外 科	100	102	103	134	98	123	100	83	85	93	186	169	1,376
呼 吸 器 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形 成 外 科	25	37	38	45	30	39	33	29	34	34	28	26	398
心 臓 血 管 外 科	7	5	4	7	1	6	7	4	3	6	4	5	59
皮 膚 科	0	5	2	9	7	4	6	2	0	0	3	3	41
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	6	7	13	10	5	13	9	6	8	5	6	7	95
計	233	254	274	312	266	285	260	223	205	234	323	296	3,165

(3) その他内訳

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
腎 臓 内 科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
血 液 内 科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小 児 科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
呼 吸 器 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循 環 器 内 科	1	1	0	1	3	5	1	1	3	2	2	1	21
消 化 器 内 科	3	4	6	7	2	6	8	4	4	3	2	5	54
放 射 線 科	0	1	4	2	0	2	0	1	1	0	2	1	14
透 析 内 科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	6	7	13	10	5	13	9	6	8	5	6	7	95

資料は、医事システムに入力のあった手術の算定件数です。
件数には点数表の手術の部に掲げられている全ての手術を含みます。

4. 健診センター利用状況

1. 稼動日数 半日コース（健診・日帰りドック） 242日（月～金曜日）
 入院ドック（一泊・専門ドック） 90日（月・水曜日）

2. 受診者人数

(1)月 別

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
一般健診(協会)	70	99	118	114	115	95	107	95	102	105	113	41	1,174
一 般 健 診	7	11	14	12	10	13	19	23	5	4	7	24	149
一般健診+付加健診(協会)	1	5	7	3	7	6	13	10	3	2	5	1	63
一般健診+追加健診(協会)	21	8	12	3	9	7	20	16	5	1	18	1	121
日 帰 り ド ッ ク	63	84	133	139	107	80	105	95	90	45	80	39	1,060
1 泊 人 間 ド ッ ク	1	1	7	7	13	0	6	3	1	5	1	3	48
脳 ド ッ ク	0	0	2	3	1	0	0	1	1	2	4	2	16
1 泊 + 脳 ド ッ ク	1	1	1	2	3	0	0	2	5	0	4	1	20
その他の健診・主婦健診	6	11	11	7	15	22	23	11	14	33	18	2	173
子宮がん健診(協会)	7	14	7	12	4	6	4	1	0	2	1	0	58
合 計	177	234	312	302	284	229	297	257	226	199	251	114	2,882

(2)年齢層別

【男性】

(単位：人)

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合 計
一般健診(協会)	人数		88	183	182	126	14	593
	割合		14.8%	30.9%	30.7%	21.2%	2.4%	100.0%
一 般 健 診	人数	10	15	26	14	8		73
	割合	13.7%	20.5%	35.6%	19.2%	11.0%		100.0%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	20	15			36
	割合		2.8%	55.6%	41.7%			100.0%
一般健診+追加健診(協会)	人数		4	16	37	24	1	82
	割合		4.9%	19.5%	45.1%	29.3%	1.2%	100.0%
日 帰 り ド ッ ク	人数	2	29	146	245	199	71	692
	割合	0.3%	4.2%	21.1%	35.4%	28.8%	10.3%	100.0%
1 泊 人 間 ド ッ ク	人数		1	5	9	15	7	37
	割合		2.7%	13.5%	24.3%	40.5%	18.9%	100.0%
脳 ド ッ ク	人数			6	3	3	1	13
	割合			46.2%	23.1%	23.1%	7.7%	100.0%
1 泊 + 脳 ド ッ ク	人数		1	5	4	3	2	15
	割合		6.7%	33.3%	26.7%	20.0%	13.3%	100.0%
そ の 他 の 健 診	人数				1	3		4
	割合				25.0%	75.0%		100.0%
合 計	人数	12	139	407	510	381	96	1,545
	割合	0.8%	9.0%	26.3%	33.0%	24.7%	6.2%	100.0%

【女性】

(単位：人)

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合 計
一般健診(協会)	人数		51	205	232	90	3	581
	割合		8.8%	35.3%	39.9%	15.5%	0.5%	100.0%
一 般 健 診	人数	5	16	23	18	5	9	76
	割合	6.6%	21.1%	30.3%	23.7%	6.6%	11.8%	100.0%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	14	12			27
	割合		3.7%	51.9%	44.4%			100.0%
一般健診+追加健診(協会)	人数		3	10	16	7	3	39
	割合		7.7%	25.6%	41.0%	17.9%	7.7%	100.0%
日 帰 り ド ッ ク	人数	2	18	79	151	90	28	368
	割合	0.5%	4.9%	21.5%	41.0%	24.5%	7.6%	100.0%
1 泊 人 間 ド ッ ク	人数		1		5	1	4	11
	割合		9.1%		45.5%	9.1%	36.4%	100.0%
脳 ド ッ ク	人数				1	2		3
	割合				33.3%	66.7%		100.0%
1 泊 + 脳 ド ッ ク	人数				1	2	2	5
	割合				20.0%	40.0%	40.0%	100.0%
その他の健診・主婦健診	人数		17	84	57	9	2	169
	割合		10.1%	49.7%	33.7%	5.3%	1.2%	100.0%
子宮がん健診(協会)	人数	28	30					58
	割合	48.3%	51.7%					100.0%
合 計	人数	35	137	415	493	206	51	1,337
	割合	2.6%	10.2%	31.0%	36.9%	15.4%	3.8%	100.0%

3. 健診結果総合判定別人数

【男性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5 + 6	合 計
一般健診(協会)	人数	14	37	105	10	427	593
	割合	2.4%	6.2%	17.7%	1.7%	72.0%	100.0%
一 般 健 診	人数		6	16		51	73
	割合		8.2%	21.9%		69.9%	100.0%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	13		22	36
	割合		2.8%	36.1%		61.1%	100.0%
一般健診+追加健診(協会)	人数			16	3	63	82
	割合			19.5%	3.7%	76.8%	100.0%
日 帰 り ド ッ ク	人数	1	3	104	7	577	692
	割合	0.1%	0.4%	15.0%	1.0%	83.4%	100.0%
1 泊人間ドック	人数			2		35	37
	割合			5.4%		94.6%	100.0%
脳 ド ッ ク	人数			5		8	13
	割合			38.5%		61.5%	100.0%
1 泊+脳ドック	人数			1		14	15
	割合			6.7%		93.3%	100.0%
そ の 他 の 健 診	人数					4	4
	割合					100.0%	100.0%
合 計	人数	15	47	262	20	1,201	1,545
	割合	1.0%	3.0%	17.0%	1.3%	77.7%	100.0%

【女性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5 + 6	合 計
一般健診(協会)	人数	24	39	145	7	366	581
	割合	4.1%	6.7%	25.0%	1.2%	63.0%	100.0%
一 般 健 診	人数		7	16		53	76
	割合		9.2%	21.1%		69.7%	100.0%
一般健診+付加健診(協会)	人数			6	1	20	27
	割合			22.2%	3.7%	74.1%	100.0%
一般健診+追加健診(協会)	人数		1	6	1	31	39
	割合		2.6%	15.4%	2.6%	79.5%	100.0%
日 帰 り ド ッ ク	人数	2	6	50	1	309	368
	割合	0.5%	1.6%	13.6%	0.3%	84.0%	100.0%
1 泊人間ドック	人数		1	1		9	11
	割合		9.1%	9.1%		81.8%	100.0%
脳 ド ッ ク	人数		1	2			3
	割合		33.3%	66.7%		0.0%	100.0%
1 泊+脳ドック	人数					5	5
	割合					100.0%	100.0%
その他の健診・主婦健診	人数	3	16	45		105	169
	割合	1.8%	9.5%	26.6%		62.1%	100.0%
子宮がん健診(協会)	人数	52				6	58
	割合	89.7%				10.3%	100.0%
合 計	人数	81	71	271	10	904	1,337
	割合	6.1%	5.3%	20.3%	0.7%	67.6%	100.0%

(総合判定) 1. 異常無し、2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない、
3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする、4. 治療を要する、5. 精密検査を要する、6. 治療中

4. 1泊・日帰り人間ドック成績表

平成27年1月～平成27年12月（男性）

（症例数はのべ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 32				40～49歳 145				50～59歳 237				60歳以上 300				総計 714			
異常なし(判定1、2)	1				2				0				0				3			
症例 判定	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)
肥満	11	0	0	11(10.8)	51	0	0	51(10.6)	69	0	0	69(6.8)	92	0	0	92(6.1)	223	0	0	223(7.2)
呼吸器疾患	3	0	1	4(3.9)	5	4	3	12(2.5)	22	6	4	32(3.2)	42	14	6	62(4.1)	72	24	14	110(3.5)
高血圧	1	0	0	1(1.0)	7	23	0	30(6.2)	14	75	0	89(8.8)	19	135	0	154(10.2)	41	233	0	274(8.8)
高コレステロール	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
高中性脂肪	6	0	2	8(7.8)	14	0	15	29(6.0)	48	0	9	57(5.6)	41	0	7	48(3.2)	109	0	33	142(4.6)
高尿酸	11	0	2	13(12.7)	35	0	4	39(8.1)	36	0	6	42(4.2)	48	0	4	52(3.4)	130	0	16	146(4.7)
心電図異常	1	0	0	1(1.0)	9	3	6	18(3.7)	22	13	3	38(3.8)	32	32	18	82(5.4)	64	48	27	139(4.5)
食道疾患	1	0	4	5(4.9)	13	1	10	24(5.0)	27	0	27	54(5.4)	37	2	60	99(5.5)	78	3	101	182(5.9)
胃疾患	1	0	4	5(4.9)	13	1	10	24(5.0)	27	0	27	54(5.4)	37	2	60	99(5.5)	78	3	101	182(5.9)
十二指腸疾患	1	0	4	5(4.9)	13	1	10	24(5.0)	27	0	27	54(5.4)	37	2	60	99(5.5)	78	3	101	182(5.9)
胆石・胆のうポリープ	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
肝機能異常（脂肪肝含）	0	0	6	6(5.9)	0	2	23	25(5.2)	0	6	32	38(3.8)	0	7	26	33(2.2)	0	15	87	102(3.3)
糖尿病	2	0	0	2(2.0)	30	3	2	35(7.2)	58	26	6	90(8.9)	80	33	9	122(8.1)	170	62	17	249(8.0)
血液疾患	0	0	1	1(1.0)	2	0	7	9(1.9)	3	1	18	22(2.2)	5	5	44	54(3.6)	10	6	70	86(2.8)
便潜血	0	0	0	0(0.0)	0	1	6	7(1.4)	1	3	11	15(1.5)	10	8	22	40(2.6)	11	12	39	62(2.0)
前立腺疾患	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	3	3(0.3)	0	0	4	4(0.3)	0	0	7	7(0.2)
婦人科	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
乳房疾患	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
その他の疾患	25	0	15	40(39.2)	115	3	38	156(32.3)	203	15	134	352(34.9)	245	44	184	473(31.3)	588	62	371	1021(32.9)
総計	63	0	39	102(100.0)	307	42	134	483(100.0)	557	145	307	1009(100.0)	725	284	504	1513(100.0)	1652	471	984	3107(100.0)

平成27年1月～平成27年12月（女性）

（症例数はのべ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 21				40～49歳 76				50～59歳 152				60歳以上 126				総計 375			
異常なし(判定1、2)	2				2				2				1				7			
症例 判定	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)	3	4,6	5	計(%)
肥満	4	0	0	4(12.9)	25	0	3	28(9.2)	53	0	0	53(8.3)	34	0	1	35(6.3)	116	0	4	120(7.8)
呼吸器疾患	1	0	0	1(3.2)	6	0	3	9(2.9)	7	1	6	14(2.2)	7	2	6	15(2.7)	21	3	15	39(2.5)
高血圧	0	0	0	0(0.0)	4	7	0	11(3.6)	10	23	0	33(5.2)	14	36	0	50(8.9)	28	66	0	94(6.1)
高コレステロール	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
高中性脂肪	1	0	0	1(3.2)	5	0	1	6(2.0)	21	0	1	22(3.5)	10	0	3	13(2.3)	37	0	5	42(2.7)
高尿酸	0	0	0	0(0.0)	3	0	1	4(1.3)	15	0	0	15(2.4)	9	0	1	10(1.8)	27	0	2	29(1.9)
心電図異常	1	0	0	1(3.2)	2	0	2	4(1.3)	12	4	5	21(3.3)	8	13	6	27(4.8)	23	17	13	53(3.5)
食道疾患	2	0	2	4(12.9)	13	0	14	27(8.8)	38	0	18	56(8.8)	34	0	15	49(8.8)	87	0	49	136(8.9)
胃疾患	2	0	2	4(12.9)	13	0	14	27(8.8)	38	0	18	56(8.8)	34	0	15	49(8.8)	87	0	49	136(8.9)
十二指腸疾患	2	0	2	4(12.9)	13	0	14	27(8.8)	38	0	18	56(8.8)	34	0	15	49(8.8)	87	0	49	136(8.9)
胆石・胆のうポリープ	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
肝機能異常（脂肪肝含）	0	0	0	0(0.0)	0	0	4	4(1.3)	0	0	7	7(1.1)	1	2	3	6(1.1)	1	2	14	17(1.1)
糖尿病	1	1	0	2(6.5)	10	0	1	11(3.6)	23	2	4	29(4.6)	24	8	4	36(6.4)	58	11	9	78(5.1)
血液疾患	0	0	1	1(3.2)	1	3	10	14(4.6)	1	3	6	10(1.6)	2	2	4	8(1.4)	4	8	21	33(2.2)
便潜血	0	0	1	1(3.2)	0	0	3	3(1.0)	0	0	11	11(1.7)	0	0	8	8(1.4)	0	0	23	23(1.5)
前立腺疾患	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)	0	0	0	0(0.0)
婦人科	0	0	0	0(0.0)	0	0	1	1(0.3)	2	0	1	3(0.5)	1	0	0	1(0.2)	3	0	2	5(0.3)
乳房疾患	0	0	0	0(0.0)	2	0	1	3(1.0)	3	1	2	6(0.9)	2	1	0	3(0.5)	7	2	3	12(0.8)
その他の疾患	7	0	1	8(25.8)	72	6	49	127(41.5)	142	13	89	244(38.4)	94	14	92	200(35.8)	315	33	231	579(37.8)
総計	21	1	9	31(100.0)	169	16	121	306(100.0)	403	47	189	636(100.0)	308	78	173	559(100.0)	901	142	489	1532(100.0)

（総合判定） 1. 異常無し、2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない、3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする、4. 治療を要する、5. 精密検査を要する、6. 治療中

5. 二次検査受診状況（当院での二次検査について）

(1)二次検査対象者 1,868人／健診センター受診者 2,882人

└─ ドック・健診・オプション検査で精密検査を要する(判定5の)方

(2)受診科別人数（二次検査受診者 のべ 459人 ／ 二次検査対象者 のべ 3,008人）

受診科	二次検査受診者	二次検査対象者	受診科	二次検査受診者	二次検査対象者	受診科	二次検査受診者	二次検査対象者
外科	77人	111人	泌尿器科	55人	257人	循環器科	18人	96人
耳鼻咽喉科	33人	367人	皮膚科	0人	1人	消化器科	159人	818人
産婦人科	31人	58人	脳神経外科	7人	18人	腎臓内科	1人	17人
眼科	23人	701人	形成外科	0人	1人	代謝内科	14人	277人
整形外科	0人	8人	呼吸器科	29人	54人	血液内科	12人	224人

(3)病名別人数

(単位：人)

外科	1	視神経乳頭陥凹	2	心室期外収縮	2	ヘリコバクター・ピロリ胃炎	9
肩 鎖 ヘルニア	1	初老性白内障	2	心電図異常	3	慢性胃炎	1
乳 癌	2	先天性無虹彩	1	心不全	1	盲腸腺腫性ポリープ	1
乳線異常石灰化像	2	陳旧性裂孔原性網膜剥離	1	洞性徐脈	1	腎臓内科	
乳 腺 腫 瘍	3	糖尿病性網膜症	1	慢性心不全	1	耐糖能障害	1
乳 腺 腫 瘍	34	白内障	1	消化器科		2型糖尿病	1
乳 腺 症	14	網膜静脈分枝閉塞症	1	S状結腸腺腫性	1	慢性糸球体腎炎	1
乳頭異常分泌症	1	泌尿器科		S状結腸腺腫性ポリープ	5	代謝内科	
乳房石灰化陰影	1	急性前立腺炎	1	胃潰瘍	1	高血圧症	1
耳鼻咽喉科		血尿症	18	胃潰瘍	1	高コレステロール血症	2
頸部腫瘍	2	健診血尿	18	萎縮性胃炎	23	高トリグリセライド血症	1
甲状腺腫瘍	11	顕微鏡的血尿	4	胃ポリープ	3	高尿酸血症	1
睡眠時無呼吸症候群	5	腎結石症	1	横行結腸腺腫ポリープ	3	脂質異常症	1
騒音性難聴	1	腎のう胞	5	下行結腸腺腫	1	糖尿病	1
難聴	8	前立腺癌	2	下行結腸腺腫ポリープ	1	2型糖尿病	4
産婦人科		前立腺肥大症	5	肝血管腫	1	血液内科	
子宮癌	1	腎腫瘍	1	肝のう胞	1	抗リン脂質抗体症候群	1
子宮筋腫	5	頻尿症	1	逆流性食道炎	3		
子宮頸管ポリープ	9	膀胱炎	1	脂肪肝	3		
子宮頸部異型扁平上皮	3	脳神経外科		十二指腸ポリープ	1		
子宮頸部異形成	1	脳動脈瘤	1	上行結腸腺腫性ポリープ	1		
子宮頸部異形成・異型度2	1	未破裂脳動脈瘤	2	腎のう胞	1		
子宮頸部異形成・異型度3	1	呼吸器科		大腸憩室	2		
子宮腫瘍	1	間質性肺炎	1	大腸腺腫	1		
子宮内膜症	1	胸部異常陰影	1	大腸ポリープ	5		
子宮内膜肥厚	1	縦隔腫瘍	1	多発性肝血管腫	1		
子宮留膿腫	1	上気道炎	2	胆管拡張	1		
卵巣機能不全	1	心膜のう胞	1	胆管拡張症	2		
卵巣腫瘍	1	陳旧性肺結核	1	胆石症	1		
卵巣のう腫	6	肺癌	1	胆のう結石	1		
眼科		非定型抗酸菌感染症	1	胆のう腺筋腫症	1		
黄斑上腺	1	循環器科		胆のうポリープ	4		
黄斑変性	1	うっ血性心不全	1	直腸腺腫	2		
近視	2	高血圧症	1	直腸腺腫性ポリープ	2		
近視性乱視	5	上室性期外収縮	1	びらん性胃炎	3		

5. 中央材料室業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
滅菌回数	蒸気滅菌(回)	142	137	152	159	180	180	184	188	164	183	190	206	2,065
	手術器械(台)	94	87	100	100	99	105	101	105	95	101	89	104	1,180
	カート(台)	63	54	65	70	61	58	60	64	54	56	67	69	741
	プリオン対策(台)	14	11	23	25	20	17	23	19	15	26	32	32	257
	ガス滅菌(回)	24	23	27	25	24	23	26	31	21	26	24	26	300
	中央手術室(回)	18.6	17.4	20.7	18.2	18.1	18.3	19.7	25.1	23.8	19.6	18.1	19.5	237
	中央材料室(回)	5.9	4.6	6.3	6.8	5.9	4.7	6.4	5.9	4.9	6.4	5.9	6.5	70
	プラズマ滅菌(回)	30	31	45	45	34	59	35	41	66	38	47	47	518
	H L D(回)	44	36	40	28	33	36	46	40	54	36	38	30	461
滅菌関係物	手術器械セット(組)	850	1,150	947	997	950	1,008	1,032	1,160	1,063	1,171	1,204	1,290	12,498
	単品器材(組)	4,186	3,314	4,063	4,191	3,837	3,418	3,785	3,721	3,637	3,951	4,045	4,198	46,346
	ガス滅菌物(組)	1,105	1,437	1,253	1,102	979	931	989	1,848	971	1,033	988	943	13,579
	プラズマ滅菌物(組)	292	610	519	379	338	274	367	327	370	335	360	406	4,577
	外来ガス滅菌物(個)	205	205	231	280	286	221	281	273	195	272	237	231	2,917
	HLD洗浄・消毒(個)	1,182	1,038	1,044	1,038	883	860	1,019	1,038	1,014	1,005	957	817	11,895
	病棟ガス滅菌物(個)	87	35	30	30	32	25	38	29	42	36	47	65	496
	HLD洗浄・消毒(個)	1,905	1,551	1,806	1,709	1,918	1,935	2,764	2,108	3,002	1,958	1,892	1,609	24,157
	合計	292	240	261	310	318	246	319	302	237	308	284	296	3,413
手術	外科(件)	37	34	39	45	39	37	36	31	33	26	30	25	412
	整形外科(件)	93	96	92	92	82	81	100	99	79	97	89	99	1,099
	脳神経外科(件)	11	13	8	11	7	8	10	7	3	5	7	10	100
	呼吸器科(件)	9	7	14	13	8	5	8	14	16	11	8	12	125
	心臓血管外科(件)	25	19	29	28	24	31	27	24	29	26	31	33	326
	産婦人科(件)	22	12	15	23	26	16	25	32	19	16	20	23	249
	泌尿器科(件)	13	16	22	23	18	16	13	25	13	14	18	23	214
	眼科(件)	40	55	75	101	55	76	79	83	76	70	77	92	879
	耳鼻咽喉科(件)	8	4	14	13	7	9	11	16	10	12	13	12	129
	歯科口腔外科(件)	34	27	38	44	39	41	41	35	34	43	49	53	478
	形成外科(件)	2	11	11	13	8	14	9	13	15	13	12	16	137
	麻酔科(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手術変更(件)	27	33	28	32	26	22	33	36	28	28	31	23	347
カートセット台数(台)		55	55	59	71	61	59	53	60	53	56	67	69	718
洗浄業務	手術器械洗浄(件)	230	236	296	357	230	288	310	283	292	309	327	369	3,527
	病棟カート回収器材洗浄数(件)	4,168	3,113	4,196	5,163	4,135	4,139	4,199	4,572	4,319	3,867	3,825	4,027	49,723
	外来カート回収器材洗浄数(件)	14,656	14,080	17,611	15,185	13,996	16,492	16,953	15,935	16,654	15,188	15,951	16,358	189,059
	手術器械(回)	207	210	258	280	251	214	349	260	268	267	322	258	3,144
	病棟カート回収器材(回)	33	32	41	36	287	39	54	41	45	40	51	41	496
	外来カート回収器材(回)	92	94	104	123	106	105	114	100	107	95	98	108	2,304
	超音波洗浄(回)	224	203	314	325	284	276	344	317	303	335	370	315	3,610

6. 薬剤科業務状況

(1) 薬剤管理指導件数

	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬
内科		1																						
小児科		8																1						
外科	5	23	3	1					3			1	2	1	2		8				4	1		
耳鼻咽喉科		8																			1			
産婦人科		22	4										1				3				2			
眼科		24	22																					
整形外科	1	91	11			1								1										
泌尿器科	2	23	4	1																	1			
皮膚科																								
脳神経外科	3	16	7			2												2	1		2	1	1	
歯科口腔外科		12																						
神経内科		3	1																					
心臓血管外科		23	10										1	1	2							4	1	
形成外科		1																						
循環器科	7	58	50			2				2			5	4	9		2		2			8	1	
消化器科		15	1																		1			
呼吸器内科	7	24	4						3		1		8	1			5	1		1	7		1	
呼吸器外科	14	10	3						3		2		5		1		5	1	1		7			
腎臓内科	14	30	11			2		1														1		
血液内科	2	1							1				2				3	1	1		4			
膠原病・リウマチ	2	1																						
合計	57	394	131	2	2	5	1		10	2	3	1	24	8	14		26	6	5	1	29	15	4	

	10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬	薬剤 管理 2	薬剤 管理 3	退院	麻薬
内科																								
小児科		17				47	2			34	3		1					9				32		
外科	8	4		1	5	21	3		4	5	1	1	2	10	2		1		1		5	1		
耳鼻咽喉科	1	1	1		1	15	2			3			1	1	1		2	1			2	1	2	
産婦人科						2		1	1				2	1										
眼科		1				42	18			28	17										1			
整形外科		3	1		1	73	7		1	15	1		2	12				3	2		1	3	2	
泌尿器科	2		1		3	18	1		2	11	2			3	1			2	1		1	2	1	1
皮膚科																								
脳神経外科	4	4	5		5	16	6		2	3	2		2	1	4		4		3		2	1	1	
歯科口腔外科		1				11				4														
神経内科	2	3	3		2	12	5			2	1			1			1		1					
心臓血管外科	5	15	10		3	28	13		4	12	12		4	2	5		5	4	6		3	7	8	
形成外科		1								2														
循環器科	21	24	29		13	62	52		38	11	46		29	13	39		21	5	19		15	21	31	
消化器科	1					31	1			12	1						1	1	1					
呼吸器内科	6	1			6	14	4	1	4	5	1	2	5	7	3	4	3	10	1	5	2	7	4	1
呼吸器外科	10	3	1		4	18	1	3	4	3	1	2	13	1	2		6	3	1		3	1	2	
腎臓内科	1	3			5	16	8		2	4			8	5	2		4	7	4		16	9	11	
血液内科	4				8	5	1		4	1	1		10	1			10		4		3	2		
膠原病・リウマチ						2							3	2	1		2	1	1					
合計	65	81	51	1	56	433	124	5	66	155	89	5	82	60	60	4	60	46	45	5	54	87	62	2

内 容	点数	件数	点数
薬剤管理指導料2（安全管理を要する医薬品投与患者）	380	531	201,780
薬剤管理指導料3（1及び2以外の患者）	325	1,292	419,900
退院時薬剤情報管理指導料	90	589	53,010
麻薬管理指導加算	50	26	1,300
合 計	—	—	675,990

（２）化学療法 入院・外来別件数

入院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	51	49	61	46	46	45	64	57	49	65	57	63	653
指示箋枚数	55	58	73	49	47	52	78	63	61	72	73	85	766
払出回数	124	138	157	101	98	128	200	141	122	163	162	175	1,709

外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	133	129	134	125	129	141	114	116	114	117	107	114	1,473
指示箋枚数	160	161	166	157	165	159	139	153	131	134	149	131	1,805
払出回数	257	252	279	268	279	272	234	215	216	213	224	226	2,935

7. 栄養科業務状況

(1) 給食業務状況（本館と別館）

食種 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	
一般食	普通食	10,586	10,327	10,211	11,008	11,409	11,298	10,912	11,284	
	軟菜食	4,502	3,839	4,254	4,715	4,225	4,267	5,571	5,076	
	極軟菜食・半流動食Ⅱ	4,140	3,733	3,063	3,329	4,000	3,676	3,835	4,252	
	流動食・半流動食Ⅰ	353	252	458	524	352	309	438	509	
	濃厚流動食	1,595	1,700	1,510	1,489	1,489	1,462	1,653	1,272	
	その他(嚥下訓練食等)	251	247	281	445	437	474	266	268	
	遅延食	112	88	109	97	88	105	169	89	
	小計	21,539	20,186	19,886	21,607	22,000	21,591	22,844	22,750	
特別治療食	加算	塩分制限食	447	391	377	323	457	491	456	714
		肥満食	1	0	0	53	93	20	33	0
		小計	448	391	377	376	550	511	489	714
		心臓食	2,907	2,857	2,899	2,606	2,492	2,125	2,181	2,679
		腎臓・透析食	1,842	1,745	1,640	1,761	1,541	1,580	1,651	1,400
		糖尿病食	2,511	2,598	3,057	3,030	2,704	2,508	2,768	2,050
		肝臓食	6	209	157	352	347	317	169	207
		潰瘍食	219	192	222	419	207	214	131	306
		マージン食	77	81	180	56	125	57	18	58
		注腸検査食 その他(貧血等)	0	0	87	92	0	0	58	0
	小計	7,562	7,682	8,242	8,316	7,416	6,801	6,976	6,700	
合計		29,549	28,259	28,505	30,299	29,966	28,903	30,309	30,164	
1食平均給食数		328	304	317	326	322	321	337	335	
特別治療食(加算)比率		25.6	27.2	28.9	27.4	24.7	23.5	23.0	22.2	

食種　／　月		12	1	2	3	計	1食平均	構成比	
一般食	普通食	11,540	10,169	11,462	10,498	130,704	119	36.6%	
	軟菜食	4,629	4,575	5,832	6,161	57,646	53	16.1%	
	極軟菜食・半流動食Ⅱ	4,452	4,381	4,006	4,861	47,728	44	13.4%	
	流動食・半流動食Ⅰ	520	273	416	406	4,810	4	1.3%	
	濃厚流動食	1,203	1,339	1,155	1,120	16,987	16	56.1%	
	その他(嚥下訓練食等)	603	570	705	525	5,072	5	1.4%	
	遅延食	91	87	106	95	1,236	1	0.3%	
	小計	23,038	21,394	23,682	23,666	264,183	241	73.9%	
特別治療食	非加算	塩分制限食	864	681	813	712	6,726	6	1.9%
		肥満食	27	24	114	53	418	0	0.1%
	加算	小計	891	705	927	765	7,144	7	2.0%
		心臓食	2,363	2,632	2,625	2,205	30,571	28	8.6%
		腎臓・透析食	1,561	1,515	1,229	1,394	18,859	17	5.3%
		糖尿病食	2,235	2,386	2,302	2,106	30,255	28	8.5%
		肝臓食	254	68	200	227	2,513	2	0.7%
		潰瘍食	208	96	198	281	2,693	2	0.8%
		マージン食	72	36	72	72	904	1	0.3%
		注腸検査食　その他(貧血等)	0	68	0	0	305	0	0.1%
	小計	6,693	6,801	6,626	6,285	86,100	79	24.1%	
合計		30,622	28,900	31,235	30,716	357,427	326	100.0%	
1食平均給食数		329	321	347	341	326			
特別治療食(加算)比率		21.9	23.5	21.2	20.5	24.1			

(注) 一食平均給食数＝合計欄の食数÷(暦日×3食)

(2) 栄養指導件数

指 導 内 容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		糖 尿 病 教 室	6	1	4	1	1	6	0	0	1	5	10	4	39
	小 計		6	1	4	1	1	6	0	0	1	5	10	4	39
個 人	算 定 可	腎 臓 病 塩分6g未満	29	26	30	21	22	22	24	20	27	32	26	36	315
		心 臓 疾 患 塩分6g未満	9	5	11	8	7	7	10	7	9	3	7	7	90
		高 血 圧 塩分6g未満	3	3	2	3	1	5	3	8	6	6	5	1	46
		妊娠中毒症 塩分6g未満	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
		肝 臓 病	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	6
		糖 尿 病	24	30	23	33	21	19	19	14	28	28	40	32	311
		肥満症 BMI 30以上 or 肥満度 40以上	2	2	1	3	2	2	0	2	2	1	0	0	17
		脂質異常症 LDL140mg/dl以上 or TG150mg/dl以上 or HDL40mg/dl未満	4	0	4	2	4	2	0	1	5	1	1	1	25
		胃潰瘍・十二指腸潰瘍	7	4	14	5	8	5	4	6	5	5	6	7	76
		鉄欠乏性貧血 Hb10g/dl以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		脾 臓 疾 患	1	1	1	2	0	2	0	0	1	0	0	0	8
		高 尿 酸 血 症	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	潰瘍性大腸炎・クローン氏病	1	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	3	9	
	小児アレルギー・先天性代謝異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計		81	72	91	78	65	64	61	62	85	76	85	89	909
	指 算 定 不 可	消 化 器 疾 患	3	1	1	3	2	7	2	1	6	4	6	8	44
		耐 糖 能 異 常	3	2	2	0	1	1	1	1	3	4	1	3	22
		嚥下障害・食形態指導	0	2	0	2	0	2	0	1	1	0	0	0	8
		肥 満 症	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
		低 栄 養	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	7
		脳 血 管 障 害	0	1	1	1	1	3	0	0	0	0	0	1	8
		算 定 条 件 不 適 合	0	4	1	3	3	0	5	7	7	7	7	9	53
		健 診 セ ン タ ー	0	1	0	3	2	0	1	1	1	2	1	0	12
		※そ の 他	0	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	15
		小 計	7	14	7	14	11	16	12	12	20	19	18	23	173
そ の 他	病棟訪問（アレルギー・摂食不良等聞き取り等）	72	45	60	88	65	61	55	85	50	86	64	72	803	
	糖 尿 病 週 間								8					8	
	小 計	72	45	60	88	65	61	55	93	50	86	64	72	811	
算 定 合 計			81	72	91	78	65	64	61	62	85	76	85	89	909
総 合 計			166	132	162	181	142	147	128	167	156	186	177	188	1932

8. 放射線科／放射線技術科業務状況

(1) 検査別利用状況

一般撮影

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
頭 部	63	50	49	45	48	62	57	52	60	53	50	45	634
頸 部	3	1	1	5	1	0	1	3	2	1	3	9	30
胸 部	2,486	2,408	2,594	2,617	2,332	2,413	2,534	2,398	2,496	2,419	2,418	2,511	29,626
腹 部	354	382	438	448	380	380	388	360	374	374	428	402	4,708
胸郭・肩	129	133	153	130	125	143	151	131	125	159	144	117	1,640
骨 盤	397	386	406	375	393	352	379	393	352	316	387	479	4,615
脊 椎	479	512	504	520	513	450	524	488	490	471	546	631	6,128
上 肢	214	262	306	280	287	306	298	285	253	262	234	215	3,202
下 肢	651	588	674	585	572	555	552	549	544	486	559	562	6,877
乳 房	128	90	107	140	140	132	219	199	170	145	136	127	1,733
パノラマ	118	96	111	135	112	118	136	116	132	114	143	135	1,466
合 計	5,022	4,908	5,343	5,280	4,903	4,911	5,239	4,974	4,998	4,800	5,048	5,233	60,659
1日平均	239.1	272.7	242.9	240.0	233.5	258.5	249.5	261.8	263.1	252.6	21.9	237.9	249.6

病棟ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
頭 部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胸 部	529	515	507	462	414	438	511	509	462	430	452	505	5,734
腹 部	78	61	86	89	74	74	76	97	99	73	85	108	1,000
胸郭・肩	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
骨 盤	3	4	1	1	3	2	1	0	3	3	3	0	24
脊 椎	1	0	0	2	1	0	1	0	1	2	1	0	9
上 肢	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	5
下 肢	0	7	2	0	1	2	0	1	5	2	5	6	31
合 計	611	588	596	554	497	516	589	607	572	510	546	619	6,805

OP室ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
胸 部	38	37	59	54	46	43	45	39	44	43	43	49	540
腹 部	42	32	51	55	47	40	39	53	40	37	40	46	522
胸郭・肩	3	4	2	5	2	5	3	1	2	2	1	0	30
骨 盤	27	19	16	17	23	17	22	15	18	27	27	33	261
脊 椎・頭	10	8	16	17	14	17	14	17	9	18	18	19	177
上 肢	7	20	13	12	10	9	17	13	9	5	10	8	133
下 肢	23	27	27	23	25	18	20	30	23	35	20	24	295
合 計	150	147	184	183	167	149	160	168	145	167	159	179	1,958

ポータブル合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
合 計	761	735	780	737	664	665	749	775	717	677	705	798	8,763
1日平均	36.2	40.8	35.5	33.5	31.6	35.0	35.7	40.8	37.7	35.6	35.3	36.3	36.1

造影撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
泌尿器・婦人科系	24	28	25	25	20	24	20	10	11	14	17	17	235
その他造影撮影	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	24	29	25	25	20	24	20	10	11	14	17	17	236
1日平均	1.1	1.6	1.1	1.1	1.0	1.3	1.0	0.5	0.6	0.7	0.9	0.8	1.0

TV室検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
食 道 ・ 胃	30	32	48	17	31	30	42	28	38	29	16	19	360
注 腸	2	5	8	7	6	4	5	6	7	8	4	5	67
気管支ファイバー	14	13	12	14	11	11	10	9	7	10	8	9	128
大腸ファイバー	71	80	91	86	98	88	103	105	86	79	80	73	1,040
その他透視・造影	53	64	88	88	79	77	82	85	74	86	94	97	967
合 計	170	194	247	212	225	210	242	233	212	212	202	203	2,562
1 日 平 均	8.1	10.8	11.2	9.6	10.7	11.1	11.5	12.3	11.2	11.2	10.1	9.2	10.5

血管造影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
心 カ テ	72	59	67	70	57	48	63	89	73	73	64	66	801
そ の 他	9	11	19	14	13	13	15	15	18	15	18	19	179
心カテIVR	17	23	17	12	19	14	20	17	23	19	20	18	219
その他IVR	14	13	18	23	23	23	22	24	21	19	22	20	242
合 計	112	106	121	119	112	98	120	145	135	126	124	123	1,441
1 日 平 均	5.3	5.9	5.5	5.4	5.3	5.2	5.7	7.6	7.1	6.6	6.2	5.6	5.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
C T	1,408	1,438	1,675	1,555	1,427	1,492	1,481	1,434	1,455	1,382	1,437	1,539	17,723
1 日 平 均	67.0	79.9	76.1	70.7	68.0	78.5	70.5	75.5	76.6	72.7	71.9	70.0	72.9
M R	617	555	663	671	611	531	581	580	604	535	606	655	7,209
1 日 平 均	29.4	30.8	30.1	30.5	29.1	27.9	27.7	30.5	31.8	28.2	30.3	29.8	29.7
R I	58	58	64	58	58	61	59	59	46	59	50	52	682
1 日 平 均	2.8	3.2	2.9	2.6	2.8	3.2	2.8	3.1	2.4	3.1	2.5	2.4	2.8
D E X A	154	131	163	157	141	149	181	162	143	132	153	198	1,864
1 日 平 均	7.3	7.3	7.4	7.1	6.7	7.8	8.6	8.5	7.5	6.9	7.7	9.0	7.7
E S W L	11	5	6	19	14	14	6	9	11	4	8	2	109
1 日 平 均	0.5	0.3	0.3	0.9	0.7	0.7	0.3	0.5	0.6	0.2	0.4	0.1	0.4
放射線治療	474	274	511	623	439	398	396	377	486	410	493	345	5,226
1 日 平 均	22.6	15.2	23.2	28.3	20.9	20.9	18.9	19.8	25.6	21.6	24.7	15.7	21.5

健診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
頭 部	1	1	3	5	4	0	0	3	6	2	8	3	36
頸 椎	1	1	3	5	4	0	0	3	6	2	8	3	36
胸 部	170	220	304	290	278	221	291	256	225	197	250	112	2,814
腹 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パノラマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 房	39	51	94	109	84	69	101	103	102	103	86	40	981
胃 透 視	147	196	258	255	230	180	224	189	188	158	222	99	2,346
注 腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨塩定量	2	3	5	5	6	4	4	8	8	2	3	2	52
M R	12	16	23	39	33	0	18	19	22	17	16	10	225
C T	7	9	14	13	5	7	10	13	5	4	8	4	99
合 計	379	497	704	721	644	481	648	594	562	485	601	273	6,589

(2) 各科別利用件数（外来）

（単位：件）

外 来	単 純 撮 影	断 層 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌尿器・婦人科系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブ ル	O P 室 ポ ー タ ブ ル	合 計
内科	2,789	0	0	4	0	0	0	1,893	185	17	0	0	0	6	0	4,894
小児	937	0	0	0	0	0	2	33	26	0	0	0	0	2	0	1,000
外科	3,135	0	0	76	0	0	98	1,432	206	0	109	0	368	1	2	5,427
耳鼻	388	0	0	10	0	0	0	494	192	0	13	0	0	0	0	1,097
産婦	325	0	0	0	31	0	6	189	207	0	1	0	0	0	0	759
眼科	347	0	0	0	0	0	0	66	38	0	0	0	0	0	0	451
整形	19,902	0	0	315	0	0	1,227	1,315	1,755	1	7	0	0	1	82	24,605
泌尿	1,510	0	0	150	107	98	0	1,106	189	0	73	0	0	0	0	3,233
皮膚	15	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	18
脳外	520	0	0	0	0	0	0	1,358	1,134	10	12	0	0	1	0	3,035
歯科	1,320	0	0	0	0	0	0	124	33	0	6	0	0	0	0	1,483
神内	96	0	0	0	0	0	6	425	530	0	52	0	0	0	0	1,109
心外	1,077	0	0	0	0	0	0	555	6	0	0	0	0	2	0	1,640
形成	233	0	0	2	0	0	0	57	21	0	4	0	0	0	2	319
呼内	5,526	0	0	9	0	0	13	1,311	66	0	41	0	0	2	0	6,968
呼外	2,842	0	0	2	0	0	0	780	149	0	96	0	0	0	0	3,869
循内	4,334	0	0	0	0	0	0	541	39	42	94	0	0	0	0	5,050
消内	41	0	0	817	0	0	1	404	172	0	1	0	0	0	0	1,436
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,948	0	0	5,948
放診	21	0	0	5	0	0	0	884	1,051	1	24	0	0	0	0	1,986
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎内	574	0	0	0	0	0	82	361	89	0	24	0	0	0	0	1,130
血内	87	0	0	0	0	0	0	151	5	0	4	0	0	0	0	247
心内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膠原病	1,092	0	0	0	0	0	51	118	17	0	1	0	0	0	0	1,279
放治	32	0	0	3	0	0	0	398	75	0	0	4,089	0	0	0	4,597
救急	33	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	35
透内	1,240	0	0	0	0	0	192	140	15	17	0	0	0	2	0	1,606
総合診	14	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	17
合計	48,430	0	0	1,393	138	98	1,678	14,142	6,201	88	562	4,089	6,316	17	86	83,238

(3) 科別利用件数（入院）

（単位：件）

入 院	単 純 撮 影	断 層 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌 尿 器・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブル	O P 室 ポ ー タ ブル	合 計
内科	98	0	0	0	0	0	0	36	5	5	2	0	0	69	2	217
小児	651	0	0	5	1	0	0	15	45	0	0	0	0	359	0	1,076
外科	1,623	0	0	243	0	0	0	315	47	23	5	0	0	792	526	3,574
耳鼻	39	0	0	72	0	0	0	15	6	0	0	0	0	2	0	134
産婦	106	0	0	0	0	0	0	24	15	1	0	0	0	56	193	395
眼科	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
整形	2,642	0	0	157	0	0	77	494	156	2	2	0	0	146	820	4,496
泌尿	178	0	0	53	96	10	0	90	24	6	3	0	0	41	68	569
皮膚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外	339	0	0	12	0	0	0	969	300	161	25	0	0	414	4	2,224
歯科	314	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	2	5	327
神内	82	0	0	4	0	0	4	75	69	2	10	0	0	117	0	363
心外	1,900	0	0	0	0	0	0	365	116	47	0	0	0	1,686	124	4,238
形成	6	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	5	2	19
呼内	1,218	0	0	82	0	0	3	236	67	13	38	0	0	1,451	0	3,108
呼外	1,147	0	0	46	0	0	0	136	40	5	20	0	0	475	121	1,990
循内	1,065	0	0	0	0	0	0	198	23	963	4	0	0	828	0	3,081
消内	24	0	0	461	0	1	0	99	4	22	1	0	0	5	0	617
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	8
健診	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263	0	0	264
放診	1	0	0	33	0	0	0	4	2	7	0	0	0	0	0	47
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎内	592	0	0	1	0	0	80	218	44	17	2	0	0	303	0	1,257
血内	33	0	0	0	0	0	0	143	11	23	7	0	0	14	0	231
心内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膠原病	63	0	0	0	0	0	21	19	10	0	1	0	0	14	0	128
放治	3	0	0	1	0	0	0	112	20	0	0	1,137	0	0	0	1,273
救急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透内	130	0	0	0	0	0	1	7	2	56	0	0	0	8	0	204
総合診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12,257	0	1	1,170	97	11	186	3,581	1,008	1,353	120	1,137	263	6,788	1,872	29,844

(4) 月別利用患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数（人）	6,011	6,005	6,869	6,886	6,209	6,083	6,544	6,217	6,224	5,814	6,186	6,246	75,294
入院患者数（人）	2,303	2,088	2,459	2,416	2,197	2,108	2,331	2,302	2,300	2,138	2,322	2,283	27,247
合 計（人）	8,314	8,093	9,328	9,302	8,406	8,191	8,875	8,519	8,524	7,952	8,508	8,529	102,541
1日平均（人）	395.9	449.6	424.0	422.8	400.3	431.1	422.6	448.4	448.6	418.5	425.4	387.7	422.0
フィルム使用枚数（枚）	80	63	65	55	60	87	54	61	64	72	56	75	792
1日平均（枚）	3.8	3.5	3.0	2.5	2.9	4.6	2.6	3.2	3.4	3.8	2.8	3.4	3.3

(5) 検査別前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
単純撮影													
平成26年度	5,055	5,095	4,945	5,255	4,708	4,860	5,117	4,845	4,894	5,047	4,777	5,138	59,736
平成27年度	5,022	4,908	5,343	5,280	4,903	4,911	5,239	4,974	4,998	4,800	5,048	5,233	60,659
前年比(%)	99.3	96.3	108.0	100.5	104.1	101.0	102.4	102.7	102.1	95.1	105.7	101.8	101.5
血管造影													
平成26年度	112	113	139	132	100	123	115	125	126	95	110	118	1,408
平成27年度	112	106	121	119	112	98	120	145	135	126	124	123	1,441
前年比(%)	100.0	93.8	87.1	90.2	112.0	79.7	104.3	116.0	107.1	132.6	112.7	104.2	102.3
C T													
平成26年度	1,514	1,475	1,486	1,619	1,492	1,487	1,635	1,314	1,372	1,496	1,412	1,548	17,850
平成27年度	1,408	1,438	1,675	1,555	1,427	1,492	1,481	1,434	1,455	1,382	1,437	1,539	17,723
前年比(%)	93.0	97.5	112.7	96.0	95.6	100.3	90.6	109.1	106.0	92.4	101.8	99.4	99.3
MR													
平成26年度	604	613	631	632	588	579	646	555	578	540	588	597	7,151
平成27年度	617	555	663	671	611	531	581	580	604	535	606	655	7,209
前年比(%)	102.2	90.5	105.1	106.2	103.9	91.7	89.9	104.5	104.5	99.1	103.1	109.7	100.8
R I													
平成26年度	63	61	76	66	59	65	89	58	73	80	69	60	819
平成27年度	58	58	64	58	58	61	59	59	46	59	50	52	682
前年比(%)	92.1	95.1	84.2	87.9	98.3	93.8	66.3	101.7	63.0	73.8	72.5	86.7	83.3
DEXA (骨塩定量)													
平成26年度	132	152	167	141	143	139	152	132	149	133	141	183	1,764
平成27年度	154	131	163	157	141	149	181	162	143	132	153	198	1,864
前年比(%)	116.7	86.2	97.6	111.3	98.6	107.2	119.1	122.7	96.0	99.2	108.5	108.2	105.7
E S W L (体外衝撃波結石破碎)													
平成26年度	3	6	1	9	1	3	6	4	10	18	10	9	80
平成27年度	11	5	6	19	14	14	6	9	11	4	8	2	109
前年比(%)	366.7	83.3	600.0	211.1	1,400.0	466.7	100.0	225.0	110.0	22.2	80.0	22.2	136.3
放 射 線 治 療													
平成26年度	305	326	418	422	263	408	486	436	294	288	368	522	4,536
平成27年度	474	274	511	623	439	398	396	377	486	410	493	345	5,226
前年比(%)	155.4	84.0	122.2	147.6	166.9	97.5	81.5	86.5	165.3	142.4	134.0	66.1	115.2
ポータブル撮影													
平成26年度	765	804	705	612	691	725	729	657	651	771	784	784	8,678
平成27年度	761	735	780	737	664	665	749	775	717	677	705	798	8,763
前年比(%)	99.5	91.4	110.6	120.4	96.1	91.7	102.7	118.0	110.1	87.8	89.9	101.8	101.0
外 来 患 者 数													
平成26年度	5,925	6,211	6,351	6,670	6,051	6,140	6,567	5,767	5,930	5,913	5,727	6,090	73,342
平成27年度	6,011	6,005	6,869	6,886	6,209	6,083	6,544	6,217	6,224	5,814	6,186	6,246	75,294
前年比(%)	101.5	96.7	108.2	103.2	102.6	99.1	99.6	107.8	105.0	98.3	108.0	102.6	102.7
入 院 患 者 数													
平成26年度	2,152	2,269	2,226	2,229	2,066	2,216	2,453	2,282	2,223	2,284	2,357	2,582	27,339
平成27年度	2,303	2,088	2,459	2,416	2,197	2,108	2,331	2,302	2,300	2,138	2,322	2,283	27,247
前年比(%)	107.0	92.0	110.5	108.4	106.3	95.1	95.0	100.9	103.5	93.6	98.5	88.4	99.7
外来入院合計患者数													
平成26年度	8,077	8,480	8,577	8,899	8,117	8,356	9,020	8,049	8,153	8,197	8,084	8,672	100,681
平成27年度	8,314	8,093	9,328	9,302	8,406	8,191	8,875	8,519	8,524	7,952	8,508	8,529	102,541
前年比(%)	102.9	95.4	108.8	104.5	103.6	98.0	98.4	105.8	104.6	97.0	105.2	98.4	101.8
フィルム使用枚数													
平成26年度	48	86	51	89	55	34	64	61	46	92	70	60	756
平成27年度	80	63	65	55	60	87	54	61	64	72	56	75	792
前年比(%)	166.7	73.3	127.5	61.8	109.1	255.9	84.4	100.0	139.1	78.3	80.0	125.0	104.8

9. 中央検査技術科業務状況

(1) 院内部門別件数

(単位：件)

	一 般	血 液	化 学	免 疫	輸 血	細 菌	生 理	聴 力	病 理	平成27年度合計	対前年度比	平成26年度合計
4月	36,164	52,056	132,509	7,468	884	2,323	3,142	230	923	235,699	110.0%	214,185
5月	34,299	49,488	125,777	7,332	890	1,976	3,097	190	847	223,896	99.2%	225,690
6月	39,777	54,388	137,476	8,373	926	2,198	3,614	206	1,045	248,003	110.6%	224,148
7月	41,380	56,369	140,774	8,107	930	2,278	3,546	230	1,077	254,691	105.9%	240,515
8月	35,840	51,261	130,705	7,686	820	1,946	3,161	189	881	232,489	101.4%	229,272
9月	36,163	50,057	127,832	7,611	867	2,066	2,973	179	947	228,695	102.1%	223,927
10月	39,780	52,725	134,357	8,148	994	2,124	3,388	168	1,112	242,796	99.3%	244,391
11月	34,734	50,335	127,262	7,425	861	2,047	3,188	176	928	226,956	107.6%	211,012
12月	36,603	50,339	128,209	7,654	887	2,500	2,953	192	962	230,299	102.2%	225,308
1月	35,765	49,748	127,184	7,562	934	2,089	3,044	158	807	227,291	100.6%	226,034
2月	35,814	50,578	128,650	7,489	903	2,470	3,199	184	761	230,048	105.8%	217,379
3月	37,669	52,529	134,932	7,963	985	2,399	3,141	229	928	240,775	102.4%	235,194
合計	443,988	619,873	1,575,667	92,818	10,881	26,416	38,446	2,331	11,218	2,821,638	103.8%	2,717,055

(2) 委託先別件数

	A社			B社		
	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比
4月	2,264 件	2,569 件	113.5%	702 件	628 件	89.5%
5月	2,441 件	2,064 件	84.6%	663 件	657 件	99.1%
6月	2,295 件	2,776 件	121.0%	848 件	713 件	84.1%
7月	2,474 件	2,601 件	105.1%	662 件	656 件	99.1%
8月	2,452 件	2,428 件	99.0%	729 件	675 件	92.6%
9月	2,316 件	2,047 件	88.4%	733 件	586 件	79.9%
10月	2,600 件	2,394 件	92.1%	839 件	741 件	88.3%
11月	1,976 件	2,264 件	114.6%	709 件	647 件	91.3%
12月	2,445 件	2,124 件	86.9%	707 件	670 件	94.8%
1月	2,042 件	2,087 件	102.2%	643 件	600 件	93.3%
2月	2,075 件	2,237 件	107.8%	646 件	714 件	110.5%
3月	2,509 件	2,242 件	89.4%	681 件	684 件	100.4%
合計	27,889 件	27,833 件	99.8%	8,562 件	7,971 件	93.1%

	平成26年度			平成27年度			対前年度比
	A	B	小 計	A	B	小 計	
4月	2,264 件	702 件	2,966 件	2,569 件	628 件	3,197 件	107.8%
5月	2,441 件	663 件	3,104 件	2,064 件	657 件	2,721 件	87.7%
6月	2,295 件	848 件	3,143 件	2,776 件	713 件	3,489 件	111.0%
7月	2,474 件	662 件	3,136 件	2,601 件	656 件	3,257 件	103.9%
8月	2,452 件	729 件	3,181 件	2,428 件	675 件	3,103 件	97.5%
9月	2,316 件	733 件	3,049 件	2,047 件	586 件	2,633 件	86.4%
10月	2,600 件	839 件	3,439 件	2,394 件	741 件	3,135 件	91.2%
11月	1,976 件	709 件	2,685 件	2,264 件	647 件	2,911 件	108.4%
12月	2,445 件	707 件	3,152 件	2,124 件	670 件	2,794 件	88.6%
1月	2,042 件	643 件	2,685 件	2,087 件	600 件	2,687 件	100.1%
2月	2,075 件	646 件	2,721 件	2,237 件	714 件	2,951 件	108.5%
3月	2,509 件	681 件	3,190 件	2,242 件	684 件	2,926 件	91.7%
合計	27,889 件	8,562 件	36,451 件	27,833 件	7,971 件	35,804 件	98.2%

(3) 院内・委託件数比率

	院内検査 〔件〕	委託検査 〔件〕	A 〔件〕	B 〔件〕	委託検査 〔％〕	委託検査 〔％〕
4 月	235,699	3,197	2,569	628	98.64	1.36
5 月	223,896	2,721	2,064	657	98.78	1.22
6 月	248,003	3,489	2,776	713	98.59	1.41
7 月	254,691	3,257	2,601	656	98.72	1.28
8 月	232,489	3,103	2,428	675	98.67	1.33
9 月	228,695	2,633	2,047	586	98.85	1.15
10 月	242,796	3,135	2,394	741	98.71	1.29
11 月	226,956	2,911	2,264	647	98.72	1.28
12 月	230,299	2,794	2,124	670	98.79	1.21
1 月	227,291	2,687	2,087	600	98.82	1.18
2 月	230,048	2,951	2,237	714	98.72	1.28
3 月	240,775	2,926	2,242	684	98.78	1.22
合 計	2,821,638	35,804	27,833	7,971	98.73	1.27

(4) 生理検査種別年度比

	心 電 図			ホルター心電図			トレッドミル			脳 波		
	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比
外来合計	15,658	15,508	99.0%	436	365	83.7%	12	4	33.3%	246	214	87.0%
入院合計	3,464	3,981	114.9%	93	55	59.1%	1	0	0.0%	149	188	126.2%
総合計	19,122	19,489	101.9%	529	420	79.4%	13	4	30.8%	395	402	101.8%
	U C G			頸動脈エコー			腹部エコー			肺 機 能		
	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比
外来合計	2,886	3,059	106.0%	490	531	108.4%	2,271	2,284	100.6%	3,364	3,620	107.6%
入院合計	1,518	1,634	107.6%	421	434	103.1%	176	175	99.4%	197	162	82.2%
総合計	4,404	4,693	106.6%	911	965	105.9%	2,447	2,459	100.5%	3,561	3,782	106.2%
	A B R			A B I			筋 電 図			総 計		
	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比	平成26年度	平成27年度	対前年度比
外来合計	18	14	77.8%	2,120	1,844	87.0%	234	304	129.9%	27,735	27,747	100.0%
入院合計	50	62	124.0%	618	688	111.3%	112	116	103.6%	6,799	7,495	110.2%
総合計	68	76	111.8%	2,738	2,532	92.5%	346	420	121.4%	34,534	35,242	102.1%

10. リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況

(1) 理学療法患者数

(単位：件)

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
平成27年 4月	475	3,952	4,427	64	101 %
5月	407	3,311	3,718	-486	88
6月	468	3,578	4,046	-143	97
7月	435	3,633	4,068	-108	97
8月	375	3,645	4,020	119	103
9月	373	3,370	3,743	-168	96
10月	387	3,711	4,098	-420	91
11月	364	3,555	3,919	32	101
12月	353	3,606	3,959	6	100
平成28年 1月	356	3,572	3,928	-41	99
2月	349	3,958	4,307	118	103
3月	402	4,138	4,540	-264	95
計	4,744	44,029	48,773	-1,291	97

(2) 作業療法患者数

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
平成27年 4月	72	1,696	1,768	69	104 %
5月	67	1,399	1,466	-88	94
6月	73	1,629	1,702	139	109
7月	64	1,586	1,650	109	107
8月	68	1,547	1,615	180	113
9月	75	1,550	1,625	211	115
10月	60	1,809	1,869	200	112
11月	85	1,633	1,718	295	121
12月	77	1,712	1,789	387	128
平成28年 1月	63	1,647	1,710	267	119
2月	79	1,722	1,801	306	120
3月	78	1,848	1,926	111	106
計	861	19,778	20,639	2,186	112

(3) 言語聴覚療法患者数

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
平成27年 4月	50	826	876	-57	94 %
5月	38	766	804	-65	93
6月	39	940	979	145	117
7月	45	870	915	47	105
8月	41	1,029	1,070	319	142
9月	48	930	978	171	121
10月	42	1,071	1,113	114	111
11月	37	933	970	185	124
12月	29	961	990	195	125
平成28年 1月	34	953	987	156	119
2月	29	1,036	1,065	236	128
3月	44	1,028	1,072	63	106
計	476	11,343	11,819	1,509	115

11. 開放型入院患者状況

	入院患者 延人数 (人)	1日平均 患者数 (人)	病床 利用率 (%)	新規入院 患者数 (人)	退院 患者数 (人)	平均入院 在院日数 (日)	利用 登録医 (人)	共同 指導回数 (回)
4月	264	8.8	17.6	13	15	18.9	10	19
5月	279	9.0	18.0	12	10	25.4	7	25
6月	239	8.0	15.9	8	13	26.6	8	28
7月	217	7.0	14.0	13	13	16.7	8	24
8月	185	6.0	11.9	9	11	18.5	7	16
9月	189	6.3	12.6	6	4	37.6	5	13
10月	143	4.6	9.2	7	9	17.9	6	12
11月	139	4.6	9.3	5	8	21.4	4	11
12月	90	2.9	5.8	3	3	30.0	2	8
1月	97	3.1	6.3	3	4	27.7	3	11
2月	46	1.6	3.2	4	4	12.0	5	2
3月	69	2.2	4.5	3	1	34.5	4	4
合計	1,957	5.4	10.7	86	95	23.9	69	173

12. 訪問看護ステーション業務状況

◆訪問回数

延べ訪問回数	介護保険	5,563	78.21%
	医療保険	1,549	21.79%

◆利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入	6	7	6	7	6	7	4	4	6	5	8	9	75
新規受入(院内)	5	5	6	4	6	7	3	3	6	3	7	7	62
新規受入(院外)	1	2	0	3	0	0	1	1	0	2	1	2	13
継続	108	108	112	109	108	107	111	112	112	115	107	106	1315
計	114	115	118	116	114	114	115	116	118	120	115	115	1390

◆終了状況

死亡内訳	在宅	在宅外 (病院・施設)	その他 (転居・転院・中止)
総数	10	59	1
がん	5	31	
心疾患	1	4	
脳血管障害	1	3	
その他	3	21	

◆疾患別患者数

疾病名	利用者数
循環器系疾患	15
癌	46
神経系疾患	9
脳血管系疾患	24
内分泌系疾患	15
精神疾患	16
筋骨格系疾患	23
呼吸器系疾患	17
血液・免疫機能系疾患	1
腎泌尿器系疾患	15
消化器系疾患	5
先天性奇形	2
皮膚及び皮下組織系疾患	5
計	193

◆年齢別患者数

年齢層	人数
0～10	1
11～20	1
21～30	0
31～40	3
41～50	4
51～60	2
61～70	9
71～80	32
81～90	53
91～100	16
101以上計	1

◆介護区分別患者数

介護度	人数
要支援1	4
要支援2	12
要介護1	21
要介護2	29
要介護3	24
要介護4	11
要介護5	12

男女人数	人数
男性	59
女性	56

◆緊急対応（夜間・休日）

電話のみ	495件
出動	392件

13. 2015年 疾病別（ICD）・転帰別 退院患者数（転科含）

大分類	性 別	平均 在科 日数	転 帰														総 計
			1 治癒	2 軽快	3 寛解	4 不変	5 増悪	6 その他	7						8		
									中止 (自己)	転科 (治癒)	転科 (軽快)	転科 (寛解)	転科 (不変)	転科 (増悪)	死 亡		
															剖検有	剖検無	
感染症および寄生虫症	男	11.1	4	93		5	1	1			1				1	9	115
	女	12.5	1	91		4		2			3				1	6	108
新生物	男	15.6		567	4	271	3	112			7		13	4	5	114	1,100
	女	16.9		460	10	135	1	28			4		6		1	44	689
血液および造血器の疾患	男	12.5		23		2		3			1					1	30
ならびに免疫機構の障害	女	25.9		21		4		1					2			6	34
内分泌、栄養および	男	17.1	1	87		4		5			12		1	3		2	115
代謝疾患	女	11.8		63		5		4			10		2			2	86
精神および行動の障害	男	28.0		2													2
	女	16.4		2		2		1									5
神経系の疾患	男	16.7		82	1	13	1	44			4		3			1	149
	女	20.2		57		16	1	13			3		3	3		5	101
眼および付属器の疾患	男	3.9		260		1											261
	女	3.1		293													293
耳および 乳様突起の疾患	男	5.6		13				1									14
	女	6.5	2	19													21
循環器系の疾患	男	17.1		725		44	1	179			37		18	1		36	1,041
	女	18.7	1	458	1	20		129			15		8	1		28	661
呼吸器系の疾患	男	11.7	3	583		12	1	6	1		13		18			62	699
	女	11.9	4	412		11		1			5		3		1	22	459
消化器系の疾患	男	9.9		358	1	13		2			9	1	4			9	397
	女	9.1		241	4	9		6			4		3			5	272
皮膚および皮下組織の疾患	男	9.3		18							1			1			20
	女	16.4		20									2	1			23
筋骨格系および	男	22.1		177		4		54			8		2	3		2	250
結合組織の疾患	女	26.4	1	342		9		39			4		3	2	1		401
腎尿路生殖器系の疾患	男	12.2	1	182		76		34			18		27			4	342
	女	10.6	4	257	2	42		26			22		10	1		5	369
妊娠、分娩および	男																0
産じょく＜褥＞	女	13.2		264	2	2		191									459
周産期に発生した病態	男	7.4	1	115		1		1									118
	女	9.6	1	92		1											94
先天奇形、変形	男	19.9		9		1		5					1	1			17
および染色体異常	女	15.1		13		6		4					1				24
病状、徴候および異常臨床所見・異	男	6.8		17		1		3								2	23
常検査所見で他に分類されないもの	女	4.6		11				5			1						17
損傷、中毒および	男	20.3	2	311	1	10		3			6		2		1	6	342
その他の外因の影響	女	28.4	1	340	1	13		2	1		11		1	1		5	376
健康状態に影響をおよぼす要因	男																0
および保険サービスの利用	女																0
総 計	男	13.7	12	3,622	7	458	7	453	1	0	117	1	89	13	7	248	5,035
	女	14.6	15	3,456	20	279	2	452	1	0	82	0	44	9	4	128	4,492
	計	14.2	27	7,078	27	737	9	905	2	0	199	1	133	22	11	376	9,527

14. 医療機器等購入状況

部 署	品 名	取 得 年 月
麻酔科	輸血・輸液ライン加温装置	平成27年5月
	FFP解凍装置	
	気化器	
救急センター	バイポーラ	
中央手術室	ハンドトラウマテーブル	
放射線技術科	MRI室用生体情報モニタ	
耳鼻咽喉科	睡眠ポリグラフィ	平成27年6月
泌尿器科	光学視管	
産婦人科	子宮鏡	
	プローブ	平成27年7月
3階南病棟	洗髪車	
心臓血管外科	開創器	
麻酔科	血液凝固計	平成27年8月
	麻酔器	
整形外科	鏡視下用スコープ	
3階西病棟	車いす用体重計	平成27年9月
中央材料室	アテストオートリーダー	
4階西病棟	サークルベッド	
循環器内科	ポリグラフ	
	除細動器	
ICU、救急センター	ベッドパンウォッシャー	
	ICUベッド、ストレッチャー	
中央手術室	シーリングペンダント	
	手術台	
	無影灯、映像機器	
ICU、中央手術室、アンギオ室	生体情報モニタ	
麻酔科	除細動器	
	TCIポンプ	
放射線技術科	80列CT装置	
	一般撮影装置、画像処理システム	
	読影端末・検像端末	
	フラットパネルディスク×2セット、CRコンソール×4台	
臨床工学技術科	ポケットCO2モニタ	
放射線科	血液ガス分析装置	
総務課	待合椅子	
心臓血管外科	大動脈弁用キャリパー	平成27年10月
	Dubost開胸器	
ICU、救急センター	薬用冷蔵冷凍庫	
整形外科	レビテーター	
麻酔科	麻酔カート	
	TCIポンプ	
ICU・放射線科	作業台、材料キャビネット	
ICU	材料棚	
救急センター	シャワーストレッチャー	
	無影灯、シーリングペンダント	
	器械戸棚	
健診センター	睡眠ポリグラフィ	
泌尿器科	尿管ファイバーFLEX-X2	
放射線技術科	1.5T MRI装置	
循環器内科、放射線技術科	アンギオ装置 2台	

部 署	品 名	取 得 年 月
中央手術室	滅菌タオルホルダー	平成27年10月
	材料棚、材料運搬カート	
	手洗い装置	
	保冷库	
臨床工学技術科	個人用透析装置移送用台車	平成27年11月
6階西病棟	洗髪車	
ICU	スレーブモニタ	
放射線技術科	モバイルX線診断装置	
整形外科	創外固定器	平成27年12月
中央手術室	器械台	
3階西病棟	電動ベッド	
産婦人科	超音波診断装置	
麻酔科	超音波診断装置	
	麻酔器	
	メラガーゼ付着量測定装置	
薬剤科	卓上型クリーンベンチ	平成28年1月
	クリーンベンチ	
	高圧蒸気滅菌器	
ICU	喉頭ファイバースコープ	平成28年2月
リハビリテーション技術科	体幹2点歩行動揺計	
中央手術室	電気メス	
中央検査技術科	ビリルビン濃度測定装置	
病理部	生物顕微鏡	
臨床工学技術科	個人用透析装置	
脳神経外科	脳刺激電極挿入用チューブ	
	術中神経機能検査装置	平成28年3月
	無影灯	
放射線科	超音波診断装置	
心臓血管外科	胸骨鋸	
血液内科	恒温槽付小型振とう機	
中央材料室	ウォッシャーディスインフェクター	
中央検査技術科	脱水脱脂パラフィン浸透器1台、パラフィン包埋ブロック作製装置1台	
	便潜血測定装置	
耳鼻咽喉科	鼻咽喉スコープ	
薬剤科	パスボックス、エアシャワー等	
	集塵機能付調剤棚等	
歯科口腔外科	デンタルチェア	
放射線技術科	一般撮影装置	
4階東病棟	分娩監視システム、分娩監視装置3台	
整形外科	外科用モバイルイメージ	
	超低温フリーザー	
3階南病棟	清拭車	
消化器内科	十二指腸ファイバー	
外科	超音波診断装置	
循環器内科、中央検査技術科	CPX検査装置	
循環器内科、リハビリテーション技術科	生体情報モニタ、エルゴメーター（心臓リハビリ）	
放射線技術科	乳房撮影装置	
ICU	薬用冷蔵ショーケース	

15. 死亡診断書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	8	8	9	7	7	13	7	4	10	6	11	8	98
小 児													0
外 科	6	4	2	7	2	5	5	2	2	3	1	3	42
耳 鼻				1									1
産 婦			1		1		1	1		1		1	6
眼 科													0
整 形		1	1			1			1		2		6
泌 尿 器			1	1			1		1	1	1	1	7
皮 膚													0
脳 外		3	2	2		2	3	1	1	4	1	1	20
歯 科													0
神 内					1				3		1		5
心 外	1	3	2	2	2		3	1	2			2	18
形 成													0
呼 吸 器	15	10	10	13	12	14	15	17	17	13	16	17	169
循 環 器	1	3	4	2	2	4	4	3	1	3	2	2	31
消 化 器		3	1	2	1	1	2				4	2	16
死 産							2	1		1	1		5
合 計	31	35	33	37	28	40	43	30	38	32	40	37	424

16. 剖検症例

H27.1.1.～H27.12.31

剖検番号	年齢	性別	臨床診断	出所	検索部位	病理診断
AN584	74歳	女	肺癌	呼吸器外科	胸腹部	大細胞肺癌
AN585	76歳	女	突然死	循環器内科	胸腹部	入浴関連死
AN586	83歳	男	大腸癌	消化器内科	胸腹部	上行結腸癌および 副腎原発悪性リンパ腫
AN587	87歳	女	心筋梗塞	呼吸器内科	胸腹部	急性大動脈解離
AN588	91歳	男	仙骨部褥瘡	腎内代内科	胸腹部	仙骨部褥瘡感染
AN589	71歳	男	肺癌疑い	脳神経外科	胸腹部	細菌性肺炎
AN590	74歳	男	心肺停止	腎内代内科	胸腹部	S状結腸癌・胃癌細菌性肺炎
AN591	84歳	男	胸膜中皮腫	呼吸器内科	胸腹部	肺小細胞癌
AN592	78歳	女	間質性肺炎	呼吸器内科	胸腹部	特発性肺線維症・肺癌
AN593	78歳	女	腹膜炎	腎内代内科	胸腹部	慢性出血性膀胱炎膀胱タンポナーデ骨盤蜂か織炎
AN594	71歳	男	肺癌	呼吸器内科	胸腹部	肺扁平上皮癌
AN595	89歳	女	敗血症	心臓血管外科	胸腹部	急性腎盂腎炎
AN596	47歳	男	肺癌	消化器内科	胸腹部	ALK陽性肺腺癌
AN597	67歳	男	肺癌	呼吸器内科	胸腹部	肺扁平上皮癌・前立腺癌
AN598	93歳	女	心肺停止	腎内代内科	胸腹部	食物誤嚥による窒息死
AN599	61歳	女	心肺停止	腎内代内科	胸腹部	細菌性肺炎

17. 院内保育所「あすなろ園」状況

月	性別	〇才児	1才児	2才児	3才児	4才児	計	備考
4月	男	0	5	7	2	0	14	
	女	0	15	7	6	0	28	
	計	0	20	14	8	0	42	
5月	男	1	5	8	1	0	15	
	女	1	11	6	5	0	23	
	計	2	16	14	6	0	38	
6月	男	3	5	7	1	0	16	
	女	2	11	7	5	0	25	
	計	5	16	14	6	0	41	
7月	男	3	5	7	1	0	16	
	女	2	11	7	5	0	25	
	計	5	16	14	6	0	41	
8月	男	5	5	7	1	0	18	
	女	2	11	7	5	0	25	
	計	7	16	14	6	0	43	
9月	男	5	5	8	1	0	19	
	女	2	10	6	5	0	23	
	計	7	15	14	6	0	42	
10月	男	6	5	8	1	0	20	
	女	3	10	6	5	0	24	
	計	9	15	14	6	0	44	
11月	男	6	5	8	1	0	20	
	女	3	10	6	5	0	24	
	計	9	15	14	6	0	44	
12月	男	5	5	8	1	0	19	
	女	3	10	6	5	0	24	
	計	8	15	14	6	0	43	
1月	男	5	5	8	1	0	19	
	女	4	10	6	5	0	25	
	計	9	15	14	6	0	44	
2月	男	5	5	8	1	0	19	
	女	4	10	6	5	0	25	
	計	9	15	14	6	0	44	
3月	男	5	6	8	1	0	20	
	女	5	10	5	5	0	25	
	計	10	16	13	6	0	45	
年間合計	男	49	61	92	13	0	215	
	女	31	129	75	61	0	296	
	計	80	190	167	74	0	511	
月平均	男	4.1	5.1	7.7	1.1	0	17.9	
	女	2.6	10.8	6.3	5.1	0	24.7	
	計	6.7	15.8	13.9	6.2	0	42.6	